

平成31年度・令和元年度

# 岩手大学農学部年報

Vo1.25



IWATE UNIVERSITY

2019

岩手大学農学部



# 農学部年報第 25 号の刊行によせて

岩手大学農学部長 倉 島 栄 一

2020 年 6 月も末となったところ、岩手大学の将来を展望する 2020 ビジョンの原案が示されました。10 月を迎えた今も成案とはなっていません。混迷のなかを切り開き標となるのは、いつの時代も知力と意志であり、それを支える強固な理念も必要となると思われます。このビジョンはさておき、そのなかで岩手大学に必要な根源を問われていることは間違いないようです。

起こり得るさまざまな事象は不確実性を増しています。まもなく 10 回目の 3.11 を迎えます。この規模の地震の生起確率は 1/1000 と言われていました。この 10 年は災害の 10 年でもありました。2014 年には雫石、紫波町を中心に大雨による洪水被害がありました。岩手県の内陸でおおむね 50 年に 1 回の頻度で発生する一連の降雨による雨量は 250~270mm と推計されます。この大雨では局地的とはいえ 300mm を超える雨量が観測され、御明神演習林を流れる赤沢川では橋梁が流され、濁流となった林道網は土砂によって寸断されました。岩手県の内陸部は降雨量が少なく紫波町の滝名川流域では、近年に至るまで農業用水にまつわる水争いが絶えませんでした。かつての干ばつ常習地域もこの豪雨にみまわれ、この上流の山王海ダムへの道路もおおよそ 3 年にわたり通行不能となりました。記憶に新しい 2016 年台風 10 号は、陸を經由することなく大船渡に直接、上陸し、小本川流域で大きな被害が発生しました。このときの雨量も 300mm 超えでした。確率的な予測という手法が、ほぼ成り立たなくなっているとも言えます。

感染症と環境との関連性も指摘されています。森林の減少によって動物と人間の距離が不可避的に接近しています。これが一因とも言える人獣共通感染症がきわめて大きな脅威となって迫っています。エボラ出血熱、SARS、MARS などの感染症に引き続き、今回のパンデミックも必然的に起こったと考えることができます。14 世紀にヨーロッパを襲ったペストとともに文明の試練とも位置付けられますが、これらの生起は数 100 年程度の時間スケールでは測れないものとも推測できます。

国連は 2020 年版の世界幸福度ランキングを発表しました。わが国は 3 年連続で順位を下げ続け、62 位でした。特に評価が低いのは寛容さで、人とのつながりの希薄さを原因とする指摘もあります。かつて、農業が展開される農村は狭小な地縁や因習が根強く残るムラ社会の側面もありましたが、人とのつながりは豊かでもあり、幸福の原風景とも言えます。

食料の持続的供給、安全な水、これらを支える生命科学、幸福感の追求に、対パンデミックを新たな座標軸に加え、農学はこれら多次元の分解能をあげることが求められます。その確実の歩みの証となるのが、この冊子です。今年の思いは特別でしょう。

令和 2 年 11 月



## 目 次

### 農学部年報第25号の刊行によせて

#### 平成31年度・令和元年度の活動概要

1 トピックス .....	3
2 年間主要行事 .....	5
3 広報等活動状況 .....	7

#### 教員・スタッフ

1 学部教員	
(1) 植物生命科学科 .....	13
(2) 応用生物化学科 .....	29
(3) 森林科学科 .....	49
(4) 食料生産環境学科 .....	61
(5) 動物科学科 .....	81
(6) 共同獣医学科 .....	91
2 附属施設教員	
(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター .....	119
(2) 附属動物病院 .....	123
(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター .....	126
3 技術部 .....	129
4 学会等の開催 .....	141
5 研究助成 .....	142
6 非常勤講師 .....	144
7 委員会一覧 .....	148

#### 学 生

1 入試	
(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等 .....	153
(2) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の評価・配点 .....	153
(3) 入学者選抜状況 .....	154
(4) 推薦入学選抜状況 .....	155
(5) 植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況 .....	155
(6) 大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況 .....	155
(7) 大学院獣医学研究科（博士課程）選抜状況 .....	157
2 カリキュラム	
(1) 植物生命科学科 .....	158
(2) 応用生物化学科 .....	159
(3) 森林科学科 .....	160
(4) 食料生産環境学科 .....	161
(5) 動物科学科 .....	164
(6) 共同獣医学科 .....	165

3	学部学生	
	(1) 入学年度別在籍者数 .....	166
	(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講生受入状況 .....	166
	(3) 卒業者数 .....	167
	(4) 卒業者の進路状況 .....	167
4	大学院修士課程	
	(1) 在籍者数 .....	168
	(2) 農学研究科 .....	168
	(3) 修了者数 .....	168
	(4) 修了者の進路状況 .....	169
	(5) 修士論文一覧 .....	170
5	大学院博士課程	
	(1) 岩手大学大学院連合農学研究科学位論文一覧 .....	172
	(2) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科学位論文一覧 .....	176

#### 国際交流

1	海外渡航 .....	179
2	外国人研修生の受入 .....	183
3	留学生の受入 .....	183
4	交換留学生の派遣と受入 .....	184

#### 地域交流

1	セミナー・公開講座等の開催 .....	187
	(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの .....	187
	(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの .....	195
	(3) 公開講座等 .....	196
2	その他の地域連携事業 .....	200
	(1) いわてアグリフロンティアスクール .....	200
	(2) AFR（岩手農林研究協議会） .....	202
3	受託研究員の受入 .....	203

#### 附属施設

1	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター .....	207
	1-1 地域フィールド総合科学分野	
	(1) 概要，教育研究の内容	
	(2) 地域貢献	
	1-2 持続型農業生産技術分野（滝沢農場，御明神牧場）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 実習	
	(4) 土地利用計画	
	(5) 家畜	
	(6) 農畜産物売払高	
	1-3 循環型森林管理技術分野（御明神演習林，滝沢演習林）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	

(3) 御明神演習林	
(4) 滝沢演習林	
(5) 林産物の販売	
2 附属動物病院 .....	213
(1) 概要	
(2) 診療状況	
(3) 臨床教育の内容	
3 附属植物園 .....	216
(1) 概要	
(2) 主な構成	
(3) 園内概況	
(4) 運営委員会	
(5) 植物園・ガラス温室利用状況	
4 附属農業教育資料館 .....	221
(1) 概要	
(2) 展示資料	
(3) 入館者数	
(4) 農業教育資料館特別企画	
(5) 農業教育資料館蔵資料の他施設・団体への貸出実績	
5 附属動物医学食品安全教育研究センター .....	223
事務組織等	
1 事務組織 .....	229
2 令和元年度予算関係 .....	229
3 職員の動向 .....	230
(1) 教育職員 .....	230
(2) 事務系職員 .....	230
(3) 技術系職員 .....	231



## 平成31年度・令和元年度の活動概要



# 1. トピックス

## 【新学科体制となつてから初めての卒業生を輩出】

平成28年度に行われた学部改組によって、植物生命科学科、応用生物化学科、森林科学科、食料生産環境学科（農村地域デザイン学コース、食産業システム学コース、水産システム学コース）及び動物科学科が新設され、従来からある共同獣医学科を含めて6学科体制となった。令和元年度は、新たに設置された5学科から初めての卒業生を輩出した。

また、この卒業生の中には、本学初の水産系教育分野として設置された食料生産環境学科水産システム学コースの学生20名も含まれている。

## 【国際交流】

### (1) アメリカオーバン大学との学术交流

平成10年に締結された「学术交流に関する協定書」に基づき、学术交流の一環として平成16年から学生交流が行われている。令和元年度は、8月19日から9月3日の間、共同獣医学科の学生4名を派遣した。

### (2) カナダサスカチュワン大学との学术交流

平成25年3月1日から10年間で締結された岩手大学とカナダサスカチュワン大学との大学間学术交流協定に基づき、岩手大学農学部とカナダサスカチュワン大学言語センターとの学生派遣に関する合意を平成26年2月20日から締結し、学生の派遣を開始した。令和元年度は、9月1日から9月22日の間、学部学生13名、総合科学研究科農学専攻の大学院学生1名を派遣した。

### (3) ドイツロッテンブルク大学との学术交流

平成25年11月6日から10年間で締結された岩手大学農学部とドイツロッテンブルク大学との学术交流協定に基づき、令和元年度は、教員2名及び技術職員1名の引率のもと、森林科学科の学生8名及び総合科学研究科地域創生専攻の大学院学生1名を派遣し、令和元年度は、9月13日から9月23日の間、森林・林業に関する短期留学を実施した。

### (4) 吉林農業大学との学术交流

令和元年8月12日から21日の日程で岩手大学から教員4名が吉林農業大学を訪問し、研究交流を行った。

### (5) 上海海洋大学と学术交流

令和元年5月24日に上海海洋大学において交流協定の締結を記念した3回目のシンポジウムが開催された。農学部から教員2名と理工学部から教員1名が参加し、それぞれ研究発表を行った。

また、7月から8月にかけて、サマーコースを2回に分けて実施し、上海海洋大学から合計28名の学生を受け入れた。

### (6) 福建農林大学と学术交流協定を締結

令和元年7月8日、中国・福建農林大学において岩手大学と福建農林大学との学术交流協定の調印式が行われ、教員2名及び事務職員1名が訪問した。

### (7) 石河子大学との学术交流協定の更新

令和元年8月20日、岩手大学と石河子大学との学术交流協定の更新ため、学長を含む3名が来訪し、調印式を行った。また、併せて研究室や滝沢農場の視察が行われた。

### (8) 岩手大学創立70周年を記念した国際シンポジウムの開催

令和元年11月14日、創立70周年を記念して海外協定校から関係者を招き国際シンポジウムを開催した。このうち農学部では、吉林農業大学、サスカチュワン大学、ロッテンブルグ大学、上海海洋大学から8名の関係者を招き「SDGsの実現に向けた農学の貢献」をテーマに今後の各大学の取り組みや社会の方向性について議論を深めた。

また農学部で行ったシンポジウムは3部構成で行い、招待講演として米国NPO法人コペルニクの中村俊裕氏の基調講演が行われたほか、高校生発表の部では、岩手県立水沢高等学校及び岩手県立釜石高等学校から3組12名の高校生が各高校での取り組みについて発表した。

## 【研究助成】

- (1) 共同研究  
令和元年度における民間等との共同研究は36件行われ、岩手県内の企業等から12件であった。
- (2) 受託研究  
令和元年度には26件行われ、独立行政法人の研究機関から13件であった。

## 【学部長及び附属施設長の交代等】

- (1) 学部長の就任  
前任者の任期満了に伴い、倉島栄一教授が平成31年4月1日付けで就任した。
- (2) 副学部長の就任  
前任者の任期満了に伴い、山本欣郎教授が平成31年4月1日付けで就任した。
- (3) 附属動物病院長の就任  
前任者の任期満了に伴い、山崎真大教授が平成31年4月1日付けで就任した。
- (4) 附属動物医学食品安全教育研究センター長の就任  
前任者の任期満了に伴い、寺嶋 淳教授が平成31年4月1日付けで就任した。
- (5) 附属植物園長の再任  
立川史郎教授が任期満了に伴い、平成31年4月1日付けで再任された。

## 【その他】

- (1) 釜石キャンパスに総合教育研究棟（水産系）が整備  
令和2年5月、岩手大学は、岩手県、釜石市の協力のもと、三陸沿岸の主要産業である水産業の復興と、持続的な発展に資する高度専門人材の育成を行うことを目的に、釜石キャンパス内に総合教育研究棟（水産系）を新設した。これにより、釜石キャンパスに配属された学生の学習環境が更に充実された。
- (2) 農学部附属動物病院に動物園水族館動物診療科を創設  
平成31年4月22日、附属動物病院に動物園水族館で飼育展示されている野生種の動物を診療対象とする動物園水族館動物診療科を創設した。
- (3) 農学部附属農業教育資料館特別公開及び土日祝日の公開  
令和元年11月3日（日、祝日）の文化の日を記念して、農業教育資料館の特別公開（無料開館）が行われ、期間中多くの入館者が訪れた。また、平成31年4月27日（土）から令和元年11月3日（日、全学一斉休業期間を除く。）まで、土日祝日も一般公開を行った。
- (4) 授業公開と教育懇談会の開催  
1年次及び2年次の保護者を対象に、令和元年12月2日（月）から6日（金）まで授業公開及び12月6日（金）は教育懇談会を開催した。開かれた大学づくりの一環として始められた授業公開は今回で20年目を迎えた。9日（金）に行われたキャンパスツアーでは、34名の保護者の参加があった。教育懇談会では44名の保護者の参加があり、学生生活や就職状況について活発な質疑応答・意見交換が行われた。
- (5) 進路懇談会の開催  
令和元年12月7日（土）に、就職を控えた3年次学生（共同獣医学科は5年次学生）の保護者を対象に学生の就職や進路に関する進路懇談会を開催した。当日は、全体懇談会のほか各学科の教員による個別面談も行われ、45名の保護者が訪れた。

## 2. 年間主要行事

年月日	曜日	事項
平成31年		
4. 5	金	入学式
4. 8	月	新入生オリエンテーション
令和元年		
5.24	金	いわてアグリフロンティアスクール開講式
6. 1	土	開学記念日
6. 2	日	公開講座「フィールドセミナー 春の植物観察会」(滝沢演習林)
6.28	金	2020年度岩手大学農学部(森林科学科, 共同獣医学科を除く4学科)編入学試験
7. 1	月	総合教育研究棟(水産系)竣工記念式典(釜石キャンパス)
7. 2	火	2020年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻推薦入学試験
7. 6	土	公開講座「農学部5学科・植物生命, 応用生物化学, 森林科学, 食糧生産環境, 動物科学の実験講座」
8. 1	木	公開講座「第1回大学農場で体験する食と農と生物学」(滝沢農場)
8. 6	火	公開講座「獣医学の世界～獣医学科はどんな研究をしているのだろうか?～」
8. 6	火	夏季休業(9月30日まで)
8. 7	水	2019年度第1回オープンキャンパス
8.17	土	公開講座「哲学者 内山節氏 を迎えての第14回「哲学の森」」(18日まで)(滝沢演習林)
8.21	水	2019年10月入学・2020年4月入学第1期岩手大学大学院総合科学研究科入学試験(22日まで)
8.23	金	2019年10月入学・2020年4月入学第1期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
9. 5	木	2019年10月入学・2020年4月入学第1期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
9.20	金	令和元年9月岐阜大学大学院連合獣医学研究科学位記授与式
9.25	水	令和元年9月岩手大学卒業・修了式, 連合農学研究科学位記伝達式
10. 1	火	令和元年10月入学式
10. 6	日	公開講座「フィールドセミナー 秋の植物観察会」(滝沢演習林)
10.16	水	動物慰霊祭
10.19	土	岩手大学創立70周年記念式典
11.10	日	公開講座「フィールドセミナー ・ウォッチングビンゴをしながら親子で楽しむ秋の森」(滝沢演習林)
11.14	木	岩手大学創立70周年記念国際シンポジウム
11.16	土	公開講座「牧場体験～子牛の誕生?トラクタに乗ろう」(17日まで)(御明神牧場)
11.20	水	2020年度岩手大学推薦入学 試験(共同獣医学科を除く5学科)
12. 2	月	第20回岩手大学農学部授業公開(6日まで)
12. 6	金	第20回岩手大学農学部教育懇談会
12. 7	土	第16回岩手大学農学部進路懇談会
12.12	木	山神祭(御明神演習林)
12.24	火	冬季休業(1月5日まで)

年月日	曜日	事項
令和2年		
1.18	土	大学入試センター試験(19日まで)
1.24	金	2020年度岩手大学推薦入学 試験(共同獣医学科)
1.28	火	2020年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科第2期入学試験(29日まで)
1.30	木	2020年4月入学第2期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
2.6	木	2020年4月入学第2期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
2.7	金	いわてアグリフロンティアスクール修了式
2.16	日	公開講座「かんじきをはいて冬の森を歩こう」(滝沢演習林)
2.25	火	2020年度岩手大学一般入試(前期日程)
3.12	木	2020年度岩手大学一般入試(後期日程)
3.13	金	令和元年度岐阜大学大学院連合獣医学研究科学位記授与式
3.23	月	令和元年度岩手大学農学部学位記伝達式
3.24	火	春季休業(31日まで)
3.29	日	公開講座「フィールドセミナー ・春をむかえる森をみる・」(滝沢演習林)

### 3. 広報等活動状況

日程	種別	高校名	対応者
6月12日	大学見学	岩手県北上翔南高等学校	寺嶋 淳
6月25日	大学見学	青森県立弘前南高等学校	斎藤靖史
6月27日	大学見学	青森県立青森南高等学校	袁 春紅
7月 5日	大学見学	一関学院高等学校	寺嶋 淳
7月26日	大学見学	青森県立八戸東高等学校	濱上邦彦
7月30日	大学見学	青森県立八戸北高等学校	松波麻耶
7月31日	大学見学	青森県立五所川原高等学校	松嶋卯月
9月12日	大学見学	青森県立弘前南高等学校	東 淳樹
9月24日	大学見学	岩手県立岩谷堂高等学校	斎藤靖史
9月24日	大学見学	岩手県立久慈高等学校	松嶋卯月
9月26日	大学見学	秋田県立湯沢高等学校	高橋正弘
9月26日	大学見学	岩手県立遠野高等学校	斎藤靖史
10月 8日	大学見学	岩手県立一関第二高等学校	寺嶋 淳
10月11日	大学見学	青森県立野辺地高等学校	寺嶋 淳
10月15日	大学見学	盛岡市立高等学校	濱上邦彦
10月28日	大学見学	岩手県立種市高等学校	平田統一
6月20日	出前講義	北海道函館中部高等学校	木村賢一
7月11日	出前講義	愛知県立碧南高等学校	斎藤靖史
7月19日	出前講義	北海道旭川西高等学校	築城幹典
9月11日	出前講義	山形県立酒田東高等学校	斎藤靖史
9月11日	出前講義	秋田県立湯沢高等学校	山田美和
9月12日	出前講義	青森県立青森東高等学校	長澤孝志
9月17日	出前講義	青森県三本木高等学校	斎藤靖史
9月19日	出前講義	岩手県立花泉高等学校	三宅 諭
9月24日	出前講義	岩手県立金ヶ崎高等学校	木村賢一
9月27日	出前講義	福島県立喜多方高等学校	平井俊朗
10月 3日	出前講義	岩手県立一関第一高等学校 (SSH)	斎藤靖史
10月 3日	出前講義	岩手県立宮古高等学校	鈴木雄二
10月 8日	出前講義	青森県立青森北高等学校	小出章二
10月 8日	出前講義	岩手県立福岡高等学校	宮崎雅雄
10月11日	出前講義	宮城県気仙沼向洋高等学校	平井俊朗
10月15日	出前講義	岩手県立不来方高等学校	折笠貴寛
10月15日	出前講義	宮城県石巻高等学校	國崎貴嗣
10月17日	出前講義	岩手県立盛岡第四高等学校	長澤孝志
10月18日	出前講義	青森県立弘前中央高等学校	澤井 健
10月25日	出前講義	市立札幌藻岩高等学校	折笠貴寛
10月29日	出前講義	宮城県古川高等学校	斎藤靖史
11月11日	出前講義	宮城県白石高等学校	松木佐和子
11月14日	出前講義	福島県立須賀川桐陽高等学校	伊藤芳明
11月14日	出前講義	栃木県立足利高等学校	出口善隆
6月13日	里帰り訪問	秋田県立秋田北鷹高等学校	松原和衛



# 教員・スタッフ

〔 研究業績の著者が複数いて本人が責任著者の場合、アンダーラインを付しています。 〕



# 1 学部教員

## (1) 植物生命科学科



## 上村 松生

Uemura, Matsuo



赴任：1999年

現職：教授（2019年4月～  
連合農学研究科長）

学位：理学博士（北海道大学）

専門分野：植物生理学，環境生物学，低温生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 環境適応における細胞膜機能と構造の関わり
2. 植物の寒冷応答分子機構
3. 植物遺伝子資源の超低温保存

担当科目：

1. 人間と自然「生命のしくみ」（年次指定なし，分  
担）
2. 植物生理学（2年次）
3. 科学文献読解法（3年次，分担）
4. 植物環境ストレス応答機構特論（大学院修士課程）

所属学会等：日本植物学会，日本植物生理学会（代議  
員），低温生物工学会（総務担当理事，編集委員），  
東北植物学会（岩手県連絡幹事），American Society of  
Plant Biologists, Society for Cryobiology, Scandinavian  
Society of Plant Physiologists, American Society for  
Biochemistry and Molecular Biology

学会賞等：平成24年度低温生物工学会賞（2012年）

その他の主な活動：Adjunct Professor (College of  
Agriculture and Bioresources, University of Saskatchewan,  
Canada), Subject Editor (Physiologia Plantarum),  
Academic Editor (PLoS One)

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 開 勇人, 上村松生, 河村幸男 (2020) 植物の  
低温感知と馴化の制御：植物の冬季感知の理解に向  
けて. 生物物理 60 : 98-101. (doi:10.2142/biophys.  
60.098)

### B. 学術雑誌

#### (a)原著論文

1. Koide, S., Kumada, R., Hayakawa, K., Kawakami, I.,  
Orikasa, T., Katahira, M., Uemura, M. (2019)  
Survival of cut cabbage subjected to subzero  
temperatures. Acta Horticulturae 1256:329-334  
(doi:10.17660/ActaHortic.2019.1256.46).
2. Hiraki, H., Uemura, M., Kawamura, Y. (2019)  
Calcium signaling-linked *CBF/DREB1* gene  
expression was induced depending on the  
temperature fluctuation in the field: views from

natural condition of cold acclimation. Plant &  
Cell Physiology 60:303-317 (doi:10.1093/pcp/pcy  
210).

3. Miki, Y., Takahashi, D., Kawamura, Y., Uemura, M.  
(2019) Temporal proteomics of *Arabidopsis*  
plasma membrane during cold- and de-acclimation.  
Journal of Proteomics 197:71-81 (doi:10.1016/j.  
jprot.2018.11.008).
4. 小出章二, 大須賀玲, 折笠貴寛, 上村松生 (2019)  
過冷却保存されたカットホウレンソウの電氣的,  
生理学的評価. 日本食品科学工学会誌, 66: 335-  
340 (doi:10.3136/nskkk.66.335).
5. Li, B., Takahashi, D., Kawamura, Y., Uemura, M.  
(2020) Plasma membrane proteome analyses of  
*Arabidopsis* suspension cultured cells (T87 line)  
associated with freezing tolerance and growth phase.  
Journal of Proteomics 211: 103528 (doi:10.1016/  
j.jprot.2019.103528).
6. Kozuka, T., Sawada, Y., Imai, H., Kanai, M., Yokota-  
Hirai, M., Mano, S., Uemura, M., Nishimura, M.,  
Kusaba, M., Nagatani, A. (2020) Regulation of  
sugar and storage oil metabolism by phytochrome  
during de-etiolation in *Arabidopsis*. Plant Physiology  
182:1114-1129 (doi:10.1104/pp.19.00535).

### C. 国際学会発表

1. Uemura, M. (2019) Temporal changes of *Arabidopsis*  
plasma membrane proteome during cold- and de-  
acclimation. Seminar Series of the Molecular &  
Cellular Integrative Biology, Queen's University,  
(Kingston, Canada) (Invited Presentation).
2. Willick, I.R., Uemura, M., Fowler, D.B., Tanino,  
K.K. (2019) Tissue-specific changes in the  
apoplastic and intracellular proteome during sub-  
zero acclimation of winter wheat and rye crowns.  
Plant Canada 2019 (Guelph, Canada).
3. Uemura, M. (2019) Tolerance to freezing stress  
in plants: importance in the era of global climate  
change. 4th International Symposium on Innovation  
in Plant and Food Sciences (Dhaka, Bangladesh)  
(Invited Keynote Presentation).
4. Uemura, M. (2019) Freezing stress tolerance  
in plants: importance in the era of global climate  
change. Joint Seminar of UGAS-Hannover  
University (Hannover, Germany).
5. Uemura, M. (2019) Freezing stress tolerance in  
plants : importance in the era of global climate

change. Joint Seminar of UGAS-Lledia University (Lledia, Spain).

#### D. 国内学会発表

1. 小出章二, 折笠貴寛, 上村松生 (2018) 青果物の氷点下保存に関する研究と今後の展望. 農業環境工学関連学会 2018 年合同大会 (松山).
2. 山崎誠和, 小泉日輪, 小林啓恵, 藤井伸治, 宮沢豊, 高橋大輔, 河村幸男, 上村松生, 高橋秀幸 (2018) HSP90 と NPH3 がシロイヌナズナの根の水分屈性を MIZ1 と協調的に制御する可能性. 日本植物学会第 82 回大会 (広島).
3. 山崎誠和, 小泉日輪, 小林啓恵, 藤井伸治, 宮沢豊, 高橋大輔, 河村幸男, 上村松生, 高橋秀幸 (2018) シロイヌナズナの根の水分屈性に MIZ1 と共に HSP90 と NPH3 が機能する. 日本宇宙生物科学学会第 32 回大会 (仙台).
4. 渡邊悦子, 山下哲郎, 上村松生, 郷 慎司, 大友孝信, 松田純子 (2018) ショットガン比較プロテオミクスによるサポシン D 変異マウスの神経病態解析. 第 91 回日本生化学会大会 (京都).
5. 金谷真希, 富永陽子, 開 勇人, 上村松生, 河村幸男 (2018) 植物の凍結耐性獲得における日長と気温日較差の影響. 農業気象学会北海道支部 2018 年大会 (札幌).
6. 鈴木伶奈, 飯田智子, 橋場真子, 高橋雛子, 樋口菜々美, 伊藤千尋, 渡邊悦子, 上村松生, 平野朋子, 佐藤雅彦, 笹部美知子 (2018) 植物細胞の伸長と分裂方向を決める因子の探索: セルロースおよび表層微小管ダイナミクスとイノシトールリン脂質の局在解析. 東北植物学会第 8 回大会 (弘前).
7. 飯田智子, 橋場真子, 鈴木伶奈, 高橋雛子, 樋口菜々美, 伊藤千尋, 渡邊悦子, 上村松生, 笹部美知子 (2018) 植物細胞の細胞伸長方向と分裂方向の決定におけるイノシトールリン脂質の関与. 東北植物学会第 8 回大会 (弘前).
8. 佐々木彩乃, 上村松生, 河村幸男 (2019) 常緑広葉樹における野外低温への応答傾向. 第 60 回日本植物生理学会年会 (名古屋).
9. Kamal, MM., Erazo, C., Takahashi, D., Tanino, K., Kawamura, Y., Uemura, M. (2019) A single seed treatment with hydroxyl radical / reactive oxygen species: a potential solution against emerging threat of multiple abiotic. 第 60 回日本植物生理学会年会 (名古屋).
10. 開 勇人, 渡邊 学, 上村松生, 河村幸男 (2019)

低温誘導性カルシウムシグナルの季節性と大気中の揮発性化学物質. 第 60 回日本植物生理学会年会 (名古屋).

小 森 貞 男

Komori, Sadao



赴任: 2001年

現職: 教 授

学位: 博士 (農学) (東京農工大学)

専門分野: 果樹園芸学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 果樹育種に関する研究
2. リンゴの組織培養に関する研究
3. リンゴの果実肥大に関する研究

担当科目:

1. 果樹園芸学各論 (3年次)
2. 果樹園芸学概論 (2年次, 分担)
3. 園芸学実験 (3年次, 分担)
4. 生物学 (1年次, 分担)
5. 基礎生物学実験 (1年次, 分担)
6. 果樹園芸学特論 (大学院修士)
7. 次世代農学特論 (大学院修士, 分担)

所属学会: 園芸学会 (代議員), 園芸学会東北支部 (代議員), 日本育種学会, 日本熱帯農業学会, 日本植物細胞分子生物学会

その他の主な活動: 農研機構「革新的技術開発・緊急展開事業・先導プロジェクト」専門PO, 岩手県農業研究センター試験研究推進アドバイザー

研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Kunihisa, M., Takita, Y., Yamaguchi, N., Okada, H., Sato, M., Komori, S., Nishitani, C., Terakami, S. and Yamamoto, T. (2019) The use of a fertile doubled haploid apple line for QTL analysis of fruit traits. *Breeding Science*. 69: 410-419. 2019.

#### B. 国内学会発表

1. 清水 拓, 岡田和馬, 森谷茂樹, 小森貞男, 阿部和幸 (2019) 赤果肉リンゴの果肉褐片進行時における色彩値変化とその傾向の解析. 園学研 18(別1): 72.
2. 岡田初彦, 小森貞男, 渡邊 学 (2019) *Malus hupehensis* (無配偶生殖実生) の生育促進に関する研究. 園学研 18(別2): 99.
3. 渡邊 学, 熊谷初美, 村上政伸, 小森貞男, 村野

- 宏達,窪田 聡(2019) ハイブッシュブルーベリーにおいて夏秋季開花する新梢中のCN率. 園学研 18(別2):350.
4. 田中紀充,松田智哉,鈴木真由,小森貞男,荒川修(2019) 植物成長調節剤がリンゴの変形果実に及ぼす影響.園芸学会東北支部令和元年度大会研究発表要旨:12-13. カレッジプラザ(秋田).
  5. 小森貞男,佐藤 優,佐藤善政,渡邊 学(2019) リンゴ薬培養における胚様体形成率の年次変動に関する研究.園芸学会東北支部令和元年度大会研究発表要旨:14-15. カレッジプラザ(秋田)
  6. 伊藤幹人,松田隆希,岡田初彦,渡邊 学,小森貞男(2019) リンゴ栽培種交雑実生の開花に関する研究.園芸学会東北支部令和元年度大会研究発表要旨:52-53. カレッジプラザ(秋田).
  7. 岡部由梨子,村上政伸,小森貞男,窪田 聡,渡邊 学(2019) リンゴ変形果におけるアブシジン酸およびサイトカイニン量.園芸学会東北支部令和元年度大会研究発表要旨:54-55. カレッジプラザ(秋田).
  8. 佐藤晴香,松田隆希,西谷千佳子,渡邊 学,小森貞男(2019) リンゴにおけるカルスからのシュート再分化系の作出.園芸学会東北支部令和元年度大会研究発表要旨:56-57. カレッジプラザ(秋田).

佐原 健

Shara, Ken



赴任:2012年

現職:教授

学位:博士(農学)

専門分野:昆虫細胞遺伝子学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 昆虫の遺伝子マッピング
2. 鱗翅目昆虫の染色体進化に関する研究
3. 昆虫精子に関する研究

担当科目:

1. 応用昆虫学
2. 生物制御学概論
3. 昆虫バイオテクノロジー

所属学会等:日本蚕糸学会,日本応用動物昆虫学会,染色体学会

学会賞等:日本蚕糸学会蚕糸学進歩賞(奨励賞)(1997年),日本農学進歩賞(2007年),科研費審査員表彰(2014年),染色体学会賞(2015年),日本蚕糸学会賞

(2016年)

研究業績

A. 原著論文

(a)学術雑誌

1. Ohno, M., Fujimoto, T., Naito, Y., Joraku, A., Yasukochi, Y. and Sahara, K. (2020) BAC selection of the large white butterfly, *Pieris brassicae* (Lepidoptera: Pieridae) containing orthologs of the silkworm, *Bombyx mori* (Lepidoptera: Bombycidae). *Applied Entomology and Zoology* 55(1):159-174.
2. Traut, W., Schubert, V., Daliková, M., Marec, F. and Sahara, K. (2019) Activity and inactivity of moth sex chromosomes in somatic and meiotic cells. *Chromosoma* 128(4):533-545.
3. Saito, Y., Sato, Y., Kongchuensin, M., Chao, J.T. and Sahara, K. (2019) New *Stigmaeopsis* species on *Miscanthus* grasses in Taiwan and Thailand (Acari, Tetranychidae). *Systematic and Applied Acarology* 24(4):675-682.
4. Sakai, H., Oshima, H., Yuri, K., Gotoh, H., Daimon, T., Yaginuma, T., Sahara, K. and Niimi, T. (2019) Dimorphic sperm formation by Sex-lethal. *Proceedings National Academy of Sciences USA* 116 (21): 0412-10417.
5. 藤本章晃,倉西良一,安河内祐二,佐原 健(2019) ホタルトビケラおよびニンギョウトビケラのBACライブラリー構築.東北蚕糸・昆虫利用研究報告:44,1-4.

B. 国際学会発表

1. Ohno, M., Fujimoto, T., Suzuki, G., Yasukochi, Y. and Sahara, K. (2020) BAC library construction and BAC-FISH mapping in the eastern pale clouded yellow butterfly, *Colias erate*. Program and Abstracts International Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals": 15.

C. 国内学会発表

1. 藤本章晃,大野瑞紀,倉西良一,安河内祐二,佐原 健(2019) 毛翅目昆虫ホタルトビケラのBACライブラリー構築.日本蚕糸学会第89回大会講演要旨集:41.

## 下野 裕之

Shimono, Hiroyuki



赴任：2007年

現職：教授

学位：博士（農学）（北海道大学）

専門分野：作物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 異常気象に負けない作物を育てるための機構の解明

担当科目：作物学実験

1. 食用作物学
2. 情報基礎
3. 作物栽培学特論
4. 基礎生物学実験
5. 卒業研究
6. 農学生命特別研究

所属学会等：日本作物学会，American Society of Agronomy，日本農学気象学会

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Shimono, H., Kondo, M., Evans, J.R. (2019) Internal transport of CO<sub>2</sub> from the root-zone to plant shoot is pH dependent. *Physiol. Plantarum* 165 : 451-463.
2. 木村利行, 下野裕之 (2019) 基肥窒素の増肥条件が青森県における水稲疎植栽培の子実収量・玄米品質・食味に及ぼす影響. *日作紀* 88 : 89-97.
3. 及川聡子, 西 政佳, 由比 進, 柏木純一, 中島大賢, 市川伸次, 木村利行, 大平陽一, 長菅輝義, 黒田榮喜, 松波麻耶, 下野裕之 (2019) 鉄のコーティングは水稲の初冬直播き栽培における出芽率を向上させる. *日作紀* 88 : 259-267.
4. Shimono, H., Farquhar, G., Brookhouse, M., Bush, F.A., O'Grady, A., Tausz, M. and Pinkard, E.A. (2019) Prescreening inlarge populations as a tool for identifying elevated CO<sub>2</sub>-responsive genotypes in plants. *Functional Plant Biology* 46: 1-14.

### B. 国内学会発表

1. 下野裕之 (2019) SDGs の実現に向けた農学教育の貢献. 2019 年度 全国大学附属農場協議会教育シンポジウム「SDGs の達成に貢献する大学農場のフィールド教育」, 2019 年 5 月 10 日, 日本学術会議, 東京, 口頭【招待講演】+ パネルディ

スカッション.

2. 及川聡子, 西 政佳, 由比 進, 鈴木健策, 相川直子, 松波麻耶, 下野裕之 (2019) 鉄コーティング時のイネの種子含水率が低温遭遇後の生存率に及ぼす影響. 日本作物学会東北支部会 第 62 回, 2019 年 8 月 19 日 (月) 会場: 秋田市にぎわい交流館 AU・(あう).
3. 下野裕之 (2019) 初冬播きによる超省力化水稲栽培技術. 令和元年度「東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会 直播研究会・水稲直播等低コスト技術現地検討会(岩手県会場)」, 2019 年 8 月 22 日 (木), いわて県民情報交流センター アイーナ (岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1) 口頭【招待講演】.
4. 及川聡子, 西 政佳, 由比 進, 鈴木健策, 相川直子, 松波麻耶, 下野裕之 (2019) 初冬直播き水稲栽培の出芽率を高める種子コーティング法の検討. 日本作物学会全国大会 第 248 回, 2019 年 9 月 25 日 (水) ~ 26 日 (木) 会場: とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館).
5. 及川誠司, 西 政佳, 由比 進, 鈴木健策, 相川直子, 松波麻耶, 下野裕之 (2019) 水稲の初冬直播き栽培に適した品種ならびに採種地. 日本作物学会全国大会 第 248 回, 2019 年 9 月 25 日 (水) ~ 26 日 (木) 会場: とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館).
6. 橋本遥介, 西 政佳, 由比 進, 鈴木健策, 相川直子, 下野裕之 (2019) 水稲の初冬直播きによる最適な耕起法ならびに播種法の開発. 日本作物学会全国大会 第 248 回 2019 年 9 月 25 日 (水) ~ 26 日 (木) 会場: とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館).
7. 鈴木健策, 西 政佳, 柏木純一, 木村利行, 古畑昌巳, 矢野真二, 齋藤 寛, 笹川正樹, 大平陽一, 長菅輝義, 千葉雅大, 安彦友美, 相川直子, 下野裕之 (2019) 地域の気象が水稲の初冬直播きの出芽率に及ぼす影響. 日本作物学会全国大会 第 248 回, 2019 年 9 月 25 日 (水) ~ 26 日 (木) 会場: とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館).
8. 瀬尾光範, 鬼原早苗, 菅野裕理, 大平陽一, 下野裕之 (2019) 異なる休眠性と発芽性を持つイネ種子における植物ホルモン量. 植物化学調節学会 第 54 回大会, 会場: とりぎん文化会館 (鳥取) 開催日: 2019 年 11 月 15 日 ~ 17 日.
9. 西村 拓, 濱本昌一郎, 常田岳志, 加藤千尋, 鈴木健策, 下野裕之 (2019) 冬季の水田土壌中の物理環境が初冬播き水稲の発芽率に与える影響. 2019 年 10 月 26 日, 筑波産学連携支援センター つくば農林ホール, 土壌物理学会.
10. 下野裕之 (2019) 水稲の初冬直播き栽培の実用化に向けた技術開発. 2019 年 10 月 25 日, 岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター (AIC) シンポジウム 「次世代アグリへの科学

- 技術アプローチ・基礎研究からアグリビジネスへ」, 岩手大学復興祈念銀河ホール, 口頭【招待講演】.
11. 及川聡子, 藤 晋一, 西 政佳, 由比 進, 鈴木健策, 松波麻耶, 下野裕之 (2019) 水稻の初冬直播き栽培における出芽率低下要因の解明・種子含水率と土壌病害菌に着目して. 第 50 回記念根研究集会, 2019 年 11 月 23 日 (土) ~ 24 日 (日), 名古屋大学.
  12. Gibrilla Dumbuya, Sakuta Masayuki, Shinya Takeda, Akira Nakanishi, Maya Matsunami and Hiroyuki Shimono (2020) Indeterminate soybean is more responsive to elevated soil temperature. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.
  13. Habtamu Assega, Kiyoshi Shiratori, Shinsuke Nakajo, Tomoaki Fujioka, Hamano Maya and Hiroyuki Shimono (2020) Genotypic variations for cold tolerance at reproductive stage of 18 Ethiopian rice. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.
  14. HasanMd Mehedi, Maya Matsunami and Hiroyuki Shimono (2020) N uptake efficiency per transpiration uptake efficiency per transpiration uptake in rice is higher for nighttime N feeding than daytime N feeding. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.
  15. 及川誠司, 柏木純一, 木村利行, 古畑昌巳, 矢野真二, 齋藤 寛, 笹川正樹, 大平陽一, 長菅輝義, 千葉雅大, 望月俊宏, 鈴木健策, 相川直子, 下野裕之 (2020) 水稻種子の休眠程度は採種地の気象が作用する. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.
  16. 鈴木健策, 及川誠司, 西 政佳, 柏木純一, 木村利行, 古畑昌巳, 矢野真二, 齋藤 寛, 笹川正樹, 大平陽一, 長菅輝義, 千葉雅大, 望月俊宏, 相川直子, 下野裕之 (2020) 水稻種子の休眠性と初冬直播き栽培の最終出芽率の関係について. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.
  17. 小山田絢子, 佐藤直之, 佐藤睦志, 下野裕之 (2020) イネ表現型ビッグデータを用いた品種特性の抽出法. 1. アプリの開発. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.
  18. 佐藤直之, 小山田絢子, 佐藤睦志, 下野裕之 (2020) イネ表現型ビッグデータを用いた品種特性の抽出法. . アプリによる解析. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.

19. 大平陽一, 鈴木健策, 及川聡子, 下野裕之 (2020) 寒冷地南部における水稻初冬直播きの播種時期が出芽に及ぼす影響と種子への鉄コーティングが発芽特性に及ぼす影響. 第 249 回日本作物学会 2020 年春, 3 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金), 農林水産技術会議事務局, つくば.

吉川 信幸

Yoshikawa, Nobuyuki



赴任: 1986年

現職: 教授

学位: 農学博士 (大阪府立大学)

専門分野: 植物ウイルス学, 植物病理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 寒冷地果樹のウイルス病に関する研究
2. 植物ウイルスベクターを用いた果樹・花卉類の開花促進技術の開発

担当科目:

1. 植物病理学 (2年次)
2. 生物制御学概論 (2年次)
3. 植物病理学 (3年次)
4. 農学概論 (1年次)
5. 植物病理学特論 (大学院修士)
6. 次世代農学特論 (大学院修士)

学会賞等: 日本植物病理学会学術奨励賞 (1989年), 日本植物病理学会賞 (2012年), 文部科学大臣表彰・科学技術賞 (研究部門) (2016年)

その他の主な活動: 岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター長, 内閣府食品安全委員会 / 遺伝子組換え食品等部門調査会専門委員

研究業績

#### A. 著書・訳書

1. 吉川信幸 (2020) 森林病理学 (黒田他編) 3. 病原微生物 / 3.3 ウイルス / 3.4 ウイロイド (pp. 34-41), 4. 病気の診断 / 4.2.2 ウイルス・ウイロイド (pp. 54-57), 6. 主要な樹木病害の発生生態と特徴 / 6.1.16. ファイトプラズマによるてんぐ巢病 (pp. 106-107).

#### B. 総説・論説

1. 山岸紀子, 吉川信幸 (2019) ALSV ベクターを利用した高速開花による果樹・野菜・花さの新育種技術. JATAFF ジャーナル 7: 13-16.

#### C. 原著論文

1. Xiong, R., Pajak, A., Wang, A., Yoshikawa, N., Marsolais, F. and Todd, C. D. (2019) Agrobacterium-mediated inoculation of asymptomatic apple latent

- spherical virus as gene silencing vector in pea (*Pisum sativum* L.). *Legume Science* 2019; e14.
- 2 . Takeshima, R., Nan, H., Harigai, K., Dong, L., Zhu, J., Lu, S., Xu, M., Yamagishi, N., Yoshikawa, N., Liu, B., Yamada, T., Kong, F. and Abe, J. (2019) Functional divergence between soybean FLOWERING LOCUS T orthologues FT2a and FT5a in post flowering stem growth. *J. Expt. Botany* 70: 3941-3953.
  - 3 . Li, C., Hirano, H., Kasajima, I., Yamagishi, N. and Yoshikawa, N. (2019) Virus-induced gene silencing in chili pepper by apple latent spherical virus vector. *J. Virol. Methods* 273: 113711.
  - 4 . Li, C., Ito, I., Kasajima, I. and Yoshikawa, N. (2019) Estimation of the functions of viral RNA silencing suppressors by apple latent spherical virus vector. *Virus Genes* 56: 67-77.
  - 5 . Yaegashi, H., Oyamada, S., Goto, S., Yamagishi, N., Isogai, M., Ito, T. and Yoshikawa, N. (2019) Simultaneous infection of sweet cherry with eight virus species including a new foveavirus. *J. Gen. Plant Pathol.* 86: 134-142.
  - 6 . Maeda, K., Kikuchi, K., Kasajima, I., Li, C., Yamagishi, N., Yamashita, H. and Yoshikawa, N. (2020) Virus-induced flowering by apple latent spherical virus vector: effective use to accelerate breeding of grapevine. *Viruses* 12, 70.
  - 7 . Sanfacon, H., Dasgupta, I., Fuchs, M., Karasev, A. V., Petrick, K., Thompson, J. R., Tzanetakis, I., van der Vlugt, R., Wetzel, T. and Yoshikawa, N. (2020) Proposed revision of the family Secoviridae taxonomy to create three subgenera, "Satsumavirus", "stramovirus" and "Cholovirus", in the genus Sadwavirus. *Arch. Virol.* 165: 527-533.
  - 8 . Isogai, M., Matsudaira, T., Miyoshi, K., Shimura, T., Torii, S. and Yoshikawa, N. (2020) The raspberry bushy dwarf virus 1b gene enables pollen grains to function efficiently in horizontal pollen transmission. *Virology* 542: 28-33.
- D. 招待講演
- 1 . 吉川信幸 (2019) 「ウイルスベクターによる高速開花技術の果樹・野菜・花き育種への利用」. 第 37 回日本植物細胞分子生物学会(京都)大会シンポジウム 1 「キラリと光る事業を目指して・日本初の植物バイオ最前線」, 2019 年 9 月 7 日, 京都府立大学 稲盛記念会館 .
  - 2 . 吉川信幸 (2019) 「ウイルスベクターによるリンドウの高速開花とその育種への利用」. R1 岩手大学生産技術研究センターシンポジウム . 2019 年 11 月 29 日, ホテルグランシェール花巻 .
- E . その他
- 1 . 山岸紀子, 笠島一郎, 吉川信幸 (2019) 研究トピック 1 「果樹や花卉の新品種を短期間に作る新しい技術」. *AIC News Letter* 1: 4-6 .
  - 2 . 吉川信幸 (2019) 研究コラム「マツ枯れ」の被害とマツ材線虫病の研究」. *AIC News Letter* 1: 16-17 .
  - 3 . 吉川信幸 (2019) 研究コラム「宮沢賢治と「植物病院」」. *AIC News Letter* 1: 19 .
  - 4 . 笠島一郎, 吉川信幸 (2019) 研究最前線「ALSV ベクター技術を利用したイチゴの遺伝子サイレンシングと高速開花」. *AIC News Letter* 1: 24 .
  - 5 . 山岸紀子, 吉川信幸 (2019) 研究最前線「ALSV がリンドウで種子伝染しない機構を解明」, *AIC News Letter* 1: 25 .
  - 6 . 李 春江, 山岸紀子, 岸上隆介, 川久保彩花, 八重樫 元, 伊藤 伝, 吉川信幸 (2020) 研究トピック 3 「リンゴの「輪状さび果病」と「奇形果病の病原解明」-発生から半世紀以上不明であった病原論争に決着-」. *AIC News Letter* 2: 12-15 .
  - 7 . 山岸紀子, 吉川信幸 (2020) 研究最前線「ブドウの遺伝子抑制および高速開花への ALSV ベクターの利用」. *AIC News Letter* 2: 26-27 .
  - 8 . 吉川信幸 (2020) 研究最前線「リンゴ小球形潜在ウイルスの粒子構造の決定」. *AIC News Letter* 2: 29 .
- F . 国内学会発表
- 1 . 李 春江, 川久保彩花, 八重樫 元, 山岸紀子, 磯貝雅道, 伊藤 伝, 吉川信幸 (2019) ALSV ベクターの高速開花技術を利用した ACLSV によるリンゴ実生での輪状さび果病の再現 . 令和元年度 (第 55 回) 日本植物病理学会東北部会, 秋田ビューホテル, 2019 年 9 月 24-25 日 .
  - 2 . 山岸紀子, 吉川信幸 (2019) カボチャ子葉の未展開期から展開期にかけてのリンゴ小球型潜在ウイルスに対する感受性の変化 . 令和元年度 (第 55 回) 日本植物病理学会東北部会, 秋田ビューホテル, 2019 年 9 月 24-25 日 .
  - 3 . 三吉航太郎, 松平昂士, 鳥井彩花, 吉川信幸, 磯貝雅道 (2019) ラズベリー黄化ウイルスの花粉による水平伝染を導くウイルス感染部位の組織化学的解析 . 令和元年度 (第 55 回) 日本植物病

理学会東北部会,秋田ビューホテル,2019年9月24-25日.

4. 吉越瑞奈,吉川信幸,磯貝雅道(2020) ラズベリー黄化ウイルスの *Nicotiana benthamiana* における種子伝染. 令和2年度日本植物病理学会大会要旨集(講演番号419).
5. 伊藤 伝,八重樫 元,吉川信幸(2020) リンゴ高接病病原ウイルス検定用木本指標植物への戻し接種によるリンゴステムピッチングウイルスのリンゴへの病原性確認. 令和2年度日本植物病理学会大会要旨集(講演番号426).
6. 李 春江,岸上隆介,川久保彩花,山岸紀子,八重樫 元,磯貝雅道,伊藤 伝,吉川信幸(2020) リンゴ奇形果病の病原ウイルスの同定. 令和2年度日本植物病理学会大会要旨集(講演番号427).

## 磯 貝 雅 道

Isogai, Masamichi



赴任:1999年

現職:准教授

学位:博士(農学)(北海道大学)

専門分野:植物ウイルス学,植物病理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 植物ウイルスとゲノムそれにコードされるタンパク質に関する研究
  2. 果樹に感染するウイルスの研究
- 担当科目:
1. 植物病理学実験(3年次)
  2. 基礎生物学実験(1年次,分担)
  3. 植物ウイルス学(3年次)
  4. 植物ウイルス学特論(修士)
  5. 植物ウイルスの感染と宿主植物の応答(博士)

所属学会等:日本植物病理学会,日本ウイルス学会, American Society for Microbiology, 北日本病害虫研究会

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Isogai, M., Matsudaira, T., Miyoshi, K., Shimura, T., Torii, S. and Yoshikawa, N. (2020) The raspberry bushy dwarf virus 1b gene enables pollen grains to function efficiently in horizontal pollen transmission. *Virology*, 542, 28-33.
2. Yaegashi, H., Oyamada, S., Goto, S., Yamagishi, N., Isogai, M., Ito, T. and Yoshikawa, N. (2020)

Simultaneous infection of sweet cherry with eight virus species including a new foveavirus. *J. Gen. Plant Path.*, 86, 134-142.

### B. 国内学会発表

1. 三吉航太郎,松平昂士,鳥井彩花,吉川信幸,磯貝雅道(2019) ラズベリー黄化ウイルスの花粉による水平伝染を導くウイルス感染部位の組織化学的解析. 日本植物病理学会東北部会, 秋田市.
2. 李 春江,川久保彩花,八重樫 元,山岸紀子,磯貝雅道,伊藤 伝,吉川信幸(2019) ALSVベクターの高速開花技術を利用した ACLSV によるリンゴ実生での輪状さび果病の再現. 日本植物病理学会東北部会, 秋田市.
3. 吉越瑞奈,吉川信幸,磯貝雅道(2020) ラズベリー黄化ウイルスの *Nicotiana benthamiana* における種子伝染. 日本植物病理学会, 日本植物病理学会大会.
4. 李 春江,岸上隆介,川久保彩花,山岸紀子,八重樫 元,磯貝雅道,伊藤 伝,吉川信幸(2020) リンゴ奇形果病の病原ウイルスの同定. 日本植物病理学会, 日本植物病理学会大会.

## 河 村 幸 男

Kawamura, Yukio



赴任:2009年

現職:准教授

学位:博士(地球環境化学)  
(北海道大学)

専門分野:低温植物生理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 植物の凍結障害及びその耐性機構
  2. 植物の冷温傷害及びその耐性機構
- 担当科目:
1. 生物学(1年次,分担)
  2. 化学入門(1年次,隔年,分担)
  3. 基礎生物学実験(1年次,分担)
  4. 植物生理学実験(1年次,代表)
  5. 環境植物生理学(3年次)
  6. 科学文献読解法(3年次,分担)
  7. 低温植物生理学特論(大学院修士)

所属学会等:日本植物生理学会,低温生物工学会

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Miki, Y., Takahashi, D., Kawamura, Y., Uemura, M. (2019) Temporal proteomics of *Arabidopsis* plasma membrane during cold- and de-acclimation. *Journal of Proteomics* 197: 71-81.
2. Li, B., Takahashi, D., Kawamura, Y., Uemura, M. (2020) Plasma membrane proteome analyses of *Arabidopsis thaliana* suspension-cultured cells during cold or ABA treatment: Relationship with freezing tolerance and growth phase. *Journal of Proteomics* 211:103528.

#### B. 国際学会発表

1. Mostafa, KMd., Ishikawa, S., Takahashi, F., Shinozaki, K., Umezawa, T., Kawamura, Y., Uemura, M. (2020) Comparative phosphoproteomic study of *Arabidopsis* microsomal membrane fraction in response to cold treatment. *International Symposium on Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals*, Morioka, Japan.

#### C. 国内学会発表

1. 河村幸男, 上村松生 (2020) 植物の冬の感知と秋から冬にかけての気温と日長の特徴的な変化. 第61回日本植物生理学会年会, 大阪.

### 立澤文見

Tatsuzawa, Fumi



赴任: 2009年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(千葉大学)

専門分野: 蔬菜花卉園芸学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動

1. アブラナ科花卉作物における新花色品種の育種に関する基礎研究
2. ラン類の花色とアントシアニンに関する研究
3. 野生植物の花色分析と花色における遺伝資源としての可能性に関する研究
4. 主要切花, 鉢物, および花壇用花卉作物の花の発色機構に関する研究
5. 遺伝子組み換え体や培養変異体の花色色素の同定および色素生成系遺伝子の探索
6. エディブルフラワーの花色とフラボノイドに関する研究

担当科目

1. 花卉園芸学各論(2年次)
2. 蔬菜園芸学各論(2年次, 代表)
3. 蔬菜・花卉園芸学概論(1年次, 代表)

4. 生物学(1年次, 分担)
5. 農学概論(1年次, 分担)
6. 植物栽培と環境テクノロジー(1年次, 代表)
7. 蔬菜花卉園芸学実験(3年次, 代表)
8. 花卉園芸学特論(大学院修士課程)
9. 先端生命科学特論(大学院修士課程, 分担)

所属学会等

園芸学会, 日本食生活学会, ラン懇話会, 北海道園芸談話会, 植物化学研究会

研究業績

#### A. 学位論文

1. 立澤文見(1997) ラン科植物の花色とアントシアニン. 特に *Cattleya* 類 *Bletilla* 属 *Cymbidium* 属, *Phalaenopsis* 属および *Vanda* 属について. [博士(農学)(千葉大学)]

#### B. 原著論文

##### (a) 学術誌誌

1. Tatsuzawa, F. (2019) Acylated pelargonidin glycosides from the red-purple flowers of *Iberis umbellata* L. and the red flowers of *Erysimum × cheiri* (L.) Crantz (Brassicaceae). *Phytochemistry* 159: 108-118.
2. 立澤文見, 井手上ひろ, 大谷拓也, 加藤久美子, 中條しづ子, 加藤一幾, 嶋原 淳(2019) スイートアリッサム園芸品種の花色と花色素. *園芸学研究* 18(2): 107-116.
3. 伊藤隆太郎, 立澤文見, 細川宗孝(2019) UV-B 照射したキャベツおよびシソスプラウ間の生育, アントシアニン集積および抗酸化性の相違. *園芸学研究* 18(4): 423-430.
4. Tanikawa, N., Honma, K., Tatsuzawa, F. (2019) Flavonoids of the rose-pink, blue, and white flowers of *Nigella damascena* L. (Ranunculaceae). *Scientia Horticulturae* 257: 108609.
5. Tatsuzawa, F., Mukai, C., Igarashi, M., Hishida, A., Satta, N., Honda, K., Nakajo, S., Takehara, A., Tanikawa, N. (2019) Anthocyanins and anthocyanidins in the flowers of *Aconitum* (Ranunculaceae). *Biochemical Systematics and Ecology* 87: 103937.

#### C. 国内学会発表

1. 猿舘みのり, 小林孝至, 山田隆裕, 立澤文見, 田淵俊人, 加藤一幾(2019) トマトの野生種および栽培品種における花色色素の同定. *園芸学研究* 18 巻別1: 330.
2. 出口亜由美, 立澤文見, 三吉一光(2019) カー

- ネーション花卉の緑白模様形成に関わる要因の探索. 園芸学研究 18 巻別 1:416.
3. 迎 千里, 五十嵐元子, 菱田敦之, 颯田尚哉, 本多和茂, 谷川奈津, 立澤文見 (2019) トリカブト (*Aconitum* L.) の花のアントシアニン. 園芸学研究 18 巻別 1:420.
  4. 谷川奈津, 本間和樹, 立澤文見 (2019) ニゲラ (*Nigella damascena* L.) 赤紫色花のアントシアニン. 園芸学研究 18 巻別 1:421.
  5. 谷川奈津, 本間和樹, 立澤文見 (2019) ニゲラ (*Nigella damascena* L.) 青色花のアントシアニン. 園芸学研究 18 巻別 1:422.
  6. 加藤一幾, 立澤文見, 金山喜則 (2019) 低濃度オゾン水の園芸作物栽培における有効活用. 日本オゾン協会 第 28 回年次研究講演会.
  7. 瀬戸花香, 笹木 悟, 立澤文見 (2019) サルビア フラメンコ系品種の花色とアントシアニン. 園芸学会東北支部令和元年度大会, 50-51.
  8. 立澤文見, 迎 千里, 五十嵐元子, 菱田敦之, 颯田尚哉, 本多和茂, 谷川奈津 (2019) トリカブト (*Aconitum* L.) の花のアントシアニン. 園芸学研究 18 巻別 2:445.
  9. 小山田有紀, 太田 徹, 立澤文見 (2019) エディブルフラワーの花色から判断するフラボノイド組成 第 1 報 ダリアの花色とフラボノイド. 日本食生活学会 第 59 回大会公演要旨集:57.
  10. 立澤文見, 飛内萌華, 太田 徹 (2019) エディブルフラワーの花色から判断するフラボノイド組成 第 2 報 キンギョソウ・パレットシリーズの花色と主要フラボノイド. 日本食生活学会 第 59 回大会公演要旨集:58.

## 畠山 勝徳

Hatakeyama, Katsunori



赴任: 2015年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(東北大学)

専門分野: 植物育種学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 作物の有用農業形質に関する分子遺伝育種学的研究

担当科目:

1. 遺伝学概論(1年次)
2. 植物育種学 I (2年次)
3. 植物育種学 (3年次)

4. 植物育種学特論(大学院修士)
5. 農学概論(1年次, 分担)
6. 情報基礎(1年次, 分担)
7. 基礎生物学実験(1年次, 分担)
8. 生命のしくみ(1年次, 分担)
9. 研究者倫理特論(大学院修士, 分担)

所属学会等: 日本育種学会, 園芸学会, 日本植物病理学会

学会賞等: 日経BP技術賞大賞(2001年), 第118回講演会日本育種学会優秀発表賞(2010年), NARO Research Prize 2011 (2011年), 農林水産研究10大トピックス(2011年), 第135回講演会日本育種学会優秀発表賞(2019年)

その他の主な活動: 日本育種学会運営委員, Breeding Science誌編集委員

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Takamura, Y., Asano, C., Hikage, T., Hatakeyama, K., Takahata, Y. (2019) Production of interspecific hybrids between Japanese gentians and wild species of *Gentiana*. *Breed. Sci.* 69: 680-687.

### B. 特許・設計等

1. 萬 聡一郎, 松元 哲, 畠山勝徳, 石田正彦, 小原隆由, 水野真二, 久保周子 (2019) *Brassica rapa* L. (アブラナ(在来ナタネ)種) 出願品種の名称: MGX-503 品種登録出願番号第 33947 号.
2. 松元 哲, 畠山勝徳, 小原隆由, 吹野伸子, 柿崎智博, 板橋悦子, 近藤友宏, 高下新二, 宮崎俊夫 (2019) *Brassica oleracea* L. convar. *capitata* (L.) Alef. 出願品種の名称: YCR ふいゆいろ(キャベツ安日交4号) 品種登録出願番号第 34174 号.

### C. 国内学会発表

1. 秋田谷菜那, 高橋美紗子, 松元 哲, 高畑義人, 畠山勝徳 (2019) 根こぶ病抵抗性遺伝子座 Crr1b の候補 ORF 集積系統における致死表現型. 第 14 回東北育種研究集会要旨集 p46.
2. 佐々木祥子, 高畑義人, 畠山勝徳 (2019) エンドウの莢形質の遺伝育種学的解析. 第 14 回東北育種研究集会要旨集 p47.
3. 高谷聡汰, 高畑義人, 畠山勝徳 (2019) ソバの半数体作出法と効率的な再分化系の開発. 第 14 回東北育種研究集会要旨集 p48.
4. 藤原春香, 小林光智, 阿部 陽, 高畑義人, 畠山

- 勝徳(2019) アワのスパイクディップ形質転換法の確立 第14回東北育種研究集会要旨集 p49 .
- 佐々木祥子, 白澤健太, 殿崎 薫, 高畑義人, 畠山勝徳(2020) エンドウにおける莢可食性関連形質の遺伝解析. 育種学研究 22 (別1), 32 .
  - 高村祐太郎, 高橋 亮, 日影孝志, 畠山勝徳, 高畑義人(2020) リンドウの未受精胚珠培養における胚様体発生機構の遺伝学的・組織学的解析. 育種学研究 22 (別1) 135 .

ラーマン アビドゥール  
RAHMAN Abidur



赴任：2006年

現職：准教授

学位：Ph.D in Bio-Science  
(神戸大学)

専門分野：植物生理学, 植物分子生物学, 細胞生物学, 非生物的ストレス

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- Hormonal regulation of growth and development of plant
- Molecular mechanism of auxin response pathway
- Abiotic stress response in plant

担当科目：

- General Plant Biology (学部2年次)
- 科学文献解読法 (学部3年次)
- 植物生理学実験 (2年次, 分担)
- 生物学入門 (1年次, 分担)
- 植物分子生物学 (Plant Molecular Biology大学院修士課程)

所属学会等：Japanese society of Plant Physiology, American Society of Plant Biology, Scandinavian society for Plant Physiology, Society for Experimental Biology, Global Network for Bangladeshi Biotechnologists.  
その他の主な活動：

- Associate Editor- Frontiers in Plant Science, (Plant Cell Biology Section) Editor- PLOS ONE ; Journal of Plant Growth Regulation.
- Organizing Committee Member (International) of the 4th International Symposium on ICBHA-IPFS International Conference. November 11-13, 2019, Dhaka University, Dhaka, Bangladesh.
- Co-Chair for "International Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals" Jan 23-2020, Iwate University, Morioka, Japan.

研究業績

A . 原著論文

(a) 学術雑誌

- Ashraf, M.A., Rahman, A. (2019) Cold stress response in *Arabidopsis thaliana* is mediated by GNOM ARF-GEF. Plant Journal 97: 500-516 DOI: 10.1111/tpj.14137
- Ashraf, M.A., Umetsu, K., Ponomarenko, O., Saito, M., Aslam, M., Antipova, O., Dolgova, N., Kiani, C.D., Susan Nezhati, S., Tanoi, K., Minegishi, K., Nagatsu, K., Kamiya, T., Fujiwara, T., Luschnig, C., Tanino, K., Pickering, I., George, G.N., Rahman, A. (2019) PIN Formed 2 modulates the transport of arsenite in *Arabidopsis thaliana*. Plant Communications DOI:10.1016/j.xplc.2019.100009
- Ashraf, M.A., Kumagai, S., Ito, K., Sugita, R., Tanoi, K., Rahman, A. (2019) ATP Binding Cassette Proteins ABCG37 and ABCG33 are required for potassium-independent cesium uptake in *Arabidopsis* roots. bioRxiv DOI:10.1101/823815

B . 国際学会発表

- Rahman, A. (2019) ATP Binding Cassette Proteins ABCG37 and ABCG33 function as potassium independent cesium transporters. Plant Biology 2019, August 3-8, 2019, San Jose Convention Center, San Jose, CA, USA (Oral Presentation, Mini symposium speaker).
- Rahman, A. (2019) CRISPR-mediated genome editing technology in Agriculture : Issues with Biosafety and Bio Security. Asia-Pacific Biosafety Association International conference 2019, Sept. 19-20, 2019, Intercontinental Hotel, Dhaka, Bangladesh (Oral Presentation, Invited speaker for Emerging Science and Technology session).
- Rahman, A. (2019) Making plants resistant to cold: a new approach to consider. 4th IPFS-ICBHA International Conference-2019, November 11-13, 2019, Dhaka University, Dhaka, Bangladesh (Oral presentation, Award lecture).
- Sakai, H., Rahman, A. (2020) Understanding the mechanisms of action of auxinic herbicides dicamba and picloram in inhibiting *Arabidopsis* root growth. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate,

- Japan (Oral presentation, won the best oral presentation award).
- 5 . Ito, K., Ashraf, A., Tanoi, K., Rahman, A. (2020) Understanding the molecular mechanism of cellular detoxification and vacuolar transport of cesium in Arabidopsis. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate, Japan (Oral presentation).
  - 6 . Takahashi, H., Rahman, A. (2020) Physiological and molecular regulation of cold response in Tomato. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate, Japan (Poster presentation).
  - 7 . Hanzawa, A., Rahman, A. (2020) Understanding the role of actin in cold stress response of Arabidopsis. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate, Japan (Poster presentation).
  - 8 . Sugita, K., Maho, T., Umetsu, K., Rahman, A. (2020) Understanding the molecular mechanism of 2,4- Dichlorophenoxyacetic acid-induced depolymerization of actin. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate, Japan (Poster presentation).
  - 9 . Yamauchi, M., Rahman, A. (2020) Lateral root development is regulated by isovariant-specific actin mediated redistribution of auxin. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate, Japan (Poster presentation, won the best poster presentation award).
  - 10 . Parveen, S., Rahman, A. (2020) High temperature response in Arabidopsis is regulated by isovariant specific actin. International symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals". January 23, 2020, Iwate University, Morioka, Iwate, Japan (Poster presentation, won the best poster presentation award).
- C . 国内学会発表
- 1 . Sugita, K., Takahashi, M., Umetsu, K., Rahman, A. (2019) Understanding the molecular mechanism of 2,4- Dichlorophenoxyacetic acid- induced

- depolymerization of actin. 東北植物学会第9回大会, December 14-15, 2019, Akita, Japan (Oral presentation, won the best oral presentation award).
- 2 . Ito, K., Rahman, A. (2019) Identification of the role of ATP Binding Cassette protein C (ABCC) in cesium transport. 東北植物学会第9回大会, December 14-15, 2019, Akita, Japan (Oral presentation).

安 嬰  
An, Ying



赴任：2001年

現職：講師

学位：博士（農学）(岩手大学)

専門分野：昆虫生理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1 .天蚕麻痺性ペプチドによるカイコ休眠卵の誘導機構とその利用
- 2 .昆虫脳から由来する新規タンパク質の構造と機能の解析

担当科目：

- 1 . 昆虫生理学（3年次：分担）
- 2 . 昆虫生理学特論（大学院修士）
- 3 . 応用昆虫学実験（3年次）
- 4 . 人の暮らしと生物環境（1年次：分担）
- 5 . 基礎生物学実験（1年次：分担）
- 6 . 農学概論（1年次，分担）

所属学会等：日本蚕糸学会（評議員），日本応用動物昆虫学会，日本野蚕学会，日本昆虫学会(東北支部幹事)，日本蚕糸学会東北支部（庶務幹事）

学会賞等：

- 1 . 日本土木学会第32回環境工学研究フォーラム論文奨励賞（1996年）
- 2 . The 2002 Joint Meetings of Korean Society of Sericultural Science & Japanese Society of Sericultural Science Best Poster Award（2002）

研究業績

A . 国内学会発表

- 1 . 楠原弘己, 佐藤 穰, 白崎久子, 山下哲郎, 安 嬰 (2017) 細菌感染に誘導したカイコ体液中のAMPsの解析. 東北昆虫, No. 55: 24 .
- 2 . 安 嬰, 山田美和, 山下哲郎 (2018) 昆虫体液における抗菌薬耐性大腸菌の生存率の継時的な変化. 東北昆虫, No. 56: 14 .

## 川原田 泰之

Kawaharada, Yasuyuki



赴任：2016年

現職：助 教

学位：博士（生命科学）（東北大学）

専門分野：植物-微生物相互作用学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. マメ科植物と根圏微生物との相互作用解析
2. 陸上植物と菌根菌の相互作用解析
3. 微生物と微生物の相互作用解析

担当科目：

1. 蔬菜花卉園芸学概論（1年次，分担）
2. 農学概論（1年次，分担）
3. 園芸学実験（3年次，分担）

所属学会等：日本植物生理学会，植物-微生物研究会  
研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌誌

1. Acosta-Jurado, S., Rodríguez-Navarro, D., Kawaharada, Y., Rodríguez-Carvajal, M., Gil-Serrano, A., Soria-Díaz, M., Pérez-Montaño, F., Fernández-Perea, J., Niu, Y., Alias-Villegas, C., Jiménez-Guerrero, I., Navarro-Gómez, P., Javier López-Baena, F., Kelly, S., Sandal, N., Stougaard, J., Ruiz-Sainz, J., Vinardell, J. (2019) *Sinorhizobium fredii* HH103 *nolR* and *nodD2* mutants gain capacity for infection thread invasion of *Lotus japonicus* Gifu and *Lotus burtii*. *Environmental Microbiology* 21:1718-1739(2019).

### B. 国際学会発表

1. Kawaharada, Y., Sandal, N., Gupta, V., Kawaharada, M., Jin, H., Andersen, U. S., Stougaard, J. (2019) A Leucine-rich repeat receptor kinase regulates root nodule development responsible for rhizobia in *Lotus japonicus*. 5<sup>th</sup> Asia Conference on Plant-Microbe Symbiosis and Nitrogen Fixation, Miyagi (2019).

### C. 国内学会発表

1. 川原田泰之, Andersen Stig, Stougaard Jens (2020) ミヤコグサPXY/TDR受容体は維管束形成と根粒の形成を制御する. 第61回日本植物生理学会, 大阪 (2020).
2. 川原田泰之 (2019) 根粒形成におけるマメ科植物と根粒菌が持つ互いの宿主範囲. 第5回植物の栄養研究会, 広島 (2019).

3. Hafijur Ruman, Battenberg Kai, 林 誠, 川原田泰之 (2019) 植物が保有する LysM 型受容体キナーゼの進化. 第29回植物微生物研究会, 香川 (2019).

## 殿 崎 薫

Tonosaki, Kaoru



赴任：2019年

現職：助 教

学位：博士（農学）（東北大学）

専門分野：植物育種学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 胚乳の生殖隔離メカニズムに関する研究
2. 野生イネのエピゲノム多様性に関する研究
3. インプリント遺伝子の制御および機能の解析

担当科目：

1. 遺伝育種学（3年次，主担）
2. 植物育種学実験（3年次，主担）
3. 植物育種学特論（大学院修士，主担）

所属学会等：日本育種学会，International Association of Sexual Plant Reproduction Research

学会賞等：日本育種学会第136回講演会優秀発表賞 (2019年)，植物インフォマティクス研究会優秀発表賞 (2019年)

その他の主な活動：文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP) 専門調査員

研究業績

### A. 国内学会発表

1. 殿崎 薫, 小野明美, 永田博基, 古海弘康, 野々村賢一, 川勝泰二, 佐藤 豊, Luca Comai, 木下哲 (2020) 栽培イネと野生イネにおけるインプリントームの比較. 日本育種学会第137回講演会.
2. Kaoru Tonosaki, Tesu Kinoshita (2020) Role of imprinted genes in relation to sexual and asexual endosperm development in rice. 第61回日本植物生理学会年会要旨.
3. 佐々木祥子, 白澤健太, 殿崎 薫, 高畑義人, 畠山勝徳 (2020) エンドウにおける莢可食性関連形質の遺伝解析. 日本育種学会第137回講演会.
4. 鎌田千裕, 長谷川綾子, 殿崎 薫, 須崎大地, 丸山大輔, 木下 哲 (2019) シロイヌナズナの雌性配偶体細胞におけるエピゲノム制御機構の解析. 日本植物学会第83回大会.
5. 国定愛美, 殿崎 薫, 西野 愛, 小野明美, 木下 哲 (2019) 自律的胚乳発生を示す OsEMF2a の形

- 態学的解析．日本育種学会第 136 回講演会．
- 6．殿崎 薫，川勝泰二，小野明美，古海弘康，野々村賢一，Luca Comai，木下 哲（2019） イネ種間雑種胚乳におけるインプリントーム解析．日本育種学会第 136 回講演会．
  - 7．西野 愛，殿崎 薫，国定愛美，小野明美，木下哲（2019） イネ胚乳発生における OsEMF2a の機能解析．日本育種学会第 135 回講演会．

松 波 麻 耶

Matsunami, Maya



赴任：2017年

現職：助 教

学位：博士（農学）（東北大学）

専門分野：作物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1．水や土壌養分に対するイネの生育反応に関する研究
- 2．イネ根系の生理形態的特性に関する研究

担当科目：

- 1．作物学実験（3年次）
- 2．食用作物学（3年次）
- 3．生命のしくみ（1年次，分担）

所属学会等：日本作物学会，日本作物学会東北支部会，根研究学会

学会賞等：日本作物学会研究奨励賞（2016年），日本作物学会第239回講演会優秀発表賞（2015年），韓国作物学会優秀発表賞（2013年），根研究学会学術奨励賞（2013年），日本作物学会第232回講演会優秀発表賞（2011年）

その他の主な活動：岩手大学ものづくり技術研究センター兼務，根研究学会評議員，根研究学会和文誌編集委員



## (2) 应用生物化学科



## 伊藤 菊一

Ito, Kikukatsu



赴任：1994年

現職：教授

学位：博士（医学）（山形大学）

専門分野：分子生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 植物の熱産生機構に関する研究
2. 植物の寒冷応答システムに関する研究

担当科目：

1. 基礎生物学実験（1年次，分担）
2. 宮沢賢治の世界（1年次，分担）
3. 生化学（2年次，分担）
4. 植物ストレス応答学（3年次）
5. 生体熱制御システム学特論（大学院修士）
4. 先端生命科学特論（大学院修士，分担）
5. 次世代農学特論（大学院修士，分担）

所属学会等：日本分子生物学会，日本生化学会，日本農芸化学会，American Society of Plant Biologists

学会賞等：Early Career Scientists Best 6（1999年），日本生化学会東北支部奨励賞（2004年）

その他の主な活動：日本農芸化学東北支部参与，日本生化学会評議員

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 伊藤菊一（分担執筆）（2019）宮澤賢治の得業論文を読む（岩手大学人文社会学部 宮沢賢治いわて学センター編）. 杜陵高速印刷，盛岡 pp.40-83.

### B. 国際学会発表

1. Ito, K. and Tanimoto, H. (2020) Transcriptome analysis reveals thermogenic tissue-specific gene expression of selenium binding protein 1 in skunk cabbage, *Symplocarpus renifolius*. International Symposium on Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals (Morioka, Japan).

### C. 国内学会発表

1. 後藤広太，梅川 結，伊藤菊一（2019）発熱植物ザゼンソウの無益回路に関する研究．第92回日本生化学会大会（横浜）.
2. 谷本 悠，梅川 結，伊藤菊一（2019）発熱植物ザゼンソウにおける *trans-resveratrol di-O-methyltransferase* に関する研究. 第92回日本生化学会大会（横浜）.
3. 谷本 悠，梅川 結，伊藤菊一（2019）ザゼンソウ *SBPI* 遺伝子の発熱組織特異的な発現に関

する研究．日本生化学会東北支部 第85回例会・シンポジウム（仙台）.

## 木村 賢一

Kimura, Ken-ichi



赴任：2001年

現職：教授

学位：農学博士（東北大学）

専門分野：天然物生化学（ケミカルバイオロジー）

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 食材，植物，微生物などの天然資源からの低分子生体活性物質（バイオプローブ）の探索とその化学生物学的研究

担当科目：

1. 基礎ゼミ（1年次，分担）
2. 基礎分析化学（2年次，分担）
3. 天然物化学（2年次）
4. 化学生物学実験（3年次）
5. 機器分析化学（3年次，分担）
6. ケミカルバイオロジー（3年次）
7. 応用生物化学演習（3年次）
8. 応用生物化学演習（4年次）
9. ケミカルバイオロジー特論（大学院修士）
10. 先端生命科学特論（大学院修士，分担（世話人））

所属学会等：日本農芸化学会，日本生化学会，日本放線菌学会，日本ケミカルバイオロジー学会，日本がん分子標的治療学会，新素材探索研究会

学会賞等：第3回農芸化学研究企画賞（2006年），第5回食品薬学シンポジウム優秀発表賞（2013年），2015年日本農芸化学会トピックス賞（2015年），第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会（BMB2015）若手優秀発表賞（2015年），第89回生化学会大会若手優秀発表賞（2016年），2018年度2018年度 住木・梅澤記念賞（2018年），第9回福島地区CEセミナー優秀ポスター賞（2018年），第1回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成（2019年）

その他の主な活動：理研客員研究員，日本農芸化学東北支部参与，日本生化学会評議員，日本がん分子標的治療学会評議員，新素材探索研究会幹事，JSPS第189委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開」委員

研究業績

### A. 総説・論説

1. K. Kimura (2019) Studies of novel bioprobes isolated from rare natural sources using mutant

- yeasts. *J. Antibiot. (Review)*, 72, 579-589.
- 2 . 木村賢一, 白井誠之, 鈴木 聡 (2019) 久慈産琥珀の超臨界 CO<sub>2</sub> 抽出物の化粧品素材としての有用性 . *フレグランスジャーナル*, 47, 57-64 .
  - 3 . K. Kimura (2019) Liposidomycin, the first reported nucleoside antibiotic inhibitor of peptidoglycan biosynthesis translocase I: The related compounds with a perspective on their application to new antibiotics Bacterial polyoxin, named liposidomycin, a potent inhibitor of peptidoglycan biosynthesis. *J. Antibiot. (Review)*, 72, 877-889.
- B . 原著論文
- (a) 学術雑誌
- 1 . M. Tsujimura, M. Goto, M. Tsuji, Y. Yamaji, T. Ashitani, K. Kimura, T. Ohira, H. Kofujita (2019) Isolation of diterpenoids in sugi wood-drying by products and their bioactivities. *J. Wood Sci.*, 65: 1-10.
  - 2 . T. Nakamura, T. Suzuki, N. R. Ariefita, T. Koseki, T. Aboshi, T. Murayama, A. Widiyantoro, R. Kurniatuhadi, A. Malik, S. Annas, D. Harneti, R. Maharani, U. Supratman, J. Abe, N. Kurisawa, K. Kimura, Y. Shiono (2019) Meroterpenoids produced by *Pseudocosmospora* sp. Bm-1-1 isolated from *Acanthus ebracteatus* Vahl. *Pytochem. Lett.*, 31, 85-91.
  - 3 . H. Takahashi, N. Shimoda, H. Koshino, K. Kimura (2019) Kujigamberoic acid A, a carboxylic acid derivative of kujigamberol, has potent inhibitory activity against the degranulation of RBL-2H3 cells. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 83:1193-1196.
  - 4 . H. Takahashi, H. Koshino, M. Maruyama, H. Shinden, K. Kimura (2019) A novel Ca<sup>2+</sup>-signal transduction inhibitor, kujigamberol C, isolated from Kuji amber, *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 83, 1630-1634.
  - 5 . H. Kawashima, N. Toyooka, T. Okada, H.- D. Nguyen, Y. Nishikawa, Y. Miura, N. Inoue and K. Kimura (2019) Identification and total synthesis of two novel odd-chain bis-methylene-interrupted fatty acids with a terminal olefin that activate PPM1A in ovaries of the limpet *Cellana toreuma*. *Marin Drugs*, 17, 410.
  - 6 . N. Kurisawa, M. Yukawa, H. Koshino, T. Onodera, T. Toda, K. Kimura (2020) Kolavenic acid analog is the first natural HSET inhibitor to restore growth in HSET-overproducing fission yeast cells and multipolar mitosis in MDA-MB-231 human cells. *Bioorg. Med. Chem.*, 28, 115154..
  - 7 . S. Uesugi, Y. Honmura, K. Kusakabe, A. Tonouchi, T. Yamashita, M. Hashimoto, K. Kimura (2019) Identification of neomacrophorins isolated from *Trichoderma* sp. 1213-03 as proteasome inhibitors, *Bioorg. Med. Chem.* 27,115161.
  - 8 . S. Suzuki, J. Abe, Y. Kudo, M. Shirai, K. Kimura (2020) Inhibition of melanin production and promotion of collagen production by the extract of Kuji amber. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 84, 518-525.
  - 9 . J. Yoshida, Y. Okawa, T. Oyama, N. Shimoda, S. Uesugi, H. Takagi, Y. Ito, K. Kimura (2020) Inhibition of Calcineurin and Glycogen Synthase Kinase-3 $\beta$  by ricinoleic acid derived from castor oil. *Lipids.*, 55, 89-99.
- C . その他
- 1 . 新家一男, 木村賢一 (2019) ワークショップ10 ケミカルバイオロジー . *JAMTTC News Letter*, 23-2, 78-79 .
- D . 国際学会発表
- 1 . N. R. Ariefita, T. Koseki, K. Kimura, Y. Shiono (2019) Secondary metabolites of Indonesian endophytic fungi collected from Merapi volcano area. 20th Tetrahedron Symposium, Jun. 18-21, Bangkok, Thailand.
  - 2 . H. Koshino, K. Kimura, S. Koichi, H. Satoh (2019) Enhancement and Evaluation of CAST/CNMR Database Focused on Diterpenoids. Small Molecule NMR Conference, Sept. 22-25, Porto, Portugal.
  - 3 . K. Kimura, J. Abe, Y. Miura, H. Takahashi, N. Shimoda, Y. Kudo, M. Shirai, M. Ohnishi, S. Suzuki, H. Koshino (2019) The extract of Kuji amber is a fascinating natural source for cosmetics and medicines. The 10th Korea-Japan Chemical Biology Symposium and 30th Meeting for New Drug Discovery. Kanazawa, Oct. 3-5.
  - 4 . K. Kimura (2019) Kuji amber and kujigamberol are splendid gifts from planet earth. Iwate University's 70<sup>th</sup> Anniversary International Symposium (Contribution of Agriculture Research and Education to realization of SDGs), Nov. 14, 2019. Faculty of Agriculture, Iwate University.
  - 5 . J. Yoshida, Y. Kudo, Y. Ito, K. Kimura (2019)

Effects of polyacetylene compound falcarindiol from Apiaceae vegetables on glucose production in hepatoma cells. ICoFF2019, Nov. 28-Dec. 5, Kobe.

#### D. 国内学会発表

1. 栗澤尚瑛, 湯川格史, 越野広雪, 小野寺拓夢, 登田 隆, 木村賢一 (2019) HSET 過剰発現分裂酵母株を用いた新規天然物由来 HSET 阻害剤の探索. 新規素材探索研究会, 第 18 回セミナー, 6月8日, 新横浜フジビューホテル, p2.
2. 鈴木 聡, 阿部純平, 白井誠之, 木村賢一 (2019) 久慈産琥珀抽出エキスに見出されたメラニン産生抑制活性とコラーゲン産生促進活性. 日本生化学会東北支部 第 85 回例会・シンポジウム, 6月9日(土)~10日(日), 東北大学星陵キャンパス, p42.
3. 阿部純平, 越野広雪, 川村哲晃, 三浦悠花, 白井誠之, 木村賢一 (2019) 久慈産琥珀ポリマーの超臨界流体による分解とポリマー構造の推定. 第 14 回 日本ケミカルバイオロジー学会, 6月10日(月)~12日(水), ウィンク愛知, p137.
4. 栗澤尚瑛, 湯川格史, 越野広雪, 登田 隆, 木村賢一 (2019) HSET 過剰発現分裂酵母株の生育回復とがん細胞に多極性紡錘体を誘導するセータカアワダチソウ由来の新規 HSET 阻害物質. 第 23 回日本がん分子標的治療学会. 6月12日(水)~14日(金), 大阪国際交流センター, p100.
5. 木村賢一 (2019) 地球からの素敵なプレゼント, 久慈産琥珀と kujigamberol. 早稲田大学久慈発掘調査団勉強会, 2019年8月9日(金), ホテルみちのく(久慈市).
6. 三浦悠花, 越野広雪, 野呂 葵, 大西素子, 木村賢一 (2019) 久慈産琥珀に含まれる PPM1A 活性化物質の構造とその機能. 第 92 回 日本生化学会 [1T08m-04 (1P-360)], 2019年9月18日(水)~20日(金), パシフィコ横浜.
7. 木村賢一 (2019) ケミカルバイオロジーに基づく岩手県産天然物の現状と将来展望. JSPS 第 189 委員会主催, ケミカルバイオロジー 特別講演会 in 盛岡, 2019年10月23日, マリオス.
8. 高橋穂乃香, 越野広雪, 三浦悠花, 大西素子, 木村賢一 (2019) 久慈産琥珀から精製法の改良により単離された新規化合物の構造と生物活性. 日本農芸化学会東北支部大会, 11月9日(土), 弘前大学, p43.
9. 木村賢一 (2019) 「放線菌に始まり酵母を用い

た「物取り」とケミカルバイオロジー」. 第 66 回 日本放線菌学会学術講演会, 令和元年 11 月 29 日(金), 理化学研究所.

10. 登田 隆, 湯川格史, 栗澤尚瑛, 小野寺拓夢, 木村賢一 (2020) 分裂酵母を用いた抗癌活性を有する新規キネシン阻害剤の探索. 2020年日本農芸化学会 (Web 開催).
11. 吉田 潤, 大川佑介, 小山卓矢, 下田 希, 上杉祥太, 高木博史, 伊藤芳明, 木村賢一 (2020) ヒマシ油由来のヒドロキシ脂肪酸 ricinoleic acid の calcineurin と GSK-3 $\beta$  に対する阻害作用. 2020年日本農芸化学会 (Web 開催).
12. 上杉祥太, 箱崎真友佳, 植村亜衣子, 木村賢一, 山田秀俊, 矢野 明 (2020) モミジガサに含まれる interleukin-2 産生阻害物質. 2020年日本農芸化学会 (Web 開催).
13. 島津優人, 三浦悠花, 越野広雪, 木村賢一 (2020) 久慈市で産出される琥珀と亜炭, 並びに外国産亜炭の生物活性物質の比較分析. 2020年日本農芸化学会 (Web 開催).
14. 井上奈々, 越野広雪, 下田 希, Menor-Salvan Cesar, 木村賢一 (2020) 遺伝子変異酵母株を用いたドイツ産琥珀に含まれる生物活性物質の単離精製と構造解析. 2020年日本農芸化学会 (Web 開催).

#### E. 特許

1. 木村賢一, 白井誠之, 鈴木 聡 (2019) 肌用製品の素材. 特願 2019-106168 (2019年6月6日).

塚本 知 玄

Tsukamoto, Chigen



赴任: 1999年

現職: 教授

学位: 博士(農学)(東北大学)

専門分野: 食品科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 大豆サポニンの化学構造と遺伝特性に関する研究
2. 大豆加工食品の味に関する研究
3. 大豆の高付加価値化に関する研究

担当科目:

1. 情報基礎(1年次, 分担)
2. 基礎ゼミナール(1年次, 分担)
3. 基礎分析化学(2年次, 分担)
4. 食品化学(2年次)
5. 食品化学実験(2年次)
6. 食品衛生学(3年次)

- 7. 食品保蔵学 (3年次)
- 8. 応用生物化学演習 (3年次, 分担)
- 9. 応用生物化学演習 (4年次, 分担)
- 10. 食品科学特論 (大学院修士)

所属学会等: 日本農芸化学会, 日本食品科学工学会, 日本栄養・食糧学会, 日本食品衛生学会, 日本育種学会, 種子生理生化学研究会

学会賞等: 日本食品科学工学会平成16年度論文賞 (2005年)

その他の主な活動: 岩手県農政審議会委員

#### 研究業績

##### A. 原著論文

###### (a) 学術雑誌

1. W. T. Chitisankul, M. Murakami, C. Tsukamoto and K. Shimada (2019) Effects of long-term soaking on nutraceutical and taste characteristic components in Thai soybeans. *LWT-Food Science and Technology*, 115: 108432.
2. J. Sundaramoorthy, S. Palanisamy, G. T. Park, H.-R. Son, C. Tsukamoto, J.-D. Lee, J. H. Kim, H. S. Seo and J. T. Song (2019) Characterization of a new *sg-5* variant with reduced biosynthesis of group A saponins in soybean [*Glycine max* (L.) Merr.]. *Molecular Breeding*, 39(11): Article 144.
3. J. Sundaramoorthy, G. T. Park, H.-R. Son, C. Tsukamoto, J.-D. Lee, H. S. Seo and J. T. Song (2019) Molecular analysis of two novel missense mutations in the *Sg-1* gene associated with group A saponin biosynthesis in soybean. *Crop Science* 59(6): 2634-2641.
4. K. Shiojiri, R. Ozawa, K.-I. Yamashita, M. Uefune, K. Matsui, C. Tsukamoto and J. Takabayashi (2020) Exposure to artificially damaged goldenrod volatiles increases saponins in seeds of field-grown soybean plants. *Phytochemistry Letters (Short Communication)*, 36: 7-10.
5. P. Krishnamurthy, C. Tsukamoto, Masao Ishimoto (2020) Reconstruction of the evolutionary histories of UGT gene superfamily in legumes clarifies the functional divergence of duplicates in specialized metabolism. *International Journal of Molecular Sciences*, 21: 1855.

##### B. 国際学会発表

1. P. Krishnamurthy, R. Yano, S. Tochigi, K. Takagi, Y. Fujisawa, C. Tsukamoto and M. Ishimoto (2019)

Reconstruction of the evolutionary histories of UGT gene superfamily clarifies the species-specific functional divergence of duplicates in specialized metabolism. TERPNET 2019: 14th International Meeting on the Biosynthesis, Function and Synthetic Biology of Isoprenoids. 26-30 August 2019, Halle, Germany.

2. H.-R. Son, K. Mukaiyama and C. Tsukamoto (2019) Relation between chemical structure and mass spectrum pattern of soyasaponins. 2nd Food Chemistry Conference, P.2.2.40. 17-19 September 2019, Seville, Spain.
3. C. Tsukamoto, H.-R. Son, K. Komagamine, K. Mukaiyama, J.-D. Lee, and J. T. Song (2019) Attempts for developing new soybeans which accumulate only group B saponins to enhance human health benefits. 2nd Food Chemistry Conference, P.2.2.44. 17-19 September 2019, Seville, Spain.

##### C. 国内学会発表

1. P. Krishnamurthy, 藤澤由紀子, S.-Y. Chung, H.-R. Son, 下田宜司, 平賀 勸, 加賀秋人, 穴井豊昭, 塚本知玄, 關 光, 村中俊哉, 石本政男 (2019) 共発現解析に基づくダイズサポニン配糖化酵素の同定. 日本育種学会第136回講演会 (9月6-7日, P.401, 近畿大学).
2. 星野次汪, 阿部 岳, 武田伸也, 田口芳彦, 渡邊学, 塚本知玄, 佐川 了, 高畑義人, 佐藤 孝, 高階史章, 金田吉弘, 王 克昌 (2019) 大豆品種「貴まる」のイソフラボン含有量とCd吸収能の選抜, および納豆・豆腐の食味評価. 第14回東北育種談話会 (11月30日, 岩手大学農学部7番講義室).

長 澤 孝 志  
Nagasawa, Takashi



赴任: 1992年

現職: 教 授

学位: 農学博士 (東京大学)

専門分野: 栄養生化学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 筋肉タンパク質の合成と分解の食品成分による調節機構

2. グリケーションと生活習慣病の食品による抑制
- 担当科目:

1. 基礎ゼミナール (1年次, 分担)
2. 食品化学 (2年次, 分担)
3. 栄養化学 (2年次, 分担)
4. 美味学 (3年次, 分担)
5. 応用生物化学演習 (3年次)
6. 応用生物化学演習 (4年次)
7. 栄養化学実験 (3年次, 分担)
8. 栄養生化学特論 (大学院修士)
9. 次世代農学特論 (大学院修士, 分担)

所属学会等: 日本農芸化学会, 日本栄養・食糧学会, 日本生化学会, 日本畜産学会, 日本アミノ酸学会, 日本食品科学工学会, 日本過酸化脂質・抗酸化物質学会, 日本フードファクター学会

学会賞等: 日本栄養・食糧学会奨励賞 (1995年), 日本栄養・食糧学会学会賞 (2017年)

その他の主な活動: 日本栄養・食糧学会代議員, 同東北支部副支部長, 日本アミノ酸学会評議員, 日本過酸化脂質・抗酸化物質学会幹事, 第22回国際栄養学会議組織委員会委員, 第74回日本栄養・食糧学会大会実行委員, 岩手生物工学研究センター評議員, いわて農林水産物機能性活用研究会顧問

#### 研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Chiba, M., Ito, Y. and Nagasawa, T. (2019) Phenethyl isothiocyanate stimulates glucose uptake through the Akt pathway in C2C12 myotubes. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 83: 1319-1328.

#### B. 国際学会発表

1. Nagasawa, T., Sato, T., Muramatsu, N. and Ito, Y. (2019) Regulation of muscle protein degradation by dietary leucine and lysine. The 7th International Conference on Food Factors/ The 12th International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods. Kobe, Japan.

#### C. 国内学会発表

1. 長澤孝志 (2019) アミノ酸による骨格筋萎縮抑制. 日本外科代謝栄養学会第56回学術大会プログラム予稿集, 外科と代謝・栄養 53 (3): 65, 2019.
2. 佐々木琴瑞, 折笠貴寛, 菊池太良, 加藤一幾, 長澤孝志, 由比 進, 松嶋卯月, 小出章二 (2019) マイクロ波によるトマトピューレの濃縮・後加熱処理が成分・食味に与える影響. 日本食品科学工学会第66回大会.
3. 後藤みのり, 伊藤芳明, 長澤孝志 (2019) 低タ

ンパク質食による肝臓脂肪蓄積への PEITC の効果. 日本アミノ酸学会第13回学術大会講演要旨: 35.

4. 築瀬春香, 伊藤芳明, 長澤孝志 (2019) シトルリンとアルギニンの同時投与による骨格筋萎縮抑制. 日本アミノ酸学会第13回学術大会講演要旨: 48.
5. 森下公貴, 伊藤芳明, 長澤孝志 (2019) 脂肪細胞におけるオレアノール酸の脂肪分解活性の解析. 日本食品科学工学会東北支部令和元年大会・日本栄養・食糧学会東北支部第53回大会講演要旨: 23.
6. 平山史歩, 伊藤芳明, 矢野 明, 長澤孝志 (2019) ヒエぬかの脂質とタンパク質の摂取が骨格筋タンパク質代謝に及ぼす効果. 日本食品科学工学会東北支部令和元年大会・日本栄養・食糧学会東北支部第53回大会講演要旨: 24.
7. 大久保 剛, 福田伸雄, 藤井久雄, 渡邊利生, 殿村由紀子, 長澤孝志 (2019) たんぱく質摂取による血中アミノ酸の動態について. 日本食品科学工学会東北支部令和元年大会・日本栄養・食糧学会東北支部第53回大会講演要旨: 32.

#### 西山 賢一

Nishijyama, Kenn-ichi



赴任: 2010年

現職: 教授

学位: 博士 (農学) (東京大学)

専門分野: 生化学, 分子細胞生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 膜内在性タンパク質の膜挿入機構や分泌タンパク質の膜透過機構の解明

担当科目:

1. 基礎ゼミ (1年次, 分担)
2. 基礎化学実験 (1年次)
3. 人間と自然「生命のしくみ」 (1年次, 分担)
4. 化学入門 (1年次, 分担)
5. 分子生物学 (2年次)
6. 分子生物学 (3年次)
7. 応用生物化学演習 (3年次, 分担)
8. 応用生物化学演習 (4年次, 分担)
9. 細胞構造形成学特論 (大学院修士)

所属学会等: 日本生化学会 (評議員, 代議員), 日本分子生物学会, 日本農芸化学会 (東北支部参与), 無細胞生命科学研究会 (幹事), 21世紀大腸菌研究会 (世話人), デザイン生命工学研究会 (幹事), 細胞形成

研究会（幹事）

学会賞等：日本生化学会奨励賞（1999年），JB論文賞受賞（2001年），EMBO Long-term Fellow Award（2002年），平成25年度長瀬研究振興賞受賞（2013年），日本生化学会東北支部奨励賞（2004年），第16回天野エンザイム酵素応用シンポジウム研究奨励賞（2015年）

その他の主な活動：J. Gen. Appl. Microbiol., Executive Editor, J. Bichem., Advisory Board Member

研究業績

A . 総説・論説

- 1 . Fujikawa, K., Nishiyama, K. and Shimamoto, K. (2019) Enzyme-like glycolipids MPIase involved in membrane protein integration of *E. coli*. Trends Glycosci, Glycotechnol., 31: E151-E158.
- 2 . 藤川紘樹, 西山賢一, 島本啓子 (2020) 大腸菌膜タンパク質の膜挿入に関する酵素様糖脂質 MPIase. Trends Glycosci, Glycotechnol., 31: J149-J155.
- 3 . Fujikawa, K., Nomura, K., Nishiyama, K., Shimamoto, K. (2019) Novel glycolipid involved in membrane protein integration: structure and mode of action. J. Synth. Org. Chem. Japan, 77: 1096-1105.
- 4 . 沢里克宏, 藤川紘樹, 島本啓子, 西山賢一 (2020) 大腸菌におけるタンパク質膜輸送に関する糖脂質 MPIase の発現制御機構～酵素様機能をもつ糖脂質 MPIase～. 化学と生物, 58: 223-230 .

B . 原著論文

(a) 学術雑誌

- 1 . Sawasato, K., Suzuki, S. and Nishiyama, K. (2019) Increased expression of the bacterial glycolipid MPIase is required for efficient protein translocation across membranes in cold conditions. J. Biol. Chem., 294 : 8403-8411.
- 2 . Sawasato, K., Sekiya, Y. and Nishiyama, K. (2019) Two-step induction of *cdsA* promoters leads to upregulation of the glycolipid MPIase at cold temperature. FEBS Lett., 593: 1711-1723. (selected as an "Editor's Choice" paper)
- 3 . Nomura, K., Yamaguchi, T., Mori, S., Fujikawa, K., Nishiyama, K., Shimanouchi T., Tanimoto, Y. Morigaki, K. and Shimamoto, K. (2019) Alteration of membrane physicochemical properties by two factors for membrane protein integration. Biophys. J., 117: 99-110.
- 4 . Matsumura, K., Yamada, M., Yamashita T., Muto,

H., Nishiyama, K., Shimoi, H. and Isobe, K. (2019) Expression of alcohol oxidase gene from *Ochrobactrum* sp. AIU 033 in recombinant *Escherichia coli* through the twin-arginine translocation pathway. J. Biosci. Bioeng., 128: 13-21.

- 5 . Saito H., Morishita, T., Mizukami, T., Nishiyama, K., Kawaguchi, K. and Nagao, H. (2019) Free energy profiles of lipid translocation across pure POPC and POPC/CHOL bilayer: all-atom molecular dynamics study. J. Phys., 1290: No 012020.
- 6 . Sasaki, M., Nishikawa, Hanako., Suzuki, S., Moser, M., Huber, M., Sawasato, K., Matsubayashi, H. T., Kumazaki, K., Tsukazaki, T., Kuruma, Y., Nureki, O., Ueda, T. and Nishiyama, K. (2019) The bacterial protein YidC accelerates MPIase-dependent integration of membrane proteins. J. Biol. Chem., 294: 18898-18908.
- 7 . Kamemoto, Y., Funaba, N., Kawakami, M., Sawasato, K., Kanno, K., Suzuki, S., Nishikawa, H., Sato, R. and Nishiyama, K. (2020) Biosynthesis of glycolipid MPIase (membrane protein integrase) is independent of the genes for ECA (enterobacterial common antigen). J. Gen. Appl. Microbiol., 66, in press.
- 8 . Nishikawa, H., Sasaki, M. and Nishiyama, K. (2020) *In vitro* assay for bacterial membrane protein integration into proteoliposomes. Bio Protoc., 10, in press.

C . 招待講演

- 1 . 西山賢一 (2020) タンパク質膜挿入・膜透過反応に関する「糖脂質酵素 (Glycolipozyme)」MPIase の構造と機能 . 新潟薬科大学学術講演会, 新潟薬科大学, 新潟市 .
- 2 . 西山賢一 (2020) 大腸菌のタンパク質膜挿入・膜透過にかかわる糖脂質 MPIase の構造と機能 . 遺伝研研究会「単細胞システムにおける細胞内装置の動的相互作用」, 国立遺伝研, 静岡県三島市 .

D . 国際学会発表

- 1 . Endo, Y., Sasaki, M., Sawasato, K., Shimizu, Y., Dalbey, R. and Nishiyama, K. (2019) Dissection of function of machinery for membrane protein insertion involving glycolipid MPIase and protein YidC. UGAS International Symposium ~ Thai-Japan Agricultural Science, Hirosaki University, Hirosaki, Aomori.
- 2 . Sekiya, Y., Sawasato, K. and Nishiyama, K.

- (2020) Eukaryotic homologs of CdsA possess the ability to biosynthesize glycolipid MPIase involved in membrane protein integration and preprotein translocation. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”, Iwate University, Morioka.
- 3 . Kanno, K., Nishikawa, N., Sawasato, K. Yamada, M. and Nishiyama, K. (2020) Reconstitution of the TAT (Twin-Arginine Translocation) pathway that depends on both TatABC and glycolipid MPIase. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”, Iwate University, Morioka. (received the “Poster Presentation Award”)
  - 4 . Endo, Y., Sasaki, M., Sawasato, K., Shimizu, Y., Dalbey, R. and Nishiyama, K. (2020) *In vitro* analysis of glycolipid MPIase and protein YidC involved in membrane protein insertion. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”, Iwate University, Morioka.
- E . 国内学会発表
- 1 . 亀本有生, 川上真由, 船場菜々香, 沢里克宏, 藤川紘樹, 島本啓子, 西山賢一 (2019) タンパク質膜挿入に必須の糖脂質酵素 MPIase の中間体解析と新規生合成因子 YncL の同定 . 第 16 回 21 世紀大腸菌研究会, 琵琶湖ホテル, 滋賀県大津市 . (優秀口頭発表賞受賞)
  - 2 . 西川華子, 菅野琴華, 沢里克宏, 山田美和, 菊池慶実, 西山賢一 (2019) 糖脂質酵素 MPIase は TAT 膜透過反応に必須の因子である . 第 16 回 21 世紀大腸菌研究会, 琵琶湖ホテル, 滋賀県大津市 .
  - 3 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 基質の膜へのターゲティングに関する . 第 16 回 21 世紀大腸菌研究会, 琵琶湖ホテル, 滋賀県大津市 .
  - 4 . 関谷優晟, 沢里克宏, 西山賢一 (2019) Cds ファミリーによる大腸菌における MPIase 生合成能およびリン脂質生合成能の評価 第 16 回 21 世紀大腸菌研究会, 琵琶湖ホテル, 滋賀県大津市 .
  - 5 . 亀本有生, 船場菜々香, 沢里克宏, 西山賢一 (2019) 2 つの類似糖脂質 MPIase と ECA は生合成経路が全く異なる . 日本生化学会東北支部第 85 回例会, 東北大学, 仙台市 .
  - 6 . 関谷優晟, 沢里克宏, 西山賢一 (2019) タンパク質膜挿入に関する糖脂質 MPIase の生合成酵素 CdsA の真核生物ホモログの機能解析 . 第 92 回日本生化学会大会, パシフィコ横浜, 横浜市 .
  - 7 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 経路における基質の膜へのターゲティングに関する . 第 92 回日本生化学会大会, パシフィコ横浜, 横浜市 .
  - 8 . 亀本有生, 川上真由, 船場菜々香, 沢里克宏, 藤川紘樹, 島本啓子, 西山賢一 (2019) タンパク質膜挿入に必須の糖脂質酵素 MPIase の生合成に関わる因子の探索 . 第 92 回日本生化学会大会, パシフィコ横浜, 横浜市 .
  - 9 . 西川華子, 菅野琴華, 沢里克宏, 山田美和, 菊池慶実, 西山賢一 (2019) 糖脂質 MPIase を用いた TAT 膜透過反応の再構成 . 第 14 回無細胞生命科学研究会, マホロバ・マインズ三浦, 神奈川県三浦市 .
  - 10 . 亀本有生, 船場菜々香, 藤川紘樹, 島本啓子, 西山賢一 (2019) 糖脂質酵素 MPIase 生合成因子の探索とその機能解析 . 第 14 回無細胞生命科学研究会, マホロバ・マインズ三浦, 神奈川県三浦市 .
  - 11 . 亀本有生, 川上真由, 船場菜々香, 藤川紘樹, 島本啓子, 西山賢一 (2019) 糖脂質酵素 MPIase の生合成に関する新規因子 YncL の同定 . 日本農芸化学会東北支部 第 154 大会, 弘前大学, 青森県弘前市 .
  - 12 . 関谷優晟, 沢里克宏, 西山賢一 (2019) Cds (CDP ジアシルグリセロール合成酵素) ファミリーによるタンパク質膜挿入因子 MPIase の生合成 . 日本農芸化学会東北支部 第 154 大会, 弘前大学, 青森県弘前市 .
  - 13 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) TAT (Twin-Arginine Translocation) 経路において MPIase は基質の膜へのターゲティングに関する . 日本農芸化学会東北支部第 154 大会, 弘前大学, 青森県弘前市 .
  - 14 . 関谷優晟, 沢里克宏, 西山賢一 (2019) 真核生物の Cds ファミリーはバクテリアの糖脂質 MPIase 生合成活性をもつ . 第 42 回日本分子生物学会年会, 福岡国際会議場, 福岡市 .
  - 15 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 経路における基質の細胞質膜へのターゲティングに関する . 第 42 回日本分子生

- 物学会年会，福岡国際会議場，福岡市．
- 16．亀本有生，船場菜々香，川上真由，藤川紘樹，島本啓子，西山賢一（2019）タンパク質膜挿入反応を触媒する糖脂質 MPIase の生合成因子の同定．第42回日本分子生物学会年会，福岡国際会議場，福岡市．
  - 17．亀本有生，川上真由，船場菜々香，沢里克宏，藤川紘樹，島本啓子，西山賢一（2020）糖脂質酵素 MPIase の生合成経路の探索．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 18．西川華子，菅野琴華，沢里克宏，山田美和，菊池慶実，西山賢一（2020）TATタンパク質膜透過の再構成．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 19．菅野琴華，西川華子，沢里克宏，山田美和，西山賢一（2020）MPIase は TAT（Twin-Arginine Translocation）膜透過反応に必須である．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 20．関谷優晟，沢里克宏，西山賢一（2020）真核生物のCdsAホモログによるタンパク質膜挿入因子 MPIase 生合成．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 21．村本真規，鈴木苑実，藤川紘樹，島本啓子，西山賢一（2020）タンパク質膜挿入反応に関わる糖脂質酵素 MPIase の構造と機能の解析．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 22．沢里克宏，平野絵里香，西向めぐみ，西山賢一（2020）生体膜に化学物質に対する耐性度を与える因子の探索．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 23．遠藤佑太，志水優子，西山賢一（2020）タンパク質膜挿入に関わる因子群と膜電位との協調的作用の in vitro 解析．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．
  - 24．亀本有生，船場菜々香，沢里克宏，西山賢一（2020）2つの類似糖脂質 MPIase と ECA は生合成経路が全く異なる．第2回細胞形成研究会，岩手大学，盛岡市．

三浦 靖  
Miura, Makoto



赴任：1994年  
現職：教授  
学位：農学博士（東北大学）  
専門分野：食品化学工学，食品科学，レオロジー

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1．食品新素材の開発
- 2．食品の新規な加工・保蔵法の開発
- 3．食品の新規な品質評価法の開発
- 4．地域食品産業支援

担当科目：

- 1．情報基礎（1年次，分担）
- 2．食品化学工学（2年次）
- 3．食品物理化学（3年次）
- 4．食品化学工学実験（3年次）
- 5．美味学（3年次，分担）
- 6．食品加工システム学（4年次）
- 7．食品化学工学特論（大学院修士課程）

所属学会等：日本食品科学工学会（編集委員），日本農芸化学会，日本食品保蔵科学会，日本食品工学会（代議員），日本レオロジー学会（理事，編集委員），高分子学会，日本官能評価学会，日本音響学会，日本人間工学会，日本冷凍空調学会，日本応用糖質科学会，日本油化学会（編集委員），American Association of Cereal Chemists. 食品ハイドロコロイド研究会，食品の物性に関するシンポジウム（運営委員），日本食品機械研究会（理事）

その他の主な活動：岩手ネットワークシステム（INS）会員，農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」に係る運営委員・評価委員  
研究業績

#### A．原著論文

##### (a)学術雑誌

- 1．Okuda, N., Miura, M., Itai, K., Morikawa, T., Sasaki, J., Asanuma, T., Fujii, M. and Okayama, A. (2019) Use of lightly potassium-enriched soy sauce and other condiments at home reduced the urinary sodium-to-potassium ratio in Japan. Journal of Food & Nutritional Sciences 1 : 27-36.
- 2．Mutahi, A.W. and Miura, M. (2020) Effects of different chemically modified starches on the rheological properties of stirred non-fat yoghurt. Food Science and Technology Research 26 : 177-184.

#### B．その他

- 1．三浦 靖（2019）ものづくりと学問 ゼリーやプリンのおいしさとサイエンス．化学と教育 67(12)，612-613．

#### C．報告書・事業報告書

- 1．三浦 靖，濱田浩司（2019）栄養機能性が高い三陸産褐藻アカモクを活用した機能性食品の開発．平成30年度地域イノベーション創出研究開

発支援事業( シーズ育成型 )完了報告書( 岩手県 ), pp.1-19 .

D . 特許・設計等

- 1 . 三浦 靖, 田中ゆうこ, 田中妙子 (2019) 食品の力学的特性の評価方法及び食品の食感の評価方法 . 特願 2019-123091 .

E . 国内学会発表

- 1 . 柴田拓道, 三浦 靖 (2019) 団子の食品テクスチャーと理化学的特性の関係 . 日本食品工学会第 20 回(2019 年度)年次大会講演要旨集 : 22 .
- 2 . 伊藤綾香, 三浦 靖, 濱田浩司 (2019) フコキサンチン残存量に着目した褐藻アカモク粉体の調製とその加工食品への適用 . 日本食品科学工学会第 66 回大会講演集 : 158 .
- 3 . 田中ゆうこ, 石井達也, 平川妙子, 白土 満, 佐藤正一, 三浦 靖 (2019) 食品テクスチャーが良好な米飯塊の力学的特性を予測する米飯粒子充填構造のモデル化 . 日本食品科学工学会第 66 回大会講演集 : 202 .
- 4 . 山崎 華, 三浦 靖 (2019) 粒子複合化した水溶性天然色素粉体の調製 . 日本油化学会第 58 回年会講演要旨集 : 139 .
- 5 . 小川敦子, 三浦 靖, 富田 隆, 工藤賢三 (2019) ところみ調整用食品が錠剤の崩壊および崩壊後の錠剤成分の溶出に及ぼす影響 . 第 67 回レオロジー討論会講演要旨集 : 404-405 .

山下 哲郎

Yamashita, Tetsuro



赴任 : 1994年

現職 : 教授

学位 : 博士 (理学) (東京大学)

専門分野 : 生化学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動 :

- 1 . 生体内におけるストレス応答機構
- 2 . 生体エネルギー論

担当科目 :

- 1 . 生化学実験 (3 年次)
- 2 . 生化学 (1 年次)
- 3 . 生化学 (2 年次)
- 4 . 生化学特論 (大学院修士)
- 5 . 化学入門 (1 年次)

所属学会等 : 日本生化学会, 日本農芸化学会, 日本蚕糸学会

研究業績

A . 原著論文

(a) 学術雑誌

- 1 . Tanaka, N., Nakajima, M., Narukawa-Nara, M., Matsunaga, H., Kamisuki, S., Aramasa, H., Takahashi, Y., Sugimoto, N., Abe, K., Terada, T., Miyanaga, A., Yamashita, T., Sugawara, F., Kamakura, T., Komba, S., Nakai, H., Taguchi, H. (2019) Identification, characterization, and structural analyses of a fungal endo-b-1,2-glucanase reveal a new glycoside hydrolase family. *J. Biol. Chem.* 294: 7942-7965.
- 2 . Suzuki, C., Miyazaki, T., Yamashita, T., Miyazaki, M. (2019) GC × GC-MS-Based Volatile Profiling of Male Domestic Cat Urine and the Olfactory Abilities of Cats to Discriminate Temporal Changes and Individual Differences in Urine. *J. Chem.Ecol.* 45: 579-587.
- 3 . Matsumura, K., Yamada, M., Yamashita, T., Muto, H., Nishiyama, K.-I., Shimoi, H., Isobe, K. (2019) Expression of alcohol oxidase gene from *Ochrobactrum* sp. AIU 033 in recombinant *Escherichia coli* through the twin-arginine translocation pathway. *J. Biosci. Bioeng.* 128: 13-21.
- 4 . Yamada, H., Hakozaiki, M., Uemura, A., Yamashita, T. (2019) Effect of fatty acids on melanogenesis and tumor cell growth in melanoma cells. *J. Lipid Res.* 60: 1491-1502.
- 5 . Takahashi, Y., Fukuyama, T., Futawatari, N., Ichiki, Y., Ohmiya, H., Chuman, M., Yamashita, T., Hiki, N., Kumamoto, Y., Yamazaki, H., Nonoguchi, H., Nishi, Y. and Kobayashi, N. (2019) Expression of Kita-Kyushu Lung Cancer Antigen-1 as Detected by a Novel Monoclonal Antibody in Gastric Cancer. *Anticancer Res.* 39: 6529-6263.
- 6 . Uesugi, S., Honmura, Y., Nishiyama, M., Kusakabe, K., Tonouchi, A., Yamashita, T., Hashimoto, M., Kimura, K. (2019) Identification of neomacrophorins isolated from *Trichoderma* sp. 1212-03 as proteasome inhibitors. *Bioorg. Med. Chem.* 27: 115161.
- 7 . Uenoyama, R., Miyazaki, M., Miyazaki, T., Shigeno, Y., Tokairin, Y., Konno, H. and Yamashita, T. (2019) LC-ESI-MS/MS quantification of carnosine, anserine, and balenine in meat samples. *J. Chromatogr. B* 1132: 12826.
- 8 . Shida, A., Fukuyama, T., Futawatari, N., Ohmiya, H., Ichiki, Y., Yamashita, T., Nishi, Y., Kobayashi,

- N., Yamazaki, H., Watanabe, M., Takahashi, Y. (2020) Cancer/testis antigen, Kita-Kyushu lung cancer antigen-1 and ABCD stratification for diagnosing gastric cancers. *World J. Gastroenterol.* 26: 424-432.
9. Utsumi, S., Sakamoto, K., Yamashita, T., Tomita, H., Sugano, E., Ishida, K., Ishiyama, E., Ozaki, T. (2020) Presence of ES1 homologin the mitochondrial intermembrane space of porcine retinal cells. *Biochem. Biophys. Res. Com.* 524: 542-548.
10. Suzuki, R., Imamura, T., Nonaga, Y., Kusano, H., Teramura, H., Ken-Taro Sekine, K., Yamashita, T., Shimada, H. (2020) A novel FLOURY ENDOSPERM2 (FLO2)-interacting protein, is involved in maintaining fertility and seed quality in rice. *Plant Biotechnol.* 37 : 47-55.
11. Katayama, M., Ohata, K., Miyazaki, T., Katayama, R., Wakamatsu, N., Ohno, M., Yamashita, T., Oikawa, T., Sugaya, T., Miyazaki, M. (2020) Renal expression and urinary excretion of liver-type fatty acid-binding protein in cats with renal disease. *J. Vet. Intern. Med.* 34: 761-769.

#### B. 国際学会発表

1. Ohno, M., Miyazaki, M., Yamashita, T. (2020) Enzymatic functions of acidic mammalian chitinase in the mouse stomach. International Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals", Iwate.
2. Miyazaki, T., Okada, K., Yamashita, T., Miyazaki, M. (2020) Serum metabolomics of neonatal calves before and after first colostrum ingestion. Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals", Iwate.

#### C. 国内学会発表

1. 上野山怜子, 宮崎雅雄, 東海林由憲, 今野博行, 山下哲郎 (2019) トリプル四重極質量分析計を用いた筋肉組織中のイミダゾールジペプチド(カルノシン, アンセリン, パレニン)の LC-ESI-MS/MS 定量系の確立. 日本生化学会東北支部第 85 回例会.
2. 長田悠佳, 上野山怜子, 大野美紗, 岸田拓土, 宮崎雅雄, 山下哲郎 (2019) ほ乳類におけるイミダゾールジペプチド合成酵素の同定. 第 92 回日本生化学会大会.
3. 大野美紗, 宮崎雅雄, 木村将大, 坂口政吉, 小上文隆, 山下哲郎 (2019) マウスにおけるジ-N-

アセチルキトビアーゼの発現解析と酵素の性質解析. 第 92 回日本生化学会大会.

4. 大野美紗, 宮崎雅雄, 木村将大, 坂口政吉, 小上文隆, 山下哲郎 (2019) 組換えマウスジ-N-アセチルキトビアーゼの性質解析. 日本農芸化学会東北支部第 154 回大会.
5. 野永葉子, 鈴木麟太郎, 今村智弘, 草野博彰, 関根健太郎, 山下哲郎, 島田浩章 (2019) イネの未熟種子における FLOC の機能解析. 第 42 回日本分子生物学会.
6. Wei, H., Tian, Y., Maeda, H., Yamashita, T., Yuan, C. (2019) A trial study of Decomposition Pathway of ATP related compounds in the Scallop Muscle. 令和元年度 日本水産学会東北支部大会.
7. 宮崎珠子, 宮崎雅雄, 山下哲郎, 岡田啓司 (2019) 電解質による生乳の希釈が哺乳子牛の第四胃カード形成に及ぼす影響. 日本家畜臨床学会第 50 回学術集会.
8. 鈴木麟太郎, 野永葉子, 今村智弘, 草野博彰, 寺村 浩, 関根健太郎, 山下哲郎, 島田浩章 (2020) イネ種子の形態形成に関わる新規な制御因子の探索. 第 137 回日本育種学会講演会.

伊藤 芳明  
Ito, Yoshiaki



赴任: 1999年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(東京大学)

専門分野: 栄養化学, 分子栄養学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 食品成分による生体機能の調節機構に関する研究

担当科目:

1. 情報基礎(1年次, 分担)
2. 生物学(1年次, 分担)
3. 基礎分析化学(2年次, 分担)
4. 栄養化学(2年次, 分担)
5. 栄養化学実験(3年次)
6. 食品機能学(3年次)
7. 分子栄養学(大学院修士)
8. 先端生命科学特論(大学院修士)

所属学会等: 日本農芸化学会, 日本生化学会, 日本分子生物学会, 日本栄養・食糧学会, 日本食品科学工学会, 日本アミノ酸学会

その他の主な活動: 日本栄養・食糧学会参与, 同学会

東北支部監事, 日本食品科学工学会誌英文誌編集委員  
研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Chiba, M., Ito, Y. and Nagasawa, T. (2019)  
Phenethyl isothiocyanate stimulates glucose uptake through the Akt pathway in C2C12 myotubes. *Biosci Biotechnol Biochem.* 83: 1319-1328.
2. Yoshida, J., Okawa, Y., Oyama, T., Shimoda, N., Uesugi, S., Takagi, H., Ito, Y. and Kimura, K.-I. (2020) Inhibition of calcineurin and glycogen synthase kinase-3 $\beta$  by ricinoleic acid derived from castor oil. *Lipids.* 55:89-99.

B. 国際学会発表

1. Nagasawa, T., Sato, T., Muramatsu, N. and Ito, Y. (2019) Regulation of muscle protein degradation by dietary leucine and lysine. The 7th international conference on food factors, the 12th international conference and exhibition on nutraceuticals and functional foods Abstracts book : SY55-3.
2. Yoshida, J., Kudo, Y., Ito, Y. and Kimura, K.-I. (2019) Effects of falcariindiol from Apiaceae vegetables on the gluconeogenesis in hepatoma cells. The 7th international conference on food factors, the 12th international conference and exhibition on nutraceuticals and functional foods Abstracts book : PC1330.

C. 国内学会発表

1. 後藤みのり, 伊藤芳明, 長澤孝志 (2019) 低タンパク質食による肝臓脂質蓄積への PEITC の効果. 日本アミノ酸学会第 13 回学術大会 (JSAAS 2019) 講演要旨集: 40.
2. 築瀬春香, 伊藤芳明, 長澤孝志 (2019) シトルリンとアルギニンの同時投与による骨格筋萎縮抑制. 日本アミノ酸学会第 13 回学術大会 (JSAAS 2019) 講演要旨集: 53.
3. 森下公貴, 伊藤芳明, 長澤孝志 (2019) 脂肪細胞におけるオレアノール酸の脂肪分解活性の解析. 日本食品科学工学会東北支部令和元年大会 日本栄養・食糧学会東北支部 (第 53 回大会) 合同支部大会および公開シンポジウム講演要旨集: 23.
4. 平山史歩, 伊藤芳明, 矢野 明, 長澤孝志 (2019) ヒエぬかの脂質とタンパク質の摂取が骨格筋タンパク質代謝に及ぼす効果. 日本食品科学工学会東北支部令和元年大会 日本栄養・食糧学会東北支部 (第 53 回大会) 合同支部大会および公開シ

ンポジウム講演要旨集: 24.

5. 吉田 潤, 大川佑介, 小山卓也, 下田 希, 上村祥太, 高木博史, 伊藤芳明, 木村賢一 (2020) ヒマシ油由来のヒドロキシ脂肪酸 ricinoleic acid の calcineurin と GSK-3 $\beta$  に対する阻害作用. 日本農芸化学会 2020 年度大会, 4B03a11.

齋藤 靖史

Saitoh, Yasushi



赴任: 1999年

現職: 准教授

学位: 博士 (農学) (東北大学)

専門分野: 分子生物学, 細胞生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 多葉性クローバーの遺伝子解析
2. イネ胚乳形成における細胞分裂機構に関する研究

担当科目:

1. 遺伝子工学 (3年次)
2. 細胞生物学 (3年次)
3. 生物学 (1年次)
4. 生物学入門 (1年次)
5. 染色体・ゲノム生物学特論 (大学院修士)

所属学会等: 日本農芸化学会, 日本育種学会, 日本植物生理学会, 種子生理生化学研究会

その他の主な活動: 東北農業研究センター遺伝子組換え生物等第二種使用実験安全委員

研究業績

A. 国内学会発表

1. 大矢志緒里, 宮川紗也, 菅原里花子, 杉山輝樹, 齋藤靖史 (2019) イネ種子サイズ形成に関わる CDK インヒビターの機能解析. 第 14 回東北育種研究集会.
2. 西方千佳, 東海林愛美, 齋藤靖史 (2019) ゲノム編集技術を利用したイネ種子形成における OsSub53, OsSub63 の機能解析. 第 14 回東北育種研究集会.
3. 田村 健, 和泉宏彰, 齋藤靖史 (2019) シロツメクサの複葉形成に関わる *LFY* 遺伝子の機能解析の試み. 第 14 回東北育種研究集会.
4. 和泉宏彰, 田村 健, 齋藤靖史 (2019) ゲノム編集によるシロツメクサ SLM1 遺伝子の複葉形成に関わる機能解析の試み. 第 14 回東北育種研究集会.
5. 小林紗霧, 田村 健, 齋藤靖史 (2019) シロツ

メクサの複葉形成に関わる *PALMI* 遺伝子の機能解析の試み . 第 14 回東北育種研究集会 .

- 6 . 中谷友紀, 中村啓哉, 安野 航, 若井 淳, 齋藤靖史, 松原和衛 (2019) 始原生殖細胞の血管新生能力 . 第 57 回東北生殖医学会総会・学術講演会 .
- 7 . 西方千佳, 東海林愛美, 齋藤靖史 (2020) ゲノム編集におけるイネ種子形成での *OsSub53*, *OsSub63* の機能解析 . 日本育種学会第 137 回講演会 .
- 8 . 和泉宏彬, 田村 健, 齋藤靖史 (2020) ゲノム編集によるシロツメクサ *SLM1* 遺伝子の複葉形成に関わる機能解析の試み . 日本育種学会第 137 回講演会 .

鈴木 雄 二

Suzuki, Yuji



赴任 : 2017年

現職 : 准教授

学位 : 博士 (農学) (東北大学)

専門分野 : 植物栄養生理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動 :

- 1 . 維管束植物の光合成機能の改良
- 2 . 維管束植物の光合成機能の形成メカニズムの解明

担当科目 :

- 1 . 植物栄養生理学 (2 年次)
- 2 . 基礎分析化学 (2 年次, 分担)
- 3 . 植物栄養学実験 (2 年次)
- 4 . 植物栄養学・肥料学 (3 年次)
- 5 . 植物栄養生理学特論 (大学院修士)

所属学会等 : 日本土壤肥料学会, 日本植物生理学会

学会賞等 : 日本土壤肥料学会 SSPN award (2005年), 日本土壤肥料学会奨励賞 (2012年)

その他の主な活動 : 日本土壤肥料学会英文誌 *Soil Science and Plant Nutrition* 編集委員, 日本土壤肥料学会第 4 部門副部門長, 日本土壤肥料学会東北支部代議員, JA 全農いわて特別栽培農産物認証審査委員会委員長

研究業績

#### A . 原著論文

##### (a) 学術雑誌

- 1 . Wada, S., Suzuki, Y., Takagi, D., Miyake, C. and Makino, A. (2019) Responses of the photosynthetic electron transport reactions stimulate the oxidation of the reaction center chlorophyll of photosystem

I, P700, under drought and high temperatures in rice. *Int. J. Mol. Sci.* 20 : article number 2068.

- 2 . Kadota, K., Furutani, R., Makino, A., Suzuki, Y., Wada, S. and Miyake, C. (2019) Oxidation of P700 induces alternative electron flow in photosystem I in wheat leaves *Plants* 8 : article number 152.
- 3 . Miyazawa, S.-I., Tobita, H., Ujino-Ihara, T. and Suzuki, Y. (2020) Oxygen response of leaf CO<sub>2</sub> compensation points used to determine Rubisco specificity factors of gymnosperm species. *J. Plant. Res.* 133 : 205-215.
- 4 . Yoon, D.-K., Ishiyama, K., Suganami, M., Tazoe, Y., Watanabe, M., Imaruoka, S., Ogura, M., Ishida, H., Suzuki, Y., Obara, M., Mae, T. and Makino, A. (2020) Transgenic rice overproducing Rubisco exhibits increased yields with improved nitrogen-use efficiency in an experimental paddy field. *Nat. Food* 1 : 134-139.
- 5 . Suganami, M., Suzuki, Y., Kondo, E., Nishida, S., Konno, S. and Makino, A. (2020) Effects of overproduction of Rubisco activase on Rubisco content in transgenic rice grown at different N levels. *Int. J. Mol. Sci.* 21 : article number 1626.
- 6 . Wada, S., Suzuki, Y. and Miyake, C. (2020) Photorespiration enhances acidification of the thylakoid lumen, reduces the plastoquinone pool, and contributes to the oxidation of P700 at a lower partial pressure of CO<sub>2</sub> in wheat leaves. *Plants* 9 : article number 319.

#### B . 国際学会発表

- 1 . Takagi, D., Tazoe, Y., Suganami, M., Ueda, A., Suzuki, Y. and Makino, A. (2019) Phosphorus toxicity decreases both electron sink activity and anti-oxidative activity in rice leaves. 10th Int. Conf. Photosynth. Hydrogen Energy Res. Sustainability, Saint Petersburg.

#### C . 国内学会発表

- 1 . 尹 棟敬, 石山敬貴, 菅波真央, 香川昂亮, 渡邊まり, 伊丸岡芹菜, 小倉真紀, 田副雄士, 石田宏幸, 鈴木雄二, 小原実広, 前 忠彦, 牧野 周 (2019) 遺伝子組換え隔離ほ場における Rubisco 過剰生産イネのバイオマス生産, 窒素利用および収量解析 . 日本土壤肥料学会講演要旨集第 65 集 : 42 .
- 2 . 高木大輔, 田副雄士, 菅波真央, 上田晃弘, 鈴木雄二, 牧野 周 (2019) イネ生葉における過剰

なリン酸蓄積が枯死を引き起こすメカニズムの  
解明 .日本土壌肥料学会講演要旨集第 65 集:43 .

3. 鈴木雄二, 和田慎也, 高木大輔, 三宅親弘, 牧野周 (2019) 高温条件下で水ストレスを受けたイネにおける光合成電子伝達反応の応答と光化学系 I 反応中心クロロフィル P700 の酸化促進 . 日本土壌肥料学会講演要旨集第 65 集 : 54 .
4. 和田慎也, 三宅親弘, 牧野 周, 鈴木雄二 (2019) イネにおける Rubisco の特異的増減が水ストレスへの感受性に及ぼす影響 . 日本土壌肥料学会講演要旨集第 65 集 : 54 .
5. 菅波真央, 鈴木雄二, 田副雄士, 牧野 周 (2020) Rubisco と Rubisco activase の同時過剰生産がイネの光合成に与える影響 . 61th Annu. Meeting Jpn. Soc. Plant Physiol. : 343 .
6. 尹 棟敬, 石山敬貴, 菅波真央, 香川昂亮, 渡邊まり, 伊丸岡芹菜, 小倉真紀, 田副雄士, 石田宏幸, 鈴木雄二, 小原実広, 前 忠彦, 牧野 周 (2020) 遺伝子組換え作物隔離ほ場における Rubisco 過剰生産イネの 4 年間の収量試験評価 61th Annu. Meeting Jpn. Soc. Plant Physiol. : 344 .
7. 鈴木雄二, 和田慎也, 三宅親弘, 牧野 周 (2020) Rubisco 量の抑制はイネの水ストレス耐性を低下させる . 61th Annu. Meeting Jpn. Soc. Plant Physiol. : 581 .
8. 菅波真央, 鈴木雄二, 田副雄士, 牧野 周 (2020) イネにおける Rubisco と Rubisco activase の同時過剰生産が光合成に与える影響 . 第 249 回日本作物学会講演会要旨集 : 96 .

#### D . その他

1. 鈴木雄二, 小林 優, 小林佑理子, 大津 (大鎌) 直子, 伊福健太郎, 三宅親弘 (2019) 作物生産における酸化ストレス・障害機構, 耐性機構, 危険予知による回避 . 日本土壌肥料学雑誌 90 : 273-278 .

## 立石 貴 浩

Tateisi, Takahiro



赴任 : 2002年

現職 : 准教授

学位 : 博士 ( 学術 ) ( 広島大学 )

専門分野 : 土壌学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動 :

1. 土壌微生物の機能を利用した土壌修復や生態系保全に関する研究

担当科目 :

1. 生命のしくみ ( 教養教育科目 , 分担 )
2. 廃棄物と環境 ( 教養教育科目 , 分担 )
3. 基礎ゼミ ( 1 年次 , 分担 )
4. 土壌資源利用論 ( 2 年次 )
5. 基礎分析化学 ( 2 年次 , 分担 )
6. 分析化学実験 ( 2 年次 )
7. 土壌環境微生物学・生化学 ( 3 年次 )
8. 応用生物化学演習 , ( 3・4 年次 , 分担 )
9. 環境土壌学特論 ( 大学院修士 )
10. 次世代農学特論 ( 大学院修士 , 分担 )

所属学会等 : 日本土壌肥料学会 , 日本土壌微生物学会 , 日本微生物生態学会 , 日本菌学会 , 応用森林学会 , 園芸学会 , 土木学会

研究業績

#### A . 原著論文

##### (a) プロシーディングス

1. 立石貴浩, 門間 眸, 颯田尚哉, 石川奈緒, 築城幹典 (2019) 森林生態系の堆積腐植層における土壌微生物バイオマスのセシウム保持について . 第25回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会講演集 25:206-211 .
2. 颯田尚哉, 立石貴浩, 外館咲希, 千葉大輔 (2019) 大規模不法投棄現場東側の地下水水質変動と浄化に関する検討 . 第25回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会講演集 25: 253-258 .

#### B . 国内学会発表

1. 立石貴浩, 刈屋静穂, 前田武己 (2019) 堆肥製造過程でのアンモニア菌 *Coprinopsis cinerea* の接種が窒素成分の改善と施肥土壌での窒素可給性に及ぼす効果 . 日本土壌微生物学会2019年度大会講演要旨集 : 62 .
2. 立石貴浩, 渡邊智江, 颯田尚哉 (2019) 黒ボク土による臭素酸の吸着および還元的作用が植物の成長に及ぼす影響 . 日本土壌肥料学会2019年度静岡大会講演要旨集 : 140 .
3. 皆川知華, 前田武己, 立石貴浩 (2019) 家畜排せつ物由来バイオ炭に含まれる無機成分の酸溶液への溶出特性 . 2019年農業食料工学会・農業施設学会・国際農業工学会第6部会合同国際大会 : 103 .
4. 立石貴浩, 門間 眸, 颯田尚哉, 石川奈緒, 築城幹典 (2019) 森林生態系の堆積腐植層における土壌微生物バイオマスのセシウム保持について .

第25回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する  
研究集会講演集 25 : 206-211 .

- 5 . 颯田尚哉 , 立石貴浩 , 外館咲希 , 千葉大輔 (2019)  
大規模不法投棄現場東側の地下水水質変動と浄  
化に関する検討 . 第25回地下水・土壌汚染とその  
防止対策に関する研究集会講演集 25 : 253-258 .

宮 崎 雅 雄

Miyazaki, Masao



赴任 : 2012年

現職 : 准教授

学位 : 博士 (農学) (岩手大学)

専門分野 : 生化学 , 分析化学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動 :

- 1 . ネコにおいてフェロモンを介した嗅覚コミュニ  
ケーションの分子基盤解明
- 2 . ネコの腎臓病バイオマーカー開発
- 3 . 先端的な香気成分の分析法開発

担当科目 :

- 1 . 機器分析化学 (3年次 , 分担)
- 2 . 分子生体機能学 (3年次)
- 3 . 生化学実験 (3年次)
- 4 . 応用生物化学演習 (4年次)
- 5 . 基礎ゼミナール (1年次 , 分担)
- 6 . 酵素化学特論 (大学院農学研究科 , 分担)
- 7 . 生化学特論 (大学院農学研究科)
- 8 . 化学入門 (1年次)

所属学会等 : 日本生化学会 , 日本味と匂学会 ,  
International Society of Chemical Ecology

学会賞等 : 日本獣医学会奨励賞 , ひらめきときめきサ  
イエンス推進賞

研究業績

#### A . 原著論文

##### (a) 学術雑誌

- 1 . Suzuki, C., Miyazaki, T., Yamashita, T., and  
Miyazaki, M. (2019) GC×GC-MS-based volatile  
profiling of domestic cat urine and the olfactory  
abilities of cats to discriminate temporal changes  
and individual differences in urine. *J. Chem. Ecol.*  
45:579-587.
- 2 . Katayama, M., Miyazaki, T., Ohata, K., Oikawa,  
T., Kamiie, J., Sugaya, T. and Miyazaki, M.  
(2019) Temporal changes of urinary excretion of  
liver-type fatty acid binding protein (L-FABP)  
in acute kidney injury model of domestic cats:

Preliminary Study. *J. Vet. Med. Sci.* 81:1868-1872.

- 3 . Uenoyama, R., Miyazaki, M., Konno, H. and  
Yamashita, T. (2019) LC-ESI-MS/MS quantification  
of balenine, anserine, and carnosine using triple-  
quadrupole mass spectrometer in the muscle of  
animals. *J. Chromatogr. B.* 1132, 21826.
- 4 . Katayama, M., Ohata, K., Miyazaki, T., Katayama,  
R., Wakamatsu, N., Ohno, M., Yamashita, T.,  
Oikawa, T., Sugaya, T. and Miyazaki, M. (2020)  
Renal expression and urinary excretion of liver-  
type fatty acid-binding protein (L-FABP) in cats  
with renal diseases. *J. Vet. Int. Med.* 34 : 761-  
769.
- 5 . 宮崎雅雄 (2019) 香りと農業 スマートに向か  
って 動物分泌物において獣害を防ぐ技術開発 .  
*Aroma Research* 20(2) 132-136.
- 6 . Miyazaki, M., Toisawa, M., Kita, J., Kinoshita,  
M. and Yamashita, T. (2019) An innovative  
technology to identify key odorants from mixtures  
of volatile compounds. 2019 IEEE International  
Symposium on Olfaction and Electronic Nose  
(ISOEN). DOI: 10.1109/ISOEN.2019.8823512.

#### B . 国際学会発表

- 1 . Uenoyama, R., Katayama, R., Miyazaki, T., Adachi,  
M., Yamashita, T., Kaneko, S., Nishikawa, T. and  
Miyazaki, M. (2020) The neuronal system for  
euphoria is important for the matatabi-response in  
cat International Symposium on “Environmental  
Response Mechanisms in Plants and Animals”.
- 2 . Miura, M., Nakajima, O., Yamashita, T. and Miyazaki,  
M. (2020) Analysis of transgenic mice upregulating  
the feline pathway for downregulating the cholesterol  
biosynthesis in cats. International Symposium on  
“Environmental Response Mechanisms in Plants  
and Animals”.
- 3 . Sato, R., Yamashita, T., and Miyazaki, M. (2020)  
Chemical compositions of lipid droplets accumulated  
in proximal convoluted tubular epithelial cells  
of domestic cats. International Symposium on  
“Environmental Response Mechanisms in Plants  
and Animals”
- 4 . Ohno, M., Miyazaki, M., and Yamashita, T. (2020)  
Enzymatic functions of acidic mammalian chitinase  
in the mouse stomach. International Symposium on  
“Environmental Response Mechanisms in Plants  
and Animals”

5. Miyazaki, T., Okada, K., Yamashita, T., Miyazaki, M. (2020) Serum metabolomics of neonatal calves before and after first colostrum ingestion. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”.
6. Katayama, M., Ohata, K., Miyazaki, T., Katayama, R., Wakamatsu, N., Ohno, M., Yamashita, T., Oikawa, T., Sugaya, T. and Miyazaki, M. (2020) Liver-type fatty acid-binding protein (L-FABP) expressed in kidney and excreted into urine in cats with kidney disease. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”.
- C. 国内学会発表
1. 三浦舞音, 片山理恵子, 山下哲郎, 宮崎雅雄 (2019) コレステロール生合成抑制経路を亢進させたネコ型マウスの作成. 日本生化学会東北支部第 86 回例会.
2. 上野山怜子, 宮崎雅雄, 東海林由憲, 今野博行, 山下哲郎 (2019) トリプル四重極質量分析計を用いた筋肉組織中のイミダゾールジペプチド(カルノシン, アンセリン, バレニン)の LC-ESI-MS/MS 定量系の確立. 日本生化学会東北支部第 86 回例会.
3. 大宮 萌, 上野山怜子, 安立昌篤, 片山理恵子, 宮崎珠子, 山下哲郎, 西川俊夫, 宮崎雅雄 (2019) マタタビ活性物質に対するネコの嗅覚受容機構の解明. 日本生化学会東北支部第 86 回例会.
4. 佐藤龍之介, 山下哲郎, 宮崎雅雄 (2019) ネコの近位曲尿管に生理的に蓄積する脂肪滴の組成解析. 日本生化学会東北支部第 86 回例会.
5. 上野山怜子, 安立昌篤, 金子周司, 西川俊夫, 宮崎雅雄 (2019) ネコにおけるマタタビ反応の行動基盤と生理的な意義の解明. 新学術領域研究(研究領域提案型)「化学コミュニケーションのフロンティア」第 5 回公開シンポジウム.
6. 上野山怜子, 片山理恵子, 宮崎珠子, 安立昌篤, 金子周司, 山下哲郎, 西川俊夫, 宮崎雅雄 (2019) ネコのマタタビ反応を誘起する神経系と生理的意義の解明. 日本味と匂学会第 53 回大会.
7. 三浦舞音, 片山理恵子, 山下哲郎, 宮崎雅雄 (2019) コレステロール生合成抑制経路を亢進させたネコ型マウスの表現型解析. 第 92 回日本生化学会大会.
8. 長田悠佳, 上野山怜子, 大野美紗, 岸田拓士, 宮崎雅雄, 山下哲郎 (2019) ほ乳類におけるイミダゾールジペプチド合成酵素の同定. 第 92 回日本生化学会大会.
9. 大野美紗, 宮崎雅雄, 木村将大, 坂口政吉, 小山文隆, 山下哲郎 (2019) ほ乳類におけるイミダゾールジペプチド合成酵素の同定. 第 92 回日本生化学会大会.
10. 大野美紗, 宮崎雅雄, 木村将大, 坂口政吉, 小山文隆, 山下哲郎 (2019) 組換えマウスジ-N-アセチルキトピアゼの性質解析. 日本農芸化学会東北支部第 154 回大会.
11. 宮崎珠子, 宮崎雅雄, 山下哲郎, 岡田啓司 (2019) 電解質による生乳の希釈が哺乳子牛の第四胃カード形成に及ぼす影響. 日本家畜臨床学会第 50 回学術集会.
12. 宮崎雅雄 (2019) ネコ腎臓に蓄積する脂肪滴の正体. 第 162 回日本獣医学会学術集会獣医解剖分科会シンポジウム(招待講演).
13. 宮崎雅雄 (2019) ネコにまたたび反応を誘起する新規活性物質の同定と嗅覚受容体機構に関する新知見. 日本におけるケミカルバイオロジーの新展開 第 189 委員会主催(招待講演).
14. 三浦舞音, 山下哲郎, 宮崎雅雄 (2019) ネコの排泄物に種や性の情報を付加する嗅覚シグナルの同定とその生合成機構. 第 38 回日本動物行動学会大会.
15. 上野山怜子, 室岡孝信, 安立昌篤, 片山理恵子, 宮崎珠子, 山下哲郎, 西川俊夫, 宮崎雅雄 (2019) ネコにマタタビ反応を誘起する新たな生理活性物質の同定. 第 38 回日本動物行動学会大会.
16. 上野山怜子, 安立昌篤, 金子周司, 西川俊夫, 宮崎雅雄 (2019) ネコにおけるマタタビ反応の発動メカニズムと生理的意義の解明. 新学術領域研究(研究領域提案型)「化学コミュニケーションのフロンティア」第 6 回公開シンポジウム.
17. 宮崎雅雄 (2019) Identification of feline pheromone and individual recognition signals and potential use of them for manipulating the behavior of free-roaming cats. 本比較生理生化学会 2019 年度大会, 大会シンポジウム「多様なアプローチによる嗅覚研究とその応用展開」(招待講演).
18. 上野山怜子, 片山理恵子, 宮崎珠子, 安立昌篤, 山下哲郎, 西川俊夫, 新村芳人, 二階堂雅人, 宮崎雅雄 (2019) なぜネコはマタタビに反応するのか? マタタビ活性物質の分子標的の同定と生理的意義の解明. 2019 年度「先進ゲノム支援」拡大班会議.

山田 美和  
Yamada, Miwa



赴任：2011年

現職：准教授

学位：博士（工）（北海道大学）

専門分野：応用微生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 微生物による有用物質生産

担当科目：

1. 化学入門（1年次，分担）
2. 基礎ゼミナール（1年次，分担）
3. 生命のしくみ（1年次，分担）
4. 微生物学概論（2年次）
5. 微生物学実験（3年次）
6. 微生物生理学（3年次）
7. 応用生物化学演習，（3・4年次，分担）
8. 産業微生物学特論（大学院農学研究科）
9. 先端生命科学特論（大学院修士，分担）

所属学会等：農芸化学会，生物工学会

学会賞等：北海道大学大塚賞（2010年），第27回井上研究奨励賞（2011年），第13回天野エンザイム酵素応用シンポジウム研究奨励賞（2012年），第1回農芸化学若手女性研究者賞（2017年），平成30年度岩手県三陸海域研究論文岩手県知事賞（2018年），2020年度長瀬研究振興賞（2020年）

その他の主な活動：日本農芸化学会和文誌「化学と生物」編集委員

研究業績

#### A. 著書・訳書

1. Isobe, K. and Yamada, M. (分担執筆) (2019)  $\beta$ -Galactosidases from an Acidophilic Fungus, *Teratosphaeria acidotherma* AIU BGA-1. "Fungi in Extreme Environments: Ecological Role and Biotechnological Significance" Springer, Berlin, pp. 419-440.
2. 田口精一，山田美和(分担執筆) (2019) オリゴマーが鍵：バイオプラスチックの生合成と生分解。「生分解プラスチックの素材・開発技術 海洋プラスチック汚染問題を見据えて」(望月政嗣監修)株式会社エヌ・ティー・エス，東京，pp. 177-18.

#### B. 総説・論説

1. 山田美和(2019) 海藻成分を原料とした生分解性プラスチックの微生物合成. 月刊プラスチック

又，70：15-19.

#### C. 特許・設計等

1. 山田美和，松本 晶，森谷大樹，滝田祐人，河合盛進，鈴木宏昭(2019) 海藻を原料とする生分解性プラスチックの製造方法 特願 2019-218487.

#### D. 国際学会発表

1. Matsumoto, A., Moriya, H., Takita, Y., Kawai, S-J., Suzuki, H. and Yamada, M. (2020) Microbial production of bioplastic from brown seaweeds. Environmental mechanisms in Plants and Animals, Morioka.
2. Takashima, D., Maeda, W., Tsuchiya, T., Shintani, T., Gomi, K. and Yamada, M. (2020) Cloning and heterologous expression of protein-oxidizing enzyme gene from *Penicillium citrinum* AIU Z26-4-8. Environmental mechanisms in Plants and Animals, Morioka.
3. Kanno, K., Nishikawa, N., Sawasato, K., Yamada, M. and Nishiyama, K. (2020) Reconstitution of the TAT (Twin-Arginine Translocation) pathway that depends on both TatABC and glycolipid MPlase. International Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals", Iwate University, Morioka.

#### E. 国内学会発表

1. 高嶋大輝，前田 航，土屋高伸，新谷智子，五味勝也，下飯 仁，山田美和(2019) タンパク質酸化能を有する *Penicillium citrinum* AIU Z26-4-8 由来オキシダーゼ遺伝子のクローニングと異宿主による発現検討. 第71回日本生物工学会大会講演要旨：197.
2. 金濱 晶，西向めぐみ，柏木明子，杉森大助，山田美和(2019) 偏性嫌気性菌 *Selenomonas ruminantium* の大量培養条件検討とエーテル型リン脂質の合成. 日本農芸化学会東北支部 第154回大会講演要旨：33.
3. 滝田祐人，森谷大樹，河合盛進，鈴木宏昭，山田美和(2020) アルギン酸を単一炭素源としたポリ(3-ヒドロキシブタン酸)の微生物合成. 日本農芸化学会2020年度大会講演要旨：3C02p06.
4. 金濱 晶，柏木明子，山田美和，西向めぐみ(2020) ラットにおける *Selenomonas ruminantium* 由来プラスマローゲンのリンパ吸収動態. 日本農芸化学会2020年度大会講演要旨：2A03a04.
5. 外村彩夏，森上佳衣子，橘 弘一郎，山田美和，本田正義，阿部英喜，下田誠也(2020) ナイロ

- ン4分解菌の単離とその分解性評価 .日本農芸化学会 2020 年度大会講演要旨 : 3C01p15 .
- 6 . 山田美和 (2020) 微生物の力を利用したバイオプラスチック合成と分解の新たな技術構築を目指して .日本農芸化学会 2020 年度大会講演要旨 : 3SYa2-4 .
  - 7 . 西川華子, 菅野琴華, 沢里克宏, 山田美和, 菊池慶実, 西山賢一 (2019) 糖脂質酵素 MPIase は TAT 膜透過反応に必須の因子である . 第 16 回 21 世紀大腸菌研究会, 琵琶湖ホテル, 滋賀県大津市 .
  - 8 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 基質の膜へのターゲティングに関与する . 第 16 回 21 世紀大腸菌研究会, 琵琶湖ホテル, 滋賀県大津市 .
  - 9 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 経路における基質の膜へのターゲティングに関与する . 第 92 回日本生化学会大会, パシフィコ横浜, 横浜市 .
  - 10 . 西川華子, 菅野琴華, 沢里克宏, 山田美和, 菊池慶実, 西山賢一 (2019) 糖脂質 MPIase を用いた TAT 膜透過反応の再構成 . 第 14 回無細胞生命科学研究会, マホロバ・マインズ三浦, 神奈川県三浦市 .
  - 11 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) TAT (Twin-Arginine Translocation) 経路において MPIase は基質の膜へのターゲティングに関与する . 日本農芸化学会東北支部 第 154 大会, 弘前大学, 青森県弘前市 .
  - 12 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2019) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 経路における基質の細胞質膜へのターゲティングに関与する . 第 42 回日本分子生物学会年会, 福岡国際会議場, 福岡市 .
  - 13 . 西川華子, 菅野琴華, 沢里克宏, 山田美和, 菊池慶実, 西山賢一 (2020) TAT タンパク質膜透過の再構成 . 第 2 回細胞形成研究会, 岩手大学, 盛岡市 .
  - 14 . 菅野琴華, 西川華子, 沢里克宏, 山田美和, 西山賢一 (2020) MPIase は TAT (Twin-Arginine Translocation) 膜透過反応に必須である . 第 2 回細胞形成研究会, 岩手大学, 盛岡市 .

大野美紗



Ohno, Misa

赴任 : 2016年

現職 : 助教

学位 : 博士 (工学) (工学院大学)

専門分野 : 生物化学, 分子生物学, ケミカルバイオロジー

主な研究テーマ及び主な教育研究活動 :

- 1 . 食材, 植物, 微生物などの天然資源からの生物活性物質の探索とその作用メカニズムの解析

担当科目 :

- 1 . 生命のしくみ (1年次, 分担)
- 2 . 分子生物学実験 (3年次)

所属学会等 : 日本キチン・キトサン学会, 日本農芸化学会, 日本生化学会

研究業績

A . 原著論文

(a) 学術雑誌

- 1 . Katayama, M., Ohata, K., Miyazaki, T., Katayama, R., Wakamatsu, N., Ohno, M., Yamashita, T., Oikawa, T., Sugaya, T., Miyazaki, M. (2020) Renal expression and urinary excretion of liver-type fatty acid-binding protein (L-FABP) in cats with renal diseases. *J Vet Intern Med.* 34, 761-769.

B . 国際学会発表

- 1 . Ohno, M., Miyazaki, M., Yamashita, T. (2020) Enzymatic functions of acidic mammalian chitinase in the mouse stomach. International Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals", Iwate.
- 2 . Katayama, M., Ohata, M., Miyazaki, T., Katayama, R., Wakamatsu, N., Ohno, M., Yamashita, T., Oikawa, T., Sugaya, T., Miyazaki, M. (2020) Liver-type fatty acid-binding protein (L-FABP) expressed in kidney and excreted into urine in cats with kidney disease. International Symposium on "Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals", Iwate.

C . 国内学会発表

- 1 . 大野美紗, 宮崎雅雄, 木村将大, 坂口政吉, 小山文隆, 山下哲郎 (2019) 組換えマウスジ-N-アセチルキトビアーゼの性質解析 . 日本農芸化学会東北支部 第 154 回大会要旨集 : A-14 .
- 2 . 大野美紗, 柏木明子 (2019) ネコキトビアーゼの発現と機能解析 . 北東北女性研究者 研究・交流フェア 2019 要旨集 : J-25 .

3. 大野美紗, 宮崎雅雄, 木村将大, 坂口政吉, 小  
文隆, 山下哲郎 (2019) マウスにおけるジ-*N*-  
アセチルキトビアーゼの発現解析と酵素の性質  
解析. 第 92 回日本生化学会大会プログラム集:  
2T17a-03.
4. 大野美紗 (2019) マウス di-*N*-acetylchitobiase の  
発現と酵素としての特性解析. 日本生化学会東北  
支部 第 85 回例会・シンポジウム要旨集: 0-12.
5. 長田悠佳, 上野山怜子, 大野美紗, 岸田拓士, 宮  
崎雅雄, 山下哲郎 (2019) ほ乳類におけるイミ  
ダゾールジペプチド合成酵素の同定. 第 92 回日  
本生化学会大会プログラム集: 3P-120.

### (3) 森林科学科



井良沢 道也  
Irasawa, Michiya



赴任：2001年

現職：教授

学位：博士（学術）

専門分野：砂防学，森林水文・雪氷防災学，緑化学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 流域における土砂の動態解明及び砂防対策手法に関する研究
2. 溪流環境の保全と創出に関する研究
3. 山地における水文循環特性の解明

担当科目：

1. 砂防学（3年次）
2. 砂防学実習（3年次）
3. 流域保全学（3年次，分担）
4. 森林・雪氷水文学（2年次）
5. 環境緑化学（2年次）
6. 共生環境入門（1年次，分担）
7. 基礎キャリア形成ゼミ（1年次，分担）
8. 地学入門（1年次，分担）
9. 流域管理学特論（大学院修士）
10. 地域の環境を考える（1年次）
11. 森林と人間（2年次）

所属学会等：砂防学会員（理事），緑化学会員，地すべり学会員（東北支部幹事）土木学会員，災害情報学会員，日本雪氷学会員（北東北支部理事），日本雪工学会員（理事），東北森林科学会員，水文水資源学会員（学会誌編集委員会委員），日本自然災害学会員

その他の主な活動：岩手県国土利用計画審議会委員，福島県金山町小栗山地区土砂災害対策委員会委員長，青森県森林土木工事総合評価審査員，岩手県土砂災害発生避難基準検討委員会委員長，宮城県総合土砂災害検討委員会委員長，岩手県Cライン検討委員会委員長，岩手ブロック公共工事総合評価委員会委員，岩手火山災害対策検討委員会委員，国土交通省岩手工務事務所 岩手山直轄砂防事業環境調査検討会委員，（財）砂防水理模型実験検討委員会委員，東北地域環境計画研究会会員，岩手技術士会員，（独）防災科学技術研究所雪氷防災実験棟運用委員会委員，（財）道路保全技術センター道路防災ドクター，（社）雪センター「雪センターTC制度」メンバー，福島県福島県公共事業評価委員会委員

小藤田 久義  
Kofujita, Hisayoshi



赴任：1994年

現職：教授

学位：博士（農学）（愛媛大学）

専門分野：木材化学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 樹木芳香族成分の生分解
2. 樹木抽出成分の分析と機能開発

担当科目：

1. 森林科学入門（1年次，分担）
2. 化学入門（1年次，分担）
3. 森林科学基礎演習（1年次，代表担当）
4. 森林と環境（1年次，代表担当）
5. 森林科学研修（2年次，分担）
6. 林産化学（2年次）
7. 森林バイオマスの成分利用（3年次）
8. 森林化学演習（3年次）
9. 森林資源化学特論（大学院修士）

所属学会等：日本木材学会，紙パルプ技術協会，日本農芸化学会，リグニン学会，日本アロマセラピー学会，東北森林科学会（理事）

その他の主な活動：盛岡市クリーンセンター公害監視委員会委員

研究業績

#### A. 原著論文

1. Tsujimura, M., Goto, M., Tsuji, M., Yamaji, Y., Ashitani, T., Kimura, K., Ohira, T. and Kofujita, H. (2019) Isolation of diterpenoids from sugi wood-drying byproducts and their bioactivities. Journal of Wood Science 65 : 19.

#### B. 国内学会発表等

1. 田中文悠，若林篤光，小藤田久義（2019）針葉樹揮発成分の抗アルツハイマー病作用．第2回抽出成分討論会（シンポジウム）発表要旨集：15．
2. 近江翔太，小藤田久義，塚本 匡，大石好行，芝崎祐二（2019）ポリアルプチンとウシ血清アルブミンとの相互作用～相互作用機構の解明～．第60回高分子討論会：Polymer Preprint Japan, Vol. 68 (2) 2019 1Pc035.
3. 片寄芳紀，吉田かさね，小藤田久義（2020）スギ樹皮の複相抽出処理による有用成分の分離回収．第70回日本木材学会大会講演要旨集：M17-P3-12．

## 関野 登

Sekino, Noboru



赴任：1984年

現職：教授

学位：農学博士（東京大学）

専門分野：木質材料学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 木質材料の接着耐久性の評価
2. 木質系断熱材の開発と性能評価
3. 木質バイオマスの利用技術の開発

担当科目：

1. 森林と環境（全学1年次，分担）
2. 森林科学入門（1年次，分担）
3. 森林科学基礎演習（1年次，分担）
4. 木材と住宅（2年次）
5. 木材工学（3年次）
6. 木材工学演習（3年次）
7. 木質資源工学特論（大学院修士）
8. グローバル環境科学特論（大学院修士，分担）

所属学会等：日本木材学会，日本木材加工技術協会（木質ボード部会・部会長），木質炭化学会

その他の主な活動：「木を勉強する会（木勉会）」代表幹事，「いわて木材利用優良施設コンクール」審査員，岩手県産木材等利用促進計画策定検討委員会（委員長），環境省環境研究総合推進費2-1906アドバイザー

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 関野 登(2019) 東日本大震災で大学はどう動いたか【2】復興支援と研究・教育の取り組み. 第4章第2節 震災木くずのリサイクル・復興ボードの生産・活用の支援. 岩手大学復興活動記録誌編集委員会編, pp.152-160, 古今書院(10月19日初版発行) ISBN978-4-7722-7150-9.
2. 八代 仁, 関野 登(分担執筆)(2019) 東日本大震災で大学はどう動いたか【1】地震発生から現在までの記録. 第5章第6節 大学院総合科学研究科地域創生専攻の設置(2017.4), 岩手大学復興活動記録誌編集委員会編, pp.260-263, 古今書院(10月19日初版発行) ISBN978-4-7722-7149-3.

### B. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 関野 登, 姜 卓秋(2019) 炭化による木材の熱伝導率の変化とそのメカニズム. 木質炭化学会

誌16(1), 13-23.

### C. 国内学会発表

1. 関野 登, 姜 卓秋, 日當和孝, 越戸 翔(2019) シイタケ廃菌床の材料利用の可能性(第1報)～菌床構造の変化とブロック状材料の採取～.(公社)日本木材加工技術協会第37回年次大会(広島), 講演要旨集:17-18(9/17-18, 広島大学).
2. 関野 登, 姜 卓秋(2020) シイタケ廃菌床の材料利用の可能性(第2報)～ブロック材料の採取歩留まり～.第70回日本木材学会大会(鳥取), 3月, 研究発表要旨集:55(I17-P2-03:ISSN 0549-3994).
3. 姜 卓秋, 関野 登(2020) シイタケ廃菌床の材料利用の可能性(第3報)～ブロック材料の密度範囲と機械的性質～.第70回日本木材学会大会(鳥取), 3月, 研究発表要旨集:55(I17-P2-06:ISSN 0549-3994).

## 立川 史郎

Tatsukawa, Shiro



赴任：1981年

現職：教授

学位：博士（農学）(東京農工大学)

専門分野：林業生産工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 未利用森林資源のエネルギー利用システム
2. 人工林の高蓄積化に対応した機械化作業システム
3. 日本における馬搬作業の分析と評価

担当科目：

1. 森林科学入門（1年次，分担）
2. 森林と環境（1年次，分担）
3. 森林測量学（2年次）
4. 森林測量学実習（2年次）
5. 林業生産工学（2年次）
6. 林業生産工学実習（3年次）
7. 科学英語（3年次，分担）
8. 森林科学応用演習（4年次）
9. 森林工学特論（大学院修士）

所属学会等：日本森林学会，森林利用学会（理事），東北森林科学会（副会長）

その他の主な活動：福島県公共事業評価委員会委員，東北森林管理局技術検討会委員，いわて林業アカデミー運営協議会委員（議長）

研究業績

### A. 国内学会発表

1. 羽柴考佳, 福井悠人, 齋藤仁志, 立川史郎, 澤口勇雄 (2019) 岩手県におけるホイールタイプハーベスタによる CTL 作業システムの生産性. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会講演要旨集.
2. 坂野昇平, 立川史郎, 齋藤仁志, 澤口勇雄 (2019) 日本における馬搬の現状と生産性の分析. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会講演要旨集.
3. 木村吉大, 羽柴考佳, 齋藤仁志, 立川史郎, 澤口勇雄 (2019) UAV を活用した将来木施業の管理手法の開発. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会講演要旨集.

真坂一彦  
Masaka, Kazuhiko



赴任：2017年

現職：教授

学位：博士（農学）（北海道大学）

専門分野：森林生態学, 造林学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 天然林の動態に関する研究
2. 海岸林の保全と管理に関する研究
3. 植物の性比配分戦略に関する研究
4. 養蜂を介した森林の生態系サービスに関する研究
5. 環境林造成および不成績要因に関する研究
6. 飛砂害史に関する研究

担当科目：

1. 森林造成学（3年次）
2. 森林造成学実習（3年次, 分担）
3. 科学英語（3年次, 分担）
4. 森林保護学（3年次, 分担）
5. 樹木学（2年次, 分担）
6. 樹木学実習（2年次, 分担）
7. 森林と環境（1年次, 分担）
8. 森林科学入門（1年次, 分担）
9. 森林造成学特論（大学院修士）

所属学会等：日本森林学会, 東北森林学会, 北方森林学会, 日本海岸林学会, 日本雪氷学会

学会賞等：日本森林学会奨励賞（2011年）

研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. 真坂一彦, 池田正治 (2019) 秋田県由利地方の砂丘荒廃地における西目浜集落の歴史とくに製塩に焦点をあてて. 海岸林学会誌 18:1-6.

2. 棚橋生子, 真坂一彦, 佐藤弘和, 福地 稔, 佐藤孝弘 (2019) 多雪地域の重粘土地におけるコバノヤマハンノキ植栽木の成長に及ぼす植栽基盤整備の効果. 日林誌 101:227-234.
  3. 真坂一彦, 佐藤 創, 福地 稔, 鳥田宏行, 阿部友幸, 岩崎健太, 佐藤弘和 (2019) 北海道におけるグイマツ海岸林の密度管理方法. 海岸林学会誌 18:29-34.
  4. Seiwa, K., Masaka, K., Konno, M. and Iwamoto, S. (2019) Role of seed size and relative abundance in conspecific negative distance-dependent seedling mortality for eight trees species in a temperate forest. For. Eco. Manag. 453:117537.
  5. Wulantuya, Masaka, K., Bayandala1, Fukasawa, Y., Matsukura, K. and Seiwa, K. (2020) Gap creation alters the mode of conspecific distance-dependent seedling establishment via changes in the relative influence of pathogens and mycorrhizae. Oecologia 192:449-462.
- B. 報告書・事業報告書
1. 真坂一彦, 脇田陽一, 佐藤孝弘 (2019) 乙部町における新規蜂場開設を目指した蜜源探索に関する研究. 令和元年度受託研究成果報告書(北海道乙部町), pp.1-18.
- C. 国際学会発表
1. Masaka, K. (2019) Management of forests to maximize ecosystem services with reference to SDGs. 岩手大学創立 70 周年記念事業「グローバル人材で未来創造」国際シンポジウム.
  2. Masaka, K. (2019) Ecological Services of forest: from agriculture to disaster prevention. Management of Land and Water Resources - Comparative Studies in Japan and Germany. Leibniz, Germany.
- D. 国内学会発表
1. 鳥田宏行, 岩崎健太, 真坂一彦, 根本征樹, 齋藤佳彦, 孫田 敏 (2019) 防雪林周辺に形成される吹きだまり分布. 雪氷研究大会.
  2. 鳥田宏行, 阿部友幸, 岩崎健太, 佐藤 創, 真坂一彦 (2019) カラマツの枝下高および枝下直径の推定. 第 68 回北方森林学会大会.
  3. 真坂一彦, 鳥田宏行 (2019) 健全で津波抵抗性の高い海岸林の管理に関する研究. 森林総合研究所東北支所 創立 60 周年記念シンポジウム.
  4. 岩崎健太, 鳥田宏行, 真坂一彦, 齋藤佳彦, 孫田敏, 根本征樹, 伊藤陽一 (2019) 防雪林における除伐・枝打ち施業が吹きだまり形状に及ぼす影

- 響・日本農業気象学会北海道支部大会。
5. 真坂一彦(2019) 森・ミツパチ・食のつながり  
～生物多様性と生態系サービス～. 日本生態学会  
東北地区会第64回大会 公開講演会。
  6. 真坂一彦(2020) 漆という樹木の特性～漆林の  
造成にむけて～. 【ミニシンポジウム】漆産業の  
未来を語ろう!～漆掻き伝統技術とサイエンス  
の融合を目指して～. 第230回木を勉強する会。
  7. 真坂一彦, 佐藤孝弘(2020) 北海道江差町にお  
けるヒバ天然林の27年間の動態. 第131回日本  
森林学会大会。
  8. 鳥田宏行, 阿部友幸, 岩崎健太, 佐藤 創, 石塚  
航, 真坂一彦(2020) 針葉樹の枝下高および枝  
下直径の推定. 第131回日本森林学会大会。
  9. 岩崎健太, 南光一樹, 中田康隆, 真坂一彦, 篠原  
慶規, 新田響平, 水永博己(2020) 石狩海岸林  
の樹高成長に及ぼす微地形の影響. 第131回日本  
森林学会大会。
  10. 阿部友幸, 長坂晶子, 岩崎健太, 鳥田宏行, 長坂  
有, 中田康隆, 蓮井 聡, 佐藤 創, 真坂一彦,  
滝谷美香(2020) 北海道十勝地方のカラマツ人  
工林の耐風性とその改善手法の検討. 第131回日  
本森林学会大会。

## 伊 藤 幸 男

Ito, Sachio



赴任: 1997年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(岩手大学)

専門分野: 森林政策, 木材産業論

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 木材の生産と消費に関する研究
2. 地域林業に関する研究
3. 森林政策に関する研究

担当科目:

1. 森林科学入門(1年次, 分担)
2. 森林と環境(1年次, 分担)
3. 情報基礎(1年次, 分担)
4. 林業・木材産業論(2年次)
5. 山村経済・地域おこし論(2年次, 分担)
6. 6次産業化論(2年次, 分担)
7. 地域マネジメント論(2年次, 分担)
8. 森林政策学(3年次)
9. 科学英語(3年次, 分担)
10. 海外・日本の林業(3年次, 分担)

11. 地域創生特論(修士, 分担)
  12. グローバルエネルギー特論(修士, 分担)
  13. 森林山村政策学特論(修士)
- 所属学会等: 日本森林学会, 林業経済学会, 東北森林  
科学会, 農村計画学会, 東日本林業経済研究会  
研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 高野 涼, 伊藤幸男, 山本信次, 泉谷眞実(2019)  
森林経営にかかわる山村住民の森林利用と意味  
付け・宮城県米川生産森林組合A参事の事例・  
日本森林学会誌 101(5): 214-220.

### B. その他

1. 伊藤幸男(2019) 持続可能な地域社会の形成  
と木質バイオマスの未来. グリーンエージNo.  
455: 7-10.
2. 伊藤幸男(2019) 「緑の雇用」世代へ転換する  
林業事業体・宮城県の事例. 森林組合 No.589:  
16-19.

### C. 国内学会発表

1. 伊藤幸男, 高野 涼, 滝沢裕子, タタウロワナデ  
ジダ(2020) 素材生産業者の燃料用素材の供給  
実態・岩手県の事例. 第131回日本森林学会大  
会学術講演集: 101.
2. Nadezhda Tataurova1, 伊藤幸男, 山本信次, 滝沢  
裕子(2020) ロシア連邦国立公園の管理実態と  
課題・沿バイカル国立公園を事例として. 第  
131回日本森林学会大会学術講演集: 201.
3. 滝沢裕子, 伊藤幸男, 山本信次, タタウロワナデ  
ジダ(2020) ドイツの林業請負事業体の実態・  
林業労働力の国際化に伴う認証制度の役割. 第  
131回日本森林学会大会学術講演集: 202.

## 國 崎 貴 嗣

Kunisaki, Takashi



赴任: 1997年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(九州大学)

専門分野: 森林計測学, 群落生態学, 森林計画学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 針葉樹人工林の広葉樹林化技術の開発
2. 手入れ不足な人工林の改善技術の開発
3. 天然更新の簡便な刈り払い技術の開発

担当科目:

1. 森林科学入門(1年次, 分担)

2. 基礎数学入門 (1年次)
3. 生物統計学 (1年次)
4. 微分積分学入門 (1年次)
5. 線形代数学入門 (1年次)
6. 森林計測学 (2年次)
7. 森林科学研修 (2年次, 分担)
8. 科学英語 (3年次, 分担)
9. 海外・日本の林業 (3年次)
10. 森林計測学実習 (3年次)
11. インターンシップ (3年次)
12. 森林計画学 (3年次)
13. データ分析演習 (3年次)
14. 森林科学応用演習 (3年次)
15. 森林科学応用演習 (4年次)
16. 教職実践演習 (4年次, 分担)

所属学会等：日本森林学会，日本生態学会，森林立地学会

学会賞等：森林計画学会黒岩菊郎記念研究奨励賞 (2011年3月)

その他の主な活動：日本森林学会英文誌(J. For. Res.)編集委員，いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員 (岩手県)，緑の雇用/フォレストリーダー研修講師 (岩手県林業労働対策基金)，フォレストリーダー研修 (森林整備フォローアップ) 講師 (宮城県林業労働力確保支援センター)，森林施業プランナー認定試験面接官 (森林施業プランナー協会)，令和元年度東北森林管理局技術開発委員会委員 (林野庁東北森林管理局)，令和元年度森林・林業技術交流発表会審査副委員長 (林野庁東北森林管理局)，令和元年度国立研究開発法人森林研究・整備機構東北地域評議会 (森林総合研究所東北支所)，宮城県石巻高等学校出前授業講師

研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Sugita, H., Nishio, Y., Takahashi, T., Kajimoto, T., Ichihara, Y. and Kunisaki, T. (2019) Regeneration process biased toward under-crown *Sasa*-lacking habitat of sparse *Abies mariesii* forest with dense undergrowth of dwarf bamboo on a snowy mountain, northern Japan. J. For. Res. 24: 178-186.

##### (b) 紀要

1. 國崎貴嗣，森 晴可 (2019) カラマツ人工林における初回林冠閉鎖前後の林分構造特性からみた混み合い度の基準. 岩大演報 50 : 17-25 .
2. 國崎貴嗣 (2019) アカマツ天然更新試験地にお

ける皆伐 20 年後の更新状況. 岩大演報 50 : 27-34 .

3. 國崎貴嗣 (2019) 広葉樹林筋残し刈り試験地の林分構造と樹種組成. 岩大演報 50 : 35-46 .

齋藤 仁志

Saito, Masashi



赴任：2019年

現職：准教授

学位：博士 (東京農工大学)

専門分野：森林工学

主なテーマ及び主な教育研究活動：

1. 森林路網の効率的配置に関する研究
2. 作業システムの効率化に関する研究
3. 情報化技術を用いた森林管理に関する研究

担当科目：

1. 森林測量学 (2年次)
2. 森林測量学実習 (2年次)
3. 林道工学 (3年次)
4. 林道工学実習 (3年次)
5. 森林科学入門 (1年次, 分担)
6. 林業生産工学特論 (大学院修士, 分担)

所属学会等：日本森林学会，東北森林学会，森林利用学会，森林計画学会

学会賞等：森林利用学会賞 (2013年)

その他の主な活動：長野県路網部会有識者会議委員，長野県森林資源部会有識者会議委員，長野県林業専用道審議委員，次世代架線系高性能林業機械等開発推進会議検討委員 (林野庁)，フォレストワーカー研修講師 (岩手県林業労働対策基金)，フォレストリーダー研修講師 (岩手県林業労働対策基金)，高知県林業大学校講師

研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Kazuhiro Aruga, Chikara Nakahata, Masashi Saito (2019) Numerical examination of the optimal bucking method to maximize profits applied in Nasu town. Tochigi Prefecture, Japan European Journal of Forest Engineering.
2. Chikara Nakahata, Kazuhiro Aruga, Masashi Saito, Uichi Hayashi (2019) Productivity and Cost of Clear-Cutting and Regeneration Operations with Small and Medium-Sized Forestry Machines in Utsunomiya City, Tochigi Prefecture, Japan, SMALL-

SCALE FORESTRY.

(b) プロシーディングス

1. Masashi Saito, Tokito Takezawa, Masaru Watanabe, Shirasawa Hiroaki, Tatsuhito Ueki (2019) INFLUENCE OF ENVIRONMENTAL FACTORS ON SEDIMENTARY SAND OF CROSS DRAIN IN OPERATION ROAD FORMEC 2019. Proceedings.
2. Masaru Watanabe, Masashi Saito, Hiroaki Shirasawa, Tatsuhito Ueki (2019) ESTIMATION OF FOREST ROAD NETWORK MAINTENANCE COST CONSIDERING COLLAPSE RISK: AN APPLICATION IN THE JAPAN MOUNTAINOUS REGION FORMEC 2019. Proceedings.

B. 国際学会発表

1. Masaru Watanabe, Masashi Saito, Hiroaki Shirasawa, Tatsuhito Ueki (2019) ESTIMATION OF FOREST ROAD NETWORK MAINTENANCE COST CONSIDERING COLLAPSE RISK: AN APPLICATION IN THE JAPAN MOUNTAINOUS REGION FORMEC 2019.
2. Masashi Saito, Tokito Takezawa, Masaru Watanabe, Shirasawa Hiroaki, Tatsuhito Ueki (2019) INFLUENCE OF ENVIRONMENTAL FACTORS ON SEDIMENTARY SAND OF CROSS DRAIN IN OPERATION ROAD FORMEC 2019.

C. 国内学会発表

1. 羽柴考佳, 福井悠人, 齋藤仁志, 立川史郎, 澤口勇雄 (2019) 岩手県におけるホイールタイプハーベスタによる CTL 作業システムの生産性. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会(口頭(一般)), 2019 年 12 月 15 日~2019 年 12 月 15 日.
2. 坂野昇平, 立川史郎, 齋藤仁志, 澤口勇雄 (2019) 日本における馬搬の現状と生産性の分析. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会(口頭(一般)), 2019 年 12 月 15 日~2019 年 12 月 15 日.
3. 木村吉大, 羽柴考佳, 齋藤仁志, 立川史郎, 澤口勇雄 (2019) UAV を活用した将来木施業の管理手法の開発. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会(口頭(一般)), 2019 年 12 月 15 日~2019 年 12 月 15 日.
4. 塚原美都, 齋藤仁志, 白澤紘明, 山崎敏彦, 植木達人 (2019) 立木情報を考慮した架設可能範囲の推定. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会(口頭(一般)), 2019 年 12 月 15 日~2019 年 12 月 15 日.
5. 渡部 優, 齋藤仁志, 白澤紘明, 植木達人, 戸田

堅一朗 (2019) 設置条件を考慮した林道災害復旧費予測モデルの構築に向けた検討. 森林利用学会第 26 回学術研究発表会(口頭(一般)), 2019 年 12 月 15 日~2019 年 12 月 15 日.

6. 齋藤仁志 (2019) 伐出技術から見た木質資源利用可能性と素材生産の展望. 林業経済学会主催, 森林計画学会・森林利用学会共催 合同シンポジウム(シンポジウム・ワークショップ・パネル(指名)), 2019 年 12 月 23 日~2019 年 12 月 23 日.
7. 大矢信次郎, 齋藤仁志, 久保田淳 (2020) 長野県における木質バイオマスのエネルギー利用の現状と今後の展望. 第 131 回日本森林学会大会(口頭(一般)), 2020 年 3 月 27 日~2020 年 3 月 29 日.
8. 塚原美都, 齋藤仁志, 白澤紘明, 渡部 優, 植木達人 (2020) 立木情報を考慮したタワーヤーダ架設可能範囲の広域分布. 第 131 回日本森林学会大会(ポスター(一般)), 2020 年 3 月 27 日~2020 年 3 月 29 日.
9. 生駒 直, 白澤紘明, 齋藤仁志, 植木達人 (2020) 設置条件からみた森林作業道の損壊実態. 第 131 回日本森林学会大会(ポスター(一般)), 2020 年 3 月 27 日~2020 年 3 月 29 日.
10. 齋藤仁志, 渡部 優, 白澤紘明, 白田寿生, 和多田友宏, 古川邦明 (2020) 災害リスクを考慮した森林路網の災害時代替路機能の評価. 第 131 回日本森林学会大会(ポスター(一般)), 2020 年 3 月 27 日~2020 年 3 月 29 日.
11. 瀧誠志郎, 中澤昌彦, 齋藤仁志, 大野勝正, 鈴木秀典, 吉田智佳史, 千原敬也 (2020) SfM を使った動画による作業道の出来形計測. 第 131 回日本森林学会大会(ポスター(一般)), 2020 年 3 月 27 日~2020 年 3 月 29 日.
12. 羽柴考佳, 齋藤仁志, 立川史郎, 澤口勇雄 (2020) UAV 由来の空中写真を用いた森林施業評価技術の検討. 第 131 回日本森林学会大会(ポスター(一般)), 2020 年 3 月 27 日~2020 年 3 月 29 日.

山内 貴義  
Yamauchi, Kiyoshi



赴任: 2017年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(東京大学大学院)

専門分野: 野生動物管理学, 動物生態学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. ツキノワグマの個体群動態と将来予測ならびに人里への出没メカニズムの解明

2. ニホンジカの個体数推定と将来予測に関する研究  
担当科目:

1. 野生動物管理学 (2年次)
2. 野生動物管理学実習 (2年次)
3. 森林科学入門 (1年次, 分担)
4. 動物と環境 (1年次, 分担)
5. 森林と環境 (1年次, 分担)
6. 基礎生物学実験 (1年次, 分担)
7. 基礎ゼミナール (1年次)
8. 野生動物管理学特論 (大学院修士, 分担)
9. 環境マネジメント実践学 (全学)

所属学会等: 日本哺乳類学会, 日本野生動物医学学会  
学会賞等: 第95回日本繁殖生物学会大会優秀ポスター賞 (2002年)

その他の主な活動: 日本哺乳類学会正会員, 日本野生動物医学学会正会員, 日本哺乳類学会シカ作業部会部会員, 農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー (登録番号第350号), 環境省鳥獣保護管理プランナー (登録番号P10015), 鳥獣被害防止総合対策交付金 (鳥獣被害防止都道府県活動支援事業) の事業評価 (岩手県農業振興課), 令和元年度青森県ニホンジカ管理対策検討科学委員会委員, 令和元年度ニホンジカ捕獲関連事業プロジェクトチーム外部有識者 (東北森林管理局), 令和元年度早池峰山周辺地域のニホンジカ生息状況等調査に係る検討委員会の委員 (東北森林管理局), 地域ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業 (紫波町鳥獣被害防止対策協議会) におけるニホンジカの生態等研修会の講演, 地域で取組む市街地等におけるクマ防除対策支援事業 (令和元年度県南広域振興局地域経営推進費事業) 講師, 令和元年度特定鳥獣 (獣類) に係る保護管理検討調査業務における東北地方ニホンジカ勉強会への講師

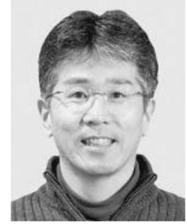
研究業績

#### A. 国内学会発表

1. 鞍懸重和, 久門美月, 山内貴義 (2019) 北奥羽地域におけるツキノワグマ若齢個体の季節移動とその要因の解析. 日本哺乳類学会 2019 年度大会プログラム・講演要旨集: 156.
2. 久門美月, 鞍懸重和, 山内貴義 (2019) 北奥羽地域に生息するツキノワグマが秋季に針葉樹林を利用する要因の検討. 日本哺乳類学会 2019 年大会要旨集: 156.

東 淳 樹

Azuma, Atsuki



赴任: 2000 年

現職: 講師

学位: 博士 (農学) (東京大学)

専門分野: 保全生物学, 動物生態学

主な研究テーマ及び教育研究活動:

1. サシバ (ワシタカ目ワシタカ科) の保全生態学的研究
2. 生態系に低負荷な持続可能な暮らしの研究
3. 野生鳥獣による被害対策に関する研究

担当科目:

1. 森林科学入門 (1年次, 分担)
2. 基礎数学演習 (1年次)
3. 動物と環境 (1年次, 分担)
4. 森林情報基礎 (1年次, 分担)
5. 地域生態系保全論 (2年次)
6. 森林科学基礎演習 (2年次, 分担)
7. 科学英語 (3年次, 分担)
8. 野生動物管理学実習 (3年次, 分担)
9. 保全生物学特論 (大学院修士)

所属学会等: 日本生態学会, 日本鳥学会, 野生生物と社会学会, 農村計画学会, 応用生態工学会, 農業農村土木学会

その他の主な活動: 北上川水系河川整備学識者懇談会委員 (2007年度~), 河川水辺の国勢調査アドバイザー (2007年度~), 岩手県環境審議会委員 (2016年度~), 盛岡市環境審議会委員 (2016年度~), 裏下地区生態系保全対策検討委員会委員 (2008年度~)

研究業績

#### A. 原著論文

1. Takayuki SAKAKIBARA, Masayuki NOGUCHI, Chiaki YOSHII, Atsuki AZUMA (2020) Diet of the Osprey *Pandion haliaetus* in Inland Japan. *Ornithological Science* 19 (1) 81-86.

#### B. 国際学会発表

1. Takayuki Sakakibara, Kazuto Sato, Kodai Mori, Tsutomu Tabeta, Atsuki Azuma (2019) Osprey don't Large Scale Migration in Japan?: The First GPS Tracking in Japan. The 11th ARRCN International Symposium, Bali-Indonesia/Poster Presentations P10, Abstracts p.85.
2. Kazuto Sato, Takayuki Sakakibara, Atsuki Azuma (2019) Analysis of Osprey Hunting Grounds in Dam Lakes by Environmental Characteristics.

The 11th ARRCN International Symposium, Bali-Indonesia/Poster Presentations P3, Abstracts p.80.

3. Kodai Mori, Takayuki Sakakibara, Masayuki Noguchi, Chiaki Yoshii, Atsuki Azuma (2019) Diet of Osprey in coastal area, Japan. The 11th ARRCN International Symposium, Bali-Indonesia/Poster Presentations P2, Abstracts p.79 .
4. Atsuki Azuma, Seiichi Dejima, Koich Endo (2019) The first international summit on Grey-faced Buzzard was held in Japan. The 11th ARRCN International Symposium, Bali-Indonesia/Poster Presentations P2, Abstracts p.97.

#### C. 国内学会発表

1. 榊原貴之, 森 航大, 野口将之, 吉井千晶, 東 淳樹 (2019) ダムにおける外来魚はミサゴの内陸部への分布拡大にどのように貢献しているのか? .日本鳥学会 2019 年度大会講演要旨集:88 . 帝京科学大学 .
2. 榊原貴之, 森 航大, 野口将之, 吉井千晶, 東 淳樹 (2019) 被食者としての外来魚: 上位捕食者からダム生態系管理を考える .応用生態工学会第 23 回広島大会講演要旨集: 99 . 広島大学 .
3. 佐藤和人, 榊原貴之, 東 淳樹 (2019) ダム湖におけるミサゴの狩場特性・環境特性と表層魚類調査による分析 . 応用生態工学会第 23 回広島大会講演要旨集: 66 . 広島大学 .
4. 佐藤和人, 榊原貴之, 森 航大, 東 淳樹 (2019) ダム湖の物理環境及び表層魚類からみたミサゴの狩場特性 . 日本生態学会東北地区会第 64 回大会講演要旨集: 2 .いわて県民情報交流センター .
5. 森 航大, 榊原貴之, 野口将之, 吉井千晶, 東 淳樹 (2019) 巢内観察カメラを用いた沿岸ミサゴの餌内容解析・餌資源からミサゴ保全を考える . 日本生態学会東北地区会第 64 回大会講演要旨集: 4 .いわて県民情報交流センター .

松 木 佐和子  
Matsuki, Sawako



赴任: 2006年

現職: 講 師

学位: 博士 (農学) (北海道大学)

専門分野: 森林生理生態学, 森林保全生態学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 開葉初期に見られる被食防衛メカニズムの樹種特性

2. 広食性昆虫クスサンの大発生メカニズムの解明性

3. 生物多様性に配慮した石灰石鉱山捨石堆積場の緑化

担当科目:

1. 森林保全生態学 (2年次)
2. 森林保護学 (3年次, 分担)
3. 森林科学基礎演習 (1年次, 分担)
4. 「環境」を考える (1年次, 分担)
5. 森林保全生態学特論 (修士1, 2年)
6. 樹木学 (2年次, 分担)
7. 科学英語 (3年次, 分担)
8. 樹木学実習 (2年次, 分担)
9. 野生動物管理学実習 (3年次, 分担)
10. 基礎数学演習 (1年次)
11. 森林科学入門 (1年次, 分担)

所属学会等: 日本生態学会, 日本森林学会, 樹木医学会

その他の主な活動: 仙台市環境影響評価審査委員 (2012年度~), 山形県文化財保護審査議会委員 (2016年度~), 東北森林管理局保護林管理委員会委員 (2018年度~), 盛岡市環境審議会委員 (2018年度~)

#### 白 旗 学

Shirahata, Manabu



赴任: 1991年

現職: 助 教

学位: 博士 (農学) (岩手大学)

専門分野: 造林学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. スギ人工林物質循環系におけるスギ個体の資源獲得と立地環境
2. ウルシ林造成のための実生苗木生産方法の検討
3. 長期モニタリングによるコナラ二次林再生方法の検討

担当科目:

1. 基礎ゼミナール (1年次)
2. 森林科学入門 (1年次, 分担)
3. 情報基礎 (1年次, 分担)
4. 基礎数学演習 (1年次)
5. 森林科学基礎演習 (1年次, 分担)
6. 樹木学実習 (2年次)
7. 森林造成学実習 (3年次)
8. 環境と樹木の生理 (3年次)
9. 環境マネジメント実践学 (全学, 分担)

10. 森林造成学特論(大学院修士, 分担)

所属学会等: 日本森林学会, 日本生態学会, 森林立地学会, 東北森林科学会(企画主事), 根研究会, 日本光合成研究会, 日本種生物学会, 日本海岸林学会

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 田端雅進, 小谷二郎, 石井智朗, 井城泰一, 白旗学(2019) 本数密度と胴枯病がウルシ萌芽木の成長に及ぼす影響. 日本森林学会誌 101:322-327.

(b) 紀要

1. Numakunai, N., Shirahata, M., Yamada, R. (2019) The current status of experimental natural regeneration of the *Quercus serrata* Murray forest, 21 years after logging, with the regeneration cutting. Bulletin of the Iwate University forests 50:47-88.

B. 国内学会発表

1. 松村修平, 白旗学, 中村克典, 前原紀敏(2019) 岩手大学滝沢演習林におけるカミキリムシ相の長期的変化. 東北森林科学会第24回大会講演要旨集, 11.
2. 沼宮内信之, 白旗学, 山田竜輝(2020) 母樹保残法及び更新伐により成立したコナラ二次林の林分構造の比較. 第131回日本森林学会大会学術講演集, 222.
3. 白旗学, 高橋恵華, 福田達胤(2020) コンテナ形状がウルシコンテナ実生苗の当年成長におよぼす影響. 第131回日本森林学会大会学術講演集, 260.



## (4) 食料生産環境学科



## 農村地域デザイン学コース

倉島 栄一

Kurashima, Eiichi



赴任：1985年

現職：教授

学位：農学博士（北海道大学）

専門分野：農学水文学，水文学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 大気・地表の熱輸送にかかわる水収支の研究
2. 洪水流出の研究

担当科目：

1. 測量学基礎実習（2年次）
2. 構造力学（2年次）
3. 水循環論（3年次）
4. 構造力学演習（3年次）
5. 水循環特論（大学院修士）

所属学会等：農業土木学会，水文・水資源学会，  
American Geophysical Union

その他の主な活動：岩手県政策評価委員会委員長，いわての川づくりプラン懇談会会長

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 金山素平，高橋長仁，山本清仁，武藤由子，倉島栄一（2020） 八郎潟粘土地盤の圧密変形特性．粘土科学，59-1，10-17．

### B. 国内学会発表

1. 後藤一稀，小田嶋美和，山本清仁，倉島栄一，金山素平，佐藤勇樹，鈴木健史，高橋範明（2019） 混和材料を添加したポリマーセメントモルタルの割裂引張強度と打音特性 2019年度農業農村工学会大会講演会講演要旨集，474-475．
2. 大倉恒星，倉島栄一（2019） 地形指標を集約化した TOPMODEL による融雪流出の推定．農業農村工学会大会講演会講演要旨集，154-155．

颯田 尚哉

Satta, Naoya



赴任：1998年

現職：教授

学位：博士（工学）（京都大学）

専門分野：土壌工学，環境工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 環境中における物質の動態に関する研究
2. 土壌と物質との反応機構

担当科目：

1. 化学入門（1年次，分担）
2. 廃棄物と環境（1年次，分担）
3. 環境計測学（3年次）
4. 環境計測実験（3年次）
5. 水資源論（2年次）
6. 土壌環境学特論（大学院修士）
7. 食料生産環境科学概論（1年次，分担）
8. 農村地域デザイン学演習（2年次，分担）

所属学会等：農業農村工学会，土木学会，京都大学衛生工学研究会，廃棄物資源循環学会

広田 純一

Hirota, Jun-ichi



赴任：1985年

現職：教授

学位：農学博士（東京大学）

専門分野：農村計画

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 参加型地域づくりの理論と方法
2. 地域振興政策
3. 農林業と景観・生態系保全との調整
4. 地域資源管理の計画と政策

担当科目：

1. 共生環境入門（1年次，分担）
2. 初年次自由ゼミナール（1年次）
3. 地域の環境保全を考える（1年次，分担）
4. 地域マネジメント論（2年次，分担）
5. 農村計画学（2年次）
6. 地域おこし論（2年次，分担）
7. 実践キャリア形成ゼミ（2年次，分担）
8. 地域振興政策論（3年次）
9. 農村生態工学（3年次）
10. 農山村自治体経営論（3年次，分担）
11. 農山村調査実習（2・3年次，分担）
12. 地域づくり特論（大学院修士）
13. 農村計画学特論（大学院修士）
14. 高年次科目特別講義（高年次）
15. 現代の諸問題（2～4年次）

所属学会等：農村計画学会，農業農村工学会（理事），農業農村工学会東北支部長，農業法学会（理事），林業経済学会

その他の主な活動：

1. NPO法人いわて地域づくり支援センター・理事長
2. NPO法人西沼田サポーターズネットワーク・理事
3. 地域づくりネットワークもりおか・会員
4. 葛巻町冬部地区冬部の里づくりアドバイザー
5. 一関市本寺地区地域づくりアドバイザー
6. 西和賀町若畑地区里づくりアドバイザー
7. 西和賀町小繋沢地区繋の郷づくりアドバイザー
8. 西和賀町湯之沢地区アドバイザー
9. 久慈市バッテリー村アドバイザー
10. 胆沢平野土地改良区運営施策推進評価委員会委員長
11. 盛岡市緑の基本計画策定（改訂）懇話会座長
12. 一関市骨寺村荘園遺跡調査整備指導委員会委員長
13. 一関市景観審議会委員長
14. 一関市立博物館骨寺村村落調査委員会委員
15. 遠野市「遠野の景観」保存調査委員会委員長
16. 天童市教育委員会西沼田遺跡整備検討委員会委員
17. 岩手県まちづくりアドバイザー
18. 岩手県農地・水・環境向上対策検討委員会委員長
19. 農林水産祭中央審査委員会（むらづくり部門）委員
20. 国土交通省岩手工事事務所北上川河川整備学識者懇談会委員
21. 岩手県東日本大震災津波復興委員会総合企画専門委員会委員
22. 大船渡市崎浜地区復興会議委員
23. 環境省中央環境審議会「自然公園小委員会」委員
24. 環境省中央環境審議会「野生生物小委員会」委員
25. 農水省世界農業遺産専門家会議委員
26. 文化庁文化審議会文化財分科会第三専門調査会委員
27. 奥州市「協働のまちづくりアカデミー」講師
28. 奥州市地域ビジネス推進チームアドバイザー
29. 高田松原復興祈念公園「協働ワーキング」座長
30. 高田松原復興記念公園有識者会議委員
31. 久慈市ふるさと未来づくり事業コーディネーター
32. 雫石町地域づくり会議コーディネーター
33. 大槌町総合戦略策定委員会委員長

34. 大槌町コミュニティ総合支援統括アドバイザー
35. 葛巻町総合戦略策定委員会委員長
36. 遠野市小友地区地域づくりアドバイザー
37. 国土交通省国土管理専門委員会委員
38. 国土交通省土地利用基本計画委員会委員
39. ひょうご震災記念21世紀研究機構東日本復興検討委員会委員
40. 一般社団法人「根浜MIND」顧問
41. 盛岡市復興アドバイザーリーボード座長
42. 農水省土地改良制度委員会委員
43. 白河市白河舟田・本沼遺跡群及び白河官衙遺跡群保存活用計画策定委員会委員

金山 素平

Kanayama, Motohei



赴任：2013年

現職：准教授

学位：博士（農学）（九州大学）

専門分野：農業土壌学，土質工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 農地・農業用構造物の維持管理と保全に関する研究
  2. マイクロ技術を援用した粘土の力学的挙動の評価
  3. 環境に配慮した施工技術の開発に関する研究
- 担当科目：

1. 食料生産環境学概論（1年次，分担）
2. 総合科目特別講義（2年次，分担）
3. 農村環境デザイン学演習（2年次，分担）
4. 測量学フィールド実習（2年次，分担）
5. 環境修復学（3年次，分担）
6. 農地工学（3年次，分担）
7. 土質力学（3年次）
8. 土壌土質実験（3年次，分担）
9. 土質力学演習（3年次）
10. 農村環境デザイン学セミナー（3年次，分担）
11. 地盤工学特論（大学院修士）

所属学会等：農業農村工学会，日本粘土学会，地盤工学会

学会賞等：農業農村工学会賞（研究奨励賞）（2014年），平成28年度農業農村工学会大会講演会優秀ポスター賞（2016年），平成29年度農業農村工学会東北支部研究奨励賞（2017年），令和元年度農業農村工学会東北支部研究奨励賞（2020年）

その他の主な活動：いわての川づくりプラン懇談会

委員，岩手県農林水産部総合評価落札方式技術評価委員会委員，日本粘土学会編集委員，独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員，農業農村工学会代議員，東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所八郎潟地区施設整備専門部会委員

研究業績

A．原著論文

(a)学術雑誌

1. 金山素平，嘉本晃子，颯田尚哉，武藤由子 (2020) マイクロインデンターを用いたカオリン粘土の微小力学的挙動の定量的評価 粘土科学 59:1-9 .
2. 金山素平，高橋長仁，山本清仁，武藤由子，倉島栄一 (2020) 八郎潟粘土地盤の圧密変形特性 . 粘土科学 59 : 10-17 .

B．その他

1. Kanayama, M. and Kawamura, S. (2019) Effect of waste bamboo fiber addition on mechanical properties soil. Open J. Civil Eng. 9: 173-184.

C．国際学会発表

1. Kanayama, M. (2019) Prediction of Ground Consolidation Settlement Based on Measurement Records and Its High Accuracy. Joint Seminar between Program Study of Agricultural Engineering, Jenderal Soedirman University-Indonesia and Dept. of Food Production and Environmental Management, Iwate University-Japan, Purwokerto, Indonesia.
2. Takahashi, N. and Kanayama, M. (2019) Consolidation Characteristics of Hachirogata Clay. Joint Seminar between Program Study of Agricultural Engineering, Jenderal Soedirman University-Indonesia and Dept. of Food Production and Environmental Management, Iwate University-Japan, Purwokerto, Indonesia.
3. Miya, T. and Kanayama, M. (2019) Effect of Waste Bamboo Fiber Shape and Amount on the Mechanical Properties of Soil. Joint Seminar between Program Study of Agricultural Engineering, Jenderal Soedirman University-Indonesia and Dept. of Food Production and Environmental Management, Iwate University-Japan, Purwokerto, Indonesia.

D．国内学会発表

1. 高橋長仁，金山素平 (2019) 八郎潟粘土の圧密特性 . 2019 年度 (第 68 回) 農業農村工学会大会講演会講演要旨集，444-445 .
2. 宮 隆之，金山素平 (2019) 竹繊維の形状と添加量が土の力学的特性に及ぼす影響 . 2019 年

度 (第 68 回) 農業農村工学会大会講演会講演要旨集，404-405 .

3. 金野那奈美，金山素平 (2019) ガス発生を考慮した土の固化処理方法の検討 . 2019 年度 (第 68 回) 農業農村工学会大会講演会講演要旨集，402-403 .
4. 高橋長仁，金山素平 (2019) 八郎潟粘土の二次圧密特性 . 農業農村工学会東北支部第 61 回研究発表会講演要旨集，64-65 .
5. 金山素平，佐藤聖也 (2019) 機械学習を利用した地盤の圧密沈下予測手法の検討 . 農業農村工学会東北支部第 61 回研究発表会講演要旨集，66-67 .
6. 宮 隆之，金山素平 (2019) 自然繊維を用いた土の補強技術 . 農業農村工学会東北支部第 61 回研究発表会講演要旨集，68-69 .

濱 上 邦 彦

Hamagami, Kunihiko



赴任：2011年

現職：准教授

学位：博士（農学）（九州大学）

専門分野：農業水文学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 農業水利施設における水環境の保全に関わる研究
2. 河川からの物資負荷量に関する研究

担当科目：

1. 基礎数学入門（1年次，分担）
2. 水と環境（1年次分担）
3. 情報基礎（1年次分担）
4. 水理学（2年次）
5. 農村地域デザイン学演習（2年次，分担）
6. 水理学実験演習（3年次）
7. 環境修復学（3年次分担）
8. 農村地域デザイン学セミナー（3年次，分担）
9. 水資源・灌漑工学特論（大学院修士）

所属学会等：農業農村工学会，雨水資源化システム学会

学会賞等：農業農村工学会優秀論文賞（2009 年）

その他の主な活動：岩手ブロック公共工事等総合評価委員会委員，農業農村工学会東北支部幹事，日本雨水資源化システム学会評議員，和賀中央地区水管理技術検討会委員

研究業績

A．原著論文

(a) 学術雑誌

1. Yoshioka, H., Yaegashi, Y., Yoshioka Y., Hamagami, K. and Fujihara, M. (2019) A primitive model for stochastic regular-impulse population control and its application to ecological problems. *Advanced Control for Applications : ENGINEERING AND INDUSTRIAL SYSTEMS*, 1:e16 pp.1-20.

(b) プロシーディングス

1. Hamagami, K., Yamaki, S., Harada, M., Ozaki, A., Tabata, T. & Hiramatsu, K. (2019) Relationship between Thermal Stratification and Movement Characteristics of Algae in a Small Reservoir E-proceedings of the 38th IAHR World Congress. pp. 6295-6303.

B . 国際学会発表

1. Yoshioka, H., Tsujimura, M., Hamagami, K. and Yoshioka Y. (2019) Ambiguity-averse regime-switching modeling and estimation of algae bloom in river environment. EMAC2019 (Engineering, Mathematics and Applications Conference).

C . 国内学会発表

1. 濱上邦彦, 三上悠美 (2019) アオコが発生する閉鎖性水域における流動・水質モデルの構築. 農業農村工学会東北支部第61回研究発表会: 28-29.
2. 土谷 幹, 濱上邦彦 (2019) 供給土砂による付着藻類カワシオグサの剥離動態の定量化. 農業農村工学会東北支部第61回研究発表会: 30-31.

原 科 幸 爾

Harashina, Kouji



赴任: 2004年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(東京大学)

専門分野: 地域生態管理学, 緑地環境学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 地域循環型の生物資源利用システム
2. 生物の地理的分布と環境要因の解析
3. ドローンによる近接リモートセンシング

担当科目:

1. 基礎数学入門(1年次, 分担)
2. 情報処理演習(1年次, 分担)
3. 測量学フィールド実習(2年次, 分担)
4. 地域マネジメント論(2年次, 分担)
5. 農山村調査実習(2・3年次, 分担)
6. 地理情報処理学(3年次)

7. 地理情報処理演習(3年次)

8. 緑地環境学(3年次)

9. 保全情報学特論(大学院修士)

10. 実践統計学(大学院博士, 分担)

所属学会等: 日本造園学会(東北支部常任委員), 農村計画学会(理事), 環境情報科学センター, 農業農村工学会, Sosiohumaniora(インドネシア社会人類学会) 日本建築学会, 日本都市計画学会

その他の主な活動: 裏下地区生態系保全対策検討会委員, 紫波町「森林バイオマス利活用検討委員会」委員長, 国土交通省「植生回復によるCO2吸収量算定手法に関する検討委員会」委員, 岩手県「多面的機能支払い制度推進委員会」委員

研究業績

A . 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 福島良樹, 原科幸爾(2019) ハクビシン(*Paguma larvata*)の効果的な捕獲方法の検討. 農業農村工学会誌 87(6): 479-482.

B . 国際学会発表

1. Harashina, K. (2019) The role of landscape ecology to realize SDGs. Symposium on Contribution of Agriculture Research and Education to realization of SDGs. Iwate University, Nov 14, 2019, Morioka.
2. Harashina, K. (2019) Monitoring growth of water-seeded rice in tsunami-stricken paddy fields using UAV-mounted multispectral sensor. Joint Seminar between Program Study of Agricultural Engineering, Jenderal Soedirman University-Indonesia and Dept. of Food Production and Environmental Management, Iwate University-Japan: Recent Issues on Ruraland Sustainable Agriculture. Jenderal Soedirman University, Oct 15, 2019, Purwokerto.

C . 国内学会発表

1. 大竹崇寛, 瀬川祥恵, 原科幸爾, 西 千秋, 出口善隆(2019) 都市部の小規模樹林地に生息するニホンリスの日内行動時間の季節変化. 日本哺乳類学会2019年大会プログラム・講演要旨集 145(P-028), 中央大学後楽園キャンパス, 2019年9月15~18日.
2. 押切智博, 原科幸爾(2019) 盛岡市公道における野生動物のロードキルと影響要因の解析. 野生動物と社会」学会第25回大会講演要旨集 40, 2019年11月23日, 金沢.

## 三宅 諭

Miyake, Satoshi



赴任：2002年

現職：准教授

学位：博士（工学）（早稲田大学）

専門分野：都市・地域計画，まちづくり

主な研究テーマ：

1. 歴史と文化を活かした景観・まちづくり
2. 縮減社会における都市・地域計画
3. 復興まちづくりのプロスデザイン

担当科目：

1. 情報基礎（1年次，分担）
2. 都市と環境（分担）
3. 食料生産環境学概論（1年次，分担）
4. 農山村調査実習（2・3年次，分担）
5. 地域景観保全論（3年次）
6. 地域デザイン論（2年次）
7. 環境デザイン演習（2年次）
8. 景観まちづくり特論（大学院修士）
9. 防災まちづくり特論（大学院修士，分担）
10. 地域防災特論（大学院修士，分担）

所属学会等：日本建築学会，日本都市計画学会，農村計画学会，日本生活学会

その他の主な活動

1. 日本建築学会都市計画委員会生きた景観小委員会
2. 日本都市計画学会査読委員
3. 日本都市計画学会会長アドバイザー会議委員
4. 日本都市計画学会東北支部幹事
5. 日本建築学会計画系論文集査読委員
6. 日本建築学会住まい・まちづくり支援建築会議運営委員会委員
7. 日本建築学会復興住まい・まちづくり支援部会委員
8. 日本建築学会東北支部岩手支所理事
9. 農村計画学会評議委員
10. 岩手県まちづくりアドバイザー
11. 岩手県開発審査会委員
12. 岩手県景観形成審議会委員
13. 岩手県国土利用計画審議会会長
14. 岩手県特定大規模集客施設立地誘導審議会副委員長
15. 岩手県建築審査会委員
16. 岩手県都市計画審議会委員 618. 盛岡市景観審議会会長

17. 盛岡城跡公園管理運営委員会委員長
  18. 盛岡市歴史的風致維持向上計画協議会委員
  19. 盛岡市まちづくりアドバイザー
  20. 一関市景観審議会委員
  21. 一関市本寺地区景観むらづくりアドバイザー
  22. 一関市本寺地区景観審議会委員
  23. 一関市骨寺村荘園遺跡指導委員会委員
  24. 北上市景観審議会委員
  25. 北上市健康管理センター等整備デザイン協議会会長
  26. 奥州市景観審議会会長
  27. 釜石市鶴住居地区土地区画整理審議会委員
  28. 釜石市片岸地区土地区画整理審議会委員
  29. 陸前高田市景観審議会委員
  30. 久慈市洋上風力発電ゾーニング協議会委員長
  31. 雫石町都市計画審議会会長
  32. 雫石町景観推進委員会会長
  33. 雫石町空家対策協議会会長
  34. 一戸町景観審議会会長
  35. 大槌町鎮魂の森整備検討委員会委員
  36. 山田町新たな観光拠点検討委員会委員長
  37. 山田町都市計画マスタープラン策定町民等委員会委員長
  38. 東北活性化研究センターアドバイザー会議委員
  39. 東京水産振興会調査研究委員会委員
- 研究業績

### A. 著書・訳書

1. 三宅 諭（分担執筆）（2019） 東日本大震災合同調査報告建築編11「4.6 漁業集落防災機能強化事業による復興の取り組み」（東日本大震災合同調査報告書編集委員会）. 日本建築学会，東京，pp.152-155.
2. 三宅 諭（分担執筆）（2019） 震災復興から俯瞰する農村計画学の未来「高台住宅地における「暮らしのデザイン」の試み」（広田純一ほか編著）. 農林統計出版，東京，pp.333-352.
3. 三宅 諭ほか多数（分担執筆）（2019） 東日本大震災で大学はどう動いたか1・地震発生から現在までの記録・（岩手大学復興活動記録誌編集委員会編）. 古今書院，東京，p118-120.
4. 三宅 諭ほか多数（分担執筆）（2019） 東日本大震災で大学はどう動いたか2・復興支援と研究・教育の取り組み・（岩手大学復興活動記録誌編集委員会編）. 古今書院，東京，p79-85，p.201-208.

### B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 三宅 諭 (2019) 東日本大震災からの復興における移転先住宅地の計画変化に関する研究. 日本都市計画学会都市計画論文集 54(3) p.1116-1122.

C. その他

1. 三宅 諭 (2019) 景観と観光の相互性を支えるまちづくり. 2018 年度東北圏社会経済白書, 183-184.
2. 三宅 諭 (2019) 災害復興から生きた景観マネジメントに向けて. 2019 年度日本建築学会大会 (北陸) 都市計画部門研究懇談会資料 p.51-52.
3. 三宅 諭 (2019) 防災実践応用特論: 東日本大震災の復興の課題. みえ防災塾さきもり応用コーステキスト p.27-28.
4. 三宅 諭 (2020) Society 5.0 に期待する豊かな地方居住. 2019 年度東北圏社会経済白書, p.188-190.

D. 報告書・事業報告書

1. 三宅 諭ほか (2019) 東日本大震災における漁村の復興問題. 平成 30 年度事業報告書. 一般財団法人東京水産振興会.

E. 国際学会発表

1. MIYAKE Satoshi, UBAURA Michio, AKITA Noriko, KARIYA Tomohiro (2019) Practice for Rebuilding A Community on The Recovery Process from The Great East Japan Earthquake Disaster. 4<sup>th</sup> Disaster Risk Reduction Conference in Warsaw, Oct. 23-25.
2. UBAURA Michio, Amakasu Hiroaki, Kariya Tomohiro, Miyake Satoshi, Akita Noriko (2019) Effects and Challenges of In-situ Reconstruction in Tsunami Affected Area - A case of the Great East Japan Earthquake. 4th Disaster Risk Reduction Conference in Warsaw, Oct. 23-25.
3. Akita Noriko, Miyake Satoshi, Ubaaura Michio, Kariya Tomohiro (2019) How to Regenerate Disaster Hazard Area after the Mega-Disaster. 4th Disaster Risk Reduction Conference in Warsaw, Oct. 23-25
4. KARIYA Tomohiro, ITO Minori, UBAURA Michio, AKITA Noriko, Miyake Satoshi (2019) Study on Reconstruction Trend of Commercial Stores in Disaster Area by the Great East Japan Earthquake - A Case Study of Ishinomaki City -. 4th Disaster Risk Reduction Conference in Warsaw, Oct. 23-25

F. 国内学会発表

1. 渡辺聖夏, 三宅 諭 (2019) 岩手県における廃校の発生要因と廃校利用施設に関する研究. 日本建築学会学術講演梗概集 (北陸) pp.1103-1104.
2. 石川莉紗, 三宅 諭 (2020) 城下町に架かる橋のイメージを決める要因. 盛岡市・中津川に架かる上の橋, 中の橋, 下の橋を事例に. 2019 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会 (仙台) 要旨集, p.4-7.
3. 蛭田美紅, 三宅 諭 (2020) 原発避難者と受け入れ先住民の意識差にみる対立解消への課題. 福島県いわき市を事例として. 2019 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会 (仙台) p.63-66.

武藤 由子

Muto, Yoshiko



赴任: 2006年

現職: 准教授

学位: 博士 (学術) (三重大学)

専門分野: 土壌物理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 土壌環境圏の有機物分解と物質循環
2. 植物の生育を考慮して土中の水・溶質移動
3. 凍結・融解過程にある土壌中の物質移動

担当科目:

1. 土壌物理学 (2 年次)
2. 土壌・土質実験 (3 年次, 分担)
3. 測量学基礎実習 (2 年次, 分担)
4. 水と環境 (1 年次, 分担)
5. 情報基礎 (1 年次, 分担)
6. 農地工学 (3 年次, 分担)
7. 土壌物理学特論 (大学院修士, 分担)

所属学会等: 農業農村工学会, 土壌物理学会, 日本雪氷学会, 日本土壌肥料学会, 日本土壌微生物学会  
研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 渡辺晋生, 中西真紀, 草深有紀, 武藤由子 (2019) 不飽和浸透過程にある異なる温度の黒ボク土中のアンモニア態窒素の消化. 農土論集 308: 1\_1-1\_8.
2. 武藤由子, 堂山貴広, 中西真紀, 渡辺晋生 (2019) 蒸発過程にある黒ボク土中における硝化を伴う窒素の挙動解析と ATP 量測定. 農土論集 309: 1\_281-1\_288.

## B. その他

1. 原科幸爾, 山本清仁, 牧 雅康, 武藤由子, 倉島栄一 (2019) ドローン搭載のマルチスペクトルセンサを用いた津波被災水田の直播栽培におけるイネの生育モニタリング. 農業農村工学会誌 87: 121-126.

山本清仁  
Ymamoto, Kiyohito



赴任: 2009年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(京都大学)

専門分野: 農業土木学, 地盤工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 劣化による施設材料の力学特性変化
2. 農業水利施設の調査における非破壊検査手法
3. 農業水利施設の維持管理とその長期的効果
4. 寒冷地における自然エネルギーを用いた温度差発電

担当科目:

1. 情報処理演習(1年次, 分担)
2. 応用力学(1年次)
3. 施設開発管理学(2年次)
4. 農村地域デザイン学演習(2年次, 分担)
5. 材料実験(3年次)
6. 施設保全管理学特論(大学院修士, 分担)

所属学会等: 農業農村工学会, 地盤工学会, 土木学会, 日本材料科学会

## A. 国内学会発表

1. 後藤一稀, 小田嶋美和, 山本清仁, 倉島栄一, 金山素平, 佐藤勇樹, 鈴木健史, 高橋範明 (2019) 混和材料を添加したポリマーセメントモルタルの割裂引張強度と打音特性 2019年度農業農村工学会大会講演会講演要旨集: 474-475.
2. 今野雄太, 山本清仁 (2019) 水田における電磁探査による電気伝導度分布と土壌溶液イオン濃度の測定 2019年度農業農村工学会大会講演会講演要旨集: 214-215.
3. 高橋郁成, 山本清仁 (2019) 電気探査を利用した水田土壌の電気伝導度の測定 2019年度農業農村工学会大会講演会講演要旨集: 212-213.

## 食産業システム学コース

小出章二

Koide, Shoji



赴任：1996年

現職：教授

学位：博士（農学）（九州大学）

専門分野：農産物加工保存学，食品保蔵学，ポストハーベスト工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 鮮度保持：氷点下での青果物保存
2. 長期保存：冷凍・低温と青果物
3. 粒食をまもる：低温でおいしいご飯

担当科目：

1. 食料生産環境学概論（1年次，分担）
2. 生活と環境（共通科目，分担）
3. 熱工学（2年次）
4. 食産業システム実験（2年次，分担）
5. 食産業システム実験（3年次，分担）
6. 生物工学（3年次）
7. 農業情報処理（3年次，分担）
8. 食産業システム学演習（3年次）
9. ポストハーベスト工学特論（大学院修士）

所属学会等：農業食料工学会（評議員，食料・食品工学会部会幹事），日本食品保蔵学会，日本食品科学工学会，防菌・防黴学会員，農業施設学会，農業食料工学会東北支部会（常任幹事）

その他の主な活動：九州大学非常勤講師，岩手食品加工研究会員，いわてアグリフロンティアスクール（IAFS）講師，大分工業高等専門学校講師（農学概論担当），INSいわて雑穀研究会会員

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 小出章二（分担執筆）（2020）物質移動（拡散）特性。「農業食料工学ハンドブック」，コロナ社，東京，（ISBN 9784339052671），pp. 29-32.

### B. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 佐々木勇麻，折笠貴寛，渡邊高志，椎名武夫，築城幹典，小出章二（2019）LCA手法に基づく乾燥キャベツ製造工程における環境影響評価・ブランピング処理に伴う環境負荷低減の可能性．日本LCA学会誌，15，174-187.
2. 小出章二，大須賀玲，折笠貴寛，上村松生（2019）

過冷却保存されたカットホウレンソウの電氣的，生理学的評価．日本食品科学工学会誌，66(9)：335-340.

3. Koide, S., Kumada, R., Hayakawa, K., Kawakami, I., Orikasa, T., Katahira, M., Uemura, M. (2019) Survival of Cut Cabbage subjected to Subzero Temperatures. Acta Horticulturae, 1256, 329-334.
4. 佐々木勇麻，折笠貴寛，中村宣貴，林清忠，八坂慶仁，牧野直樹，正嶋宏一，小出章二，椎名武夫（2020）青果物輸送における緩衝包装が環境負荷削減に及ぼす影響：輸送振動による損傷を考慮したイチゴのLCA．農業食料工学会誌，82(1)：65-76.
5. Koide, S., Yoneyama, A., Orikasa, T., Uemura, M. (2020) Assessing the supercooling of fresh-cut onions at  $-5^{\circ}\text{C}$  using electrical impedance analysis. Food Quality and Safety, (in press).

### C. その他

1. 塚野正洋，柿崎理央，上野美咲，齋藤雅憲，武田純一，小出章二，庄野浩資，折笠貴寛（2019）深層学習を用いたキャベツの結球検出．農業食料工学会東北支部報，66：5-8.

### D. 国内学会発表

1. 佐々木琴瑞，折笠貴寛，菊池太良，加藤一幾，長澤孝志，由比進，松嶋卯月，小出章二（2019）減圧マイクロ波によるトマトピューレの濃縮・後加熱処理が成分と食味に与える影響．日本食品科学工学会第66回大会講演集（藤女子大学），pp. 117.
2. 小出章二，大須賀玲，折笠貴寛，上村松生（2019）生鮮青果物の過冷却保存に関する一考察．日本食品科学工学会第66回大会講演集（藤女子大学），pp. 118.
3. 佐々木勇麻，折笠貴寛，中村宣貴，林清忠，八坂慶仁，牧野直樹，正嶋宏一，小出章二，椎名武夫（2019）輸送時の振動による損傷を考慮したイチゴのライフサイクルアセスメント2019年農業食料工学会・農業施設学会・国際農業工学会第6部会合同国際大会講演要旨（北海道大学），pp. 174.
4. 小出章二，大須賀玲，折笠貴寛，上村松生（2019）カットホウレンソウの過冷却保存に関する研究．2019年農業食料工学会・農業施設学会・国際農業工学会第6部会合同国際大会講演要旨（北海道大学），pp. 185.
5. 山影航也，山田崇寛，折笠貴寛，高橋克幸，小出

- 章二,高木浩一,鎌形潤一,青木仁史(2019) パルス電解処理がハウレンソウの熱風乾燥における乾燥速度および品質変化に及ぼす影響 2019年農業食料工学会・農業施設学会・国際農業工学会第6部会合同国際大会講演要旨(北海道大学), pp. 187.
6. 倉田大丞,折笠貴寛,小出章二(2019) 減圧マイクロ波処理を用いた乾燥シイタケの品質評価. 2019年農業食料工学会・農業施設学会・国際農業工学会第6部会合同国際大会講演要旨(北海道大学), pp. 190.
7. 小館琢磨,藤岡智明,岡留博司,安江紘幸,小出章二(2019) タンパク質含有率が異なる低アミロース米の白米における水浸裂傷粒の特徴. 第248回日本作物学会講演会(鳥取県), pp. 74.
8. 長屋美玖,折笠貴寛,小出章二(2020) *Lactobacillus casei* を固定化したフリーズドライ農産食品の保存における菌数および品質変化. 日本食品科学工学会関東支部大会(東京農業大学)ポスター.
9. 小館琢磨,藤岡智明,岡留博司,安江紘幸,仲條眞介,小出章二(2020) タンパク質含有率が異なる低アミロース米の白米における吸水の特徴. 第249回日本作物学会講演会(つくば) pp. 136.

武田 純一  
Takeda, Jun-ichi



赴任: 1980年

現職: 教授

学位: 博士(農学)(九州大学)

専門分野: 農作業システム学, 農業機械学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 農業作業の自動化及び農用車両の自律走行
2. 農作業事故の調査分析
3. AIを応用した黒平豆の選別

担当科目:

1. 総合フィールド科学(1年次, 分担)
2. 食料生産環境学概論(1年次, 分担)
3. 応用数学(1年次, 分担)
4. 農業労働科学(2年次, 分担)
5. 農業動力利用学(2年次)
6. 農作業システム学(3年次)
7. ものづくり実習(3年次, 分担)
8. 農業情報処理(3年次, 分担)
9. 食産業システム学実験(2年次, 分担)

10. 食産業システム学実験(3年次, 分担)
  11. 食産業システム学演習(2年次, 分担)
  12. 食産業システム学演習(3年次, 分担)
  13. 農作業システム学特論(大学院修士課程)
  14. システム創成特論(大学院修士課程, 分担)
- 所属学会等: 農業食料工学会, 農業食料工学会東北支部, 日本農作業学会(支部長), ASABE, 計測自動制御学会, 日本機械学会, 日本ロボット学会, 農業情報学会, 日本農村医学会

その他の主な活動:

1. 公益財団法人盛岡都南自治振興公社 評議員
2. 岩手大学理工学部附属ソフトパス理工学総合研究センター実践的ロボティクス研究グループ兼任
3. 岩手大学生産技術研究センター兼務教員
4. いわてアグリフロンティアスクール(IAFS)担当教員
5. INS 岩手雑穀研究会会員
6. 農業教育資料館研究員
7. 女性が扱いやすい農業機械等の改良に向けた意見交換会コーディネーター
8. 八幡平地域青年農業者研修会講師

研究業績

- A. 著書・訳書
1. 武田純一(分担執筆)(2020) 6編11章トラクタの動力学, 12編3.2収種用機械. 「農業食料工学ハンドブック」, コロナ社, 東京, (ISBN9784339052671), pp. 410-417, 748-749.
- B. 原著論文
- (a) 学術雑誌
1. 齋藤雅憲, 進藤勇人, 本庄 求, 武田 悟, 片平光彦, 武田純一(2020) 寒冷地北部における早生エダマメ栽培のための表層細土畝立マルチ播種機の開発. 農業食料工学会誌 82(2):180-187.
- C. その他
1. 塚野正洋, 柿崎理央, 上野美咲, 齋藤雅憲, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛(2019) 深層学習を用いたキャベツの結球検出. 農業食料工学会東北支部報 No.66:5-8.
- D. 国内学会発表
1. 塚野正洋, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛(2019) Mask-RCNNを用いたキャベツの生育状況の判定. 農業食料工学会東北支部 2019年度年次大会講演要旨:17-18.
  2. 齋藤雅憲, 本庄 求, 今野かおり, 佐々木文武, 片平光彦, 武田純一(2019) 機械作業体系によ

る早生エダマメのマルチ栽培技術の開発と実証 (第3報)・マルチ同時播種技術の投下労働力と最大負担面積の試算・農業食料工学会東北支部 2019年度年次大会講演要旨: 35-36.

3. 塚野正洋, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛 (2019) Visual SLAM 技術を利用した果樹園の3次元圃場地図の作成 2019年農業食料工学会・農業施設学会・国際農業工学会第6部会合同国際大会講演要旨: 112.

## 折笠 貴 寛

Orikasa, Takakahiro



赴任: 2012年

現職: 准教授

学位: 博士 (農学) (千葉大学)

専門分野: 農産物流通加工学, ポストハーベスト工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 6次産業化に資する青果物乾燥技術の開発
2. 青果物加工へのマイクロ波・遠赤外線の適用
3. 食産業に関わるライフサイクルアセスメント

担当科目

1. 基礎情報 (1年次, 分担)
2. 基礎ゼミナール (1年次, 分担)
3. 食料生産環境学概論 (1年次, 分担)
4. ポストハーベスト工学 (2年次)
5. 食産業技術論 (2年次)
6. 食産業システム学演習 (2年次, 分担)
7. 食産業システム学実験 (2年次, 分担)
8. 農産食品プロセス工学 (3年次)
9. 食産業システム学演習 (3年次, 分担)
10. 食産業システム学実験 (3年次, 分担)
11. 応用数学 (1年次, 分担)
12. 農業情報処理 (3年次, 分担)
13. ポストハーベスト工学特論 (大学院修士)

所属学会等: 農業食料工学会, 農業施設学会, 日本食品保蔵科学会, 日本食品科学工学会, 日本LCA学会, 農産物流通技術研究会

学会賞等: 日本食品科学工学会論文賞 (2011年), 農業機械学会東北支部学術賞 (2013年), 平成27年度農業食料工学会東北支部大会優秀発表賞 (2015年), 第10回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウムベストポスター賞 (2016年), 日本LCA学会奨励賞 (2018年)

その他の主な活動: いわてアグリフロンティアスクー

ル (IAFS) 担当教員, 日本LCA学会誌編集委員, 日本LCA学会地域共生研究会・幹事, 農業施設学会情報広報委員, 農業食料工学会東北支部・会計, 農業食料工学会東北支部常任幹事, 農業食料工学会誌編集幹事, 農業食料工学会食料・食品工学部会幹事, 岩手県食品加工研究会幹事

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 折笠貴寛 (分担執筆) (2020) 第5編農畜水産物の物性, 1.6.1 マイクロ波特性. 「農業食料工学ハンドブック」(農業食料工学会編). コロナ社, 東京, pp.295-296.

### B. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 佐々木勇麻, 折笠貴寛, 渡邊高志, 椎名武夫, 築城幹典, 小出章二 (2019) LCA手法に基づく乾燥キャベツ製造工程における環境影響評価・ブランチング処理に伴う環境負荷低減の可能性. 日本LCA学会誌 15(2): 174-187.
2. 小出章二, 大須賀 玲, 折笠貴寛, 上村松生 (2019) 過冷却保存されたカットハウレンソウの電気的, 生理学的評価. 日本食品科学工学会誌 66(9): 335-340.
3. Watanabe, T., Nakamura, N., Ota, N., Tomita, S., Ando, Y., Orikasa, T., Shiina, T., Nagata, M. (2019) An electrical discrimination method for rot in fresh cut apples using Cole-Cole plots. Journal of Food Measurement and Characterization 13(3): 2130-2135.
4. Watanabe, T., Ando, Y., Nakamura, N., Orikasa, T., Shiina, T., Nagata, M. (2019) Electric and mechanical detection of changes in heated apple flesh. Journal of Food Engineering 261:26-31.
5. 佐々木勇麻, 折笠貴寛, 中村宜貴, 林 清忠, 八坂慶仁, 牧野直樹, 正畠宏一, 小出章二, 椎名武夫 (2020) 青果物輸送における緩衝包装が環境負荷削減に及ぼす影響・輸送振動による損傷を考慮したイチゴのLCA. 農業食料工学会誌 82(1): 65-76.

### C. 国際学会発表

1. Yamakage, K., Yamada, T., Orikasa, T., Takahashi, K., Koide, S., Takaki, K., Aoki, H., Kamagata, J. (2019) Effect of pulsed electric field treatment on drying rate and quality changes of spinach in hot air drying, 2019 International Joint Conference on JSAM and SASJ, and CIGR VI Technical

Symposium joining FWFNWG and FSWG Workshops, Sapporo, Japan.

2. Kurata, D., Orikasa, T., Koide, S. (2019) Evaluation of color and flavor for shiitake mushroom dried using vacuum microwave treatment, 2019 International Joint Conference on JSAM and SASJ, and CIGR VI Technical Symposium joining FWFNWG and FSWG Workshops, Sapporo, Japan.

#### D. 国内学会発表

1. 佐々木勇麻, 折笠貴寛, 中村宜貴, 林 清忠, 八坂慶仁, 牧野直樹, 正畠宏一, 小出章二, 椎名武夫 (2019) 青果物輸送における緩衝包装が環境負荷削減に及ぼす影響-輸送振動による損傷を考慮したイチゴの LCA-. 農業食料工学会東北支部 2019 年度年次大会: 15-16.
2. 塚野正洋, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛 (2019) Mask-RCNN を用いたキャベツの生育状況の判定. 農業食料工学会東北支部 2019 年度年次大会: 17-18.
3. 佐々木琴瑞, 折笠貴寛, 菊池太良, 由比 進, 加藤一幾, 小出章二 (2019) 減圧マイクロ波を用いたトマトピューレ製造工程への加熱処理の適用-後加熱処理が成分と食味に与える影響-. 農業食料工学会東北支部 2019 年度年次大会: 37-38.
4. 倉田大丞, 折笠貴寛, 小出章二 (2019) 減圧マイクロ波を利用した乾燥シイタケの色彩および食味の品質評価. 農業食料工学会東北支部 2019 年度年次大会: 39-40.
5. 山影航也, 山田崇寛, 折笠貴寛, 小出章二, 高橋克幸, 高木浩一, 青木仁史, 鎌形潤一 (2019) ホウレンソウの熱風乾燥における乾燥前処理へのパルス電界処理の適用. 農業食料工学会東北支部 2019 年度年次大会: 41-42.
6. 佐々木琴瑞, 折笠貴寛, 菊池太良, 加藤一幾, 長澤孝志, 由比 進, 松嶋卯月, 小出章二 (2019) 減圧マイクロ波によるトマトピューレの濃縮-後加熱処理が成分と食味に与える影響-. 日本食品科学工学会第 66 回大会: 117.
7. 小出章二, 大須賀 玲, 折笠貴寛, 上村松生 (2019) 生鮮青果物の過冷却保存に関する一考察. 日本食品科学工学会第 66 回大会: 118.
8. 佐々木勇麻, 折笠貴寛, 中村宜貴, 林 清忠, 八坂慶仁, 牧野直樹, 正畠宏一, 小出章二, 椎名武夫 (2019) 輸送時の振動による損傷を考慮したイチゴのライフサイクルアセスメント. 2019

農食施設 CIGR VI 国際大会: 174.

9. 小出章二, 大須賀 玲, 折笠貴寛, 上村松生 (2019) カットホウレンソウの過冷却保存に関する研究 2019 農食施設 CIGR VI 国際大会: 185.
10. 山影航也, 山田崇寛, 折笠貴寛, 高橋克幸, 小出章二, 高木浩一, 鎌形潤一, 青木仁史 (2019) パルス電界処理がホウレンソウの熱風乾燥における乾燥速度および品質変化に及ぼす影響. 2019 農食施設 CIGR VI 国際大会: 187.
11. 倉田大丞, 折笠貴寛, 小出章二 (2019) 減圧マイクロ波処理を用いた乾燥シイタケの品質評価. 2019 農食施設 CIGR VI 国際大会: 190.
12. 塚野正洋, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛 (2019) VisualSLAM 技術を利用した果樹園の 3 次元圃場地図の作成. 2019 農食施設 CIGR VI 国際大会: 112.

木下 幸雄

Kinoshita, Yukio



赴任: 2005 年

現職: 准教授

学位: 博士 (農学) (東京大学)

専門分野: 農業経済学, 農業経営学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 実践的農業経営学の構築
2. 農業環境政策の形成過程に関する国際共同研究
3. 協働に関する公共経済学的研究

担当科目:

1. 食料生産環境学概論 (1 年次後期, 分担)
2. 水と環境 (1・2 年次後期, 分担)
3. 農業経済学 (2 年次前期)
4. 食産業システム学演習 (2 年次後期, 分担)
5. 農業経営学 (3 年次前期)
6. 農業情報処理 (3 年次後期, 分担)
7. 農業経営・経済学演習 (3 年次後期)
8. 農業時事演習 (3 年次後期)
9. 食産業システム学演習 (3 年次後期, 分担)
10. 卒業研究 (4 年次通年)
11. 農業経済学特論 (修士 1・2 年次後期)

所属学会等: 日本農業経済学会, 日本農業経営学会, 農業農村工学会, 水資源・環境学会, 日本マネジメント学会, Australasian Agricultural and Resource Economics Society, International Farm Management Association  
その他の主な活動:

1. サウス・オーストラリア大学商学部 連携准教

授

2. 農林水産省食料・農業・農村政策審議会 臨時委員
3. 農林水産省水管理施設整備効果等に係る効果算定手法検討会 委員
4. 農林水産省全国優良経営体表彰 審査委員
5. 農林水産省土地改良経済効果研究会 委員
6. 胆沢平野土地改良区運営施策推進評価委員会 委員長
7. 公益財団法人東北活性化研究センター有識者アドバイザー会議 委員
8. 実教出版株式会社令和6年度用教科書「農業経営」 編修委員

#### 研究業績

##### A. 著書・訳書

1. Kinoshita, Y. (分担執筆) (2019) *Modernizing Farm Business Management: Comparative Analysis of Japanese and Californian Rice Farming, "Entrepreneurship and Innovation in Japanese Agriculture"* (Ed.: Kiminami, A.), Springer, Singapore, pp.151-170.
2. 木下幸雄 (分担執筆) (2020) *スマート農業の経済学: AI・ロボットで農業はどう変わるか*. 2019年度 東北圏社会経済白書, 公益財団法人 東北活性化研究センター, 仙台, pp.54-55.

##### B. 原著論文

###### (a) 学術雑誌

1. Kinoshita, Y. and Kimura, N. (2019) *Are Farming Companies Emerging from Non-agricultural Sector Better Managed than Conventional Farms in Japan?* *International J. of Agr. Mgt.* 8(1): 12-21.
2. 木下幸雄 (2019) *持続的な農業用水マネジメントを考える: 土地改良区をどう運営していくか*. *農業と経済* 85(10): 69-76.
3. Dollery, B., Kinoshita, Y. and Yamazaki, K. (2019) *Humanitarian Co-production in Local Government: The Case of Natural Disaster Volunteering in Japan.* *Local Government Studies* <https://doi.org/10.1080/03003930.2019.1702531>
4. 木下幸雄 (2020) *オーストラリアにおける農業労働力調整システム*. *農業農村工学会誌* 88(3): 11-14.

##### C. その他

1. 木下幸雄 (2020) [図書紹介]「農企業」のムーブメント (小田滋晃, 坂本清彦, 川崎訓昭, 横田茂永編著). *農業経営研究* 57(4): 87.

庄野浩資

Shono, Hiroshi



赴任: 1991年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(東京大学)

専門分野: 農業環境工学, 農業情報工学

主な研究テーマおよび主な教育研究活動:

1. 画像計測
2. リモートセンシング
3. 精密農業

担当科目:

1. 情報処理演習(1年次後期, 分担)
2. 農業気象・環境学(2年次後期)
3. 食産業システム学実験(2年次後期, 分担)
4. プログラミング演習(2年次後期)
5. 植物環境物理学(3年次前期)
6. 食産業システム学実験(3年次前期, 分担)
7. 農業情報処理(3年次後期, 分担)
8. 植物栽培と環境テクノロジー(分担: 全学共通)
9. 地学入門(分担: 全学共通)
10. 植物環境情報学特論

所属学会等: 日本農業気象学会, 日本生物環境工学会, 農業情報学会

学会賞等: 日本生物環境調節学会奨励賞(1997年), 農業情報学会学術奨励賞(2007年), 農業情報学会論文賞(2013年)

その他の主な活動: 農業情報学会評議員, 日本生物環境工学会評議員

研究業績

##### A. 国内学会発表

1. 松嶋卯月, 佐藤文佳, 庄野浩資 (2020) *赤外線および重水トレーサを用いた植物細胞内における水移動可視化*. 日本農業気象学会 2020年全国大会および International Symposium on Agricultural Meteorology 2020 (ISAM2020), 講演発表.
2. 塚野正洋, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛 (2019) *Visual SLAM 技術を利用した果樹園の3次元圃場地図の作成*. 3D Mapping of Orchard Field Using Visual SLAM. 農業食料工学会 2019年次大会, 講演発表.
3. 塚野正洋, 武田純一, 小出章二, 庄野浩資, 折笠貴寛 (2019) *Mask-RCNNを用いたキャベツの生育状況の判定*. 農業食料工学会例元年度東北支部大会, 講演発表.
4. 松嶋卯月, 外崎紗也香, 武藤由子, 庄野浩資

(2019) コマツナの塩水湛水栽培が可能となる  
培地の水分特性. 日本農業気象学会 2019 年全国  
大会および International Symposium on Agricultural  
Meteorology 2019 (ISAM2019), 講演発表.

5. 松嶋卯月, 二階堂悠憲, 岡田益己, 庄野浩資  
(2019) もみ殻培地塩水湛水栽培を用いた高精度  
トマト栽培. 日本農業気象学会 2019 年全国大  
会および International Symposium on Agricultural  
Meteorology 2019 (ISAM2019), 講演発表.
6. 福田崇人, 窪田将己, 松嶋卯月, 武田純一, 庄野  
浩資(2019) 分光および偏光特性の同時測定に  
よる植物葉内組織の状態変化の非破壊測定. 日本  
農業気象学会 2019 年全国大会および International  
Symposium on Agricultural Meteorology 2019  
(ISAM2019), 講演発表.

### 前田 武己

Maeda, Takeki



赴任: 2001年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(北海道大学)

専門分野: 生物資源科学

主な研究テーマおよび主な教育研究活動:

1. 堆肥化に関する速度論的・量論的な解析
2. 生物系廃棄物の利用に関する研究

担当科目:

1. 未利用資源利用論(2年次後期)
2. 農業環境科学特論(地域創生専攻)
3. 廃棄物と環境(分担: 全学共通)
4. 食料生産環境学概論(分担: 1年次後期)
5. ものづくり実習(分担: 2年次前期)
6. 食産業システム学実験(分担(代表): 2年次後期)
7. 食産業システム学演習(分担: 2年次後期)
8. 食産業システム学実験(分担: 3年次前期)
9. 食産業システム学演習(分担: 3年次後期)
10. 農業情報処理(分担: 3年次後期)

所属学会等: 農業食料工学会(企画委員), 農業施設  
学会, 日本土壌肥料学会, 廃棄物資源循環学会

その他の主な活動: 岩手県廃棄物処理施設等設置専門  
委員会委員, 盛岡市廃棄物処理施設等設置等専門委員  
会委員, 盛岡市廃棄物対策審議会委員, 雫石町環境審  
議会委員

### 松嶋 卯月

Matsushima, Uzuki



赴任: 2005年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(東京大学)

専門分野: 植物生体計測学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 中性子およびX線イメージング等の農学への応  
用
2. 各種イメージング法を用いた植物体内水移動解  
析

担当科目:

1. 栽培施設学(2年次)

所属学会等: 生物環境調節学会, 農業食料工学会, 日  
本農業気象学会, International Society for Neutron  
Radiology

研究業績

A. 国内学会発表

1. 松嶋卯月, 佐藤文佳, 庄野浩資(2020) 赤外線  
および重水トレーサを用いた植物細胞内におけ  
る水移動可視化. 日本農業気象学会 2020 年全国  
大会(大阪府)講演要旨 80.

## 水産システム学コース

平井 俊朗

Hirai, Toshiaki



赴任：2016年

現職：教授

学位：医学博士（群馬大学）

専門分野：水産増殖学，生殖生物学，内分泌学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 魚類の性分化機構の解明と水産対象種の性統御技術開発
2. 魚類の性成熟機構の解明と水産対象種の人為繁殖技術開発
3. 次世代型水産養殖技術に向けた研究と地域新業態水産業創生

担当科目：

1. 水産科学入門（1年次，分担）
2. 水族生理学（2年次）
3. 水産生物学実験（2年次，分担）
4. 水産増殖学（2年次）
5. 水圏生命科学特論（院修士1年次，分担）
6. 水圏生命科学演習（院修士1年次，分担）
7. 水族生理学特論（院修士1年次）
8. 水族生理学演習（院修士1年次）
9. 水産生命科学特別講義（院修士1年次）

所属学会等：日本水産学会，日本比較内分泌学会，日本動物学会 ほか

石村 学志

Ishimura, Gakushi



赴任：2015年

現職：准教授

学位：Ph.D. in Resource Management and Environmental Studies (The University of British Columbia, CANADA)

専門分野：資源経済学，資源政策学，数理資源管理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 多魚種漁獲漁業管理のための金融工学理論分析
2. 漁船漁業の漁獲行動分析と経営改善
3. 水産資源利用の生物経済分析
4. 気候変動下での沿岸社会の適応戦略
5. 衛星データ・人工知能解析を使った漁獲行動分析

担当科目：

1. 水産科学入門（1年次，分担）

2. 生物統計学（1年次）
3. 漁業・業資源経済学（2年次）
4. 水産技術者倫理（2年次，分担）
5. コミュニケーション論（2年次）
6. コーディネーション論（2年次，分担）
7. 起業学入門（2年次，分担）
8. 漁業・漁業資源経済学（2年次）
9. 水産技術者倫理（2年次，分担）
10. 漁業経営・水産マーケティング論（2年次，分担）
11. 6次産業化論（2年次，分担）
12. 水産制度学（3年次，分担）
13. 水産政策学（3年次）
14. 起業学実習（3年次，分担）
15. 数理漁業資源学（3年次，分担）
16. 漁村計画学（3年次，分担）
17. 地域マネジメント概論（3年次，分担）
18. 自然環境政策論（3年次，分担）
19. 水産物流通論（3年次，分担）
20. 水産システム学特論（大学院）
21. 水産システム学演習（大学院）
22. 水産政策学特論（大学院）
23. 水産政策学演習（大学院）
24. 漁業数理・資源経済学特論（大学院）
25. 漁業数理・資源経済学演習（大学院）
26. 地域創生特論（大学院，分担）

所属学会等：Institute of Fishery Economics and Trade, North America Association of Fishery Economics, 日本水産学会，海洋政策学会，水産海洋学会  
その他の主な活動：Marine Stewardship Council, Stakeholder Council 委員 (2015 ~ 2017年)，放送大学卒業研究指導教員(2018年~2020年)，国立研究法人国立環境研究所客員研究員(2019年~)，University of Iceland, Faculty of Business Administration 博士課程指導教員(2019年~)

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Andrés M Cisneros-Montemayor, Gakushi Ishimura, Gordon R Munro, U. Rashid Sumaila (2020) Ecosystem-based management can contribute to cooperation in transboundary fisheries: The case of Pacific sardine. Fisheries Research, 221 105401.
2. 川尻 博, 石村学志, 後藤友明, 対馬正秋 (2019) 三陸水産物の価格向上戦略探求 活度保持に着目した野田村産ホタテガイの大遠隔地での販路拡大を目指した輸送試験からの考察. 北日本漁

業経済第 47 号 .

- 3 . Kanae Tokunaga, Gakushi Ishimura, Shigehide Iwata, Keita Abe, Kazuhiko Otsuka, Kristin Kleisner, Rod Fujita (2019) Alternative outcomes under different fisheries management policies: A bioeconomic analysis of Japanese fisheries. *Marine Policy*, 108 103646.

B . その他

- 1 . Christopher Costello, Ling Cao and Stefan Gelcich, Miguel Angel Cisneros, Christopher M. Free, Halley E. Froehlich, Elsa Galarza, Christopher D. Golden, Gakushi Ishimura, Ilan Macadam-Somer, Jason Maier, Tracey Mangin, Michael C. Melnychuk, Masanori Miyahara, Carryn de Moor, Rosamond Naylor, Linda Nøstbakken, Elena Ojea, Erin O'Reilly, Giacomo Chato Osio, Ana M. Parma, Fabian Pina Amargos, Andrew J. Plantinga, Albert Tacon and Shakuntala H. Thilsted (2019) The Future of Food from the Sea. Washington, DC: World Resources Institute. Available online at [www.oceanpanel.org/future-food-sea](http://www.oceanpanel.org/future-food-sea).

C . 国際学会発表

- 1 . Gakushi Ishimura, Kawamura, Kei, Tokunaga, Kanae, Otsuka, Kazuhiko (2019) Developing a regional fishery portfolio for alternative policies: An upside-bioeconomic analysis for Japanese fisheries. Optimal Spatial 2019 North America Association of Fisheries Economics (北米漁業経済学会), Halifax, CANADA.
- 2 . Raphael Roman, Gakushi Ishimura (2019) How fisheries portfolio diversification can enhance social-ecological resilience. 2019 The North Pacific Marine Science Organization, Victoria, CANADA.

D . 国内学会発表

- 1 . 石村学志, 徳永加奈江, 阿部景太, 塩田卓也, 大塚和彦 (2019) 日本漁業の「ポートフォリオ漁業」可能性探求 Upside Bioeconomic Model 分析からの限定的結果 .日本水産学会春季大会 2019 , 東京 .
- 2 . 中村洸介, 石村学志, Raphael Roman (2019) 多魚種漁業におけるポートフォリオ漁業概念の探求定置網漁業の経営分析 .日本水産学会春季大会 2019 , 東京 .

袁 春 紅

YUAN, Chunhong



赴任：2016年

現職：准教授

学位：博士（水産科学）（北海道大学）

専門分野：水産食品科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1 . 三陸水産物の超高鮮度維持技術の開発
- 2 . 高度加工による高付加価値化技術開発
- 3 . 三陸水産物の高度利用

担当科目：

- 1 . 水産食品加工学（3年次）
- 2 . 水産物流通論（3年次）
- 3 . 分析化学実験（2年次, 分担）
- 4 . 漁業経営・水産マーケティング論（2年次）
- 5 . 水産化学（2年次, 分担）
- 6 . 水産科学入門（1年次, 分担）
- 7 . 生活と化学（1年次, 分担）
- 8 . 水産物流・マーケティング特論（大学院）
- 9 . 水産食品加工学特論（大学院）
- 10 . 水産食品加工学演習（大学院）

所属学会等：中国水産学会会員，日本水産学会会員，アメリカ Institute of Food Technologists (IFT)学会，日本冷凍空調学会本

その他の主な活動：水産物等の国際標準となる品質・鮮度指標に関する調査研究委員会委員，NPO法人国際食育交流促進協会理事

研究業績

A . 原著論文

(a) 学術雑誌

- 1 . Wei, H., Tian, Y., Yamashita, T., Ishimura, G., Sasaki, K., Niu, Y., Yuan, C. (2020) Effect of thawing methods on the biochemical properties and microstructure of pre-rigor frozen scallop striated adductor muscle. *Food Chem.* 2020 Jul 30;319:126559. doi: 10.1016/j.foodchem.2020.126559. Epub 2020 Mar 5.
- 2 . Li, Y., Yu, H., Cai, Y., Yuan, C., Chen, S., Ding, T., Liu, D., Hu, Y. (2020) Ferulic acid- $\beta$ -cyclodextrin inclusion complexes: Application on the preservation of hairtail (*Trichiurus lepturus*), *International Journal of Food Properties* 23(1), 282-296.
- 3 . Li, Y., Bai, Y., Huang, J., Yuan, C., Ding, T., Liu,

- D., Hu, Y. (2020) Airglow discharge plasma treatment affects the surface structure and physical properties of zein films. *Journal of Food Engineering*. <https://doi.org/10.1016/j.jfoodeng.2019.109813>
- 4 . Abe, K., Yuan, C., Kumagai, Y., Kishimura, H. (2019) The potential of freshwater fish viscus from silver carp hypophthalmichthys molitrix for trypsin. *Waste and Biomass Valorization*. June DOI: 10.1007/s12649-019-00717-7
- 5 . Rasul, Md. G., Majumdar, B., Faria, A., Jahan, M., Yuan, C., Shah, Azad. (2019) Physico-Chemical, Microbiological and Sensory Changes in Sun-dried *Trichogaster fasciata* During Storage. *Turkish Journal of Agriculture -Food Science and Technology (TURJAF)*,7(10),2019, DOI: <https://doi.org/10.24925/turjaf.v7i10.1568-1574.2589>
- B . 国際学会発表**
- 1 .Ran, J., Yu, K., Ishimura, G., Yuan, C. (2019) A trail study to develop high quality frozen pickled mackerel by suppressing myofibrillar protein denaturation. The 4th EMBRIO International Symposium and the 7th International Symposium of East Asia Fisheries and Technologist Association (EAFTA) with theme “Innovative Solution and Technology for Marine Biodiversity and Sustainable Fisheries”. @ Bogor, Indonesia, Aug. 5-6th2019.
- 2 .Niu, Y., Wei, H., Yuan, C. (2019) Develop a low-salt gel type food for the elderly people. 13th Pangborn Sensory Science Symposium. Edinburgh International Convention Centre, @ Edinburgh, UK. Jul. 26-28th 2019.
- 3 . Yuan, C. (2019) Effect of different post-harvest handling on the freshness changes of Japanese scallop (*Patinopecten yessoensis*). Third International Symposium on Innovative Agriculture and Fishery, ISIAF (Shanghai, @Shanghai Ocean University. May 23-24th, 2019.
- C . 国内学会発表**
- 1 . 笠原聖佳, 魏 華茂, 于 克鋒, 佐藤琢哉, 平井俊朗, 袁 春紅 (2020) 締め処理と凍結解凍方法によるサクラマス鮮度変化 . 令和2年度日本水産学会春季大会 (コロナウイルス対策のため開催中止) .
- 2 . 武藤 章, 魏 華茂, 梶原昌五, 袁 春紅 (2020) 異なる保存条件における三陸産マボヤの鮮度変化 . 令和2年度日本水産学会春季大会 (コロナウ

イルス対策のため開催中止) .

- 3 . Wei, H., Tian, Y., Maeda, H. Yuan, C. (2019) A trial study of Decomposition Pathway of ATP Related compounds in the Scallop Muscle. (JSF S2019 autumn)

後藤 友明  
Goto, Tomoaki



赴任：2016年

現職：准教授

学位：博士（水産学）（北海道大学）

専門分野：漁業資源生態学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1 . 岩手県の沿岸漁業における東日本大震災からの復興に関する研究
- 2 . 沿岸漁業資源を対象とした資源管理に関する研究
- 3 . 三陸沿岸域における漁業資源の生態に関する研究
- 4 . 外来種ヨーロッパザラボヤの生態に関する研究
- 5 . 定置網におけるクロマグロ漁獲制御技術開発

担当科目：

- 1 . 海洋実習（1年次）
- 2 . 水産科学入門（1年次, 分担）
- 3 . 総合フィールド科学（1年次, 分担）
- 4 . 応用数学（1年次, 分担）
- 5 . 水産動物学（2年次）
- 6 . 漁業資源生態学（2年次）
- 7 . 水産生物学実験（2年次, 分担）
- 8 . 地域振興経済・政策論（3年次）
- 9 . 数理漁業資源学（3年次, 分担）
- 10 . 水産制度論（3年次, 分担）
- 11 . 海洋実習（3年次）
- 12 . 漁村調査実習（3年次）
- 13 . 自然環境政策論（3年次, 分担）

所属学会等：日本水産学会（東北支部幹事, 水産環境保全委員会副委員長, 水産政策委員, 水産教育推進委員）, 日本魚類学会, 水産海洋学会（理事, 評議委員, 活性化委員長, 事業委員）, 日本板鯧研究会（編集幹事）

学会賞等：日本水産学会東北支部長賞（2006年）, 三陸海域研究論文知事表彰特別賞（2014年）, 水産海洋学会論文賞（2015年）, 水産海洋学会宇田賞（2016年）

他大学講師：盛岡大学「地域食材資源論」

その他の主な活動：定置網漁業技術研究会会長, 大船渡市漁業就業者確保育成協議会委員, 我が国周辺水産

資源調査・評価事業外部有識者，第6回三陸海域地域研究集会（一般社団法人水産海洋学会地域研究集会）コンビーナー，文部科学省海洋生物委員会委員，岩手県資源管理協議会オブザーバー，いわて水産アカデミー講師

研究業績

A．原著論文

(a)学術雑誌

1. Goto, T., Oba, Y. (2019) A record of utilization as a spawning bed for the invasive ascidian *Ascidella aspersa* (Müller, 1776) newly introduced in the Pacific coast of northeastern Japan. *Biogeography*, 21: 37-42.
2. 川尻 博, 石村学志, 後藤友明 (2020) 三陸水産物の価格向上戦略探求 活度保持に着目した野田村産ホタテガイの大遠隔地での販路拡大を目指した輸送試験からの考察. *北日本漁業経済*, 47.
3. Goto, T., Takanashi, A. (2020) Changes in the strategy of a small-scale jigging fishery for Japanese flying squid *Todarodes pacificus* off northeastern Japan. *Fisheries Science*, 86: 1-11.
4. 後藤友明 (2020) 三陸沿岸で採集されたヤナギノマイ *Sebastes steindachneri* にみられた色彩と形態異常の記録. *日本生物地理学会会報*, 74: 32-35.

B．その他

1. 後藤友明, 伊藤絹子, 清野聡子, 大越和功 (2019) 東日本大震災復興事業による沿岸域の改変が沿岸生態系に何をもたらすか? *月刊海洋*, 51: 415-417.
2. 後藤友明, 江口佑輔 (2019) 岩手県における海岸対策事業と環境配慮の取り組み. *月刊海洋*, 51: 453-456.
3. 後藤友明, 及川利幸 (2019) 岩手県における漁獲抑制対策. *月刊海洋*, 51: 508-512.

C．学会発表

1. 後藤友明, 阿部孝祐 (2019) 大槌湾における近年のマコガレイ加入動向と稚魚の成長特性. *水産海洋学会第49回北洋研究シンポジウム*.
2. 阿部孝祐, 後藤友明 (2019) 岩手県大槌湾に生息するマコガレイ稚魚の成長と分布の特性. *水産海洋学会研究発表大会*.
3. 谷瀬香保, 後藤友明, 成松庸二 (2019) 耳石を用いた東北太平洋沖ババガレイの年齢査定方法の確立. *水産海洋学会研究発表大会*.

塚越英晴

Tsukagoshi, Hideharu



赴任：2016年

現職：助教

学位：博士（水産科学）

（北海道大学）

専門分野：水族遺伝学，分子生態学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. サケ類の遺伝特性に関わる研究
2. 海面・内水面漁業重要種の遺伝特性に関わる研究
3. 通し回遊性魚類の分子生態学的研究

担当科目：

1. 水産科学入門（1年次，分担）
2. 海洋実習（1年次，分担）
3. 情報基礎（1年次，分担）
4. 基礎生物学実験（1年次，分担）
5. 水産生物学実験（2年次，分担）
6. 三陸の研究（2年次，分担）
7. 海洋実習（3年次）
8. 水族ゲノム生物学（3年次）
9. 自然環境政策論（3年次，分担）
10. 水圏生命科学特論（大学院修士，分担）
11. 水圏生命科学演習（大学院修士，分担）
12. 先端生命科学特論（大学院修士，分担）

所属学会等：日本魚類学会，日本水産学会，日本進化学会，水産育種研究会

学会賞等：岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業特別賞（2013年），サケ科学奨励賞（2016年）

研究業績

A．国内学会発表

1. 柘本 拓, 奥富 誠, 木伏宏俊, 塚越英晴 (2019) 信濃川におけるサケの遺伝特性分析. 令和元年度日本水産学会秋季大会, 講演番号: 725.
2. 神 さくら, 尾針由真, 塚越英晴, 板垣 匡 (2019) 岩手県のシロサケに寄生する *Anisakis simplex sensu stricto* の分子系統解析. 第162回日本獣医学会学術集会, 講演要旨: 366.
3. 秋津拓克, 塚越英晴 (2020) 三陸岩手サクラマスにおける春遡上集団と秋遡上集団の遺伝特性. 令和2年度日本水産学会春季大会, 講演番号: 9054.
4. 小田 彩, 板垣 匡, 浦和茂彦, 塚越英晴 (2020) 岩手県のサケから検出された鮭真吸条虫 *Eubothrium crassum* の遺伝的特徴. 令和2年度日本水産学会春季大会, 講演番号: 9119.



## (5) 動物科学科



喜多一美  
Kita, Kazumi



赴任：2006年

現職：教授（2015年3月～理事）

学位：農学博士（名古屋大学）

専門分野：動物栄養学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 高血糖動物における生体内糖化反応に関する研究
2. 未利用資源の家畜飼料原料化に関する研究

担当科目：

1. 動物科学総論（1年次，分担）
2. 飼料機能学（2年次）
3. 家畜飼養学（3年次）
4. 動物科学実験（3年次，分担）
5. 動物栄養生化学特論（大学院修士）

所属学会等：日本畜産学会，日本家禽学会，日本草地学会，日本分子生物学会，日本栄養・食糧学会，東北畜産学会，家畜栄養生理研究会

研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Takahashi, N., Makino, R. and Kita, K. (2019) Plasma half-life of fructosyl-valine in the plasma of chickens. Journal of Poultry Science. 57(1): 63-66.

#### B. 国内学会発表

1. 瀧田千恵，喜多一美（2019）異なる炭水化物源摂取がニワトリ組織中のフルクトサミン3キナーゼ遺伝子発現に及ぼす影響. 日本家禽学会2019年度春季大会（2019年），麻布大学.
2. 伊藤謙，笹渡翔，安部瑠利香，藤盛和子，渡邊翔太，鈴木健吾，朝山雄太，南一郎，西向めぐみ，喜多一美（2019）大豆代替飼料原料としてのユーグレナの給与がニワトリの成長および腸管粘液に及ぼす効果. 日本家禽学会2019年度秋季大会（2019年），岩手大学.
3. 川嶋夏輝，瀧田千恵，喜多一美（2019）アミノ酸アマドリ化合物がニワトリ胚由来筋管細胞におけるアミノ酸取り込みに及ぼす影響. 日本家禽学会2019年度秋季大会（2019年），岩手大学.
4. 瀧田千恵，平川祥，喜多一美（2019）異なるタンパク質源の摂取がニワトリ組織中のフルクトサミン3キナーゼ(FN3K)遺伝子発現に及ぼす影響. 第42回日本分子生物学会（2019年），マリンメッセ福岡.

佐野宏明  
Sano, Hiroaki



赴任：1992年

現職：教授

学位：農学博士（東北大学）

専門分野：家畜栄養生理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 反芻家畜における糖，タンパク質およびエネルギー代謝
2. 植物系バイオマスの機能性検索および飼料化
3. 反芻家畜のルーメン内メタン産生の制御

担当科目：

1. 生物学入門（1年次，分担）
2. 動物と環境（1年次，分担）
3. 動物科学総論（1年次，分担）
4. 動物栄養学（2年次）
5. 家畜生産生理学（3年次）
6. 動物科学実験（3年次，分担）
7. 動物代謝学特論（大学院修士）

所属学会等：日本畜産学会（理事，編集委員），東北畜産学会（評議員），家畜栄養生理研究会（評議員）学会賞等：井上研究奨励賞（1986年），日本畜産学会奨励賞（1989年），日本畜産学会賞（1997年）

その他の主な活動：岩手畜産技術連盟会員（世話人）

#### A. 国内学会発表

1. 佐野宏明（2019）反芻家畜における糖・タンパク質代謝動態の研究. 第69回東北畜産学会山形大会特別講演，2019年8月27日，山形市.
2. 小椋千早，相川亮，五位淵弘樹，原田裕大，吉武可那子，佐野宏明（2019）成長段階の異なるヒツジにおける第一胃発酵性状および血漿グルコース・アミノ酸代謝に及ぼすグリセロール添加の影響. 日本畜産学会第126回大会，2019年9月17日，岩手大学農学部.

澤井健  
Sawai, Ken



赴任：2007年

現職：教授

学位：博士（農学）（岡山大学）

専門分野：動物生殖工学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 家畜初期胚の遺伝子発現制御機構に関する研究

2. 家畜初期胚の体外生産技術に関する研究

担当科目:

1. 動物発生学 (2年次)
2. 動物生殖学 (2年次)
3. 動物生殖学各論 (3年次)
4. 家畜生殖技術論 (3年次)
5. 動物科学実験 (3年次)
6. 牧場実習 (3年次)
7. 動物科学総論 (1年次)
8. 動物生殖工学特論 (大学院修士)

所属学会等: 日本繁殖生物学会, 日本畜産学会, 日本分子生物学会, 日本卵子学会, Society for the Study of Reproduction

学会賞等: 日本繁殖生物学会奨励賞

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Takahashi, K., Ross, P. J. and Sawai, K. (2019) The necessity of ZSCAN4 for preimplantation development and gene expression of bovine embryos. J. Reprod. Dev. 65: 319-326.
2. Emura, N., Takahashi, K., Saito, Y. and Sawai, K. (2019) The necessity of TEAD4 for early development and gene expression involved in differentiation in porcine embryos. J. Reprod. Dev. 65: 361-368.

B. 国際学会発表

1. Emura, N., Kusanagi, S., Saito, Y., Miura, R. and Sawai, K. (2019) Effect of fatty acids on early development of bovine preimplantation embryos. Society for the Study of Reproduction 52<sup>nd</sup> Annual Meeting, 18-21 July, San Jose, USA.
2. Saito, Y., Sasaki, A., Emura, N., Miura, R. and Sawai, K. (2019) Effect of downregulating AGO1 transcripts by RNA interference on early development of porcine embryos. Society for the Study of Reproduction 52<sup>nd</sup> Annual Meeting, 18-21 July, San Jose, USA.

C. 国内学会発表

1. 江村菜津子, 齋藤ゆり子, 三浦瑠璃, 澤井 健 (2019) 体外発生培地へのTEAD4-YAP1複合体形成阻害剤添加がブタ初期胚の発生および組織分化関連因子発現におよぼす影響. 第112回日本繁殖生物学会講演要旨: j76.
2. 三浦瑠璃, 江村菜津子, 齋藤ゆり子, 澤井 健 (2019) SOX2発現の人為的抑制がブタ初期胚

の発生におよぼす影響. 第112回日本繁殖生物学会講演要旨: j114.

3. 齋藤ゆり子, 江村菜津子, 三浦瑠璃, 澤井 健 (2019) DROSHA発現抑制がブタ初期胚の遺伝子発現におよぼす影響. 第112回日本繁殖生物学会講演要旨: j117.

4. 江村菜津子, 齋藤ゆり子, 三浦瑠璃, 澤井 健 (2019) 細胞極性関連因子PARD6Bがブタ初期胚の発生および組織分化関連遺伝子発現におよぼす影響. 第126回日本畜産学会講演要旨集: 104.

築 城 幹 典

Tsuiki, Mikinori



赴任: 1997年

現職: 教授

学位: 博士(農学)(京都大学)

専門分野: 草地生態学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 飼料生産における環境影響の定量的評価
2. リモートセンシングを用いた草地環境の評価
3. 草地における放射性物質動態の解明

担当科目:

1. 動物科学総論 (1年次, 分担)
2. 生物統計学 (1年次)
3. 畜産環境評価論 (3年次)
4. 動物科学実験 (3年次, 分担)
5. 草地学 (3年次)
6. 草地学特論 (大学院修士)
7. 実践統計学 (連合農学研究科)

所属学会等: 日本草地学会 (副会長), システム農学会 (会長), 日本分類学会

他大学講師・客員研究員等: 北里大学獣医畜産学部非常勤講師(草地生態学特論, 植物生態学特論), 京都大学農学研究科非常勤講師(応用生物科学特別講義) その他の主な活動: 岩手県原発放射線影響対策アドバイザー, 岩手県農業研究センター試験研究推進アドバイザー

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 佐々木勇麻, 折笠貴寛, 渡邊高志, 椎名武夫, 築城幹典, 小出章二 (2019) LCA手法に基づく乾燥キャベツ製造工程における環境影響評価・ブラッシング処理に伴う環境負荷低減の可能性. 日本LCA学会誌 15(2): 174-187.

2. Riera, A. and Tsuiki, M. (2019) The Estimation of Nitrogen Balance from Agricultural Activities in Ecuador. Journal of Agricultural Development Studies 30(2): 63-69.

(b) プロシーディングス

1. Tsuiki, M. (2019) Radioactive cesium and potassium cycle model in Japanese grassland. Proceedings of the 5th International Conference on Environmental Radioactivity, September 9-13, P333.

2. Tsuiki, M., Matsumura, R. and Tarumi, E. (2020) Machine learning approaches to detect weed invasion to grasslands by UAV-based RGB imagery. Proceedings of the International Workshop on Improving Nitrogen Use Efficiency in Dairy Farming System through Crop-Livestock Integration.

B. 国際学会発表

1. Tsuiki, M. (2019) Radioactive cesium and potassium cycle model in Japanese grassland. Proceedings of the 5th International Conference on Environmental Radioactivity, September 9-13, P333.

2. Tsuiki, M., Matsumura, R. and Tarumi, E. (2020) Machine learning approaches to detect weed invasion to grasslands by UAV-based RGB imagery. Proceedings of the International Workshop on Improving Nitrogen Use Efficiency in Dairy Farming System through Crop-Livestock Integration.

C. 国内学会発表

1. 樽見恵梨奈, 築城幹典, 森 昭憲 (2020) 温暖化に伴う寒地型牧草の最適草種分布の変化, 日草誌 66 (別): p. 16.

2. 築城幹典, 野澤はるか, 判田玲奈, 樽見恵梨奈 (2020) 牧草地におけるカリウム循環モデル. 日草誌 66 (別): p. 66.

小 田 伸 一  
Oda, Shinichi



赴任: 1994年

現職: 准教授

学位: 農学博士 (東北大学)

専門分野: 動物栄養生理学, 動物栄養機能学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 反芻動物の栄養機能と白血球機能
2. 反芻動物の血漿抗酸化活性と白血球機能

担当科目:

1. 動物栄養学 (2年次)

2. 動物科学実験 (2年次, 分担)
  3. 動物科学総論 (1年次, 分担)
  4. 基礎生物学実験 (1年次, 分担)
  5. 動物栄養生理学特論 (大学院修士)
  6. 人の暮らしと生物環境 (全学1年次, 分担)
  7. 環境マネジメントと岩手大学 (全学1年次, 分担)
  8. 愛玩動物栄養学 (3年次)
- 所属学会等: 日本畜産学会, 東北畜産学会, 日本ペット栄養学会, 日本乳房炎研究会  
研究業績

A. 国内学会発表

1. 木村ちはる, 沖津和男, 鈴木雄晃, 倉島ちなみ, 板橋 葵, 小田伸一 (2019) ヒツジの保定ストレスが血漿抗酸化活性に与える影響. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: pp. 113.
2. 沖津和男, 木村ちはる, 小田伸一, 板橋 葵, 倉島ちなみ (2019) ヒツジへのアスコルビン酸投与による血漿抗酸化活性動態. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: pp. 113.
3. 小田伸一, 鈴木雄晃 (2019) ヒツジ血漿抗酸化活性とアスコルビン酸および尿酸の機能. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: pp. 113.

出 口 善 隆  
Deguchi, Yoshitaka



赴任: 2002年

現職: 准教授

学位: 博士 (農学) (東北大学)

専門分野: 応用動物行動学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 野生動物の行動管理
2. 展示動物の行動管理
3. 牛の行動管理

担当科目:

1. 動物管理学 (2年次)
2. 動物行動学 (3年次)
3. 動物科学総論 (1年次, 分担)
4. 動物科学実験 (2年次, 分担)
5. 牧場実習 (3年次, 分担)
6. 基礎生物学実験 (1年次, 分担)
7. 科学英語 (3年次, 分担)
8. インターンシップ (1~4年次)
9. 人の暮らしと生物環境 (1年次, 分担)
10. 動物管理学特論 (大学院修士)
11. グローバル環境科学特論 (大学院修士, 分担)

所属学会等：日本畜産学会，動物の行動と管理学会，東北畜産学会，日本哺乳類学会  
研究業績

A．総説・論説

1. 出口善隆 (2019) ツキノワグマ(*Ursus thibetanus*)による飼料作物被害・東北地方の事例．日草誌，65:44-50．

B．原著論文

(a)学術雑誌

1. Tamura, T., Okubo, Y., Deguchi, Y., Koshikawa, S., Takahashi, M., Chida, Y. and Okada, K. (2019) Dairy cattle behavior classifications based on decision tree learning using 3-axis-neck-mounted accelerometers. Anim. Sci. J.90:589-596.
2. Sasaki, J., Uehara, M., Sato, I., Satoh, H., Deguchi, Y., Chida, H., Natsuhori, M., Murata, T., Ochiai, K., Otani, K., Okada, K. and Ito, N. (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Anim. Sci. J. 90:1333-1339.

C．国内学会発表

1. Murata, M., Shimano, C., Yoshida, N., Koda, N. and Deguchi, Y. (2019) Factors affecting dog behaviors during animal-assisted activities. 日本動物心理学会第79回大会．

西 向 め ぐ み

Nishimukai, Megumi



赴任：2013年

現職：准教授

学位：博士（農学）（北海道大学）

専門分野：動物生理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 機能性リン脂質の役割に関する基盤的研究

担当科目：

1. 動物生理学（2年次）
2. 動物生理学（2年次）
3. 動物生理学特論（大学院修士）
4. 動物科学実験（2年次，分担）
5. 生命のしくみ（全学1年次，分担）
6. 動物科学総論（1年次，分担）
7. 動物と環境（全学1年次，分担）

所属学会等：日本農芸化学会，日本栄養・食糧学会，日本脂質栄養学会，日本脂質生化学会，日本畜産学会，

日本油化学会  
研究業績

A．国際学会発表

1. Daisuke Mikami, Shota Sakai, Kohei Yuyama, Megumi Nishimukai, Yasuyuki Igarashi (2019) Lipidomic analysis of long chain base absorption into lymph fluid using lymph cannulated rat. 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL).

B．国内学会発表

1. 西向めぐみ，川上 環，山崎裕也，杉山 梢，滋野浩一，原 博 (2019) リンバカニューレションラットにおけるアルキル型リン脂質のクラスの違いによるリンバ吸収動態の解析．第73回日本栄養・食糧学会大会要旨集．
2. 藤盛和子，鈴木卓弥，西向めぐみ (2019) Glycero- and sphingo-phospholipid differ in their effects on the function of the tight junction in human epidermal keratinocyte. 日本畜産学会第126回大会．
3. 伊藤 謙，笹渡 翔，安部瑠利香，藤盛和子，渡邊翔太，鈴木健吾，朝山雄太，南 一郎，西向めぐみ，喜多一美 (2019) 大豆代替飼料原料としてのユーグレナの給与がニワトリの成長および腸管粘液に及ぼす効果．日本家禽学会2019年度秋季大会．
4. 岩本学拓，伊東明乃，西向めぐみ，山田美和，柏木明子 (2019) 大腸菌内における放線菌由来ホスホリパーゼDの可溶化と精製．日本生物工学会北日本支部2019札幌シンポジウム．
5. 藤盛和子，山崎裕也，杉山 梢，滋野浩一，原 博，西向めぐみ (2019) エーテル型リン脂質の変換部位の探索．第10回機能油脂懇話会．
6. 金濱 晶，西向めぐみ，柏木明子，杉森大助，山田美和 (2019) 偏性嫌気性菌 *Selenomonas ruminantium* の大量培養条件検討とエーテル型リン脂質の合成．日本農芸化学会東北支部第154回大会．
7. 庄司智彦，渡邊菜々，山崎裕也，杉山 梢，滋野浩一，西向めぐみ (2019) アトピー性皮膚炎モデルマウスにおいてアルキル型リン脂質摂取による皮膚バリア機能への影響とエーテル型リン脂質の動態．日本栄養・食糧学会東北支部第53回大会．
8. 平 彩花，山崎裕也，杉山 梢，滋野浩一，原 博，西向めぐみ (2019) リオキアミ由来脂質の摂取

- 形態の違いが体内エーテル型リン脂質に及ぼす影響．日本栄養・食糧学会 東北支部第 53 回大会．
9. 岩波梨花, 西向めぐみ (2019) アデニン誘導型慢性腎臓病モデルマウスにおける体内エーテル型リン脂質の変動．日本栄養・食糧学会東北支部第 53 回大会．
  10. 伊藤 謙, 佐藤勝祥, 渡邊 潤, 横尾正樹, 藤盛和子, 西向めぐみ (2019) ニワトリ腸管における Wnt シグナルの制御．第 42 回日本分子生物学会年会．
  11. 沢里克宏, 平野絵里香, 西向めぐみ, 西山賢一 (2020) 生体膜に化学物質に対する耐性度を与える因子の探索．第 2 回細胞形成研究会
  12. 金濱 晶, 柏木明子, 山田美和, 西向めぐみ (2020) ラットにおける *Selenomonas ruminantium* 由来プラスマローゲンのリンパ吸収動態．日本農芸化学会 2020 年度大会．

松原和衛  
Matsubara, Kazuei



赴任：1996年  
現職：准教授  
学位：博士（農学）

（岩手大学大学院連合農学研究科）

専門分野：動物育種・生殖学，生殖免疫学，実験動物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 超早期妊娠因子（Super-EPF）に関する研究
2. 始原生殖細胞（PGC）に関する研究
3. 野生動物に関する研究

担当科目：

1. 動物科学実験（動物科学2年次，分担）
2. 動物遺伝育種学（動物科学2年次）
3. 動物遺伝育種学特論（大学院修士）
4. 生命のしくみ（教養教育1年次，分担）
5. 動物科学総論（動物科学1年次，分担）
6. 家畜育種学（動物科学3年次）
7. 実験動物学概論（動物科学1年次）

所属学会等：日本繁殖生物学会，日本生殖免疫学会（評議員，編集委員），日本野生動物医学会，日本卵子学会（評議員），日本生殖医学会，日本家禽学会，日本生殖発生医学会（評議員）

学会賞等：東北畜産学会賞学術賞（1995年），日本家禽臨床学会賞（2010年），The Journal of Poultry

Science優秀論文賞（2012年）  
研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. K. Matsubara, S. Akaogi, S. Nakamura, T. Tujimoto and N. Nakamuta (2019) Characteristics of olfactory organs in sika deer (*Cervus nippon*). Jap. J. Zoo. Wildl. Med. 24: 115-122.

#### B. 国内学会発表

1. 中村啓哉, 松原和衛 (2019) 添加血清がマウス培養始原生殖細胞の走化性に及ぼす影響．第 64 回日本生殖医学会学術講演会・総会プログラム，日本生殖医学会雑誌 64: pp.193 .
2. 松原和衛, 片平睦子, 中村啓哉, 横尾正樹 (2019) 超早期妊娠因子 ELISA によるウシの妊娠診断と ELISA に使用する抗体の胚の反応部位．第 64 回日本生殖医学会学術講演会・総会プログラム，日本生殖医学会雑誌 64: pp.312 .
3. 岩崎節子, 片平睦子, 中村啓也, 平田統一, 松原和衛 (2019) 早期妊娠診断のためのウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体を用いた ELISA の開発．J. Reprord. Dev. 65 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載号: pp. j132.
4. 中村啓哉, 中谷友紀, 岩川 岳, アボット リンモエ, 安野 航, 若井 淳, 松原和衛 (2019) FBS 添加はマウス培養始原生殖細胞の遊走を抑制する．J. Reprord. Dev. 65 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載号: pp. j127.
5. 中野風子, 中村啓哉, 谷藤広志, 松原和衛 (2019) レチノイン酸添加がニワトリ始原生殖細胞の SSEA-1 発現に与える影響．J. Reprord. Dev. 65 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載号: pp. j124 .
6. 門岡 憲, 鈴木幸太, 岩崎節子, 片平睦子, 中村啓哉, 平田統一, 松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子 IgG のウシ IVF 胚に対する反応．J. Reprord. Dev. 65 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載号: pp. j131 .
7. 岩川 岳, 中谷友紀, 中野風子, 中村 啓, 谷藤広志, 松原和衛 (2019) 異種間移植したマウス PGCs の移動能の検討．J. Reprord. Dev. 65 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載号: pp. j125 .
8. アボット リンモエ, 中野風子, 中村啓哉, 佐々木邦明, 谷藤広志, 松原和衛 (2019) 各種の血清添加がニワトリ始原生殖細胞に与える影響．J.

- Reprord. Dev. 6 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載: pp. j126 .
9. 片平睦子, 岩崎節子, 中村啓哉, 平田統一, 松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体の作出. J. Reprord. Dev. 65 (Suppl), 第 112 回日本繁殖生物学会大会講演要旨掲載号: pp. j133 .
  10. 中野風子, 中村啓哉, 伊藤 謙, 力丸宗弘, 谷藤広志, 松原和衛 (2019) ニワトリ精巣における SSEA-1 の発現. 日本家禽学会誌 56 (秋季大会号): pp. 2 .
  11. 中谷友紀, 中村啓哉, 安野 航, 若井 淳, 斎藤靖史, 松原和衛 (2019) 始原生殖細胞の血管新生能力. 第 57 回東北生殖医学会総会・学術講演会プログラム・講演抄録集: pp16 .
  12. 中村啓哉, 中谷友紀, 岩川 岳, アボット リンモエ, 佐藤芙優, 安野 航, 若井 淳, 松原和衛 (2019) マウス始原生殖細胞の走化性に及ぼす FBS 添加の効果. 第 57 回東北生殖医学会総会・学術講演会プログラム・講演抄録集: pp15 .
  13. 中村啓哉, 中野風子, 中谷友紀, アボット リンモエ, 岩川 岳, 佐藤芙優, 安野 航, 若井 淳, 松原和衛 (2020) マウスとニワトリの雄性生殖細胞における SSEA-1 発現の差異. 日本生殖発生医学会第 15 回学術集会プログラム: pp22 .

## 村 元 隆 行

Muramoto, Takayuki



赴任: 2006年

現職: 准教授

学位: 博士(農学)(新潟大学)

専門分野: 動物資源利用学, 食肉科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 日本短角種の筋肉の理化学特性に関する研究
2. 野生動物の筋肉の理化学特性に関する研究
3. 筋肉の非破壊分析に関する研究

担当科目:

1. 動物科学総論(1年次, 分担)
2. 情報基礎(1年次, 分担)
3. 基礎生物学実験(1年次, 分担)
4. 動物科学実験(2年次, 分担)
5. 動物資源利用学(3年次)
6. 動物資源利用学(3年次)
7. 動物資源利用学特論(大学院修士)

所属学会等: 日本畜産学会, 日本食肉研究会, 日本短

角種研究会, Asian-Australasian Association of Animal Production Societies, 東北畜産学会, 日本調理科学学会賞等: 日本畜産学会奨励賞(2001年)

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 高田偲帆, 片山寛則, 村元隆行 (2019) 早生, 中生, および晩生のイワテヤマナシの果汁への浸漬が牛肉の硬さに及ぼす影響. 日本畜産学会報, 90: 147-151 .
2. 金谷圭太, 福田智歩, 村元隆行 (2019) 塩漬剤としての4種類のミネラルの添加量の違いが日本短角種牛肉の保水性及びテクスチャー特性に及ぼす影響. 日本畜産学会報, 90: 321-325 .
3. 西山萌乃, 村元隆行 (2020) 着弾から内臓摘出までの時間が冬季に捕殺された野生ホンシユウジカの鹿肉品質に及ぼす影響. 東北畜産学会報, 69: 33-41 .

### B. その他

1. 村元隆行 (2020) もりおか短角牛フェア 2020 (記者発表・テレビ放映・新聞掲載).

### C. 報告書・事業報告書

1. 村元隆行 (2019) 捕獲手法・止め刺し手法等によるイノシシ・シカ肉の品質分析(イノシシ・シカ肉の理化学的特徴の分析). 生産性革命プロ単年度研究成果報告書(農林水産省), K.3. (1-2) 1-4 .
2. 吉田英生, 村元隆行 (2020) 熟度の異なるサルナシの果汁が日本短角種牛肉のテクスチャー特性および保水性に及ぼす影響 2019 年度地域課題解決プログラム報告書, 13 .
3. 佐々木貴広, 村元隆行 (2020) CAS 冷凍がブロイラーおよび地鶏の筋肉の理化学特性およびうま味成分濃度に及ぼす影響. CAS 冷凍がブロイラーおよび地鶏の筋肉の理化学特性およびうま味成分濃度に及ぼす影響に関する研究の報告書, 1-20 .

### D. 国内学会発表

1. 鎌田丈弘, 阿保洋一, 木村祐介, 平泉真吾, 村元隆行 (2019) 青森県内における黒毛和種の体尺値および枝肉形質が牛肉のテクスチャー特性に及ぼす影響. 第 68 回東北畜産学会大会号: 26 .
2. 中井瑞歩, 西山萌乃, 鈴木結子, 村元隆行 (2019) 鹿挽肉に添加した NaCl の含量が鹿肉ソーセージのテクスチャー特性および保水性に及ぼす影響. 日本畜産学会第 126 回大会講演要旨: 83 .

3. 金谷圭太,川村 周,福田智歩,大内田泰之,横田朋佳,村元隆行(2019) 塩漬剤としての4種類のミネラルの添加量の違いが日本短角種牛肉の保水性及びテクスチャー特性に及ぼす影響.日本畜産学会第126回大会講演要旨:83.
4. 渡辺亮平,米内美晴,鎌田丈弘,横田朋佳,石松朝輝,村元隆行(2019) 接触型電極を用いたインピーダンス測定による黒毛和種8筋肉の脂肪酸組成の推定.日本畜産学会第126回大会講演要旨:88.



## (6) 共同獣医学科



## 板垣 匡

Itagaki, Tadashi



赴任：1988年

現職：教授

学位：獣医学博士（麻布大学）

専門分野：寄生虫学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 寄生虫の系統分類および寄生虫病診断における分子遺伝学的研究
2. 寄生虫病の免疫血清学的診断に関する研究
3. 寄生虫と宿主の相互関係に関する研究
4. 野生動物の寄生虫相に関する研究

担当科目：

1. 原虫・原虫病学（3年次）
2. 蠕虫・蠕虫病・衛生動物学（3年次）
3. 食品安全管理学（4年次）
4. 獣医寄生虫病学演習（5年次）
5. 獣医寄生虫病学卒業研究（5・6年次）
6. 基礎生物学実験（1年次）

所属学会等：日本獣医学会（評議員），日本寄生虫学会（評議員），日本獣医師会，獣医寄生虫学会（評議員），日本感染症学会，World Association for Advancement of Veterinary Parasitology 会員，寄生虫分類形態懇話会会員

他大学講師・客員研究員等：帯広畜産大学非常勤講師，秋田大学医学部非常勤講師，岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授併任

その他の主な活動：農林水産省獣医事審議会専門委員，日本獣医学会会誌編集委員，獣医寄生虫学会誌編集委員，国際協力事業団の派遣専門家

研究業績

### A. 著書・翻訳

1. 板垣 匡，藤崎幸蔵（編著）（2019）動物寄生虫病学 四訂版 .ISBN978-4-254-46037-7 朝倉書店，東京，359p .
2. 板垣 匡（分担執筆）（2019）内部寄生虫。「感染症科診療パーフェクトガイド 犬・猫・エキゾチック動物」（長谷川篤彦監修）ISBN978-4-87362-770-0，学窓社，東京，pp314-335 .

### B. 総説・論説

1. 板垣 匡（2018）寄生虫の駆虫薬．家畜診療，65: 249-251 .

### C. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Uday Kumar Mohanta, Takuya Watanabe, Anisuzzaman,

Yuma Ohari, Tadashi Itagaki (2019) Characterization of *Echinostoma revolutum* and *Echinostoma robustum* from ducks in Bangladesh based on morphology, nuclear ribosomal ITS2 and mitochondrial nad1 sequences. Parasitol. Int. 69: 1-7.

2. Yuma Ohari, Yasuhiro Kuwahara, Tadashi Itagaki (2019) Morphological and genetic characterization of green-banded broodsacs of *Leucochloridium* (Leucochloridiidae: Trematoda) sporocysts detected in *Succinea lauta* in Hokkaido, Japan. Parasitol. Int. 68: 53-56.
3. Chiyo Kitayama, Kei Hayashi, Yuma Ohari, Satomi Kondo, Toshiro Kuroki, Toshiyuki Shibahara and Tadashi Itagaki (2019) Infection by and molecular features of *Learediuslearedi* (Digenea: Schistosomatoidea) in green sea turtles (*Chelonia mydas*) on the Ogasawara Islands, Japan. J. Parasitol. 105(4): 533-538
4. Uday Kumar Mohanta, Takuya Watanabe, Anisuzzaman, Yuma Ohari, Tadashi Itagaki (2020) A rebuttal letter to Letter to the Editor by P. Heneberg on "Taxonomic comments on the validity of *Echinostoma miyagawai* Ishii, 1932 (Trematoda: Echinostomatidae)" Parasitol. Int. 74: 101971.
5. Ehsan Javanmard, Yuma Ohari, Amir Sadeghi, Kouros Cherahipour, Hamid Asadzadeh Aghdaei, Hamed Mirjalali, Mohammad Reza Zali, Tadashi Itagaki (2020) Multigene typing and phylogenetic analysis of *Fasciola* from endemic foci in Iran. Inf. Gen. Evol. 80: 104202.
6. Yuma Ohari, Yuma Suzuki, Toshiyuki Shibahara and Tadashi Itagaki (2019) First report of *Paragonimus skrjabini miyazakii* metacercariae in *Geothelphusa dehaani* (Sawagani) occurring in Iwate Prefecture, Japan. J. Vet. Med. Sci. 81 (8): 1109-1112.
7. Yuma Ohari, Kei Hayashi, Uday Kumar Mohanta, Tatsuo Oshida and Tadashi Itagaki (2020) Phylogenetic relationships between Lymnaeidae in relation to infection with *Fasciola* sp. in Hokkaido, Japan. Mollus. Res. 40: 160-168.
8. Shunsuke Takashima, Yuma Ohari, Tadashi Itagaki (2020) The prevalence and molecular characterization of *Acarapis woodi* and *Varroa destructor* mites in honeybees in the Tohoku region of Japan. Parasitol. Int. 75: 102052.

#### D . 国際学会発表

- 1 . Biswas, PG., Ohari, Y., Mohanta, UK., Itagaki, T. (2019) Morphological and molecular characterization of *Ascaridia galli* detected from domestic chickens in Bangladesh. 2<sup>nd</sup> international Summit on Microbiology & Parasitology (ISMP-2019), Bangkok, Thailand, 24-25 October 2019.
- 2 . Biswas, PG., Ohari, Y., Mohanta, UK., Itagaki, T. (2019) Molecular characterization of *Dispharynx nasuta* and *Cheilospirura hamulosa* obtained from domestic chickens in Bangladesh. The 7<sup>th</sup> Sapporo Summer Symposium for One Health, Abstract PII-14, Sapporo, 19-20 September, 2019.
- 3 . Yuma Ohari, Takao Irie, Shin-ichiro Kawazu, Tadashi Itagaki (2019) Analyses on the population genetics of *Fasciola* flukes reveal the cross-infection between domestic cattle and wild sika deer in Hokkaido, Japan. American Society of Tropical Medicine and Hygiene ASTMH 2019, LB-5233, Maryland (USA), 20-24 November, 2019.

#### D . 国内学会発表

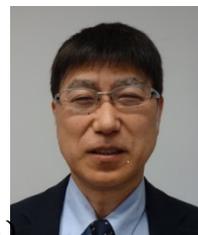
- 1 . 高島舜佑, 尾針由真, 板垣 匡 (2019) ミツバチのノゼマ病の新たな原因種について . 第 162 回日本獣医学会学術集会 CO-24 つくば .
- 2 . 尾針由真, 入江隆夫, 板垣 匡 (2019) 日本産肝蛭の集団遺伝学的解析 : 北海道のウシとシカにおける相互伝播の検証 . 第 162 回日本獣医学会学術集会 CO-29 , つくば .
- 3 . Peru Gopal Biswas, 尾針由真, Uday Kumar Mohanta, 板垣 匡 (2019) Molecular characterization of *Dispharynx nasuta* and *Cheilospirura hamulosa* obtained from domestic chickens in Bangladesh. 第 162 回日本獣医学会学術集会 CO-36 つくば .
- 4 . 神 さくら, 尾針由真, 塚越英春, 板垣 匡 (2019) 岩手県のシロサケに寄生する *Anisakis simplex sensu stricto* の分子系統解析 . 第 162 回日本獣医学会学術集会 CO-37 , つくば .
- 5 . 高島舜佑, 尾針由真, 板垣 匡 (2019) 東北地方のミツバチにおけるアカリンダニ *Acarapis woodi* の感染状況および分子学的特徴の解明 . 第 65 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会要旨集 14 , 盛岡 .
- 6 . 上原子勇一, 神 さくら, 高島舜佑, 尾針由真, 板垣 匡 (2019) 青森県下北地方における肝蛭の中間宿主について . 第 65 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会要旨集 25 ,

盛岡 .

- 7 . 尾針由真, 板垣 匡 (2019) 日本産肝蛭 *Fasciola* sp. は本当に単為生殖しているのか? - 遺伝学的手法によるアプローチ . 第 65 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会要旨集 26 , 盛岡 .
- 8 . 北山知代, 林 慶, 尾針由真, 近藤理美, 黒木俊郎, 柴原壽行, 板垣 匡 (2019) 小笠原諸島のアオウミガメ *Chelonia mydas* から採取された吸虫 *Learedius learedi* および *Phytidodoides similis* の形態学および分子学的解析 . 第 65 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会要旨集 27 , 盛岡 .
- 9 . 神 さくら, 尾針由真, 塚越英春, 板垣 匡 (2019) 三陸沖のシロサケ (トキシラス) から得たアニサキスおよび日本海裂頭条虫の分子学的解析 . 第 65 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会要旨集 27 , 盛岡 .
- 10 . 尾針由真, 押田龍夫, 板垣 匡 (2020) 北海道におけるモノアラガイ科貝類の分布, 肝蛭感染および遺伝学的特徴について . 北海道自然史研究会 2019 年度大会, 旭川 .

宇 塚 雄 次

Uzuka, Yuji



赴任 : 2009年

現職 : 教 授

学位 : 博士 (獣医学) (東京大学)

専門分野 : 伴侶動物神経病学, 獣医放射線学, 伴侶動物内分泌病学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動 :

- 1 . 犬のてんかんに対する新規治療法の確立
- 2 . 伴侶動物医療における断層撮影の活用法
- 3 . 犬の非感染性脳炎に対する予後予測の評価
- 4 . 犬の吸入麻酔時の酸素毒性に関わる研究

担当科目 :

- 1 . 基礎生物学実験 (1 年次, 分担)
- 2 . 基礎放射線学 (2 年次, 分担)
- 3 . 獣医外科学総論 (3 年次, 分担)
- 4 . 麻酔学・手術学 (4 年次, 分担)
- 5 . 軟部外科学 (4 年次, 分担)
- 6 . 獣医事法規 (4 年次, 分担)
- 7 . 小動物外科学実習・基礎編 (4 年次, 分担)
- 8 . 小動物外科学実習・応用編 (4 年次, 分担)
- 9 . 画像診断学 (5 年次, 分担)

- 10. 神経病・運動器病学 (5年次, 分担)
- 11. 画像診断実習 (5年次, 分担)
- 12. 総合参加型臨床実習 (5年次, 分担)
- 13. 総合参加型臨床実習 (5年次, 分担)
- 14. 臨床腫瘍学 (5年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会(評議員), 日本獣医師会, 日本生理学会, 日本臨床神経生理学会, 獣医神経病学会(会長), 日本獣医画像診断学会(評議員), 動物臨床医学会(理事), 獣医麻酔外科学会(評議員)

岡田 啓 司

Okada, Keiji



赴任: 1991年

現職: 教授

学位: 獣医学博士(岐阜大学)

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

- 1. アニマルウェルフェアに基づいたIoTによる牛群管理に関する研究
- 2. 子牛の母乳性下痢症の病態および防除に関する研究
- 3. 牛の栄養障害の防除と栄養管理に関する研究
- 4. 牛の護蹄管理に関する研究

担当科目:

- 1. 人の暮らしと生物環境(1年次)
- 2. 家畜衛生学実習(3年次)
- 3. 大動物臨床学(4年次)
- 4. 大動物臨床実習・基礎編(5年次)
- 5. 大動物臨床実習・応用編(5年次)
- 6. 総合参加型臨床実習(5年次)
- 7. 食品安全管理学(4年次, 分担)
- 8. 臨床獣医学演習(5・6年次)
- 9. 卒業研究

所属学会等: 日本獣医学会(評議員), 日本産業動物獣医学会, 日本畜産学会, 日本家畜臨床学会(理事), 牛臨床寄生虫研究会(常任理事・事務局長), 護蹄研究会(理事), 原発事故被災動物と環境研究会(理事・事務局長)

学会賞等: 農林水産大臣賞(1992年), 東北地区産業動物獣医学会会長賞(2002年), 日本獣医師会学術奨励賞産業動物部門学術賞(2004年), 日本家畜臨床学会奨励賞(2006年), 吉田賞(2012年), 農林水産省経営局長賞(2012年)

他大学講師・客員研究員等: 岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授兼任

その他の主な活動: 日本装師会認定試験委員, 全国牛

削蹄競技会審査委員長

研究業績

A. 原著論文

(a)学術雑誌

- 1. Sasaki, J., Uehara, M., Sato, I., Satoh, H., Deguchi, Y., Chida, H., Natsuhori, M., Murata, T., Ochiai, K., Otani, K., Okada, K. and Ito, N. (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black Cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Anim Sci J. 90(9):1333-1339.
- 2. Sato I., Sasaki J., Satoh H., Natsuhori M., Murata, T., Okada K. (2019) Comparison of urine and blood as a convenient and practical sample for estimating the contamination level of live cattle with radioactive cesium. Anim Sci J. 90(8):1090-1095.
- 3. Sato, I., Sasaki, J., Satoh H., Okada, K. (2019) Effects of Treatment Time and Thickness of Meat on the Removal of Radioactive Cesium from Beef Slices by Boiling and Water Extraction. Journal of food protection. 82(4):623-627.

(b)プロシーディングス

- 1. 千田 廉, 猪股智夫, 岡田啓司 (2019) IoTと加速度センサを用いた動物の行動解析. シンポジウム 16 テクノロジーとの新結合がもたらす先端安全性研究, 日本毒性学会講演要旨集 S16-2.

B. 特許

- 1. 岡田啓司(2020) 反芻動物の健康評価方法, 健康評価装置, 飼料評価方法, 及び飼料評価装置. 登録番号: 第6653101号(登録日: 2020/1/29).
- 2. 岡田啓司(2020) 反芻動物の行動分析方法及び行動分析装置. 登録番号: 第6653099号(登録日: 2020/1/29).

落合 謙 爾

Ochiai, Kenji



赴任: 2014年

現職: 教授

学位: 博士(獣医学)(北海道大学)

専門分野: 獣医病理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

- 1. 神経系と心筋に病原性を示すトリ白血病ウイルスに関する病理学, 分子生物学および疫学的研究
- 2. 家畜, 犬, 猫, 鳥類の自然発生性疾患に関する病

## 理学的研究

### 担当科目：

1. 動物病理学総論（3年次）
2. 動物病理学各論A（4年次，分担）
3. 病理学実習（3・4年次，分担）
4. 家禽疾病学（4年次）
5. 生物学（1年次，分担）
6. 獣医学演習（5年次）
7. 卒業研究（6年次）

所属学会等：日本獣医学会（評議員），日本獣医病理学専門家協会（評議員，理事），日本獣医師会，日本野生動物医学会（評議員），鶏病研究会（岩手県鶏病研究会副会長，理事）

学会賞等：後藤養鶏学術奨励賞（2004年）

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授兼任，岩手大学大学院獣医学研究科教授兼任

その他の主な活動：農林水産省獣医事審議会専門委員，日本獣医学会誌編集委員，食鳥処理衛生管理者登録講習会講師，文部科学省獣医学専門委員会委員，岩手県獣医師会学術広報委員長，岩手県獣医畜産業績発表会審査員，日本ウマ科学会英文学術誌編集委員

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Nishiura, H., Yamazaki, A., Wakakuri, K., Sasaki, J., Terashima, J. and Ochiai, K. (2019) Yersinia infection in two captive guereza colobus monkeys (*Colobus guereza*). J. Vet. Med. Sci. 81:1201-1204.
2. Sasaki, J., Uehara, M., Sato, I., Satoh, H., Deguchi, Y., Chida, H., Natsuhori, M., Murata, T., Ochiai, K., Otani, K., Okada, K. and Ito, N. (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black Cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Anim. Sci. J. 90:1333-1339.

#### B. 国内学会発表

1. 岩本 毅，西浦 颯，若山映令彩，佐々木 淳，御領政信，落合謙爾（2018）熊本地方の日本鶏と国内のプロイラーの ALV 発生状況．令和元年度獣医学術東北地区学会日本産業動物獣医学会（東北地区）：41．
2. 西浦 颯，尾形 透，城 志乃，佐々木 淳，近藤寛樹，一條俊浩，落合謙爾（2019）黒毛和種牛にみられた胸腰髄神経根の引き抜き損傷．令和元年度獣医学術東北地区学会日本産業動物獣医学会（東北地区）：43．

3. 津島 文，佐藤 淳，大石将司，土屋幸義，山手寛嗣，横井亮二，佐々木 淳，落合謙爾（2019）猫の皮膚肥満細胞腫におけるグレード分類の検討．令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会（東北地区）：65．
4. 若山映令彩，佐々木 淳，小林沙織，佐藤れえ子，落合謙爾（2019）成猫の猫ヘルペスウイルス性肺炎の病理学的特徴．令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会（東北地区）：76．
5. 竹内颯人，西浦 颯，土屋幸義，佐藤 淳，小林沙織，佐々木 淳，落合謙爾（2019）イヌの口腔内悪性黒色腫の予後予測指標としての c-kit の有用性．令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会（東北地区）：79．
6. 津島 文，西浦 颯，佐々木 淳，落合謙爾（2020）鶏の精巣から精管にわたって形成された重度の精子肉芽腫．令和2年度岩手県鶏病技術研修会（抄録のみ）．
7. 西浦 颯，竹内颯人，津島 文，佐々木 淳，落合謙爾（2020）鶏不死化神経膠細胞の試験的作出．令和2年度岩手県鶏病技術研修会（抄録のみ）．
8. 西浦 颯，岩本 毅，近藤佑衣，竹内颯人，津島 文，佐々木 淳，落合謙爾（2020）トリ白血ウイルス K 亜群に類似する日本分離株の分子系統解析．第7回日本獣医病理学専門家協会学術集会，宮崎．
9. 津島 文，西浦 颯，佐々木 淳，落合謙爾（2020）鶏の精巣から精管にみられた片側性精子肉芽腫の病理学的特徴．第7回日本獣医病理学専門家協会学術集会，宮崎．

木 崎 景一郎

Kizaki, Keiichiro



赴任：2004年

現職：教授

学位：博士（薬学）（帝京大学）

専門分野：細胞生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 胎子・母体間相互作用の解明に関する研究

担当科目：

1. 動物と環境（1年次）
2. 獣医細胞生物学（1年次）
3. 器官制御生理学（2年次）
4. 生理学実習（2年次）
5. 内分泌学（3年次）
6. 獣医学演習（5年次）
7. 卒業研究（6年次）

所属学会等：日本生化学会，日本獣医学会，日本薬学会，日本繁殖生物学会，日本畜産学会

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院連合獣医学研究科准教授併任

研究業績

#### A．著書・訳書

1. 木崎景一郎(分担執筆)(2020) 体液：性質と機能・血液の組織と機能。「原書13版デュークス獣医生理学」(鈴木浩悦監修)，学窓社，東京，pp. 125-165.

#### B．原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Kizaki, K., Kageyama, T., Toji, N., Koshi, K., Sasaki, K., Yamagishi, N., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2020) Gene expression profiles in bovine granulocytes reflect the aberration of liver functions. Anim. Sci. J. 91, e13324.
2. Yoshino, H., Kizaki, K., Iga, K., Hirata, T.I., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Toji, N., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2020) Use of a prediction method for early pregnancy status utilizing receiver operating characteristic curve analysis of peripheral blood leukocyte interferon-stimulated genes in Japanese-Black cattle. Anim. Reprod. Sci. 214, 106283.
3. Ghazy, A., Kizaki, K., Hashizume, K. (2020) Genetic potential of various chromosomes in Egyptian buffalo. Pak. J. Agri. Sci. 57(2), 295-301.
4. Hosoe, M., Furusawa, T., Hayashi, K.G., Takahashi, T., Hashiyada, Y., Kizaki, K., Hashizume, K., Tokunaga, T., Matsuyama, S., Sakumoto, R. (2019) Characterisation of bovine embryos following prolonged culture in embryonic stem cell medium containing leukaemia inhibitory factor. Reprod. Fertil. 31(6) 1157-1165. Dev. DOI: 10.1071/RD18343
5. Kim, Y.H., Toji, N., Kizaki, K., Takemura, K., Kushibiki, S., Sato, S. (2019) Effects of ruminal pH on gene expression in the rumen epithelium, peripheral blood mononuclear cell subpopulations, and blood metabolites from Holstein calves during weaning transition. J. Vet. Med. Sci. 81(6), 808-816.

#### C．国際学会発表

1. Kizaki, K., Yoshino, H., Hirata, T.I., Iga, K., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Imai, K., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2019) Reliability of ISGs Expression in Peripheral Blood Leukocytes for Prediction of Gestational Conditions in Embryo Transferred Cows. The Society for the study of reproduction 2018 52nd Annual Meeting, San Jose, LA, USA.

#### D．国内学会発表

1. 木崎景一郎，岡本さくら，石黒(大沼)俊名，高橋透，伊賀浩輔(2019) 妊娠ウシ血中のマイクロRNA定量に関する基礎的検討．第112回日本繁殖生物学会大会(札幌)．
2. 中津祥也，與座明祥，石黒(大沼)俊名，高橋透，木崎景一郎(2019) ウシ妊娠子宮内膜および胎盤で発現するマイクロRNAの特性．第162回日本獣医学会学術集会(つくば)．
3. 中沢綾香，石黒(大沼)俊名，落合和彦，森松正美，木崎景一郎(2019) がん抑制遺伝子p53に変異を有するイヌ乳腺腫瘍細胞に対する血管新生阻害薬の抗腫瘍効果の解析．第162回日本獣医学会学術集会(つくば)．
4. 石塚直樹，牧野博生，Yohan Kim，木崎景一郎，岩本英治，正木達規，佐藤 繁(2019) 黒毛和種牛の肥育時期による第一胃粘膜上皮遺伝子発現の変化．第162回日本獣医学会学術集会(つくば)．
5. 千葉恵樹，Yohan Kim，杉野利久，川嶋賢二，沖村朋子，櫛引史郎，木崎景一郎，佐藤 繁(2019) 亜急性第一胃アシドーシス牛の分娩前後における肝組織中遺伝子発現の変化．日本畜産学会第126回大会(盛岡)．

佐藤 繁

Sato, Shigeru



赴任：2007年

現職：教授

学位：農学博士(東北大学)，  
獣医学博士(北里大学)

専門分野：大動物内科学，大動物代謝病学，生産獣医療学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 乳牛の周産期疾病の病態および予防に関する研究
2. 乳牛のルーメンアシドーシスの病態および細胞性免疫機能に関する研究

3 . 乳牛の乳房炎における抗酸化物質投与の影響および細胞性免疫機能に関する研究

4 . 子牛下痢症の病態および抗病性付与に関する研究

担当科目 :

1 . 獣医内科学

2 . 同実習

3 . 獣医臨床実習

4 . 臨床獣医学演習

5 . 家畜疾病学

所属学会等 : 日本獣医学会 , 日本畜産学会 , 日本家畜臨床学会 , 日本産業動物獣医学会

学会賞等 : 日本獣医学会賞 ( 第 69 号 ・ 1992 年 )

研究業績

A . 原著論文

(a) 学術雑誌

1 . Kei Takemura, Hiroyuki Shingu, Hitoshi Mizuguchi, Yo-Han Kim, Shigeru Sato and Shiro Kushibiki (2019) Effects of forage feeding on rumen fermentation, plasma metabolites, and hormones in Holstein calves during pre-and post-weaning periods. *J. Anim. Sci.*, 97, 2220-2229, doi: 10.1093/jas/skz088.

2 . Yatu, M., Sato, M., Kobayashi, J., Ichijo, T., Satoh, H., Oikawa, T. and Sato, S. (2018) Breeding profiles at the periparturient stage in captive red foxes (*Vulpes vulpes*) mating naturally or subjected to artificial insemination in Japan. *J. Vet. Res.*, 63, 2019, DOI: 10.2478/jvetres-2019-0031.

3 . Yumi Watanabe, Yo-Han Kim, Shiro Kushibiki, Kentaro Ikuta, Toshihiro Ichijo and Shigeru Sato (2019) Effects of active dried *Saccharomyces cerevisiae* on ruminal fermentation and bacterial community during the short-term subacute ruminal acidosis challenge in Holstein calves. *J Dairy Sci*, 102, 2019, doi.org/10.3168/jds.2018-15871.

4 . Yo-Han Kim., Toji, M., Kizaki, K., Takemura, K., Kushibiki, S. and Sato, S. (2019) Effects of ruminal pH on gene expression in the rumen epithelium, peripheral blood mononuclear cell subpopulations, and blood metabolites from Holstein calves during weaning transition. *J. Vet. Med. Sci.*, 81(6), 2019, doi:10.1292/jvms.18-0659.

5 . Toru Ogata, Yo-Han Kim, Tatsunori Masaki, Eiji Iwamoto, Yoshihisa Ohtani, Takenori Orihashi, Toshihiro Ichijo, Shigeru Sato (2019) Effects of an increased concentrate diet on rumen pH and the

bacterial community in Japanese Black beef cattle at different fattening stages. *J. Vet. Med. Sci.*, 81(7) 2019, doi: 10.1292/jvms.19-0077.

6 . Junro Kato, Tatuya Odate, Yo-Han Kim, Toshihiro Ichijo and Shigeru Sato (2019) Effects of feeding management on disease incidence, and blood metabolites in dairy herds in Iwate Prefecture, Japan. *J. Vet. Med. Sci.*, 81(7). 2019, doi: 10.1292/jvms.18-0742.

7 . Yo-Han Kim, Chie Takahashi, Shiro Kushibiki, Kentaro Ikuta, Toshihiro Ichijo and Shigeru Sato (2019) Wood kraft pulp supplementation alters the rumen fermentation characteristics and epithelial transcriptomes in Holstein cattle during the continuous high-grain diet challenge. *Anim Feed Sci Tech*, 257 (2019) 114292, doi.org/10.1016/j.anifeedsci.2019.114292.

8 . Marika Maeda, Koh Kawasumi, Shigeru Sato, Toshiro Arai (2019) Evaluation of blood adiponectin levels as an index for subacute ruminal acidosis in cows: a preliminary study. *Vet Res Communi*, doi.org/10.1007/s11259-019-09760-0.

9 . Toru Ogata, Yo-Han Kim, Hiroki Makino, Naoki Ishizuka, Eiji Iwamoto, Tatsunori Masaki, Kentaro Ikuta and Shigeru Sato (2019) Long-term high-grain diet altered the ruminal pH, fermentation, and composition and functions of the rumen bacterial community, leading to enhanced lactic acid production in Japanese Black beef cattle during fattening. *PLOS ONE*. doi.org/10.1371/journal.pone.0225448.

10 . Yoshiyuki Tsuchiya, Ena Chiba, Toshihisa Sugino, Kenji Kawasashima, Toshiya Hasunuma, Shiro Kushibiki, Yo-Han Kim, Shigeru Sato (2020) Changes in rumen fermentation, bacterial community, and predicted functional pathway in Holstein cows with and without subacute ruminal acidosis during the periparturient period. *J Dairy Sci*, doi.org/10.3168/jds.2019-17546.

11 . Toru Ogata, Hiroki Makino, Naoki Ishizuka, Eiji Iwamoto, Tatsunori Masaki, Keiichi Kizaki, Yo-Han Kim and Shigeru Sato (2020) Long-term high-grain diet alters ruminal pH, fermentation, and epithelial transcriptomes, leading to restored mitochondrial oxidative phosphorylation in Japanese Black cattle. *Scientific Reports*, 10:6381 doi.org/

10.1038/s41598-020-63471-0.

#### B. 国内学会発表

1. 石塚直樹, 牧野博生, Kim Yohan, 木崎景一郎, 岩本英治, 正木達規, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種牛の肥育時期による第一胃粘膜上皮遺伝子発現の変化. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨: 455.
2. 千葉恵樹, Kim Yohan, 杉野利久, 川嶋賢二, 蓮沼俊哉, 榎引史郎, 佐藤 繁 (2019) 亜急性第一胃アシドーシス牛の分娩前後における第一胃液pH, VFAおよび細菌叢構成. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨: 455.
3. 小材玲子, 杉野利久, 川嶋賢二, 蓮沼俊哉, 榎引史郎, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 亜急性第一胃アシドーシス牛の分娩前後における肝組織中の抗酸化関連遺伝子発現. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨: 455.
4. 一條俊浩, 三井一鬼, 北勇一朗, 牧野博生, 石塚直樹, 小材玲子, 千葉恵樹, 村山勇雄, 馬場久美子, 後藤浩子, Kim Yohan, 佐藤 繁 (2019) ホルスタイン種乳牛と黒毛和種育成牛に発生した黒色腫の2例. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨: 453.
5. 石塚直樹, 牧野博生, Kim Yohan, 岩本英治, 正木達規, 生田健太郎, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種牛の肥育時期による第一胃液pH, 発酵産物および細菌叢構成の変化. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 78.
6. 千葉恵樹, Kim Yohan, 杉野利久, 川嶋賢二, 沖村朋子, 榎引史郎, 木崎景一郎, 佐藤 繁 (2019) 亜急性第一胃アシドーシス牛の分娩前後における肝組織中遺伝子発現の変化. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 78.
7. 小材玲子, 杉野利久, 福井陽士, 沖村朋子, 榎引史郎, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 乳牛の分娩後における負のエネルギーバランスと血中MDA, GPxおよびPAO値の変化. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 78.
8. 堀中あさひ, Kim Yohan, 杉野利久, 川嶋賢二, 岩本英治, 正木達規, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) ホルスタイン種乳牛と黒毛和種肥育牛における第一胃液細菌叢構成の比較. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 79.
9. 田内瞬一, 一條俊浩, 北 勇一朗, Kim Yohan, 牧野博生, 石塚直樹, 小材玲子, 千葉恵樹, 金子紘野, 堀中あさひ, 加藤惇郎, 佐藤 繁 (2019)

ホルスタイン種去勢牛における静脈血と門脈血中のアンモニア濃度とタウリン, ハイドロキシプロリンおよびメチオニン濃度の比較. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 71.

10. 前田友香, 西村慶子, 新倉 宏, 水口人史, 佐藤 繁, 寺田文典, 榎引史郎 (2019) 黒毛和種肥育中期牛への木材クラフトパルプの給与が第一胃発酵に及ぼす影響. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 74.
11. 西村慶子, 新倉 宏, 水口人史, 佐藤 繁, 寺田文典, 榎引史郎 (2019) 木材クラフトパルプの粗飼料置き換えが泌乳牛のルーメン液性状および乳生産に及ぼす影響. 日本畜産学会第126回大会講演要旨: 76.
12. 堀中あさひ, 石塚直樹, 牧野博生, Kim Yohan, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種牛の肥育時期における第一胃細菌叢の構成および代謝経路の変化. 日本家畜臨床学会第50回学術集会講演要旨, 140-141.
13. 田内瞬一, 一條俊浩, 菊地 薫, 堀中あさひ, 金子紘野, 石塚直樹, 千葉恵樹, 小材玲子, Kim Yohan, 佐藤 繁 (2019) 人為的尿道挫滅による排尿困難を示した黒毛和種子牛の1例. 日本家畜臨床学会第50回学術集会講演要旨, 138-139.
14. 金子紘野, 一條俊浩, 平田統一, 田内瞬一, 堀中あさひ, 石塚直樹, 千葉恵樹, 小材玲子, Kim Yohan, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種育成牛で難治性を示した成長板骨折の1例. 日本家畜臨床学会第50回学術集会講演要旨, 126-127.

#### C. 国際学会発表

1. Shigeru Sato, Hiroki Makino, Naoki Ishizuka, Yo-Han Kim, Tatsunori Masaki, Eiji Iwamoto, Shiro Kushibiki, Hitoshi Mizuguchi (2019) Changes in rumen pH, volatile fatty acids, lipopolysaccharide, and the bacterial community of Japanese Black beef cattle at different fattening stages. Proceedings of 17th International conference on production diseases in farm animals: 67.
2. Shigeru Sato, Hiroki Makino, Yo-Han Kim, Tatsunori Masaki, Eiji Iwamoto, Shiro Kushibiki, Toshihiro Ichijo, Hitoshi Mizuguchi (2019) Comparison of pH, volatile fatty acids, lipopolysaccharide, and the bacterial community in the rumen and reticulum of Japanese Black beef cattle. Proceedings of 17th International conference on production diseases in farm animals: 69.

佐藤 洋  
Sato, Hiroshi



赴任：2015年

現職：教授

学位：博士（獣医学）（北里大学）

専門分野：毒性学，獣医薬理学，毒性病理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. ホルモン製剤により誘発された増殖性病変の生物学的特性解析と種差・系統差に関する研究
2. ホルモン依存性腫瘍に対するCox阻害剤やその他抗腫瘍活性物質の効果と薬理作用の解明
3. 細胞傷害性抗がん剤による感覚器毒性の発生機序解明と予防の探索
4. 種々疾患モデルにおける機能性食品の予防効果とその薬効機序解明

担当科目：

1. 統合薬理学（3年次）
2. 薬理学実習（3年次）
3. 毒性学実習（4年次）
4. 食品安全管理学（5年次）

所属学会等：日本獣医学会（評議員），日本毒性学会，日本毒性病理学会（評議員），米国毒性病理学会，日本獣医病理学専門家協会（評議員，理事）

学会賞等：第10回日本毒性病理学会会長賞（1994年），平成10年度日本毒性学会田辺賞（1998年）

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授兼任，岩手大学大学院獣医学研究科教授兼任，岩手医科大学非常勤講師

その他の主な活動：独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員，環境省環境リスク評価委員会健康リスク評価分科会，環境リスク評価委員会健康リスク評価分科会発がんリスク評価ワーキンググループメンバー，内閣府食品安全委員会専門委員，環境省中央環境審議会臨時委員

研究業績

A. 著書・訳書

1. 佐藤 洋（分担執筆）（2020）第11章 呼吸器毒性．獣医学教育モデル・コアカリキュラム準拠獣医毒性学＜第二版＞（日本比較薬理学・毒性学会編），株式会社近代出版，東京，pp118-127．

B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Sato, I., Sasaki, J., Sato, H. and Okada, K. (2019) Effects of Treatment Time and Thickness of Meat

on the Removal of Radioactive Cesium from Beef Slices by Boiling and Water Extraction. J Food Prot. 82:623-627.

2. Sato, I., Sasaki, J., Sato, H., Natsuhori, M., Murata, T. and Okada, K. (2019) Comparison of urine and blood as a convenient and practical sample for estimating the contamination level of live cattle with radioactive cesium. Anim. Sci. J. 90, 1090-1095.
3. Yatu, M., Sato, M., Kobayashi, J., Ichijo, T., Sato, H., Oikawa, T. and Sato, S. (2019) Breeding profiles at the periparturient stage in captive red foxes (*Vulpes vulpes*) subjected to natural mating or artificial insemination in Japan. J. Vet. Res. 63: 299-302.
4. Sasaki, J., Uehara, M., Sato, I., Sato, H., Deguchi, Y., Chida, H., Natsuhori, M., Murata, T., Ochiai, K., Otani, K., Okada, K. and Ito, N. (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black Cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Anim.Sci. J. 90:1333-1339.
5. Hoshino, Y., Inden, T., Otaka, R., Fukui, D., Sato, H. and Katayama, M. (2019) Interaction of cyclosporine with phenobarbital in cats: a preliminary study. J Vet Med Sci. 81: 1621-1623.

C. 国際学会発表

1. Yamasaki, M., Katayama, M., Mitsui, I., Sato, H. and Yamamoto, Y. (2019) A case of renal interstitial cell tumor with polycythemia in a Yorkshire terrier. 2nd Asian Small Animal Specialists Veterinary Congress, Shanghai.

D. 国内学会発表

1. 高井順子，村松奈苗，片寄侑亜，宮澤圭吾，綱田丈二，佐藤 洋（2019）ピンクリスチン投与ラットにおける味細胞傷害の経時的变化．第162回日本獣医学会要旨：500（つくば）．
2. 村松奈苗，高井順子，片寄侑亜，宮澤圭吾，綱田丈二，佐藤 洋（2019）ピンクリスチン投与ラットに観察された筋傷害．第162回日本獣医学会要旨：499（つくば）．

高橋 透  
Takahashi, Toru



赴任：2013年

現職：教授

学位：農学博士

専門分野：繁殖機能制御学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 家畜の妊娠成立機構の解明と繁殖障害の診断・治療・予防に関する教育・研究

担当科目：

1. 繁殖機能制御学（4年次）
2. 総合参加型臨床実習（5年次）
3. 泌尿器病生殖器病学（5年次）
4. 繁殖機能制御学実習（4年次）
5. 臨床繁殖学実習（4年次）

所属学会等：日本獣医学会，日本畜産学会，日本繁殖生物学会，日本家畜臨床学会，日本家畜胚移植研究会  
学会賞等：日本繁殖生物学会学術賞（2014年）

寺嶋 淳  
Terajima, Jun



赴任：2017年

現職：教授

学位：博士（獣医学）（北海道大学）

専門分野：細菌学，生化学，獣医公衆衛生学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 食品に由来する細菌感染症に関する研究
2. 下痢症を起こす病原性細菌に関する研究

担当科目：

1. 人獣共通感染症学（3年次）
2. 獣医公衆衛生学総論（3年次）

所属学会等：日本細菌学会，米国微生物学会，日本食品微生物学会，日本獣医学会，日本食品衛生学会，日本薬学会，日本防菌防黴学会

その他の主な活動：厚生労働省 薬事・食品衛生審議会乳肉水産食品部会委員，文部科学省 学校給食における衛生管理の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員，岩手県「感染症対策委員会」委員，岩手県「感染症検査ネットワーク会議」委員，日本食品微生物学会（理事），日本食品衛生学会（理事，学会誌編集委員会委員長）

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授兼任

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Arai, S., Yoshinari, T., Terajima, J., Hara-Kudo, Y., Ohnishi, T. (2019) Detection of *Kudoa hexapunctata* and *Kudoa neothunni* from retail raw tuna in Japan using a novel duplex polymerase chain reaction. *Parasitol Int.* 75:102048.
2. Nishiura, H., Yamazaki, A., Wakakuri, K., Sasaki, J., Terajima, J., Ochiai, K. (2019) Yersinia infection in two captive guereza colobus monkeys (*Colobus guereza*). *J Vet Med Sci.* 81:1201-1204.

B. 国内学会発表

1. 谷田奈津美，大森香葉，白藤由紀子，寺嶋 淳，山崎朗子（2019）ウマ寄生 *Sarcocystis fayeri* の腸管病原性解析．第162回日本獣医学会学術集会．

古市 達哉  
Furuichi, Tatsuya



赴任：2012年

現職：教授

学位：博士（医学）（大阪大学）

専門分野：実験動物学

主な研究テーマ及び主な教育活動

1. モデル動物を用いた骨軟骨発生メカニズムの解明
2. モデル動物を用いた骨関節疾患の発症メカニズムの解明

担当科目

1. 生命のしくみ（1年次，分担）
2. 実験動物学（2年次）
3. 実験動物学実習（2年次）
4. 獣医遺伝育種学（2年次）
5. 動物品種論（3年次，分担）
6. 獣医学演習（5，6年次，分担）
7. 卒業研究（5，6年次）

所属学会等：日本獣医学会（評議員），日本実験動物学会（評議員，編集委員会委員），日本実験動物医学専門医協会，東北動物実験研究会（幹事），日本獣医師会，日本骨代謝学会

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授併任，理化学研究所客員研究員併任

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Furuichi, T., Tsukamoto, M., Saito, M., Sato, Y., Oiji, N., Yagami, K., Fukumura, R., Gondo, Y., Guo, L., Ikegawa, S., Yamamori, Y., Tomii, K. (2019) Crim1<sup>C140S</sup> mutant mice reveal the importance of cysteine 140 in the internal region 1 of CRIM1 for its physiological functions. *Mamm. Genome* 30: 329-338.
2. Kodama, K., Takahashi, H., Oiji, N., Nakano, K., Okamura, T., Niimi, K., Takahashi, E., Guo, L., Ikegawa, S., Furuichi, T. (2020) CANT1 deficiency in a mouse model of Desbuquois dysplasia impairs glycosaminoglycan synthesis and chondrocyte differentiation in growth plate cartilage. *FEBS Open Bio*, in press.

B. 国内学会発表

1. 兒玉一希, 中野賢太, 岡村匡史, 新見君枝, 高橋英機, 古市達哉 (2019) *Cant1* 欠損マウスの骨格系における病態解析と Desbuquois 骨異形成症モデル動物としての評価. 第 161 回日本獣医学会講演要旨集: 511.
2. 矢神和広, 生地伸康, 新見君枝, 高橋英機, 古市達哉 (2019) コンディショナル KO マウスを用いた CRIM1 の軟骨細胞における機能の検討. 第 161 回日本獣医学会講演要旨: 511.
3. 高橋宏明, 生地伸康, 福井尚志, 古市達哉 (2019) 全エクソームシーケンズ解析による STR/ort マウスが持つ変形性関節症感受性遺伝子の検索. 第 161 回日本獣医学会講演要旨集: 511.
4. 生地伸康, 兒玉一希, 中野賢太, 岡村匡史, 古市達哉 (2019) CRISPR-Cas9 ゲノム編集システムによる *Cant1* 遺伝子欠損マウスの作製・ヘテロ接合体作出の工夫. 第 5 回実験動物技術研究交流大会講演要旨集: 12.

村上賢二  
Murakami, Kenji



赴任: 2012年

現職: 教授

学位: 博士 (獣医学) (岐阜大学)

専門分野: 獣医微生物学, 感染症学, 免疫学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 獣医感染症の疫学および病原解析ならびに診断・予防法に関する研究

担当科目:

1. 微生物学総論 (2年次)
2. 病原微生物学 (3年次)
3. 病原微生物学実習 (3年次)
4. 感染症学 (4年次)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本ウイルス学会, 獣疫学会, 日本家畜臨床学会

その他の主な活動: 日本中央競馬会「競走馬総合研究所外部研究評価委員会」委員, 農林水産省東北農政局「東北農政局消費・安全対策交付金第三者評価委員会」委員, 岩手県「感染症対策委員会」委員, 岩手県「感染症検査ネットワーク会議」委員, 獣医系大学間獣医学教育支援機構 理事, 中央畜産会「生産地等馬伝染性疾病防除強化推進委員会」委員, 公益社団法人 中央畜産会「馬伝染性疾病防除対策技術普及啓発資料作成委員会」委員, 家畜衛生対策推進協議会「自衛防疫体制強化推進委員会」委員, 家畜衛生対策推進協議会「慢性感染症対策検討部会」部会長

研究業績

A. 著書・訳書

1. 村上賢二 (分担執筆) (2019) 動物の感染症 (第4版) (明石博臣, 内田郁夫, 大橋和彦, 後藤義孝, 須永藤子, 高井伸二, 宝達 勉編). 近代出版, 東京, p91-93.

B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Hata, E., Nagai, K., Murakami, K. (2019) Mutations associated with change of susceptibility to lincosamides and/or macrolides in field and laboratory-derived *Mycoplasma californicum* strains in Japan, and development of rapid detectable method for these mutations. *Vet Microbiol.* 229, 81-89.

C. 報告書・事業報告書

1. 大呂興平, 井上憲一, 佐藤 泰, 上松瑞穂, 永田修平, 村上賢二, 高橋圭二 (2019) 牛白血病の衛生管理. CBS 運営・管理技術の手引き書, 畜産技術協会編, p42-46, 2018.03.

D. 国内学会発表

1. 松崎 駿, 平田統一, 阿倍佳代子, 鈴木幸太, 及川真道, 千田広幸, 佐々木 修, 佐々木修一, 田尻和之, 桃田優子, 村上賢二, 彦野弘一 (2019) アブの牛白血病ウイルス保有率と昆虫忌避剤入りネットの実地効力試験に関する検討. 第 125 回日本畜産学会, 2019.9.17-19.
2. 落合千尋, 片桐 謙, 宮内苑子, 工藤裕太, 内藤郁慶, 千葉優介, 米山州二, 富田啓介, Leng Donze,

彦野弘一, 村上賢二 (2019) 牛白血病ウイルス Tax233 番アミノ酸を型別するハイスループット解析法の開発. 令和元年度 獣医学術東北地区学会, 2019.10.11.

## 山崎 真大

Yamasaki, Masahiro



赴任: 2014年

現職: 教授

学位: 博士 (獣医学) (北海道大学)

専門分野: 臨床獣医学, 小動物内科学, 獣医皮膚科学, 獣医血液病学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 犬バベシア症の病態解明, 治療法開発, 薬剤耐性機序の解明
2. 犬膿皮症の治療法開発

担当科目:

1. 小動物内科学実習・基礎編 (4年次前期, 責任教員)
2. 小動物内科学自習・応用編 (4年次後期, 責任教員)
3. 消化器病学 (4年次後期, 責任教員)
4. 代謝病・中毒学 (5年次後期, 責任教員)
5. 血液免疫病学 (5年次後期, 責任教員)
6. 臨床栄養学 (5年次後期, 責任教員)
7. 総合参加型臨床実習 (5年次前期, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本寄生虫学会, 動物臨床医学会, 日本獣医皮膚科学会

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 山崎真大 (単著) (2019) ポメラニアン犬の家族性メトヘモグロビン血症 MP アグロ株式会社, 北海道, pp. 2-5.

### B. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Iguchi, A., Uchida, N., Kobayashi, S., Yamasaki, M. and Sato, R. (2019) Suspected eccrine adenocarcinoma on footpad of the right hindlimb in a dog. J. Vet. Med. Sci. 81: 821-823.
2. 小林沙織, 佐々木 淳, 御領政信, 内田直宏, 井口愛子, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 肝嚢胞が認められた遺伝性多発性嚢胞腎の猫に対する臨床病理学的検討. 日本獣医師会雑誌 72: 215-221.
3. Sato, R., Uchida, N., Kawana, Y., Tozuka, M.,

Kobayashi, S., Hanyu, Nana., Konno, Y., Iguchi, A., Yamasaki, Y., Kuramochi, K. and Yamasaki, M. (2019) Epidemiological evaluation of cats associated with feline polycystic kidney disease caused by the feline PKD1 genetic mutation in Japan. J. Vet. Med. Sci. 81: 1006-1011.

4. Nakagawa, S., Kitamura, Y., Naito, I., Kaneda, M., Chiba, Y., Shimamura, S., Yamasaki, M., Hikono, H. and Murakami, K. (2019) Real-time PCR assay for rapid differentiation of env-based genotypes of feline leukemia virus. Jap. J. Vet. Res. 67: 103-109.
5. Masuda, M., Otsuka-Yamasaki, Y., Shiranaga, N., Iguchi, A., Uchida, N., Sato, R. and Yamasaki, M. (2019) Retrospective study on intercurrent pancreatitis with *Babesia gibsoni* infection in dogs. J. Vet. Med. Sci. 81: 1558-1563.

### C. 国際学会発表

1. Yamasaki, M., Katayama, M., Mitsui, I., Satoh H., Yamamoto, Y. (2019) A case of renal interstitial cell tumor with polycythemia in a Yorkshire terrier. The 6th Asian Meeting of Animal Medicine Specialists (AMAMS), Shanghai, China.

### D. 国内学会発表

1. 松田菜美, 佐藤 良, 内田直宏, 佐藤れえ子, 小林沙織, 山崎真大 (2019) 次世代シーケンサーを用いたジミナゼン感受性及び耐性 *Babesia gibsoni* 株の解析. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨集: 468.
2. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 犬の化学療法における腎障害を早期に検出する尿中バイオマーカーの検討. 令和元年度獣医学術東北地区学会: 70.
3. 松田菜美, 星野有希, 内田直宏, 木村真優, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) 高カルシウム血症を呈した甲状腺癌の犬の一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会: 81.
4. 佐藤 良, 内田直宏, 小林沙織, 佐藤れえ子, 久保田英治, 山崎真大 (2019) 皮膚リンパ球症が疑われるネコの一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会: 63.
5. 宮原 楓, 内田直宏, 森田智也, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) 末梢血液中にLGLと核形不整なリンパ球を認めた鼻腔内腫瘍の猫の1例. メープル小動物臨床研究会.

6. 佐々木奈那, 内田直宏, 森田智也, 小林沙織, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 腎臓に嚢胞状病変が認められた犬の2例. メーブル小動物臨床研究会.
7. 山崎弥生, 稲波 修, 篠 春香, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) ポメラニアン犬で見つかったNADH メトヘモグロビン還元酵素欠損症原因タンパク質 I194L-b5R の解析. 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会: 252.
8. 木村真優, 内田直宏, 森田智也, 落合謙爾, 東 智志, 三井一鬼, 山崎真大 (2019) 全身多臓器に血管病変が多発し急速な病態進行を呈した青色ゴムまり様斑症候群様疾患を疑う犬の一例. 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会: 264.
9. 佐藤 良, 井口愛子, 松田菜美, 内田直宏, 森田智也, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) *Babesia gibsoni* における蛍光色素を用いた薬剤感受性試験. 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会: 267.

山本 欣郎  
Yamamoto, Yoshio



赴任: 2002年

現職: 教授

学位: 博士 (獣医学) (岐阜大学)

専門分野: 獣医解剖学・獣医組織学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 哺乳類の呼吸調節に関する研究
2. 哺乳類の感覚受容器の刺激受容機構に関する研究

担当科目:

1. 生物学 (1年次, 分担)
2. 組織学 (2年次)
3. 内臓・脈管系解剖学 (2年次)
4. 組織学実習 (2年次・分担)
5. 解剖学実習 (2年次・分担)
6. 獣医学演習 (5, 6年次・分担)
7. 獣医学演習 (5年次)
8. 卒業研究 (6年次)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本解剖学会, 日本獣医師会

他大学講師等: 岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授併任

研究業績

#### A. 原著論文

1. Morinaga R., Nakamuta, N., Yamamoto, Y. (2019)

Serotonergic projections to the ventral respiratory column from raphe nuclei in rats. *Neurosci. Res.* 143, 20-30.

2. Yokoyama, T., Settai, K., Nakamuta, N., Kusakabe, T., Yamamoto, Y. (2020) Vesicular glutamate transporter 2-immunoreactive afferent nerve terminals in rat carotid sinus baroreceptors. *Acta Histochem.* 122, 151469.
3. Yokoyama, T., Yamamoto, Y., Hirakawa, M., Kato, K., Saino T. (2020) Vesicular nucleotide transporter-immunoreactive type I cells associated with P2X3-immunoreactive nerve endings in the rat carotid body. *J. Comp. Neurol.* 528:1486-1501
4. Kato, K., Yokoyama, T., Kusakabe, T., Hata, K., Fushuku, S., Nakamuta, N., Yamamoto, Y. (2020) Differences in the expression of catecholamine-synthesizing enzymes between vesicular monoamine transporter 1- and 2-immunoreactive glomus cells in the rat carotid body. *Acta Histochem.* 122, 151507.

#### B. 国際学会発表

1. Nakamuta, N., Nakamuta, S., Abdali, S.S., Yamamoto, Y. (2019) Morphological and gene expression analyses in the olfactory organ of Asian box turtles. 7th. Congress of Asian Association of Veterinary Anatomists, Febuary (Jeju Korea).
2. Nakamuta, S., Noda, H., Yokosuka, M., Taniguchi, K., Yamamoto, Y., Nakamuta, N. (2019) Immunohistochemical and gene expression analyses in the olfactory organ of embryonic and neonatal African spurred tortoise. 7th. Congress of Asian Association of Veterinary Anatomists, Febuary (Jeju Korea).
3. Nagae, K., Nakamuta, S., Abdali, S.S., Yamamoto, Y., Nakamuta, N. (2019) Morphological and gene expression analyses in the olfactory organ of Asian box turtles. 7th. Congress of Asian Association of Veterinary Anatomists, Febuary (Jeju Korea).

#### C. 国内学会発表

1. 盛合胡絵, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) ラット気管筋の樹枝状神経終末における SNARE タンパク質の局在. 第65回日本解剖学会東北・北海道連合支部学術集会 (江別), 9月.
2. Sharif Abdali Sayed, 中牟田祥子, 長江杏介, 山本欣郎, 中牟田信明 (2019) カメの嗅覚器における TRPC2 発現細胞の局在. 第65回日本解剖学会東北・北海道連合支部学術集会 (江別), 9月.
3. 中牟田祥子, 春日井苗子, 松田 乾, 加藤英明, 谷口和美, 横須賀 誠, 山本欣郎, 中牟田信明 (2019) スッポンモドキ嗅覚器は2種類の感覚上皮を持つか. 第162回日本獣医学会学術集会 (つくば), 9月.
4. 加藤弘毅, 森永涼介, 横山拓矢, 富宿誠吾, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) 持続的低酸素に対する呼吸循環応答への二酸化炭素の影響. 第162回日本獣医学会学術集会 (つくば), 9月.

5. 加藤弘毅, 森永涼介, 横山拓矢, 富宿誠吾, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) 持続的低酸素に対する呼吸循環応答への二酸化炭素の影響. 第162回日本獣医学会学術集会(つくば), 9月.
6. 大越 魁, 横山拓矢, 齋野朝幸, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) ラット気管における刷子細胞の形態. 第162回日本獣医学会学術集会(つくば), 9月.
7. 羽田克彦, 日下部辰三, 山本欣郎, 横井 修, 二国徹郎 (2020) 刺激頻度依存性シナプス可塑性の数理解析から示唆された神経情報伝達におけるマルチコーディング. 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会(誌上開催), 3月.
8. 中牟田信明, 中牟田祥子, アブダリ・サイド・シャリフ, 長江杏介, 谷口真理, 加藤英明, 山本欣郎 (2020) カメ嗅覚器における性ホルモン受容体の発現解析. 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会(誌上開催), 3月.
9. 山本欣郎, 中牟田信明 (2020) ラット鼻粘膜呼吸部における散在性化学受容細胞の形態. 125回日本解剖学会総会・全国学術集会(誌上開催), 3月.

一 條 俊 浩  
Ichijo, Toshihiro



赴任: 2016年

現職: 准教授

学位: 博士(獣医学)(岐阜大学)

専門分野: 臨床獣医学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 牛の第一胃アシドーシスの病態と予防に関する研究
2. 乳牛の周産期疾病の病態と予防に関する研究
3. 画像診断による不明疾病の病態解明に関する研究
4. 哺乳子牛の栄養に関する研究

担当科目:

1. 獣医学概論・獣医倫理(1年次, 分担)
2. 生命のしくみ(1年次, 分担)
3. ヒトと動物の関係学(2年次, 分担)
4. 獣医臨床繁殖学実習(4年次, 分担)
5. 獣医内科学実習(4年次, 分担)
6. 食品安全管理学(4年次, 分担)
7. 大動物臨床実習・応用編(5年次, 分担)
8. 総合参加型臨床実習 (5年次, 分担)
9. 代謝病・中毒学(5年次, 分担)
10. 卒業研究(6年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本産業動物獣医学会, 日本家畜臨床学会, 日本畜産学会, 家畜感染症学会,

大動物臨床研究会, 牛臨床寄生虫研究会, 日本アミノ酸学会

その他の主な活動: 日本家畜臨床学会理事, 産業動物臨床医学雑誌編集委員, 家畜感染症学会誌編集委員, 農場 HACCP 主任審査員, JGAP 審査員

研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Yumi Watanabe, Yo-Han Kim, Shiro Kushibiki, Kentaro Ikuta, Toshihiro Ichijo and Shigeru Sato (2019) Effects of active dried *Saccharomyces cerevisiae* on ruminal fermentation and bacterial community during the short-term ruminal acidosis challenge model in Holste in calves. J. Dairy Sci. 102. 6518-6531.
2. Minoru Yatu, Mitsuhiro Sato, Jin Kobayashi, Toshihiro Ichijyo, Hiroshi Satoh, Toshinori Oikawa, Shigeru Sato (2019) Breeding profiles at the perparturient stage in captive red foxes (*Vulpes vulpes*) mating naturally or subjected to artificial insemination in Japan. J Vet Res 63. 299-302.
3. Junro KATO, Tatsuya ODATE, Yo-Han KIM, Toshihiro ICHIO and Shigeru SATO (2019) Effects of feeding management on disease incidence and blood metabolites in dairy herds in Iwate Prefecture, Japan. J. Vet. Med.Sci. 81:958-967.
4. Tour OGATA, Yo-Han KIM, Tatsunori MASAKI, Eiji IWAMOTA, Yoshihisa OHTANI, Takenori ORIHASHI, Toshihiro ICHIO and Shigeru SATO (2019) Effects of an increased concentrer diet on rumen pH and the bacterial community in Japanese Black beef cattle at different fattening stages. J. Vet. Med. Sci. 81:968-974.
5. 佐々木 淳, 一條俊浩, 後藤浩子, 藤田 茂, 佐藤 繁 (2020) 黒毛和種子牛における重複脊髄症及び水髄症の併発例. 日獣会誌 73, 37-40.

#### B. その他

1. 一條俊浩, 北 勇一朗, 牧野博生, キム ヨーハン, 石塚直樹, 小村怜子, 千葉恵樹, 木村 淳 (2019) 牛の膈ヘルニアにおける医療用メッシュを用いた修復手術例. 臨床獣医 2: 46-49.

#### C. 国内学会発表

1. 一條俊浩, 三井一鬼, 北 勇一朗, 牧野博生, 石塚直樹, 小村怜子, 千葉恵樹, 村山勇雄, 馬場久美子, 後藤浩子, Yohan Kim, 佐藤 繁 (2019) ホルスタイン種乳牛と黒毛和種育成牛に発生し

- た黒色腫の2例. 第162回日本獣医学会, P453.
2. 小材怜子, 杉野利久, 川嶋賢二, 蓮沼俊哉, 櫛引史郎, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 亜急性第一胃アシドーシス牛の分娩前後における肝組織中の抗酸化関連遺伝子発現. 第162回日本獣医学会, P455.
  3. 田内瞬一, 一條俊浩, 北 勇一郎, Kim Yohan, 牧野博生, 千葉恵樹, 石塚直樹, 小材怜子, 金子紘野, 堀中あさひ, 加藤惇郎, 佐藤 繁 (2019) ホルスタイン種去勢牛における静脈血中のアンモニア濃度とタウリン, ハイドロキシプロリンおよびメチオニン濃度の比較. 日本畜産学会第126回大会講演要旨, P71.
  4. 石塚直樹, 牧野博生, Kim Yohan, 岩本栄治, 正木立規, 生田健太郎, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種牛の肥育時期による第一胃液 pH, 発酵産物および細菌叢構成の変化. 日本畜産学会第126回大会講演要旨, P78.
  5. 小材怜子, 杉野久利, 川嶋賢二, 沖邑朋子, 櫛引史郎, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 乳牛の分娩後における負のエネルギーバランスと血中MDA, GPx およびPAO値の変化. 日本畜産学会第126回大会講演要旨, P78.
  6. 堀中あさひ, Kim Yohan, 杉野利久, 川嶋賢二, 岩本栄治, 正木達規, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) ホルスタイン種乳牛と黒毛和種肥育牛における第一胃液細菌叢構成の比較. 日本畜産学会第126回大会講演要旨, P79.
  7. 金子紘野, 一條俊浩, 滝本宗宏, 安田 元, 西山裕之, 児玉賢史, 大井真紀子, 青野 晃, 兒玉亜侑美, 伊藤孝浩, 及川 修, 長澤 亨, 村上賢二 (2019) 乳牛における集団型および個別型哺乳ロボットを用いた哺乳の有効性. 日本畜産学会第126回大会講演要旨, P116.
  8. 樋口まり, 野本沙季, 新村千春, 一條俊浩, 福井大祐 (2019) 馬の鼻腔ポリープを立位鎮静・神経ブロックで切除した一例. 令和元年度獣医学術東北地区大会, p39.
  9. 西浦 颯, 尾形 透, 城 志乃, 佐々木 淳, 近藤寛樹, 一條俊浩, 落合謙爾 (2019) 黒毛和種子牛にみられた胸腰髄神経根の引き抜き損傷. 令和元年度獣医学術東北地区大会, p43.
  10. 金子紘野, 一條俊浩, 平田統一, 田内瞬一, 堀中あさひ, 石塚直樹, 千葉恵樹, 小材怜子, Kim Yohan, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種育成牛で難治性を示した成長板骨折の1例. 令和元年度(第50回)日本家畜臨床学会学術集会講演抄録 p129-130.
  11. 樋口大輝, 佐々木弘志, 高橋春美, 下夕村幸薫, 一條俊浩 (2019) 医療用メッシュおよび自家製シートを用いて, 臍および腹壁ヘルニア整復術を実施した牛の3例. 令和元年度(第50回)日本家畜臨床学会学術集会講演抄録, p136-137.
  12. 田内瞬一, 一條俊浩, 菊地 薫, 堀中あさひ, 金子紘野, 石塚直樹, 千葉恵樹, 小材怜子, Kim Yohan, 佐藤 繁 (2019) 人為的尿道挫滅による排尿困難を示した黒毛和種子牛の1例. 令和元年度(第50回)日本家畜臨床学会学術集会講演抄録, p138-139.
  13. 堀中あさひ, 石塚直樹, 牧野博生, Kim Yohan, 一條俊浩, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種牛の肥育時期における第一胃細菌叢の構成および代謝経路の変化. 令和元年度(第50回)日本家畜臨床学会学術集会講演抄録, p140-141.

## 大 沼 俊 名

Oonuma, Toshina



赴任: 2016年

現職: 准教授

学位: 博士(獣医学)(岐阜大学)

専門分野: 獣医生理学, 血管生物学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 血管新生, リンパ管新生メカニズムの解明

担当科目:

1. 情報基礎(1年次, 分担)
2. 獣医学概論(1年次, 分担)
3. 獣医倫理(1年次, 分担)
4. 獣医細胞生物学(1年次)
5. 器官制御生理学(2年次, 分担)
6. 生理学実習(2年次)
7. 内分泌学(3年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本血管生物医学会, 日本実験動物医学会

学会賞等: 日本実験動物医学会前島賞(2013年), Young Investigator Award (The 18<sup>th</sup> International Vascular Biology Meeting, 2014)

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Kizaki, K., Yoshino, H., Hirata, T., Iga, K., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Imai, K., Ishiguro-

Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2019)  
Gene expression profiles in bovine granulocytes  
reflect the aberration of liver functions. Anim.  
Sci. J.90(1). e13324.

2. Yoshino, H., Kizaki, K., Iga, K., Hirata, T., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Toji, N., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2020)  
Use of a prediction method for early pregnancy status utilizing receiver operating characteristic curve analysis of peripheral blood leukocyte interferon-stimulated genes in Japanese-Black cattle. Anim. Reprod. Sci.214:106283.

#### B . 国際学会発表

1. Kizaki, K., Yoshino, H., Hirata, T., Iga, K., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Imai, K., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2019)  
Reliability of ISGs expression in peripheral blood leukocytes for prediction of gestational conditions during critical period of maternal recognition of gestation in embryo transferred cows. Society for the study of reproduction 2019 Annual meeting, San Jose, CA, USA.

#### C . 国内学会発表

1. 中沢綾香, 石黒(大沼)俊名, 落合和彦, 森松正美, 木崎景一郎(2019) がん抑制遺伝子 p53 に変異を有するイヌ乳腺腫瘍細胞に対する血管新生阻害薬の抗腫瘍効果の解析 . 第 162 回日本獣医学会学術集会 (つくば).
2. 中津祥也, 与座明祥, 石黒(大沼)俊名, 高橋 透, 木崎景一郎(2019) ウシ妊娠子宮内膜および胎盤で発現するマイクロ RNA の特性 . 第 162 回日本獣医学会学術集会 (つくば).

片山 泰章

Katayama, Masaaki

赴任: 2005 年

現職: 准教授

学位: 博士 (獣医学)

(日本獣医生命科学大学)

専門分野: 獣医外科学, 臓器移植学, 獣医腎臓病学, 獣医整形外科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 腎臓移植に関する研究
2. 猫の腎臓病に関する研究

担当科目:



1. 神経病・運動器病学 (5 年次前期, 分担)
  2. 麻酔学・手術学 (4 年次前期, 分担)
  3. 泌尿器病・生殖器病学 (5 年次後期, 分担)
  4. 画像診断学 (5 年次前期, 分担)
  5. 軟部外科学 (4 年次後期, 分担)
  6. 外科学総論 (3 年次後期, 分担)
  7. 小動物外科実習基礎・応用編 (4 年次前・後期, 分担)
  8. 画像診断学実習 (5 年次前期, 分担)
  9. 参加型総合臨床実習 (5・6 年次, 分担)
- 所属学会等: 日本移植学会, 日本獣医学会, 日本獣医師会, 日本獣医腎臓器学会, 日本獣医麻酔外科学会, 動物臨床医学会

#### 研究業績

##### A . 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Hoshino, Y., Inden, T., Otaka, R., Fukui, D., Satoh, H. and Katayama, M. (2019) Interaction of cyclosporine with phenobarbital in cats: a preliminary study. J. Vet. Med. Sci. 81: 1621-1623.
2. Katayama, M., Miyazaki, T., Ohata, K., Oikawa, T., Kamiie, J., Sugaya, T. and Miyazaki, M. (2019) Temporal changes in urinary excretion of liver-type fatty acid binding protein (L-FABP) in acute kidney injury model of domestic cats: a preliminary study. J. Vet. Med. Sci. 81: 1868-1872.
3. Chongphaibulpatana, P., Kumagai, Y., Fukui, D., Katayama, M. and Uzuka, Y. (2020) The effect of inspired oxygen concentration on oxidative stress biomarkers in dogs under inhalation anesthesia. Can. J. Vet. Res. 84: 91-95.
4. Katayama, M., Ohata, K., Miyazaki, T., Katayama, R., Wakamatsu, N., Ohno, M., Yamashita, T., Oikawa, T., Sugaya, T. and Miyazaki, M. (2020) Renal expression and urinary excretion of liver-type fatty acid-binding protein (L-FABP) in cats with renal disease. J. Vet. Intern. Med. 34: 761-769.

高橋 正弘

Takahashi, Masahiro

赴任: 2014 年

現職: 准教授

学位: 博士 (獣医学) (岐阜大学)

専門分野: 産業動物臨床学, 臨床繁殖学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:



1. ウシの受精卵移植に関する研究
2. 臨床繁殖を中心とした産業動物臨床学に関する研究

担当科目：

1. 産業動物臨床学 (4年次, 分担)
2. 総合参加型臨床実習 (5年次)
3. 総合参加型臨床実習 (5年次)
4. 総合参加型臨床実習 (5年次)
5. 総合参加型臨床実習 (5年次)
6. 大動物臨床実習・基礎編 (5年次)
7. 大動物臨床実習・応用編 (5年次)
8. 小動物内科学実習・応用編 (4年次, 分担)
9. 動物衛生学実習 (4年次)
10. 獣医学概論 (1年次, 分担)
11. 獣医倫理 (1年次, 分担)
12. 獣医学演習 (4・5年次)
13. 卒業研究 (6年次)

所属学会等：日本獣医学会, 日本産業動物獣医学会, 日本繁殖生物学会, 日本胚移植研究会, 日本卵子学会, 日本家畜臨床学会 (評議員)

研究業績

A. 報告書・事業報告書

1. 高橋正弘, 平野直樹, 岡田啓司, 越川志津, 千田廉 (2020) 乳牛における頸部装着 3軸加速度センサーによる分娩時間帯の予知. 岩手大学農学部附属 FAMS 年報, 14, 62.
2. 岡田啓司, 高橋正弘, 鈴木省吾, 田村倫也, 昆野勝, 越川志津, 及川修, 藤原哲夫 (2020) 乳牛の反芻時における咀嚼速度変動要因の検討. 岩手大学農学部附属 FAMS 年報, 14, 61.

中牟田 信明

Nakamuta, Nobuaki



赴任：2007年

現職：准教授

学位：博士 (獣医学) (東京大学)

専門分野：獣医解剖学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 嗅覚系と鋤鼻系の解剖学的研究

担当科目：

1. 内臓・脈管系解剖学 (2年次, 分担)
2. 解剖学実習 (2年次, 分担)
3. 組織学実習 (2年次, 分担)
4. 基礎生物学実験 (1年次, 分担)
5. 獣医学演習 (5年次, 分担)

6. 卒業研究 (6年次, 分担)

7. 神経解剖学 (大学院博士課程)

所属学会等：日本獣医学会 (評議員), アジア獣医解剖学会, 日本解剖学会 (評議員), 日本発生生物学会, 日本味と匂学会 (評議員), 日本獣医師会

他大学講師：岐阜大学大学院連合獣医学研究科准教授 併任

その他の主な活動：農林水産省獣医事審議会専門委員, The Journal of Veterinary Medical Science 編集委員, The Journal of Veterinary Science 編集委員

研究業績

A. 著書・訳書

1. 中牟田信明 (分担翻訳) (2019) 獣医発生学 第2版 (木曾康郎監修). 学窓社, 東京, pp. 216-225.
2. 中牟田信明 (分担執筆) (2019) 獣医解剖・組織・発生学 第2版 (日本獣医解剖学会編). 学窓社, 東京, pp. 123-127, pp. 165-171.
3. 中牟田信明 (分担執筆) (2020) 獣医組織学 第8版 (日本獣医解剖学会編). 学窓社, 東京, pp. 303-311.

B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Matsubara, K., Akaogi, S., Nakamuta, S., Tsujimoto, T. and Nakamuta, N. (2019) Characteristics of olfactory organs in sika deer (*Cervus nippon*). Jpn. J. Zoo Wildl. Med. 24: 115-122.
2. Matoba, S., Nakamuta, S., Miura, K., Hirose, M., Shiura, H., Kohda, T., Nakamuta, N. and Ogura, A. (2019) Paternal knockout of Slc38a4/SNAT4 causes placental hypoplasia associated with intrauterine growth restriction in mice. Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A. 116: 21047-21053.
3. Yokoyama, T., Settai, K., Nakamuta, N. and Yamamoto, Y. (2019) Vesicular glutamate transporter 2-immunoreactive afferent nerve terminals in rat carotid sinus baroreceptors. Acta Histochem. 122: 151469.
4. Kato, K., Yokoyama, T., Kusakabe, T., Hata, K., Fushuku, S., Nakamuta, N. and Yamamoto, Y. (2020) Differences in the expression of catecholamine-synthesizing enzymes between vesicular monoamine transporter 1- and 2-immunoreactive glomus cells in the rat carotidbody. Acta Histochem. 122: 151507.

C. 国際学会発表

1. Abdali, S.S., Nakamuta, S., Yamamoto, Y. and

- Nakamuta, N. (2019) Localization of V1R-expressing olfactory receptor neurons in the olfactory organ of turtles. The 2nd Joint Meeting of Veterinary Science in East Asia. Seoul, Korea. April, 2019.
2. Nakamuta, N., Nakamuta, S., Abdali, S.S. and Yamamoto, Y. (2019) Morphological and gene expression analyses in the olfactory organ of Asian box turtles. The 7th Congress of Asian Association of Veterinary Anatomists. Jeju, Korea. September, 2019.
  3. Nagae, K., Nakamuta, S., Abdali, S.S., Yamamoto, Y. and Nakamuta, N. (2019) Anatomical and gene expression analyses in the olfactory organ of side-necked turtle and hidden-necked turtle. The 7th Congress of Asian Association of Veterinary Anatomists. Jeju, Korea. September, 2019.
  4. Nakamuta, S., Noda, H., Yokosuka, M., Taniguchi, K., Yamamoto, Y. and Nakamuta, N. (2019) Immunohistochemical and gene expression analyses in the olfactory organ of embryonic and neonatal African spurred tortoise. The 7th Congress of Asian Association of Veterinary Anatomists. Jeju, Korea. September, 2019.
  5. Abdali, S.S., Nakamuta, S., Nagae, K., Yamamoto, Y. and Nakamuta, N. (2020) Distribution of cells expressing vomeronasal receptors in the olfactory organ of turtle. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”. Morioka, Japan. January, 2020.
  6. Nagae, K., Nakamuta, S., Abdali, S.S., Yamamoto, Y. and Nakamuta, N. (2020) The olfactory organ of side-necked turtle contains ciliated olfactory receptor neurons in the lower chamber epithelium. International Symposium on “Environmental Response Mechanisms in Plants and Animals”. Morioka, Japan. January, 2020.
- D. 国内学会発表
1. 的場章悟, 中牟田祥子, 三浦健人, 広瀬美智子, 中牟田信明, 小倉淳郎 (2019) 胎盤に発現するアミノ酸トランスポーター遺伝子Slc38a4のノックアウトマウス胚は胎盤低形成および胎児発育不全を示す. 第112回日本繁殖生物学会大会(札幌).
  2. Sayed Sharif Abdali, 中牟田祥子, 長江杏介, 山本欣郎, 中牟田信明 (2019) カメの嗅覚器におけるTRPC2発現細胞の局在. 日本解剖学会第65回東北・北海道連合支部学術集会(江別).
  3. 盛合胡絵, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) ラット気管筋の樹枝状神経終末におけるSNAREタンパク質の局在. 日本解剖学会第65回東北・北海道連合支部学術集会(江別).
  4. 加藤弘毅, 森永涼介, 横山拓矢, 富宿誠吾, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) 持続的低酸素による呼吸循環応答に対する二酸化炭素の影響. 第162回日本獣医学会学術集会(つくば).
  5. 大越 魁, 横山拓矢, 斎野朝幸, 中牟田信明, 山本欣郎 (2019) ラット気管における刷子細胞の形態. 第162回日本獣医学会学術集会(つくば).
  6. 中牟田祥子, 春日井苗子, 松田 乾, 加藤英明, 谷口和美, 横須賀 誠, 山本欣郎, 中牟田信明 (2019) スッポンモドキ嗅覚器は2種類の感覚上皮を持つか. 第162回日本獣医学会学術集会(つくば).
  7. 中牟田信明 (2019) カメの鼻: 脊椎動物嗅覚器の比較解剖学. 第162回日本獣医学会学術集会(つくば).
  8. 中牟田祥子, 中牟田信明 (2020) 主嗅覚系と鋤鼻系. 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会(誌上開催).
  9. 中牟田信明, 中牟田祥子, アブダリ サイドシャリフ, 長江杏介, 谷口真理, 加藤英明, 山本欣郎 (2020) カメ嗅覚器における性ホルモン受容体の発現解析. 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会(誌上開催).
  10. 山本欣郎, 中牟田信明 (2020) ラット鼻粘膜呼吸部における散在性化学受容細胞の形態. 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会(誌上開催).

福井大祐  
Fukui, Daisuke



赴任: 2016年

現職: 准教授

学位: 博士(獣医学)(北海道大学)

専門医: 日本野生動物医学会認定専門医(動物園動物医学), アジア保全医学会認定専門医

専門分野: 獣医外科学, エキゾチック動物・動物園動物・野生動物医学, 保全医学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 小動物の軟部組織外科および麻酔疼痛管理

2. エキゾチック動物・動物園動物・野生動物の疾病の診断・治療

3. 動物園における野生動物と飼育動物の新興感染症の診断,疫学調査およびバイオセキュリティ対策による制御

担当科目:

1. 外科学総論 (3年次, 分担)
2. 軟部外科学 (4年次, 分担)
3. 麻酔学・手術学 (4年次, 分担)
4. 消化器病学 (4年次, 分担)
5. 小動物外科学実習 (4年次, 分担)
6. 画像診断実習 (5年次, 分担)
7. 総合参加型臨床実習 (5年次, 分担)
8. 獣医学概論, 獣医倫理 (1年次, 分担)
9. 「環境」を考える (教養1・2年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医師会 (日本獣医師会野生動物対策検討委員), 日本獣医学会 (評議員, JMS 編集委員), 日本野生動物医学会 (幹事, 学術・教育委員, 将来構想委員会), 日本獣医麻酔外科学会 (麻酔疼痛管理専門委員会委員, 東北地区委員), アジア保全医学会, Wildlife Disease Association, American Association of Zoo Veterinarians, 日本獣医エキゾチック動物学会, 鳥類臨床研究会 (アドバイザー)

学会賞等: 日本獣医師会獣医学術奨励賞「学術賞」(小動物部門) (2005年), 日本獣医三学会北海道地区北海道獣医師会長賞 (2004年, 2009年, 2010年), 日本野生動物医学会ベストポスター賞 (2004, 2008年), 日本野生動物医学会ベストプレゼンテーション賞 (2009年)

他大学講師等: 非常勤講師 (酪農学園大学・北海道大学・北里大学・岩手医科大学)

その他の主な活動: 一般社団法人 未来を創るどうぶつ医師団 (代表理事), 獣医学共用試験センター委員, 災害動物医療研究会 (幹事), 札幌市円山動物園動物園条例検討部会委員, 盛岡市動物公園再生事業有識者委員, 岩手県鳥獣保護センター運営委員 (委員長職務代理)

研究業績

A. 著書・訳書

1. 福井大祐 (分担執筆) (2019) 動物園におけるクマ類の飼育管理と種の保存. 「ヒグマ学への招待」(増田隆一編), 北海道大学出版会, 札幌, pp.303-329,

B. 総説・論説

1. 福井大祐 (2019) ウサギのエンセファリトゾーン症の疫学と臨床. 日本獣医エキゾチック動物学会誌 1: 3-10.

C. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Hoshino, Y., Inden, T., Otaka, R., Fukui, D., Satoh, H. & Katayama, M. (2019) Interaction of cyclosporine with phenobarbital in cats: a preliminary study. J. Vet. Med. Sci. 81:1621-1623.

D. 国内学会発表

1. 福井大祐 (2019) ウサギのエンセファリトゾーンの診断と治療. 日本獣医エキゾチック動物学会第1回九州セミナー講演要旨集: 71.
2. 渡辺寛治, 石川 洋, 樋口まり, Patarakit Chongphaibulpatana, 渡部晶子, 安齋莉穂, 大野晃治, 伊東理子, 猪鼻 聡, 福井大祐 (2019) オオハクチョウにおけるイソフルランの最小麻酔濃度(MAC)とブトルファノール・ミダゾラムによるイソフルラン MAC の減少効果. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 90.
3. 松原ゆき, 辻本恒徳, 鈴木和美, 村山 淳, 福井大祐 (2019) ニホンイヌワシの食道穿孔が疑われた異物反応性肉芽腫性炎症と慢性的発咳. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 101.
4. 石川侑樹, 佐々木基樹, 都築 直, 大石元治, 福井大祐, 坂東 元, 池谷優子, 中村亮平, 佐藤伸高, 柚原和敏, 杉本美紀, 富川創平, 小林紗央梨, 川瀬啓祐, 北村延夫 (2019) ネコ科動物鉤爪の形態学的. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 142.
5. 大野晃治, 福井大祐 (2019) 造影CT検査を行った食道扁平上皮癌のゴマファザラシの1例. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 92.
6. 田中悠介, 加藤楨子, 増淵 修, 福井大祐, 鈴木淳, 岡本 実 (2019) 生前に胃腺癌と診断したフンボルトペンギンの臨床経過および剖検. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 172.
7. 松原ゆき, 辻本恒徳, 鈴木和美, 村山 淳, 福井大祐 (2019) ツシマヤマネコにおける高カルシウム血症を示した慢性腎臓病の1例. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 157.
8. 福井大祐, 渡辺寛治, 大野晃治, 田中悠介, 松原ゆき, 辻本恒徳 (2019) 動物園水族館動物の専門診療科と医療チームの創設~オールパワーで貴重な飼育個体群を守る. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集: 66.
9. 福井大祐, 渡辺寛治, 大野晃治, 田中悠介, 松原

- ゆき,辻本恒徳(2019) アップデートな伴侶動物医療技術の動物園水族館動物への応用と挑戦. 日本野生動物医学会大会第25回山口大会講演要旨集:67.
10. 石川 洋, 渡辺寛治, 樋口まり, Patarakit Chongphaibulpatana, 福井大祐(2019) ミシシッピアカミミガメにおけるアルファキサロンとトラマドールの静脈内投与による麻酔・鎮痛効果. 2019年度獣医学術東北地区学会講演要旨集:85.
11. 樋口まり, 野本沙季, 新村千春, 一條俊浩, 福井大祐(2019) 馬の鼻腔ポリープを立位鎮静・神経ブロックで切除した一例. 2019年度獣医学術東北地区学会講演要旨集:39.

## 山田 慎二

Yamada, Shinji



赴任:2019年

現職:准教授

学位:博士(獣医学)(北海道大学)

専門分野:獣医感染症学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. ワクチンによる家畜感染症予防に関する研究
2. 家畜感染症の診断に関する研究

担当科目:

1. 獣医微生物学実習 (2年次)
2. 獣医微生物学実習 (3年次)

所属学会等:日本獣医学会, 日本癌学会

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Yamada, S., Kaneko, MK., Furusawa, Y., Itai, S., Sano, M., Nakamura, T., Yanaka, M., Handa, S., Hisamatsu, K., Nakamura, Y., Koyanagi, M., Fukui, M., Harada, H. and Kato, Y. (2019) Anti-Bovine Podoplanin Monoclonal Antibody PMab-44 Detects Goat Podoplanin in Immunohistochemistry. *Monoclon. Antib. Immunodiagn. Immunother.* 38:96-99.
2. Yamada, S., Itai, S., Nakamura, T., Takei, J., Sano, M., Konnai, S., Kobayashi, A., Nakagun, S., Kobayashi, Y., Kaneko, MK. and Kato, Y. (2019) Immunohistochemical Analysis of the Harbor Porpoise Using Antipodoplanin Antibody PMab-237. *Monoclon. Antib. Immunodiagn. Immunother.* 38:104-107.
3. Takano, T., Yamada, S., Doki, T. and Hohdatsu, T.

- (2019) Pathogenesis of oral type I feline infectious peritonitis virus (FIPV) infection: Antibody-dependent enhancement infection of cats with type I FIPV via the oral route. *J. Vet. Med. Sci.* 81:911-915.
4. Sajiki, Y., Konnai, S., Okagawa, T., Nishimori, A., Maekawa, N., Goto, S., Watari, K., Minato, E., Kobayashi, A., Kohara, J., Yamada, S., Kaneko, MK., Kato, Y., Takahashi, H., Terasaki, N., Takeda, A., Yamamoto, K., Toda, M., Suzuki, Y., Murata, S. and Ohashi, K. (2019) Prostaglandin E2-Induced Immune Exhaustion and Enhancement of Antiviral Effects by Anti-PD-L1 Antibody Combined with COX-2 Inhibitor in Bovine Leukemia Virus Infection. *J. Immunol.* 203:1313-1324.
  5. Yamada, S., Itai, S., Furusawa, Y., Kaneko, MK. and Kato, Y. (2019) Epitope Mapping of Antipig Podoplanin Monoclonal Antibody PMab-213. *Monoclon. Antib. Immunodiagn. Immunother.* 38:224-229.
  6. Goto, S., Konnai, S., Hirano, Y., Kohara, J., Okagawa, T., Maekawa, N., Sajiki, Y., Watari, K., Minato, E., Kobayashi, A., Gondaira, S., Higuchi, H., Koiwa, M., Tajima, M., Taguchi, E., Uemura, R., Yamada, S., Kaneko, MK., Kato, Y., Yamamoto, K., Toda, M., Suzuki, Y., Murata, S. and Ohashi, K. (2019) Upregulation of PD-L1 Expression by Prostaglandin E2 and the Enhancement of IFN- $\gamma$  by Anti-PD-L1 Antibody Combined With a COX-2 Inhibitor in *Mycoplasma bovis* Infection. *Front. Vet. Sci.* 20:12.
  7. Sato, M., Matsumoto, M., Saiki, Y., Alam, M., Nishizawa, H., Rokugo, M., Brydun, A., Yamada, S., Kaneko, MK., Funayama, R., Ito, M., Kato, Y., Nakayama, K., Unno, M. and Igarashi, K. (2020) BACH1 promotes pancreatic cancer metastasis by repressing epithelial genes and enhancing epithelial-mesenchymal transition. *Cancer Res.* 80:1279-1292.
  8. Sajiki, Y., Konnai, S., Ochi, A., Okagawa, T., Githaka, N., Isezaki, M., Yamada, S., Ito, T., Ando, S., Kawabata, H., Logullo, C., da Silva Vaz, I. Jr, Maekawa, N., Murata, S. and Ohashi, K. (2019) Immunosuppressive effects of sialostatin L1 and L2 isolated from the taiga tick *Ixodes persulcatus* Schulze. *Ticks Tick Borne Dis.* 11:101332.

## 山田 美鈴

Yamada, Misuzu



赴任：2007年

現職：准教授

学位：博士（農学）（京都大学）

専門分野：動物生理化学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 低酸素に関わるサイトカインの発現制御機構の解明
2. 腎疾患および腎疾患に付随する二次的症狀の発症機序の解明

担当科目：

1. 獣医基礎生化学（2年次）
2. 生化学実習（3年次）
3. 情報基礎（1年次、分担）
4. 生命のしくみ（1年次、分担）
5. 基礎生物学実験（1年次、分担）

所属学会等：日本獣医学会，日本畜産学会

学会賞等：日本獣医解剖学会奨励賞，独立行政法人日本学術振興会平成28年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）表彰

## 内田 直宏

Utida, Naohiro



赴任：2014年

現職：助教

学位：博士（獣医学）

専門分野：獣医臨床病理学，獣医臨床腫瘍学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 小動物の腫瘍における血管新生因子の発現

担当科目：

1. 臨床病理学（3年次、分担）
2. 小動物内科学実習・基礎編（4年次、分担）
3. 小動物内科学実習・応用編（4年次、分担）
3. 臨床腫瘍学（5年次、分担）
4. 総合参加型臨床実習（5年次、分担）

所属学会等：日本獣医学会，日本獣医がん学会，日本獣医腎泌尿器学会

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. Sato, R., Uchida, N., Kawana, Y., Tozuka, M., Kobayashi, S., Hanyu, N., Konno, Y., Iguchi, A., Yamasaki, Y., Kuramochi, K., Yamasaki, M. (2019)

Epidemiological evaluation of cats associated with feline polycystic kidney disease caused by the feline PKD1 genetic mutation in Japan. J. Vet. Med. Sci. 2019 Jun: Epub ahead of print.

2. Iguchi, A., Ooshida, J., Mitsui, I., Uchida, N., Kobayashi, S., Yamasaki, M., Satou, R. (2019) Suspected eccrine adenocarcinoma on footpad of the right hindlimb in a dog. J. Vet. Med. Sci. 81: 821-823.

### B. 国際学会発表

1. Kimura, M., Uchida, N., Iguchi, A., Fukui, D., Hoshino, Y., Yamasaki, M. (2018) Evaluation of angiogenesis using semiquantitative RT-PCR for endothelial markers in various canine tumors. ECVIM-CA 28th annual congress, Rotterdam.

### C. 国内学会発表

1. 日比孝嘉, 小林沙織, 内田直宏, 戸塚美奈子, 井口愛子, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2018) ネコの慢性腎臓病における尿細管機能の変動 第2報・排泄分画率を中心に. 第11回日本獣医腎泌尿器学会学術集会抄録: 25-26.
2. 益田美佐, 井口愛子, 内田直宏, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2018) *Babesia gibsoni* に対するニューキノロン系抗菌薬の有効性の評価. 第161回日本獣医学会学術集会要旨集: 437.
3. 井口愛子, 小林沙織, 内田直宏, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2018) アトバコン耐性 *Babesia gibsoni* に対するアトバコンのミトコンドリア膜電位崩壊作用. 第161回日本獣医学会学術集会要旨集: 437.
4. 櫻井玲奈, 山崎弥生, 内田直宏, 小林沙織, 井口愛子, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2018) ネコ polycystin-1 遺伝子 (PKD1) の遺伝子多型と腎嚢胞形成の関連性. 第161回日本獣医学会学術集会要旨集: 439.

## 小林 沙織

Kobayashi, Saori



赴任：2009年

現職：助教

学位：博士（獣医学）（岐阜大学）

専門分野：獣医内科学，腎泌尿器学，獣医臨床免疫学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. ネコの常染色体優性遺伝多発性嚢胞腎における病態解明と治療法の検索

2. イヌやネコの薬剤性腎障害における病態解明
3. イヌの好中球機能不全症に対する診断・病態生理・治療法に関する免疫学的・分子遺伝学的研究

担当科目：

1. 人の暮らしと生物環境（1年次，分担）
2. 小動物内科学実習・基礎編（4年次，分担）
3. 小動物内科学実習・応用編（4年次，分担）
4. 総合参加型臨床実習Ⅰ（5年次，分担）
5. 泌尿器病・生殖器病学（5年次，分担）
6. 臨床病理学（3年次，分担）

所属学会等：日本獣医学会，日本ウイルス学会，日本ラクトフェリン学会，日本獣医腎泌尿器学会，日本腎臓学会、動物医学臨床研究所

学会賞等：International Conference on Lactoferrin (Trainee Award(2005年)，Student Award(2007年))，日本獣医内科学アカデミー 文永堂出版 JCVIM 賞 (2007年)

その他の主な活動：メープル小動物臨床検討会(幹事)，岩手小動物臨床検討会(世話人)，日本獣医腎泌尿器学会(理事)，日本獣医内科学アカデミー(実行委員) 研究実績

#### A. 著書・訳書

1. 小林沙織(分担執筆)(2019) 犬と猫の検査・手技ガイド 2019 私はこう読む。「多発性嚢胞腎(PKD1 遺伝子変異検査)」(辻本 元, 小山秀一, 大草 潔, 兼島 孝, 中村篤史編集), interzoo, 東京, pp.715-718.

#### B. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. 小林沙織, 佐々木 淳, 御領政信, 内田直宏, 井口愛子, 山崎真大, 佐藤れえ子(2019) 肝嚢胞が認められた遺伝性多発性嚢胞腎の猫に対する臨床病理学的検討. 日獣会誌 72(4): 215-221.
2. Iguchi, A., Ooshida, J., Mitsui, I., Uchida, N., Kobayashi, S., Yamasaki, M., Sato, R. (2019) Suspected eccrine adenocarcinoma on footpad of the right hindlimb in a dog. J Vet Med Sci. 81(6): 821-823.
3. Sato, R., Uchida, N., Kawana, H., Tozuka, M., Kobayashi, S., Hanyu, N., Konno, Y., Iguchi, A., Yamasaki, Y., Kuramochi, K., Yamasaki, M. (2019) Epidemiological Evaluation of Cats with the PKD1 Gene Mutation. J Vet Med Sci. 81(7): 1006-1011.

#### C. 国内学会発表

1. 小林沙織, 山崎弥生, 内田直宏, 佐藤れえ子 (2019)

ネコ常染色体優性多発性嚢胞腎における PKD1 および PKD2 遺伝子多型解析. 第 62 回日本腎臓学会学術集会(名古屋), 日本腎臓学会誌 61:351.

2. 小林沙織(2019) シンポジウム「ヒトと動物の共通する難治性腎疾患: CKD としての多発性嚢胞腎」日本におけるネコ多発性嚢胞腎の広がりとは PKD1 遺伝子変異. 第 12 回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集: 5-6.
3. 佐藤れえ子, 小林沙織, 内田直宏(2019) シンポジウム「ヒトと動物の共通する難治性腎疾患: CKD としての多発性嚢胞腎」ネコ多発性嚢胞腎症例の管理と治療法. 第 12 回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集: 7-9.
4. 日比孝嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 内田直宏, 小林沙織, 戸塚美奈子, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子(2019) ネコの慢性腎臓病における尿管機能の変動-第 3 報-. 第 12 回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集: 14-15.
5. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 佐々木奈那, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子(2019) 長期・大量投与のデキサメサゾンによる犬の薬剤性腎障害の診断に有効であった尿中バイオマーカーの推移. 第 12 回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集: 39-40.
6. 松田菜美, 佐藤 良, 内田直宏, 佐藤れえ子, 小林沙織, 山崎真大(2019) 次世代シーケンサーを用いたジミナゼン感受性および耐性 *Babesia gibsoni* 株の解析. 第 162 回日本獣医学会学術集会講演要旨集: 468.
7. 佐藤 良, 内田直宏, 小林沙織, 佐藤れえ子, 久保田英治, 山崎真大(2019) 皮膚リンパ球症が疑われるネコの一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 63.
8. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子(2019) 犬の化学療法における腎障害を早期に検出する尿中バイオマーカーの検討. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 70.
9. 若山映令彩, 佐々木 淳, 小林沙織, 佐藤れえ子, 落合謙爾(2019) 成猫の猫ヘルペスウイルス性肺炎の病理学的特徴. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 76.
10. 竹内颯人, 西浦 颯, 土屋幸義, 佐藤 淳, 小林沙織, 佐々木 淳, 落合謙爾(2019) イヌの口腔内悪性黒色腫の予後予測指標としての c-kit の

有用性. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 79.

11. 松田菜美, 星野有希, 内田直宏, 木村真優, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) 高カルシウム血症を呈した甲状腺癌の犬の一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 81.
12. 佐藤れえ子, 小林沙織, 内田直宏, 川名悠加, 山田修造, 小山峻弘, 羽生奈々, 日比孝嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 森田智也, 山崎真大 (2019) 猫多発性嚢胞腎の治療薬としてのトルバプタンの臨床応用. 第40回動物臨床医学会記念年次大会プロシーディング No.3:37-39. (第40回動物臨床医学会記念年次大会学会賞受賞)

佐々木 淳

Sasaki, Jun



赴任: 2007年

現職: 助教

学位: 博士(獣医学)

専門分野: 獣医病理学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 福島第一原発事故による牛における放射線被曝の影響に関する病理学的研究
2. 鶏の感染症および運動器系疾病に関する病理学的研究

担当科目:

1. 動物病理学各論A (3年次)
2. 病理学実習 (4年次, 分担)
3. 基礎生物学実験 (1年次, 分担)
4. 獣医学演習 (5年次, 分担)
5. 卒業研究 (6年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会(評議員), 日本獣医病理学専門家協会(評議員), 日本獣医師会, 鶏病研究会, 日本病理学会  
研究業績

#### A. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Itaru SATO, Jun SASAKI, Hiroshi SATOH, Keiji OKADA (2019) Effects of Treatment Time and Thickness of Meat on the Removal of Radioactive Cesium from Beef Slices by Boiling and Water Extraction. Journal of Food, Protection, 82,623-627.
2. 小林沙織, 佐々木 淳, 御嶺政信, 内田直宏, 井

口愛子, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 肝嚢胞が認められた遺伝性多発性嚢胞腎の猫に対する臨床病理学的検討. 日本獣医師会雑誌, 72, 215-221.

3. Jun Sasaki, Megumi Uehara, Itaru Sato, Hiroshi Satoh, Yoshitaka Deguchi, Hiroyuki Chida, Masahiro Natsuhori, Takahisa Murata, Kenji Ochiai, Kumiko Otani, Keiji Okada, Nobuhiko Ito (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black Cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Animal Science Journal, 90, 1333-1339.
4. Nishiura, H., Yamazaki, A., Wakakuri, K., Sasaki, J., Terajima, J., Ochiai, K. (2019) Yersinia infection in two captive guereza colobus monkeys (*Colobus guereza*). The Journal of Veterinary Medical Science, 81, 1201-1204.
5. 佐々木 淳, 一條俊浩, 後藤浩子, 藤田 茂, 佐藤 繁 (2019) 黒毛和種子牛における重複脊髄症及び水髄症の併発例. 日本獣医師会雑誌, 73, 37-40.

#### B. 国内学会発表

1. 岩本 毅, 西浦 颯, 若山映令彩, 佐々木 淳, 落合謙爾 (2019) 熊本地方の日本鶏と国内のプロイラーのALV発生状況. 令和元年度東北地区獣医師大会 日本産業動物獣医学会(東北地区), 郡山ビューホテルアネックス.
2. 西浦 颯, 尾形 透, 城 志乃, 佐々木 淳, 近藤寛樹, 一條俊浩, 落合謙爾 (2019) 黒毛和種子牛にみられた胸腰髄神経根の引き抜き損傷. 令和元年度東北地区獣医師大会 日本産業動物獣医学会(東北地区), 郡山ビューホテルアネックス.
3. 津島 文, 佐藤 淳, 大石将司, 土屋幸義, 山手寛嗣, 横井亮二, 佐々木 淳, 落合謙爾 (2019) 猫の皮膚肥満細胞腫におけるグレード分類の検討. 令和元年度東北地区獣医師大会 日本小動物獣医学会(東北地区), 郡山ビューホテルアネックス.
4. 若山映令彩, 佐々木 淳, 小林沙織, 佐藤れえ子, 落合謙爾 (2019) 成猫の猫ヘルペスウイルス性肺炎の病理学的特徴. 令和元年度東北地区獣医師大会 日本小動物獣医学会(東北地区), 郡山ビューホテルアネックス.
5. 竹内颯人, 西浦 颯, 土屋幸義, 佐藤 淳, 小林沙織, 佐々木 淳, 落合謙爾 (2019) イヌの口腔内悪性黒色腫の予後予測指標としてのc-kitの

- 有用性. 令和元年度東北地区獣医師大会 日本小動物獣医学会(東北地区), 郡山ビューホテルアネックス.
6. 佐々木 淳, 宗内一平, 牛尾佳名子, 曾地千尋, 入江陽一, 落合謙爾, 吉住和規, 橋本 涉(2019) ニシゴリラ (*Gorilla gorilla*) にみられた十二指腸 Brunner 腺癌の1例. 第7回獣医病理学専門家協会学術集会, 宮崎市民プラザ.
  7. 津島 文, 西浦 颯, 佐々木 淳, 落合謙爾(2019) 鶏の精巣から精管にみられた片側性精子肉芽腫の病理学的特徴. 第7回獣医病理学専門家協会学術集会, 宮崎市民プラザ.
  8. 西浦 颯, 岩本 毅, 近藤佑衣, 竹内颯人, 津島 文, 佐々木 淳, 落合謙爾(2019) トリ白血病ウイルスK亜群に類似する日本分離株の分子系統解析. 第7回獣医病理学専門家協会学術集会, 宮崎市民プラザ.

関(市川) まどか  
Ichikawa-Seki Madoka



赴任: 2013年

現職: 助教

学位: 博士(獣医学)(岐阜大学)

専門分野: 獣医寄生虫学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動

1. 肝蛭属吸虫の分子疫学および系統解析
2. 単為生殖型肝蛭の起源および生殖メカニズムの解明
3. 日本各地におけるクリプトスポリジウム属原虫の疫学調査
4. 新規抗寄生虫薬の探索と作用機序の解明

担当科目:

1. 基礎生物学実験(1年次)
2. 獣医寄生虫学実習(3年次)
3. 獣医学演習(5年次, 分担)
4. 卒業研究(6年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本寄生虫学会, 日本獣医寄生虫学会, World Association for Advancement of Parasitology, 日本獣医師会

学会賞等:

日本獣医寄生虫学会獣医寄生虫学奨励賞(2010年), 日本寄生虫学会若手研究者ベストプレゼンテーション賞(2010年), 日本獣医学会獣医学奨励賞(2013年), 資生堂女性研究者サイエンスグラント(2016年)

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Thang, T.N., Hakim, H., Rahimi, R.R., Ichikawa-Seki, M. (2019) Molecular analysis reveals expansion of *Fasciola hepatica* distribution from Afghanistan to China. *Parasitol Int.* 72:101930.
2. Loeung, V., Ichikawa-Seki, M., Wannasan, A., Sothya, T., Chaisowwong, W., Tiwananthagom, S. (2019) Genetic characterization of Cambodian *Fasciola gigantica* and dispersal direction of the species in Asia. *Vet Parasitol.* 273:45-51.
3. Ichikawa-Seki, M., Motooka, D., Kinami, A., Murakoshi, F., Takahashi, Y., Aita, J., Hayashi, K., Tashibu, A., Nakamura, S., Iida, T., Horii, T., Nishikawa, Y. (2019) Specific increase of *Fusobacterium* in the faecal microbiota of neonatal calves infected with *Cryptosporidium parvum*. *Sci Rep.* 29: 12517.
4. Calvani, N.E.D., Ichikawa-Seki, M., Bush, R.D., Khounsy, S., Šlapeta, J. (2020) Which species is in the faeces at a time of global livestock movements: single nucleotide polymorphism genotyping assays for the differentiation of *Fasciola* spp. *Int J Parasitol.* 50: 91-101.
5. Bozorgomid, A., Rouhani, S., Harandi, M.F., Ichikawa-Seki, M., Raeghi, S. (2020) Genetic diversity and distribution of *Fasciola hepatica* haplotypes in Iran: Molecular and phylogenetic studies. *Vet Parasitol Reg Stud Reports.* 19:100359.
6. Thang, T.N., Vázquez-Prieto, S., Vilas, R., Paniagua, E., Ubeira, F.M., Ichikawa-Seki, M. (2020) Genetic diversity of *Fasciola hepatica* in Spain and Peru. *Parasitol Int.* 76:102100.

B. 国際学会発表

1. Ichikawa-Seki, M., Tashiro, M., Thang, T.N., Ortiz, P., Hobán C., Cabrera, M., Angulo-Tisoc, J. (2019) Molecular characterization of *Fasciola hepatica* from indigenous animals in Cajamarca, Peru in comparison with that from livestock. Development of quantitative PCRs to determine nuclear genotypes of hybrid *Fasciola* flukes. The 27th Conference of the World Association for the Advancement of Veterinary Parasitology, Madison, WI.

C. 国内学会発表

1. 田洪敦士, 関 まどか, 稲岡ダニエル健, 麻田正仁, 北 潔(2019) 肝蛭のミトコンドリア呼吸鎖における Plumbagin の作用機序の解明. 第13

網田 丈二

Tsunada, Joji



赴任：2019年

現職：助教

学位：博士（医学）（北海道大学）

専門分野：神経科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 音声コミュニケーションの脳内機構の解明

担当科目：

1. 薬理学実習（3年次，分担）

2. 毒性学実習（4年次，分担）

所属学会等：Society for Neuroscience, Association for Research in Otolaryngology

学会賞等：日本学術振興会卓越研究員

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Tsunada, J. and Eliades, S.J. (2020) Dissociation of unit activity and gamma oscillations during vocalization in primate auditory cortex. *Journal of Neuroscience* 40(21):4158-4171.
2. Tsunada, J., Gold, J.I. and Cohen, Y.E. (2019) Post-decision processing in primate prefrontal cortex influences subsequent choices on an auditory decision-making task. *eLIFE* 8(e46770).

B. 国際学会発表

1. Tsunada, J. and Eliades, S.J. (2020) Convergence of Top-down and Bottom-up Inputs to Marmoset Auditory Cortex during Vocalization. *Association for Research in Otolaryngology 43<sup>rd</sup> Annual Mid Winter Meeting*, San Jose. \*Dr. Eliades が代理で発表.
2. Tsunada, J. (2019) Contributions of Auditory-Frontal Circuits during Vocal Production in Marmoset Monkeys. *International Conference on Neural Cells, Circuits and Behavior*, Beijing.
3. Tsunada, J. (2019) Neural Mechanisms of Auditory Behaviors: from trained behaviors to naturalistic vocal communication. *Inaugural meeting of Acupuncture Modulation and Brain Science Research Center*, Beijing.
4. Tsunada, J. and Eliades, S.J. (2019) Role of top-down inputs in auditory cortex during vocalization

in marmoset monkeys. *Society for Neuroscience Annual Meeting*, Chicago. \*Dr. Eliades が代理で発表.

5. Tsunada, J. and Eliades, S.J. (2019) Role of top-down inputs in auditory cortex during vocalization in marmoset monkeys. *Advances and Perspectives in Auditory Neuroscience (APAN)*, Chicago. \*Dr. Eliades が代理で発表.

C. 国内学会発表

1. Tsunada, J. and Eliades, S.J. (2020) Contributions of Auditory-Frontal Circuits during Vocal Production in Marmoset Monkeys. 第9回日本マーモセット研究大会，神戸.

山崎 朗子

Yamazaki, Akiko



赴任：2015年

現職：助教

学位：博士（医学）（長崎大学）

専門分野：公衆衛生

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. ギビエの安全管理に関する研究
2. 野生動物に寄生する住肉孢子虫の疫学的研究
3. 住肉孢子虫の腸管毒性機序の解明
4. ハウスダストアレルギーの原因となるカビおよびダニのアレルゲン解析

担当科目：

1. 食品衛生学実習（4年前期）
2. 公衆衛生学実習（3年後期，分担）
3. 生命のしくみ（1年次，分担）
4. 獣医学概論（1年次，分担）

所属学会等：日本獣医学会，食品微生物学会，日本野生動物医学会，防菌防黴学会

その他の主な活動：岩手県環境審議会委員，岩手県建築審議会委員

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Irie, T., Uraguchi, K., Ito, T., Yamazaki, A., Takai, S., Yagi, K. (2019) First report of *Sarcocystis pilosa* sporocysts in feces from red fox, *Vulpes vulpes schrencki*, in Hokkaido, Japan. *Int J Parasitol Parasites Wildl.* 2019 Dec 5;11:29-31.
2. Irie, T., Ichii, O., Nakamura, T., Ikeda, T., Ito, T., Yamazaki, A., Takai, S., Yagi, K. (2019)

- Molecular characterization of three *Sarcocystis* spp. from wild sika deer (*Cervus nippon yesoensis*) in Hokkaido, Japan. *Vet Parasitol Reg Stud Reports*. 2019 Dec;18:100327.
- 3 . Nishiura, H., Yamazaki, A., Wakakuri, K., Sasaki, J., Terajima, J., Ochiai, K. (2019) *Yersinia* infection in two captive guereza colobus monkeys (*Colobus guereza*). *J Vet Med Sci*. 2019 Aug 24;81(8):
  - 4 . Takahashi, T., Kabeya, H., Sato, S., Yamazaki, A., Kamata, Y., Taira, K., Asakura, H., Sugiyama, H., Takai, S., Maruyama, S. (2019) PREVALENCE OF YERSINIA AMONG WILD SIKA DEER (CERVUS NIPPON) AND BOARS (SUS SCROFA) IN JAPAN. *J Wildl Dis*. 2020 Apr;56(2):270-277. Epub 2019 Dec 13.
- B . 報告書・事業報告書
- 1 . 山崎朗子(代表)(2019) 食品の安全確保推進研究事業:住肉胞子虫による国産ジビエの食中毒リスク評価に関する研究.令和元年度 総括研究報告書(厚生労働省).
  - 2 . 山崎朗子(分担)(2019) 生産性革命に向けた革新的技術開発事業 鳥獣害分野:ジビエ利用の推進に資する鳥獣対策技術の開発 スマート捕獲・スマートジビエ技術の確立.単年度研究成果報告書(農林水産省).
- C . 国際学会発表
- 1 . Yui Sasaki, Akira Osumi, Maiko Watanabe, Yukiko Shirafuji, Jun Terajima, Akiko Yamazaki (2019) In silico epitope prediction, expression and immunogenicity analysis of *Dermatophagoides* mite groupe 1 (Der 1). World Allergy Congress 2019 Lyon.
- D . 国内学会発表
- 1 . 山崎朗子, 谷田奈津美, 大森香葉, 白藤由紀子, 寺嶋 淳, 鎌田洋一(2019) 住肉胞子虫の食中毒危害性 The Food Poisoning Risk of Genus *Sarcocystis*. 第65回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会(盛岡市),特別講演,講演要旨集紛失.
  - 2 . 谷田奈津美, 大森香葉, 白藤由紀子, 寺嶋 淳, 山崎朗子(2019) ウマ寄生 *Sarcocystis fayeri* の腸管病原性解析 Enterotoxicity Analysis of *Sarcocystis fayeri* from horse. 第65回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会(盛岡市),講演要旨集紛失.
  - 3 . 谷田奈津美, 大森香葉, 白藤由紀子, 寺嶋 淳, 山崎朗子(2019) ウマ寄生 *Sarcocystis fayeri* の腸管毒性解析.令和元年度東北地区獣医師大会三学会(郡山市)講演要旨:P.103.
  - 4 . 谷田奈津美, 大森香葉, 白藤由紀子, 寺嶋 淳, 山崎朗子(2019) ウマ寄生 *Sarcocystis fayeri* の腸管病原性解析.第161回日本獣医学会学術総会(つくば市)講演要旨:P.420.
  - 5 . 山崎朗子(2019) ジビエの捕獲と利活用に資する衛生検査システムの開発.日本畜産学会第126回大会ランチョンセミナー(盛岡市)講演要旨:P.59.
  - 6 . 山崎朗子(2019) 野生動物における感染性病原体紹介とその食中毒危害性:寄生虫.日本防菌防黴学会第46回年次大会シンポジウム(大阪市)講演要旨:P.275.



## 2 附属施設教員

(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

(2) 附属動物病院

(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター



## (1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

山本 信次  
Yamamoto, Shinji



赴任：1997年

現職：教授

学位：博士（林学）（東京農業大学）

専門分野：林政学・林業経済学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 自然資源管理ガバナンスに関する研究
2. 森林管理と市民参加
3. 森林教育・都市住民に対する林業普及
4. 都市と山村の交流による地域振興

担当科目：

1. 総合フィールド科学（1年次，分担）
2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
3. 地域課題演習（1年時，分担）
4. 森林科学入門（1年次，分担）
5. 森林科学基礎演習（1年時，分担）
6. 海外・日本の林業（2年時，分担）
7. 山村経済・地域おこし論（2年時，分担）
8. 地域マネジメント論（2年時，分担）
9. NPO・環境ガバナンス 論（3年次）
10. 地域資源管理学特論（大学院）
11. 地域創生特論（大学院，分担）
12. グローバル環境科学特論（大学院，分担）
13. 公開森林実習（共同利用他大学）

所属学会等：日本森林学会，林業経済学会，環境社会学会，東北森林科学会，農村計画学会

研究業績

### A. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 高野 涼，伊藤幸男，山本信次，泉谷眞実（2019） 森林経営にかかわる山村住民の森林利用と意味付け・宮城県米川生産森林組合 A 参事の事例．日林誌101：214-220．
2. 山本信次（2019） 原子力災害による被害の不可視性と環境社会学の役割．環境社会学研究25：109-123．

#### (b) 紀要

1. 村上 唯，山本信次，高田乃倫予（2019） 森林組合による都市部への薪販売の現状と意義 葛巻町森林組合を事例として．岩大演報50；1-17．
2. 山本信次，望月 萌（2019） 狩猟者の狩猟

行動と自然環境の変遷 盛岡市を事例として．岩大演報50；89-96．

由比 進  
Yui, Susumu



赴任：2016年

現職：教授

学位：博士（農学）（岩手大学）

専門分野：植物育種学，野菜園芸学，農業気象学，生物教育学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. ハクサイの晩抽性育種
2. 加熱調理用のッキングトマト品種育成と栽培技術の開発・普及活動
3. イネ初冬直播き栽培法の確立
4. トマトを利用した遺伝学教材の開発
5. 在来野菜品種の利活用技術の開発

担当科目：

1. 総合フィールド科学（1年次，分担）
2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
3. 農場実習（2年次，分担）
4. 農場特別実習（3年次，分担）
5. 雑草防除論（4年次）
6. 植物栽培と環境テクノロジー（1年次，分担）
7. 農学概論（1年次，分担）
8. 農業技術学特論（大学院）

所属学会等：日本育種学会，園芸学会，日本生物教育学会

学会賞等：日本生物教育学会論文賞（2014年），日本育種学会春季大会優秀発表賞（2015年）

その他の主な活動：ッキングトマトファンクラブ，岩手大学三陸復興・地域創生推進機構，日本自然保護協会々員，盛岡市立子ども科学館ボランティア

### A. 著書・訳書

1. 由比 進（分担執筆）（2019） トマト 100 トンどりの新技術と理論．第2章 遺伝と育種，農山漁村文化協会，東京，pp.37-70．（翻訳）

### B. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 及川聡子，西 政佳，由比 進，柏木純一，中島大賢，市川伸次，木村利行，大平陽一，長菅輝義，黒田榮喜，松波麻耶，下野裕之（2019） 鉄のコーティングは水稻の初冬直播き栽培における出

芽率を向上させる．日本作物学会紀事，88(4)：259-267．

C．特許・設計等

- 1．本城正憲，片岡 園，由比 進，塚崎 光，他 11 名(2019) 品種登録出願 イチゴ品種「そよかの」．国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構．

D．国際学会発表

- 1．Oikawa, S., Nishi, M., Yui, S. Matsunami M., Kuroda, E. and Shimono H. (2018) New Technology: Winter Direct seeding System of Rice (*Oryza sativa* L.) for Cool Climates in Japan. 3rd International Symposium on Innovations in Plant and Food Sciences, Fujian Agriculture and Forestry University.

E．国内学会発表

- 1．及川聡子，西 政佳，由比 進，松波麻耶，黒田 榮喜，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播き栽培における種子処理が出芽率に及ぼす影響．日本作物学会第 247 回講演会，日本作物学会講演会要旨集第 247 巻．
- 2．及川聡子，木村利行，松波寿典，西 政佳，由比 進，松波麻耶，黒田榮喜，下野裕之(2019) 青森県と岩手県における水稻の初冬直播き栽培の実証試験．日本作物学会第 247 回講演会，日本作物学会講演会要旨集第 247 巻．
- 3．佐々木琴瑞，折笠貴寛，菊池太良，由比 進，加藤一幾，小出章二(2019) 減圧マイクロ波を用いたトマトピューレ製造工程への加熱処理の適用・後加熱処理が成分と食味に与える影響．農業食料工学会東北支部会．
- 4．本城正憲，片岡 園，由比 進，塚崎 光，細田 洋一，對馬由記子，東 秀典，伊藤篤史，山田 修，鈴木朋代，佐藤友博，伊藤聡子，藤島弘行，山崎 紀子(2019) 多収で極晩生の一季成り性イチゴ盛岡 36 号．園芸学会令和元年度秋季大会，島根大学，松江キャンパス．
- 5．橋本遥介，西 政佳，由比 進，鈴木健策，相川直子，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播きによる最適な耕起法ならびに播種法の開発．第 248 回日本作物学会講演会，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)．
- 6．及川誠司，西 政佳，由比 進，鈴木健策，相川直子，松波麻耶，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播き栽培に適した品種ならびに採種地．第 248 回日本作物学会講演会，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)．

- 7．及川聡子，西 政佳，由比 進，鈴木健策，相川直子，松波麻耶，下野裕之(2019) 初冬直播き水稻栽培の出芽率を高める種子コーティング法の検討．第 248 回日本作物学会講演会，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)．
- 8．及川聡子，藤 晋一，西 政佳，由比 進，鈴木健策，松波麻耶，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播き栽培における出芽率低下要因の解明・種子含水率と土壌病害菌に着目して．根研究集会根研究学会，名古屋大学．
- 9．和崎俊文，塚崎 光，西川和裕，北本尚子，由比 進(2019) 「つけな中間母本農 2 号」型 BrFLC 遺伝子がハクサイの低温要求性に及ぼす影響．第 14 回東北育種研究集会，岩手大学．
- 10．由比 進(2019) 36 年経ってもできない品種，22 年経っても普及しない品種．第 14 回東北育種研究集会，招待講演，岩手大学．
- 11．秋田 薫，馬場健一郎，(6 名略)，猿舘みのり，白井賢太郎，由比 進(2019) 市販ミニトマト F<sub>1</sub>品種の後代(F<sub>2</sub>)を利用した遺伝観察．高校での実践例．日本生物教育学会第104回全国大会，北海道教育大学旭川校．

平 田 統 一  
Hirata, Tou-Ichi



赴任：1992年

現職：准教授

学位：博士(獣医学)(岐阜大学)

専門分野：動物生産機能制御学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1．雌牛の繁殖障害防除に関する研究
- 2．ウシ卵子の体外受精・培養に関する研究
- 3．ウシ白血病の防除に関する研究
- 4．子牛の哺育・育成に関する研究

担当科目：

- 1．総合フィールド科学(1年次，分担)
- 2．総合フィールド科学実習(1年次，分担)
- 3．農場実習(1年次，分担)
- 4．牧場実習(3年次，分担)
- 5．基礎生物学実験(1年次，分担)
- 6．動物科学総論(1年次，分担)
- 7．動物科学実験(2・3年次，分担)
- 8．繁殖機能制御学実習(5年次，分担)
- 9．地域課題演習H(人社，教育，理工学部2年次，分担)

所属学会等：日本獣医学会，日本畜産学会，日本繁殖生物学会，日本家畜臨床学会，日本卵子学会，東北畜産学会，日本胚移植技術研究会，北海道牛受精卵移植研究会，日本家畜臨床学会

研究業績

#### A．原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. Yoshino, H., Kizaki, K., Iga, K., Hirata, T-I., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Toji, N., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2020) Use of a prediction method for early pregnancy status utilizing receiver operating characteristic curve analysis of peripheral blood leukocyte interferon-stimulated genes in Japanese-Black cattle. *Animal Reproduction Science*. 214:106283.

##### (b) 紀要

1. 平田統一，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，阿部佳代子，鈴木幸太，松崎 駿，及川真道 (2019) ウシの定時受精前のアルギニン製剤給与は受胎率を改善しうる。持続型農業生産技術研究。11：11-12。
2. 平田統一，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，阿部佳代子，鈴木幸太，松崎 駿 (2019) 牛胚移植における体外培養液への各種薬剤添加や供卵子牛，受胎牛へのアルギニン前投与が受胎率に及ぼす影響。持続型農業生産技術研究。11：13-16。
3. 平田統一，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，阿部佳代子，鈴木幸太，松崎 駿，及川真道，彦野弘一，村上賢二 (2019) 乳酸脱水素酵素の分画比や電気泳動像で地方病性牛白血病の発症牛を摘発できる。持続型農業生産技術研究。11：17-20。

#### B．国際学会発表

1. Kizaki, K., Yoshino, H., Hirata, T-I., Iga, K., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Imai, K., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2019) Reliability of ISGs Expression in Peripheral Blood Leukocytes for Prediction of Gestational Conditions in Embryo Transferred Cows. The Society for the study of reproduction 2018 52nd Annual Meeting.

#### C．国内学会発表

1. 平田統一，及川真道 (2019) 体外成熟・発生培養液に添加したアンモニアおよび尿素が牛卵子の体外発生成績に及ぼす影響。第 69 回東北畜産学会講演要旨：34。

2. 片平睦子，岩崎節子，中村啓哉，平田統一，松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体の作出。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j133。
3. 門岡 憲，鈴木幸太，岩崎節子，片平睦子，中村啓哉，平田統一，松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子 IgG のウシ IVF 胚に対する反応。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j131。
4. 岩崎節子，片平睦子，中村啓也，平田統一，松原和衛 (2019) 早期妊娠診断のためのウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体を用いた ELISA の開発。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j132。
5. 平田統一，阿部佳代子，松崎 駿，及川真道，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，杉本祐介 (2019) アルギニン製剤の経口給与が牛の定時受精後の受胎率やアミノ酸代謝に及ぼす影響。第 126 回日本畜産学会講演要旨：103。
6. 金子紘野，一條俊浩，平田統一，田中瞬一，堀中あさひ，石塚直樹，千葉恵樹，小林怜子，Kim Yohan，佐藤 繁 (2019) 黒毛和種育成牛で難治性を示した成長板骨折の 1 例。令和元年度日本家畜臨床学会・第 50 回学術集会，産業動物臨床医学雑誌 10：126-127。
7. 門岡 憲，鈴木幸太，岩崎節子，片平睦子，中村啓哉，平田統一，松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子 IgG のウシ IVF 胚に対する反応。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j131。

渡 邊 学

Watanabe, Manabu



赴任：2003年

現職：助教

学位：博士（農学）（岩手大学）

専門分野：果樹園芸学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. リンゴの果実発育に関する研究
2. リンゴの花芽形成に関する研究
3. ブルーベリーの果実発育に関する研究
4. ブルーベリーの栽培管理に関する研究

担当科目：

1. 総合フィールド科学（1年次，分担）
2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
3. 農場実習 ， （2年次，分担）
4. 農場特別実習（3年次，分担）

5. 栽培理論 (2年次, 分担)

6. 果樹園芸学概論(2年次, 分担)

7. 寒冷地果樹特論(大学院)

所属学会等: 園芸学会, 園芸学会東北支部会, 植物化学調節学会, サゴヤシ学会, 日本ブルーベリー協会, 岩手ブルーベリーの会

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Karimi, F., T. Baba, S. Noma, D. Mizuta, J. G. Kim, M. Watanabe, M. Ishimaru. and T. Ban (2019) Summer Pruning Severity Affected Vegetative and Reproductive Traits in the Rabbit-eye Blueberry (*Vaccinium virgatum* Ait.). *The Hort. J.* 88: 315-319.
2. 小森貞男, 齊藤柚花, 渡邊 学, 村上政伸, 森田泉, 佐々木真人, 田中紀充(2019) リンゴにおける果実変形の品種間差. *園学研* 18: 143-155.
3. Hiraki, H. Watanabe, M. Uemura, M. Kawamura, Y. (2019) Season specificity in the cold-induced calcium signal and the volatile chemicals in the atmosphere. *Physiologia Plantarum*. doi:10.1111/ppl.13019

B. 国内学会発表

1. 小森貞男, 佐藤 優, 佐藤善政, 渡邊 学(2019) リンゴ薬培養における胚様体形成率の年次変動に関する研究. *園芸要旨*. 令元東北支部: 14-15.
2. 伊藤幹人, 松田隆希, 岡田初彦, 渡邊 学, 小森貞男(2019) リンゴ栽培品種交雑実生の開花に関する研究. *園芸要旨*. 令元東北支部: 52-53.
3. 岡部由梨子, 村上政伸, 小森貞男, 窪田 聡, 渡邊 学(2019) リンゴの変形果におけるアブシジン酸およびサイトカイニン量. *園芸要旨*. 令元東北支部: 54-55.
4. 佐藤晴香, 松田隆希, 西谷千佳子, 渡邊 学, 小森貞男(2019) リンゴにおけるカルスからのシュート再分化系の作出. *園芸要旨*: 令元東北支部: 56-57.
5. 岡田初彦, 小森貞男, 渡邊 学(2019) *Malus hupehensis* (無配偶生殖実生)の生育促進に関する研究. *園学研* 18 別2: 99.
6. 渡邊 学, 熊谷初美, 村上政伸, 小森貞男, 村野宏達, 窪田 聡(2019) ハイブッシュブルーベリーにおいて夏秋季開花する新梢中のCN率, アブシジン酸およびサイトカイニン濃度. *園学研* 18 別2: 350.

7. 大谷昭博, 澤村大祐, 佐々木真人, 高橋 藍, 渡邊 学, 小森貞男(2020) リンゴ品種‘黄香’の裂果に関する研究. *園学研* 19 別1: 238.

8. 劉 嘉儀, 岡田初彦, 小森貞男, 村上政伸, 渡邊 学(2020) *Malus hupehensis* (無配偶生殖実生)の水耕栽培を利用した早期開花. *園学研* 19 別1: 243.

9. 伊藤幹人, 間瀬誠子, 岡田初彦, 西谷千佳子, 國久美由紀, 佐藤善政, 渡邊 学, 小森貞男(2020) リンゴ倍加半数体‘95P6’等の薬培養に関する研究. *園学研* 19 別1: 245.

## (2) 附属動物病院

佐藤 れえ子

Sato, Reeko



赴任：1981年

現職：教授

学位：獣医学博士（北里大学）

専門分野：獣医内科学，獣医免疫学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 動物の腎臓病におけるバイオマーカーの研究
2. 猫の多発性嚢胞腎の病態解明と責任遺伝子変異に関する研究
3. 猫の多発性嚢胞腎の新規治療法に関する研究
4. ラクトフェリン投与が動物の免疫能に及ぼす影響

担当科目：

1. 内科学総論（3年次）
2. 獣医臨床病理学（3年次）
3. 腎泌尿器病学（5年次）
4. 獣医倫理学（1年次）
5. 小動物内科学実習（4・5年次）
6. 総合参加型臨床実習（5年次）
7. 臨床獣医学演習（5年次）
8. 臨床獣医学卒業研究（6年次）
9. 獣医学特別実験（大学院博士課程）
10. 獣医病態生理学（大学院博士課程）

所属学会等：日本獣医学会（評議員），日本小動物獣医学会（学会長），日本獣医循環器学会，動物臨床医学会（評議員），獣医生化学会，日本獣医臨床病理学会，日本獣医皮膚科学会，日本獣医師会，日本獣医腎泌尿器学会（会長），人と動物の共通感染症研究会，獣医放射線学教育研究会，日本小動物獣医学会東北地区学会長，日本腎臓学会，メープル小動物臨床検討会（理事）

学会賞等：日本小動物獣医学会（東北）地区学会長賞（2006年，2009年，2015年），平成20年度日本小動物獣医学会（東北）・東北獣医師会連合会長賞（2008年），日本小動物獣医学会（東北）奨励賞（2015年），日本小動物獣医学会（東北）地区学会長賞（2016年），日本小動物獣医学会（東北）奨励賞（2016年）

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院獣医学研究科教授併任，北里大学獣医学部非常勤講師

その他の主な活動：文部科学省高等教育局〔獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議／教育内容に関する小委員会〕委員，岩手小動物臨床研究

会（世話人），人と動物のこころ研究会会員，日本學術振興会特別研究員等審査会専門委員，日本學術会議連携会員，大学基準協会獣医学教育評価検討委員会委員，日本獣医師会学術・教育・研究委員会委員，日本獣医師会獣医学術功績者選考委員会委員，日本獣医師会獣医学術学会年次大会企画運営委員会委員，日本獣医師会越智勇一記念學術振興基金運営委員会委員，岩手県動物愛護推進協議会

研究業績

### A. 著書・訳書

1. 佐藤れえ子（分担執筆）（2019）猫の多発性嚢胞腎。「伴侶動物治療指針Vo.10」（石田卓夫総監修），緑書房，東京，pp.172-182.

### B. 原著論文

#### (a) 学術雑誌

1. 小林沙織，佐々木 淳，御領政信，内田直宏，井口愛子，山崎真大，佐藤れえ子（2019）肝嚢胞が認められた遺伝性多発性嚢胞腎の猫に対する臨床病理学的検討．日獣会誌 72(4)：215-221.
2. Iguchi, A., Ooshida, J., Mitsui, I., Uchida, N., Kobayashi, S., Yamasaki, M., Sato, R (2019) Suspected eccrine adenocarcinoma on footpad of the right hindlimb in a dog. J Vet Med Sci. 81 (6)：821-823.
3. Sato, R., Uchida, N., Kawana, H., Tozuka, M., Kobayashi, S., Hanyu, N., Konno, Y., Iguchi, A., Yamasaki, Y., Kuramochi, K., Yamasaki, M. (2019) Epidemiological Evaluation of Cats with the PKD1 Gene Mutation. J Vet Med Sci. 81 (7)：1006-1011.

### C. 国内学会発表

1. 小林沙織，山崎弥生，内田直宏，佐藤れえ子（2019）ネコ常染色体優性多発性嚢胞腎におけるPKD1 およびPKD2 遺伝子多型解析．第62回日本腎臓学会学術集会（名古屋）日本腎臓学会誌 61：351.
2. 佐藤れえ子，小林沙織，内田直宏（2019）シンポジウム「ヒトと動物の共通する難治性腎疾患・CKD としての多発性嚢胞腎」ネコ多発性嚢胞腎症例の管理と治療法．第12回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集：7-9.
3. 日比孝嘉，浅野弘愛，佐々木奈那，内田直宏，小林沙織，戸塚美奈子，森田智也，山崎真大，佐藤れえ子（2019）ネコの慢性腎臓病における尿細

管機能の変動・第3報・第12回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集:14-15.

4. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 佐々木奈那, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 長期・大量投与のデキサメサゾンによる犬の薬剤性腎障害の診断に有効であった尿中バイオマーカーの推移. 第12回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集: 39-40.
5. 松田菜美, 佐藤 良, 内田直宏, 佐藤れえ子, 小林沙織, 山崎真大 (2019) 次世代シーケンサーを用いたジミナゼン感受性および耐性 *Babesia gibsoni* 株の解析. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨集: 468.
6. 佐藤 良, 内田直宏, 小林沙織, 佐藤れえ子, 久保田英治, 山崎真大 (2019) 皮膚リンパ球症が疑われるネコの一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 63.
7. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 犬の化学療法における腎障害を早期に検出する尿中バイオマーカーの検討. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 70.
8. 若山映令彩, 佐々木 淳, 小林沙織, 佐藤れえ子, 落合謙爾 (2019) 成猫の猫ヘルペスウイルス性肺炎の病理学的特徴. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 76.
9. 松田菜美, 星野有希, 内田直宏, 木村真優, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) 高カルシウム血症を呈した甲状腺癌の犬の一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 81.
10. 佐藤れえ子, 小林沙織, 内田直宏, 川名悠加, 山田修造, 小山峻弘, 羽生奈々, 日比孝嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 森田智也, 山崎真大 (2019) 猫多発性嚢胞腎の治療薬としてのトルバプタンの臨床応用. 第40回動物臨床医学会記念年次大会プロシーディング No.3: 37-39. (第40回動物臨床医学会記念年次大会学会賞受賞)
11. 佐藤れえ子 (2020) 猫多発性嚢胞腎の広がりとは新規治療法. 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会要旨集.

## 星野有希

Hoshino, Yuki



赴任: 2017年

現職: 准教授

学位: 博士(獣医学)(北海道大学)

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 伴侶動物の腫瘍性疾患の新規治療法の開発

担当科目:

1. 小動物外科実習(4・5年次, 分担)

2. 臨床腫瘍学(5年次, 分担)

3. 外科総論(4年次, 分担)

4. 軟部外科学(4年次, 分担)

5. 参加型臨床実習(5年次)

6. 臨床獣医学演習(5年次)

7. 消化器病学(4年次, 分担)

8. 画像診断学実習(5年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本獣医師会, 日本獣医

麻酔外科学会, 日本獣医がん学会, 獣医腎尿器学会

学会賞等: 日本獣医内科学アカデミー研究アワード受

賞(2016年), 日本小動物獣医学会北海道地区学会賞

受賞(2017年), 日本小動物獣医学会東北地区学会長

賞受賞(2018年), 日本獣医腎泌尿器学会症例報告優

秀賞(2019年)

## 森田智也

Morita, Tomoya



赴任: 2020年

現職: 助教

学位: 博士(獣医学)

(北海道大学)

専門分野: 獣医内科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 犬における心エコー図検査を用いた右心室機能評価法の確立

2. 犬における心臓と腎臓の関連(心腎連関)に関する研究

担当科目:

1. 小動物内科学実習(4年次, 分担)

2. 参加型臨床実習(5年次)

3. 獣医臨床病理学(3年次, 分担)

4. 画像診断学実習(5年次, 分担)

所属学会等: 日本循環器学会, 動物循環器病学会, 獣

医腎泌尿器病学会, 日本獣医学会

学会賞等: 平成26年度日本小動物獣医学会北海道獣

医師会長賞 (2014年), 平成27年度日本小動物獣医学  
会北海道地区学会会長賞 (2015年), 第14回獣医内  
科学アカデミー臨床研究アワード (2018年), 第110  
回日本獣医循環器学会最優秀学会発表賞研究報告の  
部 (2019年)

研究業績

A . 学位論文

- 1 . 森田智也 (2018) Application of the assessment  
of right ventricular function by echocardiography in  
dogs with heart disease (犬心疾患への心エコー図  
法を用いた右心室機能評価の応用) [ 獣医学博士  
北海道大学 ]

B . 原著論文

(a) 学術雑誌

- 1 . Morita, T., Nakamura, K., Osuga, T., Yokoyama, N.,  
Morishita, K., Sasaki, N., Ohta, H. and Takiguchi,  
M. (2019) Effect of acute volume overload on  
echocardiographic indices of right ventricular function  
and dyssynchrony assessed by use of speckle tracking  
echocardiography in healthy dogs. *Am. J. Vet. Res.*  
80 : 51-60.
- 2 . Morita, T., Nakamura, K., Osuga, T., Morishita, K.,  
Sasaki, N., Ohta, H. and Takiguchi, M. (2019) Right  
ventricular function and dyssynchrony measured  
by echocardiography in dogs with precapillary  
pulmonary hypertension. *J. Vet. Cardiol.* 23:1-14.
- 3 . Dermlim, A., Nakamura, K., Morita, T., Osuga, T.,  
Nisa, K., Sasaoka, K., Leela-arporn, R., Sasaki,  
N., Ohta, H. and Takiguchi, M. (2019) The  
repeatability and left atrial strain analysis obtained  
via speckle tracking echocardiography in healthy  
dogs. *J. Vet. Cardiol.* 23:69-80.
- 4 . Nisa, K., Lim, S.Y., Shinohara, M., Osuga, T.,  
Yokoyama, N., Tamura, M., Nagata, N., Sasaoka,  
K., Dermlim, A., Leela-Arpom, R., Morita, T., Sasaki,  
N., Morishita, K., Nakamura, K., Ohta, H. and  
Takiguchi, M. (2019) Evaluation of duodenal  
perfusion by contrast-enhanced ultrasonography in  
dogs with chronic inflammatory enteropathy and  
intestinal lymphoma. *J. Vet. Intern. Med.* 33:559-  
568.

C . 国内発表

- 1 . 日比孝嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 内田直宏, 小  
林沙織, 戸塚美奈子, 森田智也, 山崎真大, 佐藤  
れえ子 (2019) ネコの慢性腎臓病における尿細  
管機能の変動-第3報-. 第12回日本獣医腎泌

尿器学会 .

- 2 . 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 佐々木奈那, 戸  
塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤  
れえ子 (2019) 長期・大量投与のデキサメサゾ  
ンによる犬の薬剤性腎障害の診断に有効であっ  
た尿中バイオマーカーの推移. 第12回日本獣医  
腎泌尿器学会 .

### (3) 附属動物医学食品安全教育研究センター

佐藤 至

Sato, Itaru



赴任：1990年

現職：教授

学位：博士（獣医学）（岐阜大学）

専門分野：公衆衛生学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 放射線内部被曝の防護
2. 放射性物質の環境動態
3. 環境汚染物質の毒性

担当科目：

1. 情報基礎（1年次）
2. 生活と環境（1年次）
3. 基礎放射線学（2年次）
4. 環境衛生学（3年次）
5. 公衆衛生学実習（3年次）
6. 獣医事法規（4年次）
7. 食品安全管理学（4年次）

所属学会等：日本獣医学会，日本トキシコロジー学会

その他の主な活動：日本獣医師会会員

研究業績

#### A. 原著論文

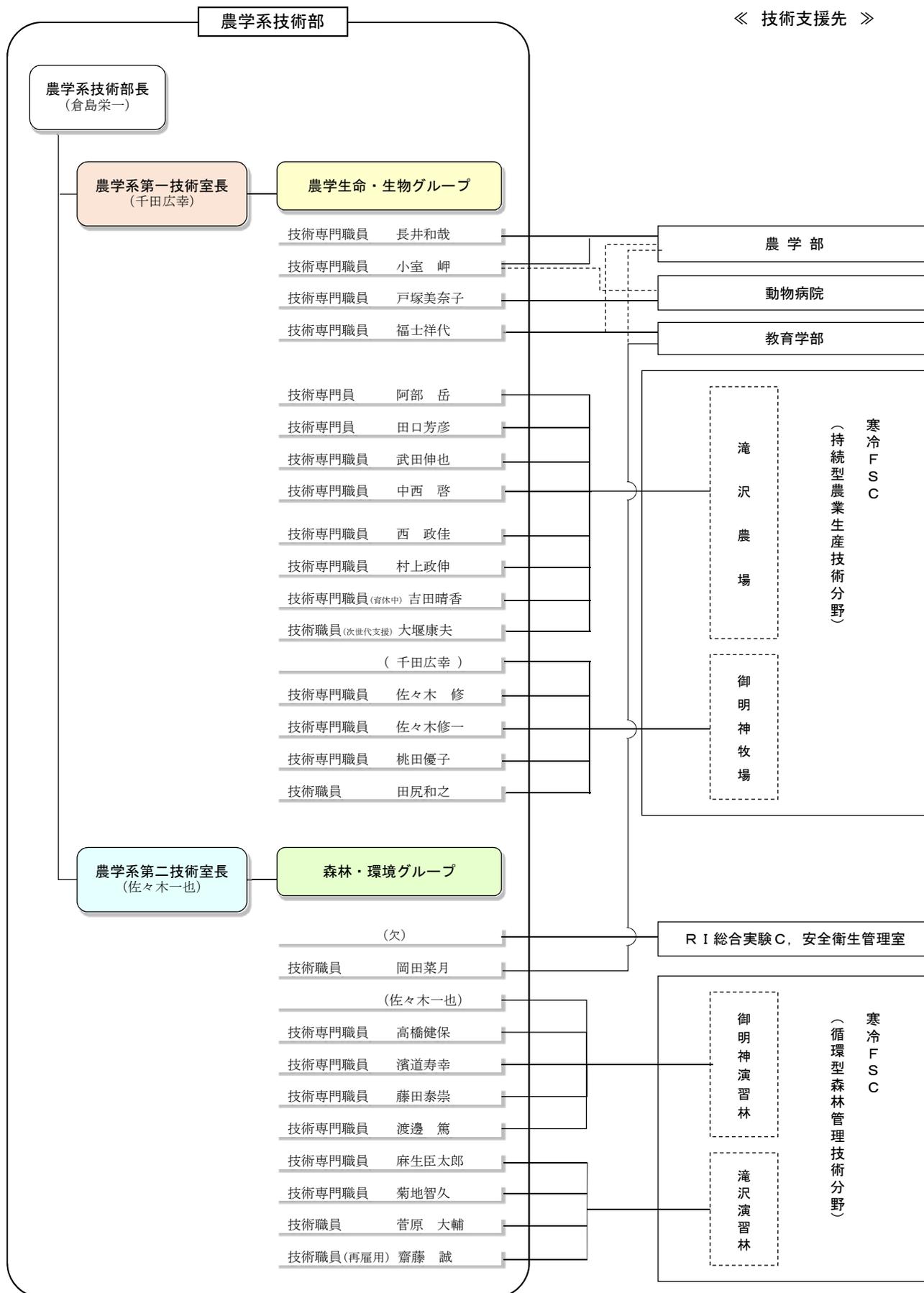
##### (a) 学術雑誌

1. Sato, I., Sasaki, J., Satoh, H. and Okada, K. (2019) Effects of treatment time and thickness of meat on the removal of radioactive cesium from beef slices by boiling and water extraction. *J. Food Prot.* 82: 623-627.
2. Sato, I., Sasaki, j., Satoh, H., Natsuhori, M., Murata, T. and Okada, K. (2019) Comparison of urine and blood as a convenient and practical sample for estimating the contamination level of live cattle with radioactive cesium. *Anim. Sci. J.* 90: 1090-1095.
3. Sasaki, J., Uehara, M., Sato I., Satoh, H., Deguchi, Y., Chida, H., Natsuhori, M., Murata, T., Ochiai, K., Otani, K., Okada, K. and Ito, N. (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black Cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Anim. Sci. J.* 90: 1333-1339.

### 3 技 術 部



農学系技術部と技術支援先(R元年度)



※ 記載は、グループ別支援先別職位別五十音順。

## 《技術職員》

### ■ 長井和哉 Nagai, Kazuya



◇赴任：2006年

◇現職：技術専門職員

◇学位：博士（農学）（岩手大学）

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 希少猛禽類における分子生態学的研究
2. 次世代シーケンサーを用いた分子生物学的研究

◇研究業績

#### A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Kazuya Nagai, Ken-ichi Tokita and Fumihito Nakayama (2020) Discovery of a novel mtDNA sequence in the Japanese Eastern buzzard. *Journal of Raptor Research*, in press.
2. Kazuya Nagai, Sontaya Manawatthana, Ken-ichi Tokita, Chukiat Nualsri, Andrew J. Pierce, Kaset Sutasha, Kriangsak Sribuarod, Kenji Takehara, Philip D. Round and Hiroyoshi Higuchi (2020) Genetic Structure in Japanese and Thai Populations of the Japanese Sparrowhawk *Accipiter gularis*. *Zool Sci*, in press.

#### B. 国際学会発表

1. Kazuya Nagai, Fumitaka Iseki, Atsuki Azuma (2019) Analysis of the Genetic Diversity and Structure of the Grey-Faced Buzzard (*Butas turindicus*) in Japan, Based on mtDNA. 国際シンポジウム 2019 in いちかい.

#### C. 国内学会発表

1. 長井和哉, 高橋亮輔, 中山文人 (2019) シラコバトの野生個体群と動物園飼育個体の遺伝的構造比較. 第6回東北野生動物管理研究交流会 in やまがた.

### ■ 小室岬 Komuro, Misaki



◇赴任：2010年

◇現職：技術専門職員

◇学位：修士（農学）（山形大学）

◇資格等：第一種衛生管理者，毒物劇物取扱者（一般）

◇研究業績

#### A. 国内学会発表

1. 佐藤れえ子, 小林沙織, 内田直宏, 川名悠加, 山田修造, 小山俊弘, 羽生奈々, 日比考嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 森田智也, 小室岬, 戸塚美奈子, 山崎真大 (2019) 猫多発性嚢胞腎の治療薬としてのトルバプタンの臨床応用. 第40回動物臨床医学会要旨集：37-39.

### ■ 戸塚美奈子 Tozuka, Minako



◇赴任：2007年

◇現職：技術専門職員

◇担当業務：臨床検査

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 学生実習
2. 動物病院における検査試薬・検査法の改良

◇担当科目（実施協力）：

1. 総合臨床実習（獣医5年）

◇所属学会：日本臨床衛生検査技師会，岩手県臨床衛生検査技師会

◇研究業績

#### A. 国内学会発表

1. 佐藤れえ子, 小林沙織, 内田直宏, 川名悠加, 山田修造, 小山俊弘, 羽生奈々, 日比考嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 森田智也, 小室岬, 戸塚美奈子, 山崎真大 (2019) 猫多発性嚢胞腎の治療薬としてのトリバプタンの臨床応用. 第40回動物臨床医学会要旨集：37-39.

### ■ 福士祥代 Fukushi, Sachiyo



◇赴任：2013年

◇現職：技術専門職員

◇学位：修士（農学）（岩手大学）

◇専門分野：蔬菜園芸学，食品保蔵学

◇担当科目：（一部担当，実習協力を含む）

1. ものづくり実習（農学部3年次）
2. 農場実習 I（農学部2年次）
3. 総合フィールド科学実習（農学部1年次）
4. 農場特別実習（農学部3年次）

◇資格等：フォークリフト運転技能講習修了，第一種衛生管理者，毒劇物取扱者（一般）

◇研究業績

#### A. 国内学会発表

1. 安川洋生, 岡田菜月, 福士祥代, 八重樫理称 (2020)

薬剤耐性菌に関する教育に向けて～スマホ画面から検出される耐性因子の調査～. 日本科学教育学会研究報告 Vol. 33 No. 6 : 57-60.

■ 岡田 菜月

Okada, Natsuki



◇赴任：2012年

◇現職：技術職員

◇学位：修士（農学）（岩手大学）

◇専門分野：木工，森林生態学，森林環境教育学

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 木工における安全な作業について
2. 森林・林業への興味関心につながる木育，クラフトについて

◇担当科目：

1. 木材概論Ⅰ（教育学部1，2年）
2. 木材概論Ⅱ（教育学部1，2，3年）
3. 製図演習（教育学部1，2年）
4. 小学校理科B（教育学部2，3，4年）
5. 総合フィールド科学実習（農学部1年）

◇所属学会等：日本森林学会

◇資格等：第一種衛生管理者，2級ビオトープ計画管理士，森林インストラクター

◇研究業績

A. 国内学会発表

1. 安川洋生, 岡田菜月, 福士祥代, 八重樫理称 (2020)  
薬剤耐性菌に関する教育に向けて～スマホ画面から検出される耐性因子の調査～. 日本科学教育学会研究報告 Vol. 33 No. 6 : 57-60.

## 《滝沢農場》

### ■ 阿部 岳 Abe, Takeshi



- ◇赴任：1980年
- ◇現職：技術専門員
- ◇専門分野：作物栽培学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 有機畑における茶豆栽培と雑草防除法の確立
  2. 有機畑における長十郎もちヒエ、黒千石大豆、ソバ、大麦の輪作栽培法に関する研究
  3. 黒ボク土での各種緑肥を利用した各作物栽培区の土壌調査及び研究
  4. 枝豆の早取りに関する試験研究
- ◇担当科目：
  1. 農場実習Ⅰ・Ⅱ（学部2年次）
  2. 農場特別実習（学部3年次）
  3. 農場実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：日本作物学会東北支部，日本花粉学会
- ◇資格等：ボイラー技士（二級），大型特殊自動車農耕車，ガス溶接技能講習修了，危険物乙種二，三，四，六類

### ■ 田口 芳彦 Taguti, Yoshihiko



- ◇赴任：1992年
- ◇現職：技術専門員
- ◇専門分野：作物栽培学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 機能性大豆及び雑穀を素材とした味噌醸造適性に関する研究調査
- ◇担当科目：
  1. 農場実習Ⅰ・Ⅱ（学部2年次）
  2. 農業特別実習（学部3年次）
  3. 農業実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：作物学会東北支部
- ◇資格等：大型自動車，大型特殊自動車，フォークリフト，けん引，ボイラー技士（二級），危険物乙種四類，車両系建設機械（整地等）

### ■ 武田 伸也 Takeda, Sinya



- ◇赴任：1993年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：作物栽培学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. ダイズ「貴まる」の播種時期の違いによる生育・収量への影響に関する研究
- ◇担当科目：
  1. 農場実習（学部2年次）
  2. 農場実習（学部3年次）
  3. 農場実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：日本作物学会東北支部
- ◇資格等：大型特殊（農耕車），日本農業技術検定2級，フォークリフト

### ■ 中西 啓 Nakanisi, Akira



- ◇赴任：1992年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：花卉園芸学，蔬菜園芸学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. リンドウ品種の遺伝資源の収集，保存
- ◇担当科目：
  1. 農場実習Ⅰ・Ⅱ（学部2年次）
  2. 農業特別実習（学部3年次）
  3. 農業実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：園芸学会東北支部
- ◇資格等：毒物劇物取扱者（農業用品目），大型特殊自動車，第二種衛生管理者，日本農業技術検定2級，フォークリフト

■ 西 政 佳  
Nishi, Masayoshi



- ◇赴任：1992年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：作物栽培学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 水稻栽培における低投入省力化に関する研究
  2. 水稻の施肥反応に関する研究
- ◇担当科目：
  1. 農場実習（学部2年次）
  2. 農場特別実習（学部3年次）
  3. 農場実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：日本作物学会東北支部
- ◇資格等：大型特殊（農耕車），けん引（農耕車），フォークリフト

■ 村 上 政 伸  
Murakami, masanobu



- ◇赴任：1997年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：果樹園芸学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. りんご園の減農薬防除体系確立に関する研究
  2. ブルーベリーの品種別整枝剪定法の確立に関する研究
- ◇担当科目：
  1. 農場実習（学部2年次）
  2. 農場特別実習（学部3年次）
  3. 農場実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：園芸学会，園芸学会東北支部
- ◇資格等：大型自動車，大型特殊自動車，フォークリフト

■ 吉 田 晴 香  
Yoshida, Haruka



- ◇赴任：2008年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇学位：修士（農学）（岩手大学）
- ◇専門分野：作物学，果樹園芸学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 雑穀遺伝資源の保存
  2. 在来野菜の栽培，利用に関する研究
- ◇担当科目：
  1. 農場実習Ⅰ・Ⅱ（学部2年次）
  2. 農場特別実習（学部3年次）
  3. 農場実習（教育学部技術科）
  4. 総合フィールド科学実習（学部1年次）
- ◇所属学会等：園芸学会東北支部
- ◇資格等：第一種衛生管理者，日本農業技術検定2級，フォークリフト

## 《御明神牧場》

### ■ 千田 広幸 Chida, Hiroyuki



- ◇赴任：1979年
- ◇現職：技術室長
- ◇専門分野：飼料作物栽培学
- ◇担当科目：(一部担当, 実施協力を含む)
  1. 牧場実習 (2・3年次)
  2. 総合フィールド科学実習 (1年次, 分担)
  3. 農場実習 I (1年次, 分担)
  4. 動物科学実験 I・II (2・3年次, 分担)
  5. 獣医臨床繁殖学実習 (4・5年次, 分担)
- ◇資格等：大型自動車, けん引 (農耕車), ガス溶接, 車両系建設機械 (整地等), ボイラー技士 (二級), 大型特殊自動車

### ■ 佐々木 修 Sasaki, Osamu



- ◇赴任：1994年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：飼料作, 機械
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 粗飼料調製に係わる教育研究
  2. 御明神牧場における採草地の経年変化に係わる教育研究
- ◇担当科目 (一部担当, 実施協力を含む)
  1. 牧場実習 (2・3年次)
  2. 総合フィールド科学実習 (1年次, 分担)
  3. 農場実習 I (1年次, 分担)
  4. 獣医臨床繁殖学実習 (4・5年次, 分担)
  5. 動物科学実験 I・II (2・3年次, 分担)
- ◇資格等：大型自動車一種, 第一種大型特殊自動車免許, 第一種けん引免許, 車両系建設機械運転技能講習修了, 移動式クレーン又はデリックの玉掛け業務に係わる特別教育修了, 小型移動式クレーン運転技能特例講習修了, (ガス溶接) 技能講習修了, アーク溶接に関する安全衛生特別講習修了, 家畜人工授精師 (牛), 家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習修了, 二級ボイラー技士, 自由研削と石取替え等の業務に係わる特別教育修了, 粉じん作業特別教育修了, 刈払機取扱作業安全衛生教育修了

### ■ 佐々木 修一 Sasaki, Shu-ichi



- ◇赴任：1991年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：飼養, 繁殖
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 牛の繁殖に係わる教育研究
  2. 黒毛和種の育成に係わる教育研究
- ◇担当科目 (一部担当, 実施協力も含む)
  1. 牧場実習 (2・3年次)
  2. 総合フィールド科学実習 (1年次, 分担)
  3. 農場実習 I (1年次, 分担)
  4. 動物科学実験 I・II (2・3年次, 分担)
  5. 獣医臨床繁殖学実習 (4・5年次, 分担)
- ◇資格等：大型特殊自動車免許 (農耕車), けん引免許 (農耕車), 毒物劇物取扱者 (農業用品目), 家畜人工授精師 (牛), 家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習修了

### ■ 桃田 優子 Momota, Yuko



- ◇赴任：2007年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇学位：修士 (農学) (千葉大学)
- ◇専門分野：飼養, 繁殖
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 黒毛和種子牛の哺育・育成に係わる教育研究
- ◇担当科目：(一部担当, 実施協力を含む)
  1. 牧場実習 (2・3年次)
  2. 総合フィールド科学実習 (1年次, 分担)
  3. 農場実習 I (1年次, 分担)
  4. 動物科学実験 I・II (2・3年次, 分担)
  5. 獣医臨床繁殖学実習 (4・5年次, 分担)
- ◇所属学会等：東北畜産学会, 動物の行動と管理学会
- ◇資格等：家畜人工授精師 (牛), 大型特殊自動車

### ■ 田尻 和之 Tajiri, Kazuyuki



- ◇赴任：2017年
- ◇現職：技術職員
- ◇担当科目：
  - (一部担当, 実施協力を含む)
  1. 牧場実習 (2・3年次)

2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
  3. 農場実習Ⅰ（1年次，分担）
  4. 動物科学実験Ⅰ・Ⅱ（2・3年次，分担）
  5. 獣医臨床繁殖学実習（4・5年次，分担）
- ◇資格等：危険物取扱者丙種，中型自動車免許一種，けん引自動車免許一種，フォークリフト技能講習修了，家畜人工授精士（牛），二級削蹄士，車輛系建設機械（整地・運搬・積込み用及び採掘用），ガス溶接・溶断技能講習修了，アーク溶接特別教育修了，玉掛け技能講習修了，刈払機作業の安全衛生教育修了，大型特殊自動車

## 《御明神演習林》

### ■ 佐々木 一也 Sasaki, Kazuya



- ◇赴任：2004年
- ◇現職：技術室長
- ◇学位：博士（農学）（岩手大学）
- ◇専門分野：林政学，森林管理学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 森林政策論
  2. 地域づくり，山村問題
  3. 大学演習林の意義と役割
- ◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）
  1. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
  2. 森林造成学実習Ⅰ（森林科学科3年次）
  3. 森林測量学実習Ⅰ（森林科学科2年次）
  4. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
  5. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年次）
  6. 森林科学基礎演習（森林科学科1年次）
  7. 教育関係共同利用拠点実習（他大学学生等）
- ◇学会賞等：森林管理技術賞（学術貢献賞）（2011年）
- ◇資格等：測量士補，森林情報士（森林GIS2級），第一種衛生管理者

### ■ 高橋 健保 Takahashi, Takeyasu



- ◇赴任：2004年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：森林管理学，森林生産利用学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 超高密路網を基盤とする高能率伐出作業システムの構築
  2. 林道路肩保全のための簡易間伐丸太構造物の開発
- ◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）
  1. 教育関係共同利用拠点実習（他大学学生等）
  2. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
  3. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
  4. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年次）
- ◇資格等：大型自動車免許，大型特殊自動車運転免許，車両系建設機械（自重3t以上），はい作業主任者，

- 不整地運搬車運転，地山の掘削及び土止め支保作業主任者，玉掛け技能講習，高性能林業機械オペレーター，第二種衛生管理者◇その他の活動：岩手県高性能林業機械オペレーター養成研修講師
- ◇学会賞等：森林管理技術賞（技術貢献賞）（2015年）

### ■ 濱道 寿幸 Hamamichi, Toshiyuki



- ◇赴任：1999年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 松くい虫耐性苗を利用した天然更新施行
  2. 繊維ロープを利用した集材作業
- ◇担当科目
  1. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
  2. 森林科学基礎演習（森林科学科1年次）
  3. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
  4. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年次）
- ◇資格等：測量士補，車両系建設機械（自重3t以上），第一種衛生管理者，はい作業主任者，小型移動式クレーン，高性能林業機械オペレーター，不整地運搬車運転

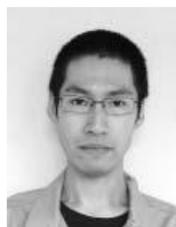
### ■ 藤田 泰崇 Fujita, Yasutaka



- ◇赴任：2004年
- ◇現職：技術専門職員
- ◇専門分野：森林教育学，樹木生理学，造林学，森林動物学
- ◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：
  1. 大学演習林と地域における学校教育との連携を目指した森林・野外教育プログラムの開発
  2. 森林・林業技術者の森林教育活動のスキルアップに関する研究
- ◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）
  1. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科3年次）
  2. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
  3. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年次）
  4. 教育関係共同利用拠点実習（他大学）
- ◇資格等：測量補，車両系建設機械（自重3t以上），第一種衛生管理者，玉掛け技能講習（1t以上），小

型移動式クレーン（1 t以上5 t未満），はい作業主任者，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者，高性能林業機械オペレーター，危険物取扱者（乙種，第4類），中型自動車免許，狩猟免許（わな猟）

■ 渡 邊 篤  
Watanabe, Atsushi



◇赴任：2009年

◇現職：技術専門職員

◇専門分野：林業生産工学

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 日本における馬搬作業の事例分析

◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）：

1. 総合フィールド科学実習（農学部1年次）
2. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
3. 野生動物管理学実習（森林科学科3年次）
4. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
5. 教育関係共同利用拠点実習（他大学学生等）

◇所属学会等：東北森林科学会

◇学会賞等：東北森林管理局 平成21年度森林・林業技術交流発表会東北森林管理局林政記者クラブ賞（2009年），第51回環境等研究フォーラム論文賞（2014年），平成28年度森林・林業技術交流発表会東北森林管理局林政記者クラブ賞（2016年）

◇資格等：第一種衛生管理者，修習技術者，測量士，車両系建設機械（自重3 t以上），玉掛け技能講習（1 t以上），小型移動式クレーン（1 t以上5 t未満），はい作業主任者，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者，高性能林業機械オペレーター，森林インストラクター，中型自動車免許，危険物取扱者（乙種第4類），狩猟免許（第一種銃猟，わな猟）

## 《滝沢演習林》

### ■ 麻生 臣太郎 Aso, Shintaro



◇赴任：2008年

◇現職：技術専門職員

◇専門分野：林業生産工学

◇学位：修士（岩手大学）

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 超高密度路網による長伐期多間伐システムの構築
2. 低コスト作業路作設によるCO2排出量の推定
3. 御明神演習林における野生動物の林道利用

◇担当科目（一部担当，実習協力含む）

1. 森林科学基礎演習（森林科学科1年次）
2. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
3. 森林造成学実習Ⅰ（森林科学科3年次）
4. 森林測量学実習Ⅰ（森林科学科2年次）
5. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
6. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年次）

◇資格等：車両系建設機械（自重3t以上），移動式クレーン運転技能講習（1t以上5t未満），玉掛技能講習（1t以上），中型自動車免許，大型特殊自動車免許，第一種衛生管理者，危険物取扱者（乙種），測量士

### ■ 菊地 智久 Kikuchi, Tomohisa



◇赴任：1997年

◇現職：技術専門職員

◇専門分野：森林管理学，樹木学，  
樹木医学，森林環境教育学

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 大学演習林と地域における学校教育との連携を  
目指した森林・野外教育プログラムの開発

◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）

1. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
2. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年）
3. 森林科学基礎演習（森林科学科1年）
4. 森林造成学実習（森林科学科3年）
5. 林業生産工学実習（森林科学科3年）
6. 森林計測学実習（森林科学科3年）

7. 教育関係共同利用拠点実習（他大学学生等）

◇資格等：樹木医，森林インストラクター，第1種衛生管理者，危険物取扱者，ガス溶接技能講習，刈払機作業の安全衛生教育，普通救命講習，自由研削と石取替え等の業務に係る特別教育，小型移動式クレーン運転技能講習，走行集材機運転業務特別教育，簡易架線集材装置等運転業務特別教育，玉掛技能講習，不整地運搬車運転技能講習，地山の掘削作業主任者技能講習，はい作業主任者技能講習，車両系建設機械運転技能講習，アーク溶接等の業務に係る特別教育，伐木等機械運転業務特別教育，車両系建設機械（自重3t以上）はい作業主任者，危険物取扱者（乙種，第4類），小型移動式クレーン運転技能講習（1t以上）修了，第一種衛生管理者，高性能林業機械オペレーター養成研修修了

### ■ 菅原 大輔 Sugawara, Daisuke



◇赴任：2012年

◇現職：技術職員

◇専門分野：森林管理学

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 岩大型森林作業道における最適転回回数
2. アカマツ林皆伐後の林床木本の更新状況

◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）

1. 森林測量学実習Ⅰ（森林科学科2年次）
2. 温帯林概論（鹿児島大学生物環境科学科3年次）
3. 森林造成学実習Ⅰ（森林科学科3年次）
4. 林業生産工学実習（森林科学科3年次）
5. 総合フィールド科学実習（農学部全科1年次）

◇所属学会等：東北森林科学会

◇資格等：修習技術者，測量士補，車両系建設機械（自重3t以上），移動式クレーン運転技能講習（1t以上5t未満），玉掛け技能講習（1t以上），第一種衛生管理者，危険物取扱者（乙種），はい作業主任者

### ■ 齋藤 誠 Saito, Makoto



◇赴任：1996年

◇現職：技術職員

◇専門分野：森林教育学，植物学

◇主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 児童生徒に対する森林・林業教育のあり方に関する

る研究

◇担当科目（一部担当，実習協力を含む）

1. 総合フィールド科学実習（学部全科共通1年）
2. 森林造成学実習（森林科学科3年）
3. 樹木学実習（森林科学科2年）
4. 林業生産工学実習（森林科学科3年）
5. 温帯林概論（鹿児島大学農林環境科学科2年次）
6. 教育関係共同利用拠点実習（他大学学生等）

◇学会賞等：森林管理技術賞（特別功労賞）（2013年）

◇資格等：大型自動車免許，大型特殊免許，はし作業主任者，第二種衛生管理者，車両系建設機械（自重3t以上），玉掛技能講習（1t以上）修了，危険物取扱者（乙種，第4類），小型移動式クレーン運転技能講習（1t以上）修了，地山の掘削作業主任者



## 4 . 学会等の開催

### 植物生命科学科

- ・名 称：第 14 回東北育種研究集会
- ・年 月 日：令和元年 11 月 30 日（土）
- ・場 所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）7 番講義室・スペース C）
- ・参加人数：92 名
- ・世 話 人： 畠山勝徳（岩手大学准教授）

### 応用生物化学科

- ・名 称：日本アミノ酸学会第 13 回学術大会(JSAAS2019)
- ・年 月 日：令和元年 10 月 5 日（土）～ 6 日（日）
- ・場 所：岩手大学教育学部（総合教育研究棟（教育系））
- ・参加人数：120 名
- ・世 話 人：長澤孝志（岩手大学教授），喜多一美（岩手大学教授），吉澤史昭（宇都宮大学教授），比良徹（北海道大学准教授），西向めぐみ（岩手大学准教授），伊藤芳明（岩手大学准教授）

- ・名 称：第二回細胞形成研究会
- ・年 月 日：令和 2 年 2 月 28 日（金）
- ・場 所：岩手大学農学部（総合教育研究棟(生命系) スペース C））
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：西山賢一（岩手大学教授），永森收志（奈良県立医大教授）

### 森林科学科

- ・名 称：2019 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会 岩手大会
- ・年 月 日：令和元年 5 月 21 日（火）～ 5 月 23 日（木）
- ・場 所：盛岡市民文化ホール（マリオス），いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・参加人数：約 1,100 名
- ・そ の 他：実行委員長 井良沢道也（岩手大学教授）

### 食料生産環境学科

- ・名 称：日本造園学会東北支部大会
- ・年 月 日：令和元年 10 月 26 日（土）～ 27 日（日）
- ・場 所：岩手大学農学部（第一会議室），紫波町（紫波中央駅前オガール地区，山屋地区）
- ・参加人数：45 名
- ・そ の 他：実行委員長 原科幸爾（岩手大学准教授），事務局長 大利泰宏（㈱オリエンタルコンサルタンツ）

### 動物科学科

- ・名 称：日本畜産学会第 126 回大会
- ・年 月 日：令和元年 9 月 17 日（火）～ 20 日（金）
- ・場 所：岩手大学
- ・参加人数：400 名
- ・そ の 他：大会長 佐野宏明（岩手大学教授）

## 5 . 研究助成

平成 31 年・令和元年度科学研究費補助金採択状況一覧

( 単位:千円 ,職位は平成 31 年 4 月 1 日もしくは採用時現在 )

研究種目	所属	研究代表者名	職位	研究課題名	配分額
新学術領域研究 (研究領域提案型)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	准教授	なぜネコはマタタビに反応するのか？マタタビ活性物質の分子標的同一性と生理意義の解明	2,000,000
基盤研究(A)	植物生命科学科	下野 裕之	准教授	イネの野外ビッグデータを用いた「人工知能」による育種プラットフォームの開発	13,700,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	上村 松生	教授	植物の低温馴化過程における温度と青色光の認識機構	3,300,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	吉川 信幸	教授	ウイルスベクターの機能を活用したリンゴ黒星病新規制御技術に関する基盤研究	3,300,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	伊藤 菊一	教授	発熱植物サゼンノウの体温調節に関わる温度センシングモジュールの探索と同一化	2,700,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	塚本 知玄	教授	プロファイル解析による大豆加工食品中の各種サポニン化学構造の推定	3,900,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	大腸菌細胞質膜をモデルシステムとした生体膜の創成	1,800,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	タンパク質膜挿入・膜透過に関与する糖脂質酵素 MPlase の構造と機能に関する研究	3,300,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	鈴木 雄二	准教授	イネの光合成と個体生育の窒素利用効率の改良：炭酸固定とその基質再生産の同時増強	2,300,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	准教授	なぜネコは肉ばかり食べても健康でいられるか？新規代謝経路の解明と創薬応用	3,500,000
基盤研究(B)	食料生産環境学科	小出 章二	教授	穀物・農産食品の高品質長期保存の理論的実践的研究	800,000
基盤研究(B)	食料生産環境学科	石村 学志	准教授	多魚種漁獲による不確実性に強い日本型ボートフォリオ漁業の理論化と政策探求研究	4,600,000
基盤研究(B)	動物科学科	喜多 一美	教授	アミノ酸アマドリ化合物によるニワトリ筋骨細胞タンパク質合成促進機能の解明	3,000,000
基盤研究(B)	動物医学食品安全教育 研究センター	佐藤 至	教授	原発事故による長期放射線被曝のウシに対する影響評価	650,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	小森 貞男	教授	ゲノム変化効率化のためのリンゴ小胞子培養系の確立	1,300,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	佐原 健	教授	トビケラ目昆虫における染色体進化の解明	1,400,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	磯貝 雅道	准教授	花粉伝染を制御する植物ウイルスのホールマーク遺伝子の解明	1,000,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	立澤 文見	准教授	花色と花色素の体系化による新花色品種を効率よく育成する手法の開発	1,500,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	畠山 勝徳	准教授	アブラ科植物の相補的に機能する病害抵抗性遺伝子の単離と育種基盤の整備	1,000,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	川原田泰之	助教	陸上植物が保有する EPR3 受容体の機能解析	1,500,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	長澤 孝志	教授	シトルリンによるアミノ酸の骨格筋萎縮抑制作用の増強	2,000,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	三浦 靖	教授	食品の適塩化・低糖質化に向けた「微細構造・破断挙動・呈味」の関連性の解明	1,200,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	伊藤 芳明	准教授	食品イソチオシアネート化合物による骨格筋の機能的・量的維持に対する有効性解析	1,300,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	立石 貴浩	准教授	森林の堆積層植層での適切な土壌微生物管理による放射性セシウムの隔離法の提案	2,000,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	山田 美和	准教授	産業廃棄物活用を目指した有用有機酸類の合成：集積型バイオプロセスの新基盤開発	700,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	石村 学志	准教授	震災再建・空間生物経済分析による最適操業戦略探求：不確実性に強い漁業の社会実装	1,100,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	折笠 貴寛	准教授	農産加工品の輸出促進に資する消費者のニーズを考慮した青果物の最適乾燥理論の構築	800,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	金山 素平	准教授	廃棄力キ殻を利用した土の固化管理技術の開発とその応用	900,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	庄野 浩資	准教授	新手法：葉内の光合成産物の産生状況を電気的に非破壊かつ連続測定する手法の開発	700,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	原科 幸爾	准教授	ニホンリスの移動と遺伝的多様性からみた都市のエコロジカルネットワークの機能評価	1,500,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	松嶋 卯月	准教授	恣意的にホルモンバランスを崩した異種間接ぎ木によるトマト高糖度化	600,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	三宅 諭	准教授	東日本大震災からの復興における復興まちづくり移行期の地域マネジメントに関する研究	800,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	武藤 由子	准教授	嫌気・好気状態が混在する土中での微生物活動に着目した水分移動過程における窒素動態	1,800,000
基盤研究(C)	森林科学科	小藤田久義	教授	スギ材ジテルペン成分の抗アルツハイマー病活性とその作用機構	2,000,000
基盤研究(C)	森林科学科	関野 登	教授	シイタケ廃菌床の半炭化処理による新しい木質系断熱材の開発	2,000,000
基盤研究(C)	森林科学科	國崎 貴嗣	准教授	刈り出ししない刈り払い「筋残し刈り」を用いた省力的天然更新作業の開発	200,000
基盤研究(C)	森林科学科	東 淳樹	講師	ミサゴの内陸部への生息拡大要因・健全な水辺生態系を目指して	1,500,000
基盤研究(C)	動物科学科	出口 善隆	准教授	IoT を利用した林内放牧による野生動物との緩衝帯としての里山機能の創出	800,000

研究種目	所属	研究 代表者名	職位	研究課題名	配分額
基盤研究(C)	共同獣医学科	板垣 匡	教授	牛寄生 <i>Eimeria</i> 属原虫の種識別法の開発と牛コクシジウム症診断への応用	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	木崎景一郎	教授	エクソソームを介したウシ子宮内膜と栄養膜の細胞間クロストーク	1,400,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	高橋 透	教授	ウシ子宮に発現するクロモグラニン A の生理的役割の解明と低受胎診断への適用	1,300,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山崎 真大	教授	次世代シーケンサーによる <i>Babesia gibsoni</i> の薬剤耐性獲得機序の解析	1,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	片山 泰章	准教授	閉塞性腎障害における腎保護性蛋白である L-FABP の前臨床研究	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	中牟田信明	准教授	カメの性フェロモン受容システムに関する研究	1,200,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス教育 研究センター	山本 信次	教授	原発事故による放射性物質拡散が農山漁村の自然資源利用に与えた影響とその対応	600,000
基盤研究(C)	動物病院	星野 有希	准教授	難治性犬移行上皮癌に対する NSAIDs 治療における腫瘍増殖マクロファージの関連性	800,000
挑戦的研究(萌芽)	植物生命科学科	河村 幸男	准教授	秋において植物が温度ノイズの中から冬を感じ取るメカニズム	2,800,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	准教授	特徴的な香気成分をハイスループットに探索できる次世代において分析装置開発への挑戦	1,000,000
挑戦的研究(萌芽)	食料生産環境学科	廣田 純一	教授	農山漁村集落の持続的発展における拡大コミュニティの形成に関する計画論的研究	900,000
挑戦的研究(萌芽)	共同獣医学科	落合 謙爾	教授	レトロウイルス性心筋異常の病態解析と動物モデル化の検討	2,400,000
若手研究(B)	植物生命科学科	殿崎 薫	助教	イネ Polycomb 複合体が制御する胚乳発生機構の解明	2,076,598
若手研究(B)	食料生産環境学科	濱上 邦彦	准教授	小規模閉鎖水域におけるアオコ発生予測および藍藻類短期挙動モデルによる制御法の検討	300,000
若手研究	植物生命科学科	松波 麻耶	助教	イネの水と窒素の需要を反映する根の遺伝子群のフィールドでの発現動態の解明	900,000
若手研究	共同獣医学科	山崎 朗子	助教	ニホンジカ寄生住肉胞子虫の下痢毒性因子の検出および毒性機序の解明	500,000
若手研究	共同獣医学科	関 まどか	助教	肝蛭の宿主体内における酸素濃度依存的なエネルギー代謝の転換	1,600,000
若手研究	農学部	宮崎 珠子	特別 研究員	乳牛の「沈黙の排卵」を見破る尿中発情期判定バイオマーカーの探索	1,100,000
研究活動スタート 支援	共同獣医学科	綱田 丈二	助教	社会的相互作用の脳内機構解明：音声コミュニケーションにおける前頭一側頭回路の役割	1,100,000
合計					101,626,598

## 6 . 非常勤講師

学科名	氏名	科目	勤務先	時間数
科生植 学科物	高畑義人	遺伝学概論	岩手大学名誉教授	14
	高畑義人	植物育種学	岩手大学名誉教授	28
	金澤俊成	蔬菜園芸各論	岩手大学教育学部	14
化生応 学科物用	下飯 仁	産業微生物学	元岩手大学教授	28
	木村 毅	有機化学概論	岩手大学研究推進機構	28
	小野田敏行	公衆衛生学	岩手大学保健管理センター	14
森 林 科 学 科	井倉洋二	暖帯林概論	鹿児島大学	28
	佐藤 康	森林科学基礎演習	小岩井農場	3
	山本清龍	自然環境保全論	東京大学	28
	山本清龍	地域観光学	東京大学	28
	澤口勇雄	森林測量学		28
	澤口勇雄	林道工学		30
食 料 生 産 環 境 学 科	稲垣秀悦	起業学入門	いわぎん事業創造キャピタル株式会社	2
	赤木徳顕	起業学入門	帝京大学	16
	鈴木良太	起業学入門	チーム漁火	2
	長谷川琢也	起業学入門	Yahoo japan	4
	赤木徳顕	起業学実習	帝京大学	21
	垣添直也	漁業経営・水産マーケティング論	日本水産株式会社	4
	岡崎恵美子	漁業経営・水産マーケティング論	東京海洋大学	2
	鎌田 仁	漁業経営・水産マーケティング論	鎌田水産株式会社	2
	鈴木 允	漁業経営・水産マーケティング論	海洋管理協議会日本事務所	4
	山本泰幸	漁業経営・水産マーケティング論	イオン株式会社	2
	桜井泰憲	漁業資源生態学	函館頭足類科学研究所	2
	横川太一	漁業資源生態学	海洋研究開発機構	2
	桜井泰憲	自然環境政策論	函館頭足類科学研究所	4
	阿部拓三	自然環境政策論	南三陸町	8
	田中 潔	海洋物理学	東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター	28
	佐藤 繁	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	9
	阿部拓三	コーディネーション概論	南三陸町	14
	河野克典	コミュニケーション論	富士ゼロックス株式会社	2
	森 晃也	コミュニケーション論	富士ゼロックス株式会社	2
	脇野 博	水産科学技術者倫理	岩手大学教育推進機構	28
	難波信由	水産植物学	北里大学海洋生命科学部	28
	野村一郎	漁業・漁業資源経済学	インドネシア漁業省	4
	高橋幸男	環境デザイン演習	高橋デザイン事務所	14
	山口勝洋	緑地環境学	紫波町グリーンエネルギー株式会社	2
	工藤浩一	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	千葉 満	測量学	照井土地改良区	14
	菊池 豊	農業労働科学	農研機構 農業技術革新工学研究センター	14
	上條雄喜	農村地域デザイン実践論	鋳物技術交流センター	2
	山内愛子	水産政策学	公益財団法人世界自然保護基金ジャパン	6
	山田 徹	水産政策学	フリーランス（映像業）	4
	藤井 巖	水産政策学	海洋政策研究所	2

学科名	氏名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	千 克鋒	水圏環境学	岩手大学三陸水産研究センター	28
	鈴木善一	農村地域デザイン実践論	北上市役所都市整備部道路環境課	2
	藤原瑞枝	農村地域デザイン実践論	雫石町	2
	米澤彩子	農村地域デザイン実践論	盛岡市役所	4
	久野叔彦	農村地域デザイン実践論	(株)三祐コンサルタンツ	4
	登尾浩助	農村地域デザイン実践論	明治大学	8
	相川次郎	海外農林開発論	国際協力機構	30
	千葉 匡	農村地域デザイン実践論	岩手県土地改良事業団体連合会	4
	佐藤明子	農村地域デザイン実践論	岩手県北広域振興局	2
	岡本裕也	農村地域デザイン学演習	東北農政局整備部	3
	小玉 智	食産業システム学実験	株式会社サキキ東北	18
	溝口 勝	環境修復学	東京大学	12
	岩崎尚子	漁村計画学	RPI	10
	大島 肇	漁村計画学	RPI	18
	前多隼人	水産食品加工学	弘前大学	4
	渡部終五	水産食品加工学	北里大学	4
	落合芳博	水産食品加工学	東北大学	4
	高橋剛一	水産物流通論	すし組合盛岡支部	2
	大塚和彦	地域マネジメント論	EDF Japan	10
	長谷川琢也	地域マネジメント論	Yahoo japan	6
	安達日向子	地域マネジメント論	フィッシャーマン・ジャパン	2
	木村拓哉	地域マネジメント論	一般社団法人東の食の会	2
	木村 剛	地域マネジメント論	株式会社ベアレン醸造所	1
	津田祐樹	地域マネジメント論	フィッシャーマン・ジャパン	1
	松木裕也	地域マネジメント論	Yahoo japan	1
	戸塚絵梨子	地域振興経済・政策論	株式会社パソナ東北創生	2
	小野 博	地域振興経済・政策論	岩手県	4
	廣野一誠	地域振興経済・政策論	アサヤ株式会社	2
	及川一也	農業情報処理	株式会社クボタ アグリソリューション推進部	4
	山下善道	農業情報処理	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター	2
大久保さゆり	農業情報処理	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業情報研究センター	2	
長坂善禎	農業情報処理	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター	2	
山本聡史	農業情報処理	秋田県立大学	2	
動物科学科	小松 守	動物園学	秋田市大森山動物園	14
	谷口和美	動物形態学	北里大学獣医学部	28
	谷口和美	動物形態学	北里大学獣医学部	28
	中村哲雄	牧場実習	葛巻町畜産開発公社	17
	西 千秋	野生動物学	(合)岩手野生動物研究所	14
	平松浩二	動物組織学	信州大学	14
	藤田知己	動物科学総論		7
	水谷啓司	動物科学実験	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	3
学共同獣医科	居在家義昭	動物品種論		14
	辻本恒徳	動物品種論	盛岡市動物公園	4
	安田 準	動物品種論		4

学科名	氏名	科目	勤務先	時間数
共同獣医学科	稲波 修	臨床病理学	北海道大学大学院獣医学研究科	2
	稲葉 睦	血液免疫病学	北海道大学大学院獣医学研究科	4
	稲森久展	食品衛生学実習	岩手県食肉衛生検査所	3
	白岩利恵子	食品衛生学実習	一般社団法人岩手県獣医師会 食鳥検査センター	3
	渡辺麻衣子	食品衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	6
	植木淳史	総合参加型臨床実習	植木家畜医院	21
	田高 恵	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合	30
	武田久男	総合参加型臨床実習	小岩井農牧株式会社	21
	西家真雄	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合	30
	大澤健司	臨床繁殖学実習	宮崎大学農学部	6
	後藤太一	臨床繁殖学実習	イーハトーブ・ブリーディング・サービス	3
	岡村雄司	臨床繁殖学実習	おかむらアニマルクリニック	3
	野口倫子	臨床繁殖学実習	麻布大学	6
	大野耕一	消化器病学	東京大学大学院農学生命科学研究科	10
	笠嶋快周	産業動物臨床学	JRA 競走馬総合研究所	2
	廉澤 剛	臨床腫瘍学	酪農学園大学獣医学群	12
	木村祐哉	人と動物関係学	北里大学獣医学部獣医学科	8
	辻本恒徳	人と動物関係学	盛岡市動物公園	10
	松浦晶央	人と動物関係学	北里大学獣医学部	8
	安田 準	人と動物関係学	元岩手大学教授	4
	辻本恒徳	野生動物学	盛岡市動物公園	15
	秦 英司	病原微生物学	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所	4
	福田智一	獣医遺伝育種学	岩手大学理工学部	4
	古濱和久	毒性学実習	元岩手大学教授	12
	古濱和久	薬理学実習	元岩手大学教授	24
	帆保誠二	馬臨床学	鹿児島大学共同獣医学部	12
	下川哲哉	解剖学実習	愛媛大学大学院医学系研究科	6
	白岩利恵子	公衆衛生学実習	一般社団法人岩手県獣医師会 食鳥検査センター	3
	渡辺麻衣子	公衆衛生学実習	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	6
	豊田武士	動物病理学総論	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター	4
	夏堀雅宏	画像診断学	北里大学獣医学部	12
	山手寛嗣	獣医倫理	松園動物病院	2
安田 出	大動物臨床実習・基礎編	安田動物病院	3	
鈴木一由	大動物臨床実習・応用編	酪農学園大学獣医学群	6	
学部専門基礎科目	岩崎昭子	地域おこし論	根浜 MIND	2
	若生和江	地域おこし論	惣菜弁当加工販売「やまんば工房」	2
	岡本翔馬	地域おこし論	NPO 法人桜ライン 311	2
	黍原 豊	地域おこし論	三陸駒舎	2
	高家卓範	地域おこし論	森のそば屋	2
	佐々木富士夫	地域おこし論	いさわ南部農事組合法人	2
	中村一郎	地域おこし論	三陸鉄道株式会社	2
	望月達也	地域おこし論	早池峰の自然を考える会	2
	若菜千穂	地域おこし論	NPO 法人いわて地域づくり支援センター	2
	平野多佳子	地域おこし論	やはば百笑倶楽部	2
	土澤 智	地域おこし論	公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会	2

学科名	氏名	科目	勤務先	時間数
学部専門基礎科目	河田裕樹	化学	岩手大学名誉教授	28
	河田裕樹	基礎化学実験	岩手大学名誉教授	15
	北爪英一	基礎科学実験	岩手大学名誉教授	21
	安江紘幸	6次産業化論	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	2
	三田林太郎	6次産業化論	三田農林株式会社	2
	桶田陽子	6次産業化論	農事組合法人 宮守川上流生産組合	2
	佐藤和憲	6次産業化論	東京農業大学	12
	尾臺喜孝	線形代数学入門	岩手大学理工学部	28
	小野田敏行	農学のための倫理学	岩手大学保健管理センター	14
	開 龍美	農学のための倫理学	岩手大学人文社会科学部	14
	竹原明秀	基礎生物学実験	岩手大学人文社会科学部	9
	竹原明秀	生物学入門	岩手大学人文社会科学部	6
	土谷信高	地学入門	岩手大学教育学部	7
	柳澤忠昭	地学入門	盛岡中央ゼミナール	8
	奈良光紀	基礎数学入門	岩手大学理工学部	28
	石垣 剛	基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
	西崎 滋	基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
	花原和之	微分積分学入門	岩手大学理工学部	28
	花見仁史	物理学入門	岩手大学理工学部	28
	花見仁史	物理学	岩手大学理工学部	28
	西崎 滋	基礎物理学実験	岩手大学理工学部	28
	ハワード・ジェファーソン	科学英語（食料）	ハワード・イングリッシュ・クラブ	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語（植物）	フリーランス（英語コミュニケーション）	28
宮崎珠子	科学英語（応用）	日本学術振興会	56	
尾中夏美	科学英語	岩手大学教育推進機構	10	

### 総合科学研究科農学専攻

専攻	氏名	科目	勤務先	時間数
コ科生植 ↓ ス学命物	阿部 陽	遺伝子農学特論	公益財団法人 岩手生物工学研究センター	28
	加藤一幾	植物生命科学特別講義	東北大学	14
コ化生応 ↓ ス学物用	竹内春樹	応用生物化学特別講義	東京大学大学院薬学系研究科	14
コ科動 ↓ ス学物	麻生 久	動物科学特別講義	東北大学	14

### 附属施設客員教授

施設名	氏名	研究テーマ	勤務先	時間数
教動物 研医学 研究セ ンター ↓ 食 品 安 全	今村彩貴 （客員教授）	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センターの健康な家畜の生産と食の安全・安心に関する研究における、専門的立場からの助言	農林水産省消費安全局食品安全政策課	15
	請川真也 （客員教授）		農林水産省 消費・安全局動物衛生課	15
	酒井淳一 （客員教授）		株式会社ポップアップクリエイト	15
	温泉川肇彦 （客員教授）		国立感染症研究所 国際協力室	15
研獣 医 科 学	山本健久 （客員教授）	岩手大学大学院獣医学研究科における、専門的立場からの指導・助言	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	48
動物 病 院	宮田真智子 （客員教授）	岩手大学農学部附属動物病院の犬と猫の問題行動に関する研究における、専門的立場からの指導・助言	岩手大学農学部附属動物病院 客員教授	192

7. 委員会一覧

委員会	学科学		植物生命科学	応用生物化学	森林科学	食料生産環境	動物科学		共同獣医	ファイールド	動物病究	動物センター	植物園	農業教育資料館	評議員	事務室等	任期等
	植物学	生命科学					動物学	共同獣医									
1	学部運営会議		佐原	長澤	井良沢	小出	佐野	村上	武田	山崎(真)	寺嶋			関野 山下	学部長 副学部長 事務室長	2年 学部長 H30.4.1~R2.3.31 副学部長 H31.4.1~R3.3.31 学部長，副学部長，評議員 2 学部長 6，3施設から各1，事務室長 課室長 4(1年 課程学生在籍の間)	
2	教員人事委員会		村上，山下，山本(欣)														
3	教員評価委員会		×														
4	企画室 将来計画班 財務班 特命班		○山本(欣)，小森，伊藤(菊)，小藤田，金山 ○山本(欣)，ラーマン，斎藤(靖)，三宅，渡邊 ○(必要な時に設置)														
5	点検評価委員会		ラーマン	塚本	松木 補欠1年	松嶋 補欠1年	小田	木崎	佐藤(れ)				山下		学部長 副学部長 事務室長	2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 評議員(全学域評価委員会委員) 各学科各1，3施設1，その他学部長指名	
6	地域連携推進室		川原田	三浦	関野	庄野	西向 補欠1年	落合							学部長 副学部長 事務室長	2年 H30.4.1~R2.3.31 各学科から各1(専門領域下「中」)	
7	教授委員会		○吉川 立澤	西山 鈴木	國崎	三宅 前田 後藤	小田	佐藤(洋) 大沼							副学部長	2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 副学部長，食料生産環境学コース及び 森林科学及び動物科学各1，他3学科各2	
8	学生委員会		○畠山	山田(和)	立川	広田	西向	板垣								2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 各学科から各1	
9	就職委員会		安	伊藤(芳)	伊藤(幸)	山本(仁) 庄野 後藤	松原	一條						関野		2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 評議員 1，食料生産環境学各コース から各1，他5学科から各1	
10	入試委員会		河村	立石	小藤田	袁	築城 補欠1年	高橋(透) 中牟田 補欠1年								2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 食料生産環境及び共同獣医から各2， 他4学科から各1	
11	施設委員会		小森	伊藤(芳)	立川 補欠1年	広田	村元	古市	平田	星野	高橋(正)	立澤			山本(欣)	2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 評議員 1，各学科各1，4施設各1	
12	国際交流委員会		古市，下野，宮崎，石村，西向，松木														
13	広報委員会		松波	斎藤(靖)	東	濱上 松嶋 袁	松原	片山 ○寺嶋	平田	高橋(正)	山崎(朗)				山下	2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 評議員 1，共同獣医学科から2，食料生産 環境学コース及び他4学科から各1， 3施設から各1	
14	情報テクノロジー委員会		松波	西山	國崎	原料	村元	福井	渡邊	福井	山下				事務室長	2年 H31(H30).4.1~R3(R2).3.31(半数交代) 各学科から各1，2施設から各1 連大研究科長補佐，技術部 1	
15	農系教員委員会		磯貝	木村 補欠1年	真坂	広田	出口	高橋(正)	山本(信)	佐藤(れ)					技術室長 技術室長 事務室長	2年 30.4.1~R2.3.31 各学科から各1，2施設から各1 (教授又は助教) 農学系技術部長 副学部長，事務室長，技術室企画運営委員	
16	教員防衛調査委員会		下野	立石	山内	石村	出口	山崎(朗)	渡邊	岡田	佐藤(至)					2年 30.4.1~R2.3.31 各学科から各1，3施設から各1	

学科等 委員会	植物生命 科学	応用生物 化学	森林科学	食料生産 環境	動物科学	共同獣医	寒令 フィールド	動物病院	動物 センタ-	植物園	農業教育 資料館	評議員	事務室等	任 期 等
17 寒令フィールド サイエンス教育研究 センター運営委員会	磯貝	立石	立川	武田	出口	片山	由比 山本(信) 平田 渡邊	佐藤(れ)	佐藤(至)				事務室長	2年 30.4.1~R2.3.31 センター長、次長、専任教員 各学科から各1、2施設から各1 農学系技術部(農学系第一技術室及び 農学系第二技術室)から各1
18 動物病院運営協議会	安	木村	山内	塚越 補欠1年	松原	村上 山本(欣) 宇塚 佐藤(繁)		山崎(真) 佐藤(れ) 星野					病院事務 職員	2年 30.4.1~R2.3.31 病院長、各学科(共同獣医を除く)から 各1、共同獣医学科2、診療主任2、 病院専任教員、病院事務職員
19 動物医学食品安全 教育研究センター 運営委員会	ラーマン	木村	國崎	濱上	澤井 補欠1年	x	佐藤(れ)	寺嶋						2年 30.4.1~R2.3.31 センター長、副センター長、部門長、 ユニット長、各学科から教授又は准教授を各 1(センター長、副センター長、部門長の 所属学科を除く)、2施設(づれ)から教授 又は准教授1、センター専任教員、その他セ ンター長指名
20 植物園運営委員会	立澤	宮崎	真坂	塚越	澤井	山田(鈴)		立川						2年 30.4.1~R2.3.31 植物園長、各学科から各1
21 農業教育資料館 運営委員会	小森	伊藤(菊)	○真坂	松嶋	澤井	佐々木		伊藤(菊)						2年 H30.4.1~R2.3.31 館長、副館長、各学科から各1
22 自然エネルギー利用温室 運営委員会	下野	鈴木	白旗	木下	澤井	小林								2年 30.4.1~R2.3.31 各学科から各1
23 生物農薬制御装置室 運営委員会	畠山	鈴木	東	山本(仁)	佐野	内田								2年 H30.4.1~R2.3.31 各学科から各1
24 ホームページ 専 委員会	松波、斎藤(靖)、東、濱上、松原、片山、平田												技術部職員 事務室職員	広報委員会から7、技術部1、 学部運営グループ1
25 環境管理委員会	川原田	大野	山内	武藤	築城	関	山本(信)	福井				山下		2年 H30.4.1~R2.3.31 各学科から各1、2施設から各1、 その他学部部長指名

(農学研究科)

専攻等 委員会	農学生命 科学	応用生物 化学	共生環境	動物科学	バイオフィロン ティア	評議員	事務室等	任 期 等
26 研究科運営委員会	小出	長澤	井長沢	佐野	佐原	関野 山下	研究科長 副研究科長 事務室長	1年 H31.4.1~R2.3.31 研究科長、副研究科長、評議員2、専攻長5 岐阜運輸に所属する教員1 連大研究科長補佐(築城)
27 研究科学務委員会	立澤	三浦	白旗	村元	佐原	山下		2年 29.4.1~31.3.31 評議員、各専攻から各1

(総合科学研究科(農学専攻))

専攻等 委員会	植物生命 科学	応用生物 化学	動物科学	事務室等	任 期 等
28 農学専攻運営委員会	佐原	長澤	佐野	専攻長 副専攻長 事務室長	2年 H30.4.1~R2.3.31 専攻長、副専攻長、コース長3、 連大研究科長補佐(築城)
29 農学専攻学務委員会	立澤	○三浦	村元	副専攻長	2年 H31.4.1~R3.3.31 副専攻長、各コースから各1



学 生



# 1. 入試

## (1) 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学検査実施教科・科目等

学科・コース	日程	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目名	個別学力検査実施教科・科目名等
植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース 水産システム学コース 動物科学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経)	数(数・数・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学, 生物基礎・生物) } から1 [1教科1科目]
	後期日程	数【(数,数・数Aから1)と(数,数・数B,簿,情報から1)】 理(物理,化学,生物,地学から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	
共同獣医学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経)	数(数・数・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物から1) [2教科2科目]
	後期日程	数【数・数Aと(数・数B,簿,情報から1)】 理(物理,化学,生物から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	

## (2) 令和2年度大学入試センター試験及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース	大学入試センター試験の配点								個別学力検査等の配点					合計			
		国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	小計	数学 数・数・ 数A・数B	理科			小論文		小計		
					数学	数学					物理基礎 物理	化学基礎 化学	生物基礎 生物					
前期日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		300	1,200	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		300	1,200	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		300	1,200	
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		300	1,200
		食産業 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		300	1,200
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		300	1,200	
	共同獣医学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)	(200)		400	1,300	
後期日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300	300	1,200	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300	300	1,200	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300	300	1,200	
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300	300	1,200
		食産業 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300	300	1,200
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					300	300	1,200	
	共同獣医学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					200	200	1,100	

## (3) 令和2年度入学者選抜状況

大学入試センター試験 令和2年1月18日～令和2年1月19日

一般入試(前期日程・後期日程) 出願期間 令和2年1月27日～令和2年2月5日

前期日程 個別学力検査 令和2年2月25日

合格発表 令和2年3月6日

後期日程 個別学力検査 令和2年3月12日

合格発表 令和2年3月20日

学科名		区分	募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		前期	30	31	30	26
		後期	5	32	8	7
		推薦	5	7	5	5
		私費外国人	若干名	2	2	2
応用生物化学科		前期	29	43	33	31
		後期	6	27	6	6
		推薦	5	12	5	5
		私費外国人	若干名	0	0	0
森林科学科		前期	20	45	23	23
		後期	5	46	5	5
		推薦	5	13	5	5
		私費外国人	若干名	0	0	0
食料生産環境学 科	農村地域デザイン学 コース 食産業システム学 コース	前期	29	43	33	31
		後期	5	29	6	4
		推薦	6	7	6	6
		私費外国人	若干名	1	0	0
	水産システム学コース	前期	11	22	11	11
		後期	3	14	4	4
		推薦	6	12	6	6
		私費外国人	若干名	0	0	0
動物科学科		前期	22	53	26	25
		後期	3	39	3	2
		推薦	5	20	5	5
		私費外国人	若干名	0	0	0
共同獣医学科		前期	23	82	27	27
		後期	4	33	4	3
		推薦	3	12	2	2
		私費外国人	若干名	1	0	0
計		前期	164	319	183	174
		後期	31	220	36	31
		推薦	35	83	34	34
		私費外国人	若干名	4	2	2
合計			230	626	255	241

(4) 令和2年度推薦入学選抜状況

推薦入試

選考方法 小論文，面接，推薦書，調査書及び本人の出願理由書

出願期間 令和元年11月1日～令和元年11月7日

選考試験 令和元年11月20日小論文及び面接

合格発表 令和元年11月29日

学 科 名		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		5	7	5	5
応用生物化学科		5	12	5	5
森 林 科 学 科		5	13	5	5
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	6	7	6	6
	食産業システム学コース				
	水産システム学コース	6	12	6	6
動 物 科 学 科		5	20	5	5

推薦入試

選考方法 大学入試センター試験，面接，推薦書，調査書及び本人の出願理由書

出願期間 令和元年12月16日～令和元年12月18日

選考試験 令和2年1月24日面接

合格発表 令和2年2月7日

学 科 名	募集人員	志願者	合格者	入学者
共同獣医学科	3	12	2	2

(5) 令和2年度植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況

選考方法 調査書，小論文及び面接（口頭試問を含む）

出願期間 令和元年6月3日～令和元年6月5日

選考試験 令和元年6月28日小論文及び面接

合格発表 令和元年7月12日

学科・コース		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		1	2	0	0
応用生物化学科		1	6	1	0
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	2	4	0	0
	食産業システム学コース		5	2	1
	水産システム学コース		1	0	0
動 物 科 学 科		1	1	0	0

(6) 令和元年10月入学及び令和2年4月入学大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況

ア 日程

推薦入試

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
1.6.10～1.6.12	1.7.2	1.7.11

令和元年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
1.7.12～1.7.17	1.8.21～1.8.22	1.9.5

令和2年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	1.7.12～1.7.17	1.8.21～1.8.22	1.9.5
第2期	1.12.4～1.12.6	2.1.28～2.1.29	2.2.12

イ 志願者・合格者・入学者

推薦入試

専攻・コース名	入学定員	志願者	合格者	入学者
地域創生専攻 地域産業コース		名 10	名 9	名 8
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース		0	0	0
合 計		10	9	8

令和元年10月入学 大学院総合科学研究科（修士課程）

専攻名	入学定員	志 願 者			合格者	入学者
		一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 留 学 生 入 試		
農学専攻 植物生命科学コース	若干名	名 1	名 0	名 0	名 1	名 1
農学専攻 応用生物化学コース		0	0	0	0	0
農学専攻 動物科学コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域産業コース		1	0	1	2	2
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース		0	0	0	0	0
合 計		2	0	1	3	3

令和2年4月入学 大学院総合科学研究科（修士課程）

専攻・コース名	入学定員	第1期募集				第2期募集				入学者
		志願者			合格者	志願者			合格者	
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生入試		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生入試		
農学専攻 植物生命科学コース	50名	15名	0名	0名	13名	2名	0名	0名	2名	14名
農学専攻 応用生物化学コース		17	0	0	17	3	0	0	3	18
農学専攻 動物科学コース		9	0	0	9	0	0	0	0	9
地域創生専攻 地域産業コース		4	0	0	4	4	0	0	4	8
地域創生専攻 地域・コミュニティ デザインコース		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		45	0	0	43	9	0	0	9	49

(7) 令和元年10月入学及び令和2年4月入学大学院獣医学研究科（博士課程）選抜状況

ア 日程

令和元年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
1.7.17～1.7.19	1.8.23	1.9.5

令和2年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	1.7.17～1.7.19	1.8.23	1.9.5
第2期	1.12.4～1.12.6	2.1.30	2.2.12

イ 志願者・合格者・入学者

令和元年10月入学 大学院獣医学研究科（博士課程）

専攻	入学定員	志願者		合格者	入学者
		一般選抜	外国人留学生入試		
共同獣医学専攻	若干名	2名	0名	1名	1名

令和2年4月入学 大学院獣医学研究科（博士課程）

専攻	入学定員	第1期募集			第2期募集			入学者
		志願者		合格者	志願者		合格者	
		一般選抜	外国人留学生入試		一般選抜	外国人留学生入試		
共同獣医学専攻	5名	3名	0名	3名	1名	0名	1名	2名

## 2. カリキュラム

### (1) 植物生命科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	6次産業化論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	農学のための倫理学		2
	卒業研究	6	
専門重点科目	農学概論	2	
	作物栽培学概論	2	
	食用作物学	2	
	食用作物学		2
	果樹園芸学概論	2	
	野菜・花卉園芸学概論	2	
	野菜園芸学各論	2	
	花卉園芸学各論		2
	果樹園芸学各論		2
	遺伝学概論	2	
	植物育種学	2	
	植物育種学	2	
	遺伝育種学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology		2
	植物生理学	2	
	生物制御学概論	2	
	植物病理学	2	
	植物病理学	2	
	植物ウイルス学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	応用昆虫学	2	
	応用昆虫学	2	
	昆虫生理学		2
	農業経済学	2	
	食料・農業政策論	2	
	農業経営学		2
	作物学実験	1	
	園芸学実験	1	
	植物育種学実験	1	
	植物生理学実験	1	
	植物病理学実験	1	
	応用昆虫学実験	1	
	農業時事演習		1
	植物生命科学演習	1	
	植物生命科学演習	1	
	雑草防除論		2
	農場実習	1	
農場実習		1	
農場特別実習		1	
生化学	2		
生化学	2		
分子生物学	2		
専門展開科目	土壌資源利用論		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	植物栄養学・肥料学		2
	植物栄養生理学		2
	生化学		2
	分子生物学		2
	基礎分析化学		2
	農業気象・環境学		2
	有機化学概論		2
	食産業マーケティング論		2
植物ストレス応答学		2	
必要修得単位数		60	31
合計必要修得単位数		91	

## (2) 応用生物化学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	物理学入門		2
	基礎物理学演習		1
	基礎物理学実験		1
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	基礎生物学実験		1
	生物学		2
	地学入門		2
	基礎化学実験	1	
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	6次産業化論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	農学のための倫理学		2
	卒業研究	6	
専門重点科目	有機化学概論	2	
	生化学	2	
	基礎分析化学	2	
	生化学	2	
	土壌資源利用論	2	
	食品化学	2	
	食品化学工学	2	
	天然物化学	2	
	微生物学概論	2	
	栄養化学	2	
	分子生物学	2	
	植物栄養生理学		2
	ケミカルバイオロジー	2	
	微生物生理学	2	
	植物栄養学・肥料学	2	
	食品衛生学	2	
	生化学		2
	食品物理化学		2
	遺伝子工学		2
	分子生物学		2
	公衆衛生学		1
	機器分析化学	2	
	産業微生物学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	土壌環境微生物学・生化学		2
	美味学		2
	食品保蔵学	2	
	食品機能学		2
	細胞生物学		2
	植物ストレス応答学		2
	応用生物化学演習	1	
	応用生物化学演習	1	
	食品加工システム学		2
	分析化学実験	1	
	植物栄養学実験	1	
	食品化学実験	1	
	生化学実験	1	
	微生物学実験	1	
	化学生物学実験	1	
栄養化学実験	1		
食品化学工学実験	1		
分子生物学実験	1		
環境計測実験		1	
専門展開科目	植物生理学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology		2
	環境計測学		2
	林産化学		2
	作物栽培学概論		2
	食用作物学		2
	蔬菜・花卉園芸学概論		2
	植物育種学		2
	植物病理学		2
	応用昆虫学		2
	農業経済学		2
	農産食品プロセス工学		2
	動物資源利用学		2
	動物資源利用学		1
	水産微生物学		2
	水産食品加工学		2
水産化学		2	
生命情報学		2	
医薬品科学		2	
必要修得単位数		57	34
合計必要修得単位数		91	

## (3) 森林科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学	2	
	基礎数学演習		1
	基礎物理学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			4
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	6次産業化論		2
	インターンシップ	1	
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	農学のための倫理学	2	
卒業研究	6		
専門重点科目	森林科学入門	2	
	森林科学基礎演習	1	
	木材と住宅	2	
	森林計測学	2	
	林業・木材産業論	2	
	森林測量学	2	
	森林測量学実習	2	
	環境防災学		2
	樹木学	2	
	樹木学実習	1	
	暖帯林概論		1
	森林科学研修	1	
	地域観光学		2
	林産化学	2	
	森林・雪氷水文学		2
	山村経済・地域おこし論		2
	森林測量学	2	
	森林測量学実習	1	
	林業生産工学	2	
	地域生態系保全論		2
	野生動物管理学	2	
	森林環境教育論		2
	森林保全生態学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	木材工学		2
	木材工学演習		1
	森林バイオマスの成分利用		2
	森林化学演習		1
	砂防学	2	
	林業生産工学実習	1	
	海外・日本の林業	2	
	森林政策学	2	
	森林造成学	2	
	森林造成学実習	1	
	林道工学	2	
	森林計測学実習	1	
	自然環境保全論	2	
	NPO・環境ガバナンス論		2
	野生動物管理学実習		1
	環境と樹木の生理		2
	森林保護学		2
森林科学応用演習	1		
砂防学実習	2		
森林計画学		2	
データ分析演習		1	
林道工学実習	1		
森林科学応用演習	1		
公開森林実習		1	
専門展開科目	応用昆虫学		2
	植物生理学		2
	植物病理学		2
	植物病理学		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	生化学		2
	微生物学概論		2
	分子生物学		2
	機器分析化学		2
	応用力学		2
	応用数学		2
	構造力学		2
	水理学		2
緑地環境学		2	
施設開発管理学		2	
地域景観保全論		2	
農業労働科学		2	
地域マネジメント論		2	
必要修得単位数		62	29
合計必要修得単位数		91	

## (4)・1 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			3
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	6次産業化論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	農学のための倫理学		2
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	構造力学	2	
	構造力学演習		1
	土質力学	2	
	土質力学演習		1
	測量学	2	
	測量学基礎実習	1	
	測量学フィールド実習	1	
	地理情報処理学	2	
	地理情報処理演習		1
	水理学	2	
	水資源論	2	
	水理学実験演習		1
	土壌物理学	2	
	施設開発管理学	2	
	水文・水利学	2	
	農地工学	2	
	土壌・土質実験		1
	材料実験		1
	地域デザイン論	2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	地域マネジメント論		2
	環境防災学		2
	農村計画学	2	
	緑地環境学		2
	地域生態系保全論		2
	環境デザイン演習		1
	地域景観保全論		2
	地域振興政策論		2
	環境計測学		2
	農村生態工学		2
	海外農林開発論		2
	環境修復学		2
	環境計測実験		1
	農村地域デザイン学演習	1	
	農村地域デザイン実践論	2	
農村地域デザイン学セミナー		1	
農山村調査実習		1	
専門展開科目	作物栽培学概論		2
	農業経済学		2
	農業気象・環境学		2
	栽培施設学		2
	食産業マーケティング論		2
	食料・農業政策論		2
	農業動力利用学		2
	土壌資源利用論		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	栽培環境制御学		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	基礎分析化学		2
	機器分析化学		2
	食品化学工学		2
	食品物理化学		2
	木材と住宅		2
	森林環境教育論		2
	野生動物管理学		2
	砂防学		2
	未利用資源利用学		2
	地域観光学		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
必要修得単位数		48	43
合計必要修得単位数		91	

## (4)・2 食料生産環境学科 食産業デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学演習		1
	基礎物理学実験	1	1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	6次産業化論	2	
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	農学のための倫理学		2
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	栽培施設学	2	
	農業気象・環境学	2	
	植物環境物理学		2
	栽培環境制御学		2
	プログラミング演習	1	
	農作業システム学	2	
	農業動力利用学	2	
	農業労働科学		2
	未利用資源利用学	2	
	機械と施設的设计	2	
	ものづくり実習	1	
	ポストハーベスト工学	2	
	熱工学	2	
	農産食品プロセス工学	2	
	生物工学		2
	農業経済学	2	
	農業経営学		2
	食料・農業政策論	2	
	農業経営・経済学演習	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	食産業マーケティング論		2
	農業情報処理	2	
	食産業システム学実験	1	
	食産業システム学実験	1	
	食産業システム学演習	1	
	食産業システム学演習	1	
専門展開科目	作物栽培学概論		2
	果樹園芸学概論		2
	蔬菜・花卉園芸学概論		2
	遺伝学概論		2
	雑草防除論		2
	食用作物学		2
	果樹園芸学各論		2
	蔬菜園芸学各論		2
	花卉園芸学各論		2
	植物育種学		2
	植物病理学		2
	応用昆虫学		2
	植物生理学		2
	農場実習	1	
	農場実習		1
	農場特別実習		1
	制御工学		2
	ロボティクス工学		2
	土質力学		2
	地理情報処理学		2
	水資源論		2
	水理学		2
土壌物理学		2	
農地工学		2	
農村計画学		2	
土壌資源利用論		2	
植物栄養学・肥料学		2	
食品化学工学		2	
食品化学		2	
食品保蔵学		2	
美味学		2	
食品衛生学		2	
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		55	36
合計必要修得単位数		91	

## (4)・3 食料生産環境学科 水産システム学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	
	線形代数学入門	2	
	微分積分学入門	2	
	物理学入門	2	
	物理学	2	
	化学入門	2	
	化学	2	
	生物学入門	2	
	生物学	2	
	地学入門	2	
	生物統計学	2	
	基礎数学演習	1	
	基礎物理学演習	1	
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験	1	
	基礎生物学実験	1	
		6	
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	6次産業化論	2	
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	農学のための倫理学		2
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学		2
	応用力学		2
	情報処理演習	1	
専門重点科目	水産科学技術者倫理	2	
	水産科学入門	2	
	水産増殖学	2	
	水産動物学	2	
	水産植物学	2	
	水族ゲノム生物学		2
	水族生理学	2	
	漁業資源生態学	2	
	海洋物理学		2
	水圏環境学		2
	数理漁業資源学	2	
	水産食品加工学	2	
	水産化学		2
	水産微生物学		2
	漁村計画学		2
	地域マネジメント概論		2
	地域振興経済・政策論	2	
	自然環境政策論	2	
	漁業・漁業資源経済学	2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	漁業経営・水産マーケティング論	2	
	水産物流通論	2	
	水産制度学	2	
	水産政策学	2	
	起業学入門	2	
	コミュニケーション論	1	
	コーディネーション概論	1	
	起業学実習	1	
	水産生物学実験	1	
	分析化学実験	1	
海洋実習	2		
漁村調査実習	1		
専門展開科目	遺伝学概論		2
	プログラミング演習		1
	熱工学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生物理工学		2
	食産業マーケティング論		2
	地域デザイン論		2
	地域生態系保全論		2
	遺伝子工学		2
	基礎分析化学		2
	細胞生物学		2
	食品衛生学		2
	食品化学		2
	食品機能学		2
	食品加工システム学		2
	公衆衛生学		1
	生化学		2
食品化学工学		2	
食品保蔵学		2	
NPO・環境ガバナンス論		2	
動物組織学		2	
動物発生学		1	
ロボティクス工学		2	
制御工学		2	
必要修得単位数		56	35
合計必要修得単位数		91	

## (5) 動物科学科

区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
専門基礎科目	基礎数学入門		2	
	線形代数学入門		2	
	微分積分学入門		2	
	物理学入門		2	
	化学入門		2	
	生物学入門		2	
	地学入門		2	
	生物統計学		2	
	基礎数学演習		1	
	基礎物理学演習		1	
	基礎物理学実験		1	
	基礎化学実験		1	
	基礎生物学実験		1	
	物理学		2	
	化学		2	
	生物学		2	
				6
	学部共通科目	総合フィールド科学	2	
総合フィールド科学実習		1		
地域おこし論			2	
6次産業化論			2	
インターンシップ			1	
科学英語			2	
科学文献読解法			2	
海外特別実習			1	
農学のための倫理学			2	
卒業研究		6		
				6
専門重点科目	動物科学総論	2		
	実験動物学概論		1	
	動物生理学	2		
	動物生理学	2		
	動物形態学	2		
	動物形態学	2		
	動物組織学	1		
	動物遺伝育種学	2		
	家畜育種学		1	
	動物発生学	1		
	動物生殖学	2		
	動物生殖学各論	1		
	家畜生殖技術論	1		
	動物栄養学	2		
	動物栄養学	2		
	飼料機能学	2		
	家畜生産生理学	2		
	家畜飼養学	2		
	愛玩動物栄養学		2	
	草地学	2		
	畜産環境評価論		2	
	動物管理学	2		
	動物行動学	2		

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	動物園学		1
	野生動物学		1
	動物資源利用学	2	
	動物資源利用学		1
	動物科学実験	3	
	動物科学実験	3	
	牧場実習	1	
専門展開科目	農業経営学		2
	食品化学工学		2
	応用昆虫学		2
	食品化学		2
	生化学		2
	生化学		2
	野生動物管理学		2
	分子生物学		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	食品保蔵学		2
	地域生態系保全論		2
	遺伝学概論		2
	微生物学概論		2
	植物栄養学・肥料学		2
	有機化学概論		2
	植物生理学		2
天然物化学		2	
美味学		2	
公衆衛生学		1	
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(6) 共同獣医学科

区分1	区分2	授業科目	単位数		
			必修	選択	
基礎獣医学科目	基礎獣医学科目群	獣医学概論	2		
		獣医倫理	2		
		獣医事法規	1		
		運動器・神経系解剖学	2		
		内臓・脈管系解剖学	2		
		解剖学実習	3		
		組織学	2		
		組織学実習	1		
		発生学	1		
		統合生理学	2		
		器官制御生理学	2		
		内分泌学	2		
		生理学実習	1		
		獣医遺伝育種学	1		
		動物行動学	2		
		実験動物学	2		
		実験動物学実習	1		
		基礎放射線学	2		
		獣医基礎生化学	2		
		獣医代謝生化学	2		
		生化学実習	1		
	基盤薬理学	2			
	統合薬理学	2			
	薬理学実習	1			
	小計	41			
	基礎獣医学科目	病原獣医学科目群	微生物学総論	2	
			病原微生物学	2	
			微生物学実習	1	
			微生物学実習	1	
			免疫学	2	
			原虫・原虫病学	2	
		蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	2		
		寄生虫学実習	1		
		動物感染症学	3		
		家禽疾病学	2		
		魚病学	2		
		動物病理学総論	2		
		動物病理学各論A(主要臓器)	2		
		動物病理学各論B(他臓器・組織)	2		
		病理学実習	1		
		病理学実習	1		
小計		28			
応用獣医学科目群		公衆衛生学総論	1		
		疫学	2		
	人獣共通感染症学	2			
	環境衛生学	2			
	公衆衛生学実習	1			
	毒性学	2			
	毒性学実習	1			
	動物衛生学	2			
	動物衛生学実習	1			
	野生動物学	1			
	食品衛生学(獣医)	2			
	食品衛生学実習	1			
公衆衛生実践実習	1				
小計	19				

区分1	区分2	授業科目	単位数	
			必修	選択
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	1	
		呼吸器病・循環器病学	2	
		消化器病学	2	
		外科学総論	1	
		麻酔学・手術学	1	
		軟部外科学	1	
		小動物内科学実習・基礎編	1	
		小動物内科学実習・応用編	1	
		小動物外科学実習・基礎編	1	
		小動物外科学実習・応用編	1	
		内分泌病・皮膚病学	2	
		代謝病・中毒学	1	
		血液免疫病学	1	
		神経病・運動器病学	2	
		泌尿器病・生殖器病学	2	
		臨床病理学	2	
		臨床薬理学	1	
		臨床腫瘍学	2	
		臨床栄養学	1	
		画像診断学	2	
		画像診断実習	1	
	眼科学	1		
	動物行動治療学	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	総合参加型臨床実習	1		
	小計	35		
	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	2	
		臨床繁殖学	2	
		繁殖機能制御学実習	1	
		臨床繁殖学実習	1	
		産業動物臨床学	2	
		産業動物臨床学	2	
		馬臨床学	1	
		大動物臨床実習・基礎編	1	
大動物臨床実習・応用編		1		
総合参加型臨床実習		1		
総合参加型臨床実習		1		
小計		15		
選択科目		インターンシップ(獣医)		1
		海外実習		1
	人と動物関係学		2	
	動物品種論		2	
	食品安全管理理学		2	
	動物園動物学		2	
	国際感染症制御学		2	
	動物病院経営学		2	
小計		6		
科目専修	獣医学演習		4	
	卒業研究		10	
	小計		14	
計			152	6
合計			158	

### 3. 学部学生

#### (1) 入学年度別在籍者数

平成31年4月1日現在

入学年度 学科・課程等	定員			平成31年度			平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度		
	入学	編入	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	40		160	18	22	40	26	15	41	23	20	43	23	20	43	-	-	-
応用生物化学科	40		160	11	31	42	21	21	42	24	16	40	18	23	41	-	-	-
森林科学科	30		120	18	13	31	18	11	29	16	15	31	18	14	32	-	-	-
食料生産環境学科	60		240	41	24	65	33	27	60	34	34	68	34	31	65	-	-	-
動物科学科	30		120	10	22	32	10	21	31	9	21	30	12	19	31	-	-	-
共同獣医学科	30		180	12	22	34	16	16	32	19	15	34	19	13	32	14	21	35
農学生命課程				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
応用生物化学課程				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	4
共生環境課程				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
動物科学課程				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
獣医学課程				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	230	5	990	110	134	244	124	111	235	125	121	246	124	120	244	25	23	48

入学年度 学科・課程等	平成26年度			平成25年度			平成24年度			平成23年度			平成22年度			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	77	167
応用生物化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	91	165
森林科学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70	53	123
食料生産環境学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	142	116	258
動物科学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	83	124
共同獣医学科	15	17	32	5	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	105	205
農学生命課程	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0	10
応用生物化学課程	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5
共生環境課程	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	3
動物科学課程	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	3
獣医学課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2	0	2
計	22	17	39	5	1	6	1	-	1	-	-	-	2	-	2	538	527	1,065

#### (2) 研修生・科目等履修生・特別聴講生受入状況

平成31年4月1日現在

区分	研究生	科目等履修生	特別聴講生	特別研究生	合計
学部	4	0	2	0	6
大学院	2	0	2	1	5
計	6	0	4	1	11

(3) 卒業生数

平成 31 年 4 月 1 日現在

学科・課程	令和元年度	備考
植物生命科学科	37	
応用生物化学科	36	
森林科学科	25	
食料生産環境学科	57	
動物科学科	30	
共同獣医学科	35	
農学生命課程	4	
応用生物化学課程	1	
共生環境課程	2	
動物科学課程	1	
獣医学課程	2	
計	230	

(4) 卒業生の進路状況 (令和元年度)

	卒業生数	卒業後の状況				就職者の産業界内訳																			就職先																
		大学院	研究生・聴講生等	その他(各種学校等)	就職希望者	就職者	その他	農業・林業	漁業	鉱業・採石	建設業	製造業										電気・ガス・水道	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸	学術・研究・専門技術	教育・学習支援	医療・福祉	サービス業	公務	岩手県内就職者	県外就職者							
												食品・飲料・たばこ	繊維・衣服	印刷・関連事業	化学・石油	鉄鋼・非鉄・金属製品	汎用・生産用・業務機械	電子部品・デバイス	電機・情報通信機器	輸送用機械製造業	その他の製造業																				
農学部	植物生命科学科	男	19	9	0	0	10	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	3	3	7		
		女	18	8	0	0	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	3	7			
		計	37	17	0	0	20	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	6	14				
	応用生物化学科	男	15	11	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	3		
		女	21	7	0	0	14	14	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1	3	2	12				
		計	36	18	0	0	18	18	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	1	0	2	4	3	15				
	森林科学科	男	13	3	0	0	10	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6	3	7		
		女	12	1	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	3	8			
		計	25	4	0	0	21	21	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	6	15			
	食料生産科学科	男	28	7	0	0	20	20	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9	7	13	
		女	29	5	0	0	24	23	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	9	14	
		計	57	12	0	0	44	43	2	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	19	16	27		
動物科学科	男	11	2	0	0	9	9	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	6		
	女	19	7	0	0	12	11	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	8			
	計	30	9	0	0	21	20	1	5	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	6	14			
共同獣医学科	男	17	1	0	0	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	2	14		
	女	18	1	0	0	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	1	16		
	計	35	2	0	0	33	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	12	3	30		
合計	男	103	33	0	0	69	69	1	3	0	0	1	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	22	19	50	
	女	117	29	0	0	88	86	2	3	0	0	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	22	19	50
計	220	62	0	0	157	155	3	6	0	0	1	12	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	64	40	115

## 4 . 大学院修士課程

### (1) 在籍者数

#### 総合科学研究科

令和元年 10 月 1 日現在

専攻	定員		令和元年度			平成 30 年度			平成 29 年度			合計		
	入学	収容	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
地域創生専攻 地域産業コース ( 農学部に所属する教員が指導する学生)			17	6	23	9	7	16	2	0	2	28	13	41
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース ( 農学部に所属する教員が指導する学生)			0	0	0	1	2	3	0	1	1	1	3	4
農学専攻 植物生命科学コース	50	100	7	5	12	6	6	12	0	0	0	13	11	24
農学専攻 応用生物化学コース			11	8	19	8	12	20	0	0	0	19	20	39
農学専攻 動物科学コース			6	7	13	2	6	8	0	0	0	8	13	21
計			41	26	67	26	33	59	2	1	3	69	60	129

### (2) 農学研究科

令和元年 10 月 1 日現在

専攻	定員		令和元年度			平成 30 年度			平成 29 年度			平成 28 年度			合計		
	入学	収容	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農学生命専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
応用生物化学専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共生環境専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	1	0	1
動物科学専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バイオフロンティア専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1

### (3) 修了者数

#### 大学院農学研究科

専攻	令和元年度	備考
共生環境専攻	1	
計	1	

#### 大学院総合科学研究科

専攻	令和元年度	備考
地域創生専攻 地域産業コース	16	
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	2	
農学専攻 植物生命科学コース	8	
農学専攻 応用生物化学コース	20	
農学専攻 動物科学コース	8	
計	54	

(4) 修了者の進路状況(令和元年度)

	修了者数	修了後の状況			就職者の産業別内訳																	就職先																	
		進学等			就職			その他	農業・林業	漁業	鉱業・砕石	建設業	製造業										電気・ガス・水道	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸	学術・研究・専門技術	教育・学習支援	医療・福祉	サービス業	公務	岩手県内就職者	県外就職者				
		大学院	研究生・聴講生等	その他(各種学校等)	就職希望者	就職者	食料品・飲料・たばこ						繊維・衣服	印刷・関連運事業	化学・石油	鉄鋼・非鉄・金属製品	汎用・生産用・業務機械	電子部品・デバイス	電機・情報通信機器	輸送用機械製造業	その他の製造業																		
総合科学研究科農学専攻	植物生命科学コース	男	3	0	0	0	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3		
		女	5	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
	計	8	1	0	0	6	6	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6			
	応用生物化学コース	男	8	1	0	0	7	7	0	1	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6
		女	13	0	0	0	13	13	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	10	
	計	21	1	0	0	20	20	0	1	0	0	0	9	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	4	16	
	動物学コース	男	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
		女	6	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
	計	8	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	8	
	計	男	13	1	0	0	12	12	0	2	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	11
女		24	1	0	0	22	22	1	0	0	0	0	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	19
計	37	2	0	0	34	34	1	2	0	0	0	13	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	1	30		
総合科学研究科地域創生専攻	地域産業コース	男	10	2	0	0	8	8	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	
		女	6	0	0	0	5	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	16	2	0	0	13	11	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	11	
	地域・コミュニティデザインコース	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	男	10	2	0	0	8	8	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	
	女	8	1	0	0	6	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
計	18	3	0	0	14	11	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	11		

## (4) 修士論文一覧

令和元年9月修了

専攻	氏名	修士論文題目
農学専攻 応用生物化学コース	葛西 希	層状小麦粉モデル食品における咀嚼による状態変化と塩味・甘味強度の関連性

令和2年3月修了

専攻	氏名	修士論文題目
地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム	片寄 芳紀	スギ樹皮成分の網羅的分析および複相処理による抽出物の分離・回収法の開発
	木村 吉大	UAV 測量データを活用した将来木選木手法の開発
	伊藤 駿吾	流送土砂によるカワシオグサの剥離動態に関する研究
	久門 美月	北奥羽地域に生息するツキノワグマの針葉樹利用の要因解明
	倉田 大丞	乾燥シイタケ製造工程への減圧マイクロ波の適用
	後藤 一稀	アコースティック・エミッションによる混和材料添加ポリマーセメントモルタルの材料特性評価
	榊原 貴之	水辺生態系上位種ミサゴ <i>Pandion haliaetus</i> のダムにおける増加要因の究明・外来魚・移植放流魚との関係性に着目して・
	佐々木 琴瑞	減圧マイクロ波によるトマトピューレの濃縮・濃縮前後の加熱処理が食味と成分に与える影響・
	佐々木 啓	三陸復興国立公園のビジターセンターの利用促進策・特に来訪者への災害文化伝承の視点から・
	佐々木 勇麻	青果物輸送における緩衝包装が環境負荷削減に及ぼす影響・トラック輸送時の振動による損傷を考慮した LCA・
	中川 裕太	岩手県における樹上性齧歯類の巣箱利用と森林環境選択性
	浜田 亜美	盛岡市におけるコウモリ類の都市下水路利用の季節変化
	福田 崇人	植物葉のクロロフィル蛍光挙動からみた短期的温度処理の影響
皆川 知華	家畜排せつ物由来バイオ炭に含まれる無機肥料成分の新たな評価法	
地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム	牛 雅斌	Study on Preservation and Utilization of Japanese scallop ( <i>Patinopecten yessoensis</i> ) in Sanriku Area 三陸地域におけるホタテガイの鮮度保持と加工利用
	冉 潔林	筋肉タンパク質の変性制御による高鮮度凍結レアしめ鯖の開発
地域創生専攻 地域・コミュニティ デザインコース 防災・まちづくりプログラム	尾野 多恵	住民主体の重要文化的景観の保存と活用～岩手県遠野市山口集落を対象として～
	狩野 夏穂	グリーンツーリズムにおける中間支援組織の役割と意義～くりはらツーリズムネットワークを事例として～
農学専攻 植物生命科学コース	酒井 春奈	Identifying the selective herbicidal mechanism of dicamba and picloram through molecular and cellular approaches
	猿舘 みのり	野菜の有機質資材および遺伝教材の開発
	瀬戸 花香	サルビア スプレデンス園芸品種の花色とアントシアニン
	濱野 郁哉	イネ穂ばらみ期耐冷性検定における新規評価法
	三吉 航太郎	ブルーベリー小球形潜在ウイルスの花粉による水平伝染の解析

専攻	氏名	修士論文題目
農学専攻 植物生命科学コース	迎 千里	トリカブト属(Aconitum L.)植物の花のアントシアニン
	山内 莉歌	Understanding the role of actin in regulating lateral root developmental process and auxin response in Arabidopsis roots
	和崎 俊文	晩抽性 BrFLC 遺伝子を保有するハクサイ系統の低温要求性および育種への応用
農学専攻 応用生物化学コース	阿部 純平	久慈産琥珀のポリマー成分とメラニン産生抑制物質の単離精製と構造解析
	天野 一清	Ochrobactrum sp. AIU 033 由来アルコール酸化酵素の機能解析
	伊藤 千智	嚥下が容易な固体膨化食品を調製するための配合の最適化
	井上 奈々	世界の琥珀の比較分析とドイツ産琥珀の生物活性物質の単離精製
	遠藤 友里	畑土壌における生分解性プラスチックの分解特性の評価
	及川 建矩	カルパイン阻害ペプチドによる脳神経細胞に対するアポトーシス抑制法の開発
	大矢 志緒里	イネ胚乳形成初期における遺伝子機能解析
	小川 敦子	とろみ付と物質が錠剤の崩壊に与える影響の原因解明に向けた界面挙動の検討
	金濱 晶	微生物由来プラスマローゲンの機能と応用に関する研究
	亀本 有生	タンパク質膜挿入を触媒する糖脂質 MPIase の生合成中間体に関する研究
	後藤 みのり	肝臓脂肪蓄積と小胞体ストレスに対するイソチオシアネート化合物とリジンの効果に関する解析
	島津 優人	亜炭に含まれる酵母や植物に作用する生物活性物質の探索研究
	下田 希	日本産琥珀と kujigamberol の細胞での抗アレルギー活性と作用メカニズム
	樋澤 舞雪	においアレンジング装置を活用した柑橘系精油から特徴的な香り成分の探索
	西方 千佳	イネ種子形成初期における OsSub53, OsSub63 の機能解析
	平山 史歩	ヒエぬかの摂取がタンパク質、脂質代謝に及ぼす影響
	森下 公貴	脂肪細胞におけるオレアノール酸の生理調節機能に関する解析
	森谷 大樹	海洋環境より見出されたアルギン酸を単一炭素源とできるポリヒドロキシアルカン酸合成菌
築瀬 春香	シトルリンとアルギニンの投与が骨格筋タンパク質代謝に及ぼす影響	
山崎 華	水溶性天然色素粉体の色調安定化に向けた調製法の検討と加工食品への適用	
農学専攻 動物科学コース	岩崎 節子	ウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体分泌クローン候補の作出と評価
	小椋 千早	ヒツジにおける第一胃発酵性状および血漿グルコース代謝に及ぼす漢方薬抽出液投与の影響
	川嶋 夏輝	アミノ酸アマドリ化合物がニワトリ胚由来筋管細胞におけるタンパク質合成およびグルコース取り込みに及ぼす影響
	齋藤 ゆり子	ブタ胚の初期発生における microRNA の機能に関する研究
	中野 風子	ニワトリヒナ精巣への生殖細胞の外科的移植と移植細胞の検出
	中谷 友紀	マウス始原生殖細胞と腫瘍細胞における遊走関連因子と血管新生能力
	福田 智歩	日本短角種の筋肉間および去勢牛と経産牛との間における塩漬後の筋肉の理化学特性およびテクスチャー特性の比較
	藤盛 和子	エーテル型リン脂質がリポ蛋白質代謝に及ぼす影響

## 5 . 大学院博士課程

### (1) 岩手大学大学院連合農学研究科

【課程修了(遡及)による学位取得者 2名】

平成31年3月31日

学籍	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
28	生物生産科学	生物制御学	松村美里	弘前大学	ブナに寄生する <i>Asteromassaria</i> 様菌類の分類学的検討 (Taxonomic studies of <i>Asteromassaria</i> -like fungi parasitic on <i>Fagus crenata</i> in Japan)	田中和明
28	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	佐藤 諒	岩手大学	タンパク質膜挿入に必須の糖脂質酵素 MPIase の生合成酵素の同定とその機能解析 (Identification and functional analysis of biosynthetic enzymes for glycolipozyme MPIase essential for membrane protein integration)	西山賢一

【課程修了による学位取得者 8名】

令和元年9月25日

学籍	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
28	生物生産科学	植物生産学	樽見恵梨奈	岩手大学	温暖化が牧草地の持続的生産性におよぼす影響に関する研究 (Study on the impact of global warming on sustainable productivity of grassland)	築城幹典
28	生物生産科学	植物生産学	中山秀貴	山形大学	福島県における水田土壌の養分, 化学性の実態に関する研究 (A study on the present status of nutrients and chemical properties of paddy soil in Fukushima Prefecture)	藤井弘志
28	生物生産科学	植物生産学	リエラ麻子	岩手大学	Study on the integrated evaluation of environmental impacts resulting from the agricultural and livestock industries (農畜産業による環境影響の統合的評価に関する研究)	築城幹典
28	生物資源科学	生物機能開発学	NATSAGDORJ, Oyungerel	帯広畜産大学	Biochemical characteristics and plant tissue localization of plant growth-promoting bacteria isolated from sugar beet ( <i>Beta vulgaris</i> L.) (甜菜から分離された PGPB の生化学特性と植物組織における局在)	大和田琢二
27	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	熱沙来提汗 買買提	帯広畜産大学	Study on factors affecting feed intake of dairy cows immediately after calving (分娩直後における乳牛の飼料摂取量に影響を及ぼす要因に関する研究)	花田正明
29	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	沢里克宏	岩手大学	タンパク質膜挿入・膜透過透過反応に関与する糖脂質酵素 MPIase (Membrane Protein Integrase) の <i>in vivo</i> における機能解析 (Functional analysis of glycolipozyme MPIase involved in membrane protein integration and protein translocation <i>in vivo</i> )	西山賢一

学籍	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
28	生物環境科学	地域環境管理学	金 俊之	弘前大学	流域の地形発達史を取り入れた土石流の警戒避難情報に関する研究 (Information for warning and evacuation of debris flow incorporating geomorphological development of river catchments)	森 洋
28	生物環境科学	地域環境管理学	SEIDEL, Felix	山形大学	Seasonal nutrient dynamics of four typical tree species in the mountainous regions of the Japan Sea Coast (日本海沿岸の山岳地域における4つの典型的な樹種の季節的栄養動態)	Lopez Caceres Maximo Larry

【論文提出による学位取得者 1名】

令和元年9月25日

氏名	博士學位論文名	推薦教員名 (所属大学)
BARAI KRISHNA RANI	Changes in land-use/cover over 30 years in southwestern coastal Bangladesh and socioeconomic status of rural settlement in relation to salinity issue: a case study of comparative analysis in shrimp- and rice- production areas (塩害から見たバングラデシュ南西沿岸部の30年間の土地利用被覆と農村における社会経済状況の変化：エビ養殖地域と水稲生産地域の比較分析)	原科幸爾 (岩手大学)

【課程修了による学位取得者 21名】

令和2年3月23日

学籍	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
29	生物生産科学	植物生産学	及川聡子	岩手大学	初冬直播き水稲栽培における安定生産のための種子コーティング技術の開発 (Developing Seed-coating Technique for Stabilize the Productivity of Early Winter Direct Seeded Rice)	下野裕之
29	生物生産科学	植物生産学	NGUYEN, Thanh Tung	山形大学	Comparison of soil fertility and the N, P and K balance in the paddy fields under conventional rice straw application versus cow dung compost application in mixed crop-livestock systems (慣行の稲わら施用水田と耕畜連携の牛ふん堆肥施用水田における土壌肥沃度と窒素・リン・カリウム収支)	藤井弘志
28	生物生産科学	動物生産学	高橋一生	岩手大学	ウシ胚の初期発生における ZSCAN4 の機能に関する研究 (Studies on function of ZSCAN4 in early development of bovine embryos)	澤井 健
29	生物生産科学	生物制御学	大野瑞紀	岩手大学	シロチョウ科における染色体進化の細胞遺伝学的解析 (Cytogenetic analysis of chromosome evolution in pierid butterflies)	佐原 健
29	生物生産科学	生物制御学	鈴木貴大	弘前大学	ウイロイドの病原性発現機構 (Mechanism of viroid pathogenicity)	佐野輝男
27	生物資源科学	生物機能開発学	KARIYAWASAM, Kariyawasam Majuwana Gamage Renuka Menike	帯広畜産大学	Studies on the effects of edible mushroom <i>Grifola frondosa</i> on intestinal homeostasis (食用キノコ(マイタケ, <i>Grifola frondosa</i> )の腸管恒常性への効果に関する研究)	木下幹朗

学 籍	専攻	連合講座	氏 名	配属大学	学位論文題目	指導教員
29	生物資源科学	生物機能開発学	洪 磊東	帯広畜産大 学	Biochemical characteristics of <i>Azospirillum brasilense</i> and its localization in onion seedlings ( <i>Allium cepa</i> L.) ( <i>Azospirillum brasilense</i> の生化学特性とタマネギ実生における植物組織局在性)	大和田琢二
26	生物資源科学	ゲノム工学	西村 努	帯広畜産大 学	コムギの穂発芽性の評価法および育種的手法を用いた耐性系統作出に関する研究 (Studies on selection method and development of highly tolerant varieties to pre-harvest sprouting in wheat)	三浦秀穂
28	生物資源科学	ゲノム工学	高村祐太郎	岩手大学	リンドウの多様性拡大に関する育種学的研究 (Breeding studies on expansion of diversity in gentian)	高畑義人
28	生物資源科学	生物資源利用学	MUTAHI, Anne Wacuka	岩手大学	Effect of different chemically modified starches on the physico-chemical properties and microstructure of stirred non-fat yoghurt (脱脂ソフトヨーグルトの理化学的特性と微細構造に及ぼす種々の化学修飾澱粉の影響)	三浦 靖
29	生物資源科学	生物資源利用学	ARIEFTA, Nanang Rudianto	山形大学	Study of New Metabolites Produced by Endophytic Fungi from Merapi Volcano Area in Java Island, Indonesia (インドネシア・ジャワ島のメラピ火山の麓で採取した植物内生菌類が生産する新規二次代謝産物に関する研究)	塩野義人
29	生物資源科学	生物資源利用学	永田龍次	帯広畜産大 学	難消化性多糖類素材における腸内発酵特性とその生体に及ぼす影響 (Intestinal fermentation properties of indigestible polysaccharides and their effects on host health)	韓 圭鎬
29	生物資源科学	生物資源利用学	PELPOLAGE, Samanthi Wathsala	帯広畜産大 学	Health functionality of agricultural products and agricultural by-products (農産物および農産副産物の健康機能性について)	福島道広
29	生物資源科学	生物資源利用学	松下耕基	帯広畜産大 学	Research and Development of Novel Bread making Method by Enzymes for Bread Making (製パン用酵素利用による新規製パン法の研究・開発)	山内宏昭
28	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	佐々木 優	岩手大学	試験管内実験系を用いたタンパク質膜挿入機構の解析 ( <i>In vitro</i> analysis of membrane protein integration)	西山賢一
29	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	MERSHA, Tadesse Lakew	弘前大学	Molecular diversity analysis of Ethiopian rice genetic resources (エチオピアイネ遺伝資源における遺伝的多様性解析にかかわる研究)	石川隆二
29	生物環境科学	地域資源経済学	菅原 靖	山形大学	集落営農法人の観光事業による経営多角化の意義と課題 (Significance and issues of the diversification of a community-based farming corporation through the introduction of tourism)	家串哲生

学籍	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
29	生物環境科学	地域資源経済学	HOANG, Si Thinh	弘前大学	Geographical Indication as a Differentiation Tool for Agricultural Products in Vietnam (ベトナムにおける農産物差別化手段としての地理的表示保護)	高梨子文恵
27	生物環境科学	地域環境管理学	宮崎直美	帯広畜産大学	北海道十勝地方の都市人工林における木本実生の侵入定着過程と天然更新を促進する管理方法に関する研究 (A study of the regeneration process of woody seedlings and management of promoting natural regeneration in an urban forest in the Tokachi District in Hokkaido, Japan)	平田昌弘
27	生物環境科学	地域環境管理学	ムラノ千恵	弘前大学	Ecological management of voles; population dynamics, reproduction and predator effects in Aomori orchard (ハタネズミの生態学的防除のための基礎研究 青森の果樹園における個体数動態、繁殖生態と捕食者効果)	東 信行
29	生物環境科学	地域環境管理学	張 琪欽	山形大学	Tree water use strategy in a heavy precipitation region by means of stable isotopes, Japan (同位体を用いて豪雨地域の樹木の水利用戦略を評価する)	Lopez Caceres Maximo Larry

(2) 岐阜大学大学院連合獣医研究科

【課程修了による学位取得者 1名】

令和元年9月20日

学籍	専攻	連合講座	氏名 (配属大学)	学位論文題目	指導教員 (所属大学)
27	獣医学専攻	臨床獣医学	Patarakit CHONGPHAIBULPATANA (岩手大学)	Studies on the Oxidative Effects of High Concentration Oxygen on Dogs under General Anesthesia (全身吸入麻酔下における犬への高濃度酸素の影響に関する研究)	宇塚雄次 (岩手大学)

【論文提出による学位取得者 1名】

令和元年9月20日

氏名	学位論文題目	指導教員 (所属大学)
竹中雅彦	ネコの慢性腎臓病に対するベラプロストナトリウムの治療効果に関する研究	佐藤れえ子 (岩手大学)

# 國際交流



# 1. 海外渡航

## (1) 出張

NO	所属	職名	氏名	出張開始～出張終了	目的国	用務内容
1	地域創生専攻	学生	姜卓秋	H31.3.29～H31.4.10	中国	地域創生専攻・国際インターンシップ
2	食料生産環境学科	准教授	袁春紅	H.31.3.31～H31.4.5	中国	寿司セミナーについての紹介
3	連合獣医学研究科	学生	Sayed Sharif Abdali	H31.4.24～H31.4.27	韓国	第2回東アジア合同獣医学会への参加
4	共同獣医学科	准教授	中牟田 信明	H31.4.24～H31.4.27	韓国	第2回東アジア合同獣医学会
5	連合農学研究科	学生	Kamal Md Mostafa	R1.5.3～R1.5.18	ドイツ	定量プロテオームデータの収集と解析方法に関するワークショップ, ショットガンプロテオーム技術相談
6	地域創生専攻	学生	小笠原 聖佳	R1.5.5～R1.6.1	中国	海外インターンシップのため
7	地域創生専攻	学生	武藤 章	R1.5.5～R1.6.1	中国	海外インターンシップのため
8	地域創生専攻	学生	田村 亮輔	R1.5.20～R1.5.26	カナダ	北米漁業経済学会での情報収集
9	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	R1.5.20～R1.5.27	カナダ	北米漁業経済学会での発表
10	食料生産環境学科	准教授	袁春紅	R1.5.21～R1.5.26	中国	上海海洋大学交流訪問
11	食料生産環境学科	准教授	折笠 貴寛	R1.5.23～R1.5.25	中国	革新的農業と水産業に関する国際シンポジウムに出席のため
12	寒冷フィールド	教授	山本 信次	R1.6.19～R1.6.24	アメリカ	再生可能エネルギー事業開発にかかわるアクティビズムと合意形成に関する比較研究調査
13	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	R1.6.23～R1.6.26	中国	研究打ち合わせ
14	共同獣医学科	教授	佐藤 繁	R1.6.24～R1.6.30	スイス	17th ICPD
15	植物生命科学科	教授	上村 松生	R1.6.24～R1.7.1	アメリカ・カナダ	連大修了生との情報交換とサス大訪問とインターンシップ発表会
16	事務部	専員	大矢 真	R1.6.24～R1.7.1	アメリカ・カナダ	連大修了生との情報交換とサス大訪問とインターンシップ発表会
17	植物生命科学科	教授	上村 松生	R1.7.7～R1.7.10	中国	福建農林大学協定締結と交流打合せ
18	事務部	専員	三浦 勇次郎	R1.7.7～R.1.7.10	中国	福建農林大学協定締結と交流打合せ
19	植物生命科学科	准教授	ラーマン アビドゥール	R1.7.7～R1.7.10	中国	福建農林大学協定締結と交流打合せ
20	地域創生専攻	学生	牛 雅 斌	R1.7.24～R1.8.5	イギリス	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
21	地域創生専攻	学生	冉 潔 林	R1.8.3～R1.8.18	インドネシア・タイ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
22	植物生命科学科	准教授	ラーマン アビドゥール	R1.8.3～R1.8.9	アメリカ	Plant Biology 2019 参加、発表
23	植物生命科学科	教授	上村 松生	R1.8.12～R1.8.20	中国	共同研究協定に基づき吉林大学での共同研究の可能性を議論する
24	植物生命科学科	准教授	ラーマン アビドゥール	R1.8.12～R1.8.20	中国	共同研究協定に基づき吉林大学での共同研究の可能性を議論する
25	植物生命科学科	准教授	下野 裕之	R1.8.12～R1.8.20	中国	共同研究協定に基づき吉林大学での共同研究の可能性を議論する

NO	所 属	職名	氏 名	出張開始～出張終了	目的国	用務内容
26	植物生命科学科	助 教	川原田 泰之	R1.8.12～R1.8.20	中 国	共同研究協定に基づき吉林大学での共同研究の可能性を議論する
27	食料生産環境学科	准教授	袁 春 紅	R1.8.23～R1.9.4	中 国	南昌大学と上海海洋大学訪問
28	地域創生専攻	学 生	高橋 郁成	R1.8.25～R1.9.1	アメリカ	グローバル・コミュニケーション
29	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	R1.8.26～R1.8.31	アメリカ	共同研究者との研究打ち合わせ
30	食料生産環境学科	准教授	濱上 邦彦	R1.8.31～R1.9.8	パナマ	国際学会 IAHR2019 への参加
31	動物科学科	教 授	築城 幹典	R1.9.7～R1.9.15	チェコ	第5回環境放射能国際会議出席
32	地域創生専攻	学 生	高橋 郁成	R1.9.7～R1.9.20	カンボジア	国際インターンシップ
33	植物生命科学科	准教授	下野 裕之	R1.9.9～R1.9.22	エジプト・エチオピア	エジプトとエチオピアのイネ研究の視察
34	植物生命科学科	准教授	ラーマン アビドゥール	R1.9.10～R1.9.25	バングラデシュ	Dhaka 大学共同研究打合せ、APBA 学会での講演
35	応用生物化学科	特任研究員	孫 慧 鍊	R1.9.11～R1.10.2	韓国・スペイン・イタリア	2nd Food Chemistry Conference (Seville) と韓国・スペイン・イタリア大豆加工食品調査
36	農学系技術室	専職員	濱道 寿幸	R1.9.12～R1.9.23	ドイツ	ロッテンブルグ林業大学における技術教育研究に関する情報交換及び視察
37	森林科学科	教 授	真坂 一彦	R1.9.12～R1.9.23	ドイツ	サマースクール2019 (ロッテンブルグ大学研修)
38	応用生物化学科	教 授	塚本 知玄	R1.9.12～R1.10.2	韓国・スペイン・イタリア	2nd Food Chemistry Conference (Seville) と韓国・スペイン・イタリア大豆加工食品調査
39	寒冷フィールド	特任助	高田 乃倫予	R1.9.12～R1.9.23	ドイツ	ロッテンブルグ林業大学における技術教育研究に関する情報交換及び視察
40	地域創生専攻	学 生	姜 卓 秋	R1.9.13～R1.9.25	ドイツ	グローバル・コミュニケーション
41	共同獣医学科	助 教	網田 丈二	R1.9.15～R1.9.22	アメリカ	米国ペンシルバニア大学で研究の打ち合わせ
42	連合農学研究科	学 生	滝沢 裕子	R1.9.22～R1.9.30	ロシア	バイカル湖世界自然遺産の管理に関する調査
43	連合農学研究科	学 生	タウロワ ナデダ	R1.9.22～R1.9.30	ロシア	バイカル湖世界自然遺産の管理に関する調査
44	寒冷フィールド	教 授	山本 信次	R1.9.22～R1.9.30	ロシア	バイカル湖世界自然遺産の管理に関する調査
45	森林科学科	准教授	伊藤 幸男	R1.9.22～R1.9.30	ロシア	バイカル湖世界自然遺産の管理に関する調査
46	共同獣医学科	学 生	長江 杏介	R1.9.25～R1.9.28	韓 国	第7回アジア獣医解剖学会への参加・発表
47	共同獣医学科	准教授	中牟田 信明	R1.9.25～R1.9.28	韓 国	第7回アジア獣医解剖学会への参加・発表
48	森林科学科	准教授	齋藤 仁志	R1.10.4～R1.10.13	オーストリア・ハンガリー・チェコ	FORMEC2019 参加および東欧林業調査
49	連合農学研究科	学 生	佐々木 優	R1.10.5～R1.10.15	中 国	タンパク質膜挿入反応研究打合せ、大会参加・情報収集
50	地域創生専攻	学 生	榊原 貴之	R1.10.9～R1.10.14	インドネシア	アジア猛禽類ネットワーク第11回シンポジウムへの参加とバリにおける猛禽類生息環境調査
51	地域創生専攻	学 生	佐藤 和人	R1.10.9～R1.10.14	インドネシア	アジア猛禽類ネットワーク第11回シンポジウムへの参加とバリにおける猛禽類生息環境調査

NO	所属	職名	氏名	出張開始～出張終了	目的国	用務内容
52	地域創生専攻	学生	森 航 大	R1.10.9～R1.10.14	インドネシア	アジア猛禽類ネットワーク第11回シンポジウムへの参加とバリにおける猛禽類生息環境調査
53	森林科学科	講師	東 淳 樹	R1.10.9～R1.10.14	インドネシア	アジア猛禽類ネットワーク第11回シンポジウムへの参加とバリにおける猛禽類生息環境調査
54	地域創生専攻	学生	宮 隆 之	R1.10.12～R1.10.19	インドネシア	研究セミナー開催と発表, 学術交流
55	地域創生専攻	学生	高橋 長 仁	R1.10.12～R1.10.19	インドネシア	研究セミナー開催と発表, 学術交流
56	食料生産環境学科	准教授	金 山 素 平	R1.10.12～R1.10.19	インドネシア	研究セミナー開催と発表, 学術交流
57	食料生産環境学科	准教授	山 本 清 仁	R1.10.12～R1.10.19	インドネシア	研究セミナー開催及び参加(グローバル・コミュニケーション学生引率)
58	食料生産環境学科	准教授	原 科 幸 爾	R1.10.12～R1.10.19	インドネシア	研究セミナー開催と発表, 学術交流
59	連合農学研究科	学生	滝 沢 裕 子	R1.10.16～R1.10.31	ドイツ	バーデンビュルテンブルク州における林業事業体調査
60	寒冷フィールド	教授	山 本 信 次	R1.10.16～R1.10.24	ドイツ	ドイツにおける森林認証団体ならびに林業事業体の森林利用に関する実態調査
61	森林科学科	准教授	伊 藤 幸 男	R1.10.16～R1.10.24	ドイツ	バーデンビュルテンブルク州における林業事業体調査
62	食料生産環境学科	准教授	三 宅 諭	R1.10.18～R1.10.28	ポーランド	DRR 国際会議参加および災害復興事例調査
63	食料生産環境学科	特任研究員	Raphael Roman	R1.10.20～R1.10.31	カナダ	学会発表および共同研究打ちせ
64	共同獣医学科	教授	山 崎 真 大	R1.10.22～R1.10.26	中国	AMAMS2019 参加
65	共同獣医学科	准教授	福 井 大 祐	R1.10.23～R1.10.28	カンボジア	第12回アジア保全医学会大会
66	地域創生専攻	学生	姜 卓 秋	R1.10.27～R1.11.3	中国	国際インターンシップ
67	森林科学科	教授	関 野 登	R1.10.27～R1.10.29	中国	キノコ栽培後の菌床利用の視察
68	植物生命科学科	教授	上 村 松 生	R1.11.4～R1.11.12	ハンガリー	MOU 署名及び協定書に基づく交流打合せほか
69	植物生命科学科	准教授	ラマン アビドゥール	R1.11.4～R1.11.16	ハンガリー	MOU 署名及び協定書に基づく交流打合せほか
70	共同獣医学科	助教	網 田 丈 二	R1.11.24～R1.11.28	中国	中国での Neural Cells, Circuits and Behavior 国際会議への参加
71	森林科学科	教授	真 坂 一 彦	R1.11.24～R1.12.1	ドイツ・スペイン	ハノーバー大学, リェイダ大学シンポジウムと意見交換
72	植物生命科学科	教授	上 村 松 生	R1.11.24～R1.12.1	ドイツ・スペイン	シンポジウム講演及び大学院学生交流にかかる意見交換
73	動物科学科	准教授	西 向 め ぐ み	R1.11.24～R1.12.1	ドイツ・スペイン	ハノーバー大学, リェイダ大学シンポジウムと意見交換
74	動物科学科	准教授	村 元 隆 行	R1.11.28～R1.12.9	ドイツ・スペイン	セシナ(生ハム)およびCAS(冷凍技術)の調査
75	共同獣医学科	助教	山 崎 朗 子	R1.12.7～R1.12.18	スイス・フランス	ベルン大学訪問, World Allergy Congress 2019 参加
76	共同獣医学科	学生	佐々木 優衣	R1.12.7～R1.12.18	スイス・フランス	ベルン大学訪問, World Allergy Congress 2019 参加
77	食料生産環境学科	准教授	三 宅 諭	R1.12.14～R1.12.20	アメリカ	復興事業後のエリアマネジメント事例調査
78	食料生産環境学科	准教授	袁 春 紅	R1.12.25～R2.1.1	中国	中国威海市科学技術交流会の参加など

NO	所属	職名	氏名	出張開始～出張終了	目的国	用務内容
79	植物生命科学科	教授	上村 松生	R2.1.7～R2.1.13	アメリカ	海外共同イノベーション・ラボ視察，サンフランシスコ総領事館及びサンフランシスコ大学表敬訪問ほか 岩手大学同窓会の開催，国連本部表敬訪問ほか
80	地域創生専攻	学生	押切 智博	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
81	地域創生専攻	学生	松岡 絢	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
82	地域創生専攻	学生	松村 修平	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
83	地域創生専攻	学生	羽柴 考佳	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
84	地域創生専攻	学生	大倉 恒星	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
85	地域創生専攻	学生	土谷 幹	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
86	地域創生専攻	学生	多田 峻太郎	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
87	地域創生専攻	学生	関川 春奈	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
88	地域創生専攻	学生	田中文悠	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
89	地域創生専攻	学生	今野 雄太	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	地域創生専攻グローバルコミュニケーション
90	寒冷フィールド	教授	山本 信次	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	グローバルコミュニケーション引率（10名）
91	食料生産環境学科	准教授	原科 幸爾	R2.1.9～R2.1.17	アメリカ	グローバルコミュニケーション引率（10名）
92	共同獣医学科	教授	山崎 真大	R2.2.2～R2.2.8	イギリス	馬を用いた動物介在療法に関する調査
93	共同獣医学科	教授	高橋 透	R2.2.2～R2.2.8	イギリス	馬を用いた動物介在療法に関する調査
94	共同獣医学科	准教授	大沼 俊名	R2.2.2～R2.2.8	イギリス	馬を用いた動物介在療法に関する調査
95	共同獣医学科	教授	山本 欣郎	R2.2.10～R2.2.16	オーストラリア	獣医学研究科共同研究及び海外演習の実施に関する調査 “オーストラリア班”
96	共同獣医学科	教授	佐藤 洋	R2.2.10～R2.2.16	オーストラリア	獣医学研究科共同研究及び海外演習の実施に関する調査 “オーストラリア班”
97	共同獣医学科	准教授	福井 大祐	R2.2.10～R2.2.17	オーストラリア	獣医学研究科共同研究及び海外演習の実施に関する調査 “オーストラリア班”
98	食料生産環境学科	准教授	三宅 諭	R2.3.2～R2.3.7	ニュージーランド	クライストチャーチ復興状況調査

## 2. 外国人研修生の受入

氏名	現職	研究(研修)期間	受入区分	受入学科等・教員名	
Mohammad Al-Mamun	バングラディシュ農業大学	R 1. 6. 1 ~ R 1. 6. 30	客員研究員	動物科学科	佐野 宏明
Kim Yohan	岩手大学	H31.4. 1 ~ R 1. 9. 30	客員研究員	共同獣医学科	佐藤 繁
RAE, Eric	サスカチュワン大学	H.31. 4. 1 ~ R 1. 5. 30	客員研究員	植物生命科学科	ラーマン アビドゥール
Booker Helen	サスカチュワン大学	R 1. 6. 11 ~ R 1. 6. 20	客員研究員	植物生命科学科	上村 松生
Young, Lester	サスカチュワン大学	R 1. 6. 15 ~ R 1. 6. 24	客員研究員	植物生命科学科	上村 松生
Dollery, Brian	ニューイングランド大学	R 1. 10. 12 ~ R 1. 10. 19	客員研究員	食料生産環境学科	木下 幸雄

## 3. 留学生の受入

令和元年11月1日現在

		中国	韓国	エチオピア	バングラ	ベトナム	計	
学部	植物生命科学科		1				1	
	応用生物化学科		1			1	2	
	森林科学科		1				1	
	食料生産環境学科	1					1	
	動物科学科						0	
	共同獣医学科						0	
計		1	3	0	0	1	5	
大学院	総合科学研究科 農学専攻	2		1			3	
	総合科学研究科 地域創生専攻( )	5					5	
	計	7	0	1	0	0	8	
研究生等	研究生	学部					0	
		大学院	1			2	3	
	特別聴講学生	学部	2					2
		大学院	2					2
計		5	0	0	2	0	7	
合計		13	3	1	2	1	20	

は、農学部にも所属する教員が受け入れた留学生の人数を記載。

#### 4. 交換留学生の派遣と受入

##### (1) オーバン大学

区分	期間・人数等
派遣	2019. 8.19~2019. 9. 3 4名(共同獣医学科 6年次1名, 5年次2名)

##### (2) サスカチュワン大学

区分	内訳
派遣	2019. 9. 1~2019. 9.21 13名 (内訳) 植物生命科学科 3年次 5名 植物生命科学科 2年次 2名 応用生物化学科 2年次 1名 森林科学科 2年次 2名 食料生産環境学科 3年次 1名 共同獣医学科 3年次 1名 総合科学研究科農学専攻 1年次 1名

##### (3) ロッテンブルグ大学

区分	内訳
派遣	2019. 9.13~2019. 9.23 9名(森林科学科 3年次8名, 大学院1年次1名) 2018.10~2019. 9 1名(総合科学研究科 地域創生専攻 1年次)
受入	2019. 4~2019. 8 農学部 特別聴講学生 1名

##### (4) 上海海洋大学

区分	内訳
派遣	
受入	2019. 4~2020. 3 農学部 特別聴講学生 1名 2019.10~2020. 8 農学部 特別聴講学生 1名 2019. 7. 7~ 7.20 サマーコース 14名 2019. 7.24~ 8. 6 サマーコース 14名

##### (5) 吉林農業大学

区分	内訳
派遣	
受入	2019. 4~2020. 2 総合科学研究科 農学専攻 特別聴講学生 2名

# 地域交流



## 1 . セミナー・公開講座等の開催

### (1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの （植物生命科学科）

#### 第 21 回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和元年 6 月 14 日
- ・場 所：岩手大学農学部（遠隔講義室（生命系スペース C））
- ・テ ー マ：「Canada's Flax Genetics & Breeding Program」
- ・講 師：Dr. Helen M. Booker( Crop Development Centre, University of Saskatchewan, Saskatoon, Canada )
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：上村松生（岩手大学教授）

#### 第 22 回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和元年 6 月 21 日
- ・場 所：岩手大学農学部（遠隔講義室（生命系スペース C））
- ・テ ー マ：「Using the QTLseq pipeline to identify loci associated with powdery mildew and rust resistance in flax (*Linum usitatissimum*)」
- ・講 師：Dr. Lester Young ( Department of Plant Sciences University of Saskatchewan, Saskatoon, Canada )
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：上村松生（岩手大学教授）

#### 第 23 回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和元年 7 月 9 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2 番講義室）
- ・テ ー マ：「エフェクター誘導性免疫が決定する根粒菌の宿主特異性」
- ・講 師：Dr. 菅原雅之（東北大学大学院生命科学研究所）
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：川原田泰之（岩手大学助教）

#### AIC 連携ワークショップ 1

- ・期 日：令和元年 11 月 8 日，19 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-122 号室），岩手大学滝沢農場水田圃場
- ・テ ー マ：「Theories and practical studies for direct sowing of rice seeds in early winter season（イネ初冬直播き水稻栽培法の理論と実践）」
- ・講 師：下野裕之氏（岩手大学教授）
- ・参加人数：16 名

#### 第 23 回 りんどう研究会

- ・期 日：令和元年 11 月 19 日（火）
- ・場 所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）ぼらんホール）
- ・テ ー マ：「夏秋小ギクの電照栽培による開花調節」
- ・講 師：住友克彦氏（農研機構野菜花き研究部門 上席研究員）
- ・テ ー マ：「弱毒キュウリモザイクウイルス（CMV）のりんどう生産への利用」
- ・講 師：井上登志郎氏（日本デルモンテ株式会社農産原料部 種子グループ長）
- ・参加人数：46 名

- ・共 催：岩手農林研究協議会（AFR）

#### AIC 連携ワークショップ2

- ・期 日：令和元年 12 月 5 日，19 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-205 号室，5 号館（スペースD））
- ・テ ー マ：「Novel technologies developed using Apple Latent Spherical Virus（ALSV） as a vector（リンゴ小球形潜在ウイルスベクター（ALSV）を用いた植物遺伝子解析技術）」
- ・講 師：笠島一郎氏（岩手大学 AIC 研究員），吉川信幸氏（岩手大学教授）
- ・参加人数：16 名

#### 第 24 回 植物生命科学セミナー・第 43 回 岩手育種座談会

- ・期 日：令和 2 年 1 月 17 日
- ・場 所：岩手大学農学部（6 番講義室）
- ・テ ー マ：「野生植物から新しい作物を」
- ・講 師：高橋 有氏（農研機構 遺伝資源センター）
- ・テ ー マ：「イネ胚乳の生殖的隔離を引き起こすオス・メスゲノムのせめぎ合い」
- ・講 師：殿崎 薫氏（岩手大学助教）
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：畠山勝徳（岩手大学准教授）

#### AIC 連携ワークショップ3

- ・期 日：令和 2 年 1 月 20 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-205 号室，5 号館（スペースD））
- ・テ ー マ：「高電圧・プラズマの農業・食品安全性への高度利用（Valuable application of high voltage plasma to agriculture and food safety）」
- ・講 師：高木幸一氏（岩手大学理工学部），高橋克幸氏（岩手大学理工学部）
- ・参加人数：8 名

#### 第 25 回 植物生命科学セミナー・第 1 回 岩手大学次世代アグリイノベーション研究センターとの連携による教養セミナー（AIC 連携ワークショップ4）

- ・期 日：令和 2 年 1 月 31 日
- ・場 所：岩手大学農学部（7 番講義室）
- ・テ ー マ：「土と植物をつなぐ菌根菌」
- ・講 師：齋藤雅典氏（東北大学 名誉教授，（一社）日本土壌肥料学会 副会長）
- ・参加人数：72 名
- ・世 話 人：畠山勝徳（岩手大学准教授），佐原 健（岩手大学教授）

#### AIC 連携ワークショップ5

- ・期 日：令和 2 年 2 月 4 日～ 5 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-122 号室，5 号館（スペースE））
- ・テ ー マ：「National Bioresource Project: Present situation and application in Japan（日本のバイオリソースの現状とその利用方法）」
- ・講 師：川原田泰之氏（岩手大学助教）
- ・参加人数：8 名
- ・世 話 人：佐原 健（岩手大学教授）

#### AIC 連携ワークショップ6

- ・期 日：令和2年2月12日
- ・場 所：岩手大学農学部（1号会議室）
- ・テ ー マ：「Scientific Publishing in the 2020s: the 2 sides of the coin」
- ・講 師：Prof. Christian S. Hardtke（University of Lausanne, Switzerland）
- ・参加人数：81名

#### 第26回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和2年2月13日
- ・場 所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）1階遠隔講義室（生命系スペースC））
- ・テ ー マ：「Developing phloem in plant organ formation - a balancing act」
- ・講 師：Prof. Christian S. Hardtke（University of Lausanne, Switzerland）
- ・参加人数：20名
- ・世 話 人：Abidur Rahman（岩手大学准教授）

#### AIC 連携ワークショップ7

- ・期 日：令和2年2月26日～28日
- ・場 所：岩手大学農学部（7号館セミナー室，寒冷バイオ実験室）
- ・テ ー マ：「Genome editing in plant using CRISPR/Cas9 technique（CRISPR/Cas9による植物のゲノム編集）」
- ・講 師：Dr. Abidur Rahman，Sivan Kalyani（岩手大学農学部）
- ・参加人数：59名

#### AIC 連携ワークショップ8

- ・期 日：令和2年3月16日，18日
- ・場 所：岩手大学農学部（2号館401室，220室）
- ・テ ー マ：「人工染色体（BAC）の構築，評価とFISHへの利用（Novel technologies for bacterial artificial chromosome（BAC）construction and its evaluation）」
- ・講 師：佐原 健氏（岩手大学教授）
- ・参加人数：8名

#### （応用生物化学科）

#### 日本学術振興会（JSPS）の産学協力研究第189委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開」シンポジウム

- ・期 日：令和元年10月23日（水）
- ・場 所：盛岡駅西口盛岡地域交流センター（マリオス）18階185・186会議室
- ・テ ー マ：「ケミカルバイオロジー 特別講演会 in 盛岡」
- ・講 師：長田裕之（理研）「盛岡とケミカルバイオロジー」
- ・テ ー マ：「ゼブラフィッシュ表現型を利用した化合物スクリーニングと毒性評価」
- ・講 師：西谷直之（岩手医大）
- ・テ ー マ：「ネコにマタタビ反応を誘起する新規活性物質の同定と嗅覚受容機構に関する新知見」
- ・講 師：宮崎雅雄（岩手大学）
- ・テ ー マ：「ケミカルバイオロジーに基づく岩手県産天然物の現状と将来展望」
- ・講 師：木村賢一（岩手大学）
- ・参加人数：50名
- ・そ の 他：世話人 長田裕之（理研，日本ケミカルバイオロジー学会会長），木村賢一（岩手大学）

(森林科学科)

第226回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年5月31日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部(2号会議室)
- ・テ ー マ：震災から8年，住宅復旧の状況と見えてきた課題  
・宮古市田老地区高台移転団地の調査より・
- ・講 師：岩手県立大学盛岡短期大学部 内田信平氏
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：内田信平)
- ・参加人数：10名

第227回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年7月24日(水)
- ・場 所：二戸市浄法寺町・浄法寺総合支所 3階
- ・テ ー マ：漆産業の取り組み
- ・講 師：澤尻 寛氏(二戸農林振興センター林務室主査林業普及指導員)  
姉帯敏美氏(二戸市漆産業課長)
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：酒井博忠)
- ・参加人数：25名

第228回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年9月19日(木)
- ・場 所：岩手大学農学部(連大棟2階 遠隔講義室)
- ・テ ー マ：「森と人を繋ぐ」
- ・講 師：高橋久祐氏(盛岡広域森林組合)
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：伊藤幸男)
- ・参加人数：23名

第229回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年11月9日(土)
- ・場 所：盛岡地域交流センター マリオス 187 会議室
- ・テ ー マ：「岩手木炭 魅力再発見」
- ・講 師： 東京大学 名誉教授 谷田貝光克氏  
有限会社谷地林業 窯長 谷地 司 氏(平成30年度農林水産祭内閣総理大臣賞受賞)  
炭火焼きとり好古 代表 田代 直也 氏
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：谷内博規)  
NPO 法人 才の木
- ・後 援：(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所，(一社)日本木材学会，(一社)岩手県  
木炭協会，岩手県木材産業協同組合，岩手県木材青壮年協議会，岩手県
- ・参加人数：40名

第230回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和2年1月16日(木)
- ・場 所：ホテルロイヤル盛岡 3階ロイヤルホール
- ・テ ー マ：ミニシンポジウム 漆産業の未来を語ろう！  
～漆掻き伝統技術とサイエンスの融合を目指して～
- ・講 師： 岩手大学農学部教授 真坂一彦 氏

「漆という樹木の特性」

株式会社小西美術工藝社取締役 漆生産部門総責任者 福田 達胤 氏

「漆掻きの伝統技法と国産漆を取り巻く状況変化」

株式会社浄法寺漆産業 代表取締役 松沢 卓生 氏

「新たな漆のビジネスモデル」

- ・主 催：木勉会（代表幹事：関野 登，担当幹事：関野 登）  
岩手県森林・林業会議
- ・参加人数：93 名

#### 第 231 回木を勉強する会（木勉会）

- ・期 日：令和 2 年 2 月 27 日（木）
- ・場 所：岩手県工業技術センター 3 階 中ホール
- ・テ マ：木材加工技術講習会「木材塗装その 2 -ウレタン樹脂塗料と塗装法」
- ・講 師：キャピタルペイント株式会社 東京駐在所 所長 長澤良一 氏
- ・主 催：木勉会（代表幹事：関野 登，担当幹事：有賀康弘）  
岩手県工業技術センター，岩手木工研究会
- ・参加人数：40 名

#### （附属寒冷フィールドサイエンス教育センター）

##### 牛の臨床繁殖検査等に関する技術研修

- ・対 象：岩手県農業共済組合新採獣医師
- ・期 日：令和元年 6 月 3 日～ 6 月 28 日
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：4 名
- ・内 容：岩手県農業共済組合に新採用された若手獣医師に対し，御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供して，直腸検査による牛卵巣所見を経時的に観察する技術を教授した。

#### 岩手ブルーベリーの会 令和元年年度夏期講習会

- ・期 日：令和元年 6 月 16 日（日）
- ・場 所：岩手県立大学および滝沢農場
- ・参加人数：90 名
- ・内 容：岩手県立大学において，渡邊教員が「土と水から見直すブルーベリー栽培」について講義した。その後，滝沢農場で剪定見本樹を中心に栽培管理について解説した。

#### ブルーベリー栽培講習会

- ・対 象：岩手町ブルーベリー生産者
- ・期 日：令和元年 6 月 25 日（火）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：30 名
- ・内 容：品種見本園で収穫前のブルーベリーの様子を見学しながら，各品種と特性と栽培管理について説明した。

#### 森林施業基礎講習会（岩手県森林組合連合会初任者研修）

- ・対 象：岩手県内森林組合への就業 5 年以内の職員
- ・期 日：令和元年 7 月 8 日（月）
- ・場 所：滝沢演習林

- ・参加人数：19名
- ・内 容：広葉樹天然林・針葉樹人工林の更新方法並びに保育方法について、教室内の講義と現地見学をしつつの実習を行った。

#### 第82回フォレストテクニカルエクステンション・地域林業支援プログラム（10）

- ・対 象：高性能林業機械オペレーター研修生
- ・期 日：令和元年8月26日～9月6日
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：8名
- ・内 容：高性能林業機械オペレーター研修生にハーベスタ、フォワーダ、スイングヤードに関する操作実習の支援を行った。

#### いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」

- ・対 象：岩手県内の農業者等スクール受講生
- ・期 日：令和元年9月18日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：30名
- ・内 容：滝沢農場における、イネ初冬直播き、リンゴ「はるか」栽培技術、ブルーベリー新品種育成、ハクサイ晩抽性育種、クッキングトマト栽培と普及活動、等について、講義と現場での研修を行った。

#### 牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修（基本技術編）

- ・対 象：畜産技術者，臨床獣医師
- ・期 日：令和元年10月15日，16日（1泊2日）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：10名（外，講師3名，事務局5名）
- ・内 容：北海道，東北，南関東の県畜産試験場等職員，全農いわて職員，開業獣医師に対し，牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する基本的技術について，御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供して，講演と実習により教授した。

#### 第80回 フォレストテクニカルエクステンション・岩大型作業路普及プログラム（42）

- ・対 象：民間林業技術者（フォレストワーカー研修生）
- ・期 日：令和元年11月5日～6日
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：18名
- ・内 容：岩大型作業路の計画・作設技術に関する講義・実習を民間林業技術者（フォレストワーカー（3年目））研修生に行った。講義により作業路作設に関する基本的な考え方を理解するとともに，簡易路線測量，ザウルスロボによる作設実習により，技術修得を目標に行った。

#### 第81回フォレストテクニカルエクステンション・岩大型作業路普及プログラム（43）

- ・対 象：民間林業技術者（フォレストリーダー研修生）
- ・期 日：令和元年11月11日～12日
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：16名
- ・内 容：岩大型作業路の計画・作設技術に関する講義・実習を民間林業技術者（フォレストリーダー研修生）に行った。講義・実習は効率的な細部路網計画の理論と実際を現地踏査，路線測量，

路網配置図作成などを通じて修得することを目標とした。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用技術編）

- ・対象：臨床獣医師
- ・期 日：令和元年12月9日，20日（11泊12日）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：2名
- ・内 容：山形県畜産試験場職員，全農いわて職員の獣医師に対し，牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する産業応用可能な実用的技術について，御明神牧場内外で飼養する雌牛や株式会社いわちくで採取したと体卵巣等を研修材料に提供して，長期宿泊実習により教授した。

広葉樹施業に関する研修会

- ・対象：自治体所属林業技術者（岩手県・岐阜県・飛騨高山市）
- ・期 日：令和2年1月21日
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：6人
- ・内 容：演習林内の試験地を題材に，広葉樹林の更新方法，木材生産技術，販売についての講習を行った。

（附属動物病院）

岩手小動物臨床研究会（第192回）

- ・期 日：令和元年4月26日
- ・テ ー マ：関節リウマチを疑う犬の一例
- ・講 師：日比孝嘉さん（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：16名

岩手小動物臨床研究会（第193回）

- ・期 日：令和元年5月31日
- ・テ ー マ：酢酸リュープロレリンが奏功した貧血のフェレット
- ・講 師：渡辺拓也先生（松園動物病院）
- ・テ ー マ：四肢の浮腫がみられたリンパ腫の一例
- ・講 師：浅野弘愛さん（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：16名

岩手小動物臨床研究会（第194回）

- ・期 日：令和元年7月26日
- ・テ ー マ：尿道移行上皮癌の犬の一例
- ・講 師：内田直宏先生（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：15名

岩手小動物臨床研究会（第195回）

- ・期 日：令和2年岩月24日
- ・テ ー マ：犬における右心室機能評価の確立と臨床的有用性
- ・講 師：森田智也先生（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：15名

( 附属動物医学食品安全教育研究センター )

令和元年度新入職員並びに若手職員研修会

( NOSAI東北家畜臨床研修センター主催 , 日本獣医師会ならびにFAMS共催 )

- ・期 日 : 令和元年 8 月 28 日 ( 月 ) 13 時 ~ 8 月 30 日 ( 水 ) 12 時
- ・場 所 : 岩手大学農学部附属動物病院 産業動物診療棟 2 階視聴覚室
- ・参加人数 : 9 名

6 大学共同開催フォーラム

( 主催 : 東北大学 , 東京大学 , 神戸大学 , 大阪府立大学 , 宮崎大学 , 岩手大学 )

- ・テ ー マ : 「オリンピックを見据えた家畜防疫と食品安全」
- ・期 日 : 令和元年 9 月 20 日 ( 金 ) 13 時 ~ 17 時 10 分
- ・場 所 : 岩手大学総合教育研究棟 ( 教育系 ) 2 階 北桐ホール
- ・参加人数 : 77 名 ( 学外 : 43 名 , 学内および関係者 : 34 名 )

令和元年度FAMS診療技術セミナー

- ・テ ー マ : 「産業動物の外科的アプローチを考える」
- ・期 日 : 令和元年 11 月 25 日 ( 月 ) 13 時 30 分 ~ 11 月 27 日 ( 水 ) 12 時 30 分
- ・場 所 : 岩手大学農学部附属動物病院 産業動物診療棟 1 階実習室 , 2 階視聴覚室
- ・参加人数 : 7 名

食の安全部門研修会

- ・テ ー マ : 「ルーティン手法になった今だからこそ学びたいリアルタイムPCR法」
- ・期 日 : 令和元年 11 月 28 日 ( 木 ) 10 時 30 分 ~ 17 時 15 分
- ・場 所 : 岩手大学総合教育研究棟 ( 生命系 ) 2 階 スペース F
- ・参加人数 : 11 名

第 6 回東北農場HACCP研究会

( 東北農場HACCP研究会ならびにFAMS主催 )

- ・期 日 : 令和元年 12 月 21 日 ( 土 ) 13 時 30 分 ~ 17 時
- ・場 所 : 岩手大学総合教育研究棟 ( 生命系 ) 7 番講義室
- ・参加人数 : 33 名

岩手Farm to Table フォーラム研究会

- ・期 日 : 令和 2 年 1 月 28 日 ( 火 ) 14 時 30 分 ~ 17 時
- ・場 所 : 岩手県環境保健研究センター
- ・参加人数 : 26 名

(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの

( 附属寒冷フィールドサイエンス教育センター )

第 156 回フィールドセミナー ( 総合的学習時間における森林学習 ( 43 ) )

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校 1 年生
- ・期 日：令和元年 7 月 1 日 ( 月 )
- ・場 所：国立岩手山青年の家
- ・参加人数：90 名
- ・内 容：世界と日本の森林の現状と課題についての講義を行った。

第 157 回フィールドセミナー ( 総合的学習時間における森林学習 ( 44 ) )

( 技術職員と学ぶ森林作業 )

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校 1 年生
- ・期 日：令和元年 7 月 2 日 ( 火 )
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：90 名
- ・内 容：森林管理作業の体験としての下草刈り作業と自然観察のためのゲームを実施し，森林とその管理についての学習を行った。

### (3) 公開講座等

#### ア 公開講座

##### (農学部5学科)

第24回農学部5学科(「植物生命科学科」「応用生物化学科」「森林科学科」「食料生産環境学科」「動物科学科」)の実験講座

- ・対象：高校生・高校教諭
- ・期 日：令和元年7月6日(土)
- ・場 所：岩手大学農学部
- ・参加人数：54人
- ・内 容：各学科の教員が設定した8コースで、学生アシスタントの協力・指導により、実験やフィールドワークを実施した。参加者は、各コースの研究テーマや実験内容の説明・実習を通じて、農学部の研究室ならではの活動を体験した。

##### (森林科学科)

「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」

- ・対象：高校生
- ・期 日：令和元年11月9日(土)
- ・場 所：岩手大学農学部(滝沢演習林)
- ・参加人数：5人
- ・内 容：樹木の成長と繁殖様式がどのように森林の構造や動態に影響を与えているのか、森林内を散策して説明した。

##### (食料生産環境学科)

「福島原発事故被災地に通い始めて8年半・大学と現場をつなぐ農学教育について考える」

- ・対象：一般市民
- ・期 日：令和元年10月30日(水)
- ・場 所：岩手大学農学部(総合教育研究棟(生命系)7番講義室)
- ・参加人数：60人
- ・内 容：東京大学大学院 溝口勝教授に、福島原発事故の被災地における活動事例をご紹介いただいた。

##### (共同獣医学科)

「獣医学の世界～獣医学科はどんな研究をしているのだろうか?～」

- ・対象：一般市民
- ・期 日：令和元年8月6日(火)
- ・場 所：岩手大学農学部(総合教育研究棟2階ぼらんホール)
- ・参加人数：70名
- ・内 容：岩手大学共同獣医学科で行われている研究内容は幅広く多岐にわたる。これらのうち、実験動物、コンパニオンアニマル、鶏、産業動物に関する内容を分かりやすく紹介した。

##### (附属寒冷フィールドサイエンス教育センター)

公開講座 第155回フィールドセミナー 植物観察シリーズ(28)

- ・対象：一般市民・児童
- ・期 日：令和元年6月2日(日)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：20名

- ・内 容：滝沢演習林内の 100 年を超える不伐の森から，様々な外国産の樹木が植えられている針葉樹見本林まで森林内を観察した．

#### 公開講座 第 1 回 大学農場で体験する食と農と生物学

- ・対 象：農業，植物，生物に興味のある高校生，高校生と保護者，高校教員
- ・期 日：令和元年 8 月 1 日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：20 名
- ・内 容：滝沢農場で行われているイネ初冬直播きやブルーベリー品種育成の解説，さらにミニトマトを利用した遺伝の話，収穫物の高品質保存のための実験などを行った．初めての開催であったが，高校生を主体にした参加者から多くの質問も出て，有意義な会であった．

#### 第 14 回哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年 8 月 17 日（土）～ 8 月 18 日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：1 日目 43 名，2 日目 41 名
- ・内 容：講師から自然と人間の関係性にかかわる講義をいただき参加者とディスカッションを行った．併せて演習林内の自然観察を行うガイドウォークを実施した．

#### 公開講座 第 158 回フィールドセミナー 植物観察シリーズ（29）

- ・対 象：一般市民・児童
- ・期 日：令和元年 10 月 6 日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：15 名
- ・内 容：講師の伊藤 勲氏に，この時期に実のなる植物を中心に和名と方言での植物名を教わりながら，滝沢演習林内を散策し，植物を観察した．

#### 公開講座 第 159 回フィールドセミナー 親子シリーズ（27）

- ・対 象：一般市民・児童
- ・期 日：令和元年 11 月 10 日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：14 名
- ・内 容：浅沼晟吾氏を講師に迎え，例年と同様に 10 林班の広葉樹見本林を囲む林道，及び国土交通省との境界である四十四田ダム巡回路を散策しながら，動植物の名前や特徴について教わった．参加者は自ら発見したものを報告しあった．

#### 公開講座「親子でふれあう牧場体験～赤ちゃんうし誕生観察～」

- ・対 象：一般市民・親子
- ・期 日：令和元年 11 月 16 日（土）～ 11 月 17 日（日）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：25 人（親子 10 組）
- ・内 容：トラクタ運転体験（耕起），子牛へのミルク給与，出産観察等を 1 泊 2 日で食事を共にしながら体験させた．

#### 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」

- ・対 象：一般市民・親子連れ
- ・期 日：令和元年2月16(日)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：20名
- ・内 容：演習林内の動植物ならびに林業・森林管理に関わるガイドウォークを実施した。

#### イ アグリビジネス創出フェアへの出展 ( 附属動物医学食品安全教育研究センター )

- ・対 象：アグリビジネスに関心のある企業，行政，研究機関，大学等の関係者
- ・期 日：令和元年11月20日(水)～22日(金)10時～17時
- ・場 所：東京ビッグサイト西4ホール
- ・参加人数：386名(ブース来場者数)
- ・内 容：下記のタイトルで研究シーズを公開し，アグリビジネスに繋げるためのマッチングの可能性を探った。  
「ジビエの衛生管理向上に貢献できる簡易検査法の開発」

#### ウ その他

##### ( 附属寒冷フィールドサイエンス教育センター )

##### 花苗販売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：平成31年4月4日(木)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：30名
- ・内 容：ピオラなど春の花壇用苗の他，味噌やブルーベリージャムなどの加工品を販売した。

##### ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年7月17日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：158名
- ・内 容：幅広い年齢層の参加があった。ブルーベリーの品種ごとの味を確認しながら，収穫していた。一部の参加者は，エダマメも摘み取った。その他，農場生産物の販売も行った。

##### ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年7月24日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：126名
- ・内 容：幅広い年齢層の参加があった。ブルーベリーの品種ごとの味を確認しながら，収穫していた。一部の参加者は，エダマメも摘み取った。その他，農場生産物の販売も行った。

##### ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年7月31日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：114名

- ・内 容：日中は30 を超える気温であったが、多くの方が参加した。参加者は、ブルーベリーの品種ごとの味を確認しながら、収穫していた。一部の参加者は、エダマメも摘み取った。その他、農場生産物の販売も行った。

#### 第21回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年8月7日（水）
- ・場 所：ポランハウス
- ・参加人数：150名程度
- ・内 容：農場特別実習に参加した植物生命科学科3年生および食料生産環境学科食産業コース3年生が、自分たちで収穫・調整した農場生産物を販売した、販売物はトウモロコシ、モモ、ブルーベリー、エダマメ、雑穀の他、ブルーベリーや味噌等の加工品であった。オープンキャンパスに合わせて開催したため、利用者には高校生の姿も見られた。

#### エダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年9月12日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：75名
- ・内 容：来場者がエダマメの莢の状態を見ながら収穫し、所定のビニール袋に詰め放題で販売した。その他、早生のリンゴや味噌などの農場生産物も販売した。テレビ局の取材が1件あった。

#### 第22回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年11月29日（金）
- ・場 所：ポランハウス
- ・参加人数：
- ・内 容：農場実習 を履修した植物生命科学科2年生および食料生産環境学科食産業コース2年生が、実習内で管理したサツマイモやリンゴを収穫・選別・調整し、森の駅市場で販売した。その他、新米、ヒエ、サトイモ、ダイコン、リンゴジュース、味噌、花苗等も販売した。

#### リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年12月11日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：64名
- ・内 容：家庭用向け「ふじ」などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、それを計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

#### リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和2年1月15日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：44名
- ・内 容：家庭用向け「ふじ」などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、それを計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

## 2. その他の地域連携事業

### (1) いわてアグリフロンティアスクール

#### ア 事業実施の背景、目的

##### (ア) 平成 24 年度までの取組み経過

日本農業の現状を背景とし、国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成するため、経営感覚・企業家マインドを持つ先進的な農業経営者を養成できる教育プログラムの開発と実践が求められた。

岩手大学では、こうした要請に応えるべく文部科学省の支援を受け、岩手大学を事業主体の中心として岩手県及び農業団体と連携し、建学の精神（地域のための農学）に立ち返る「いわてアグリフロンティアスクール」を平成 19 年度に設立して、産官学連携による先進的な農業経営者等の養成を目指す教育を展開してきた。

平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間、農業者、農業関係の県・市町村・団体職員などを対象に、農業経営、生産管理、マーケティング及び農業ビジネス戦略計画書を策定する教育プログラムを開発・展開した。この間、延べ 446 名が本スクールを受講し、延べ 254 名に学校教育法第 105 条に基づき、履修証明書を交付した。また、評価委員会で合格とされた 133 名には、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与している。

##### (イ) 新体制での取組み(平成 25～27 年度)

前年度までで社会人再教育としての所期の目的が達成され、文部科学省の事業として岩手大学における取組を終了することとした。一方、農業における先導的な経営体育成に向けて岩手県や農業団体より強い継続要望があり、予算を含めた県・農業団体・岩手大学 3 者の連携によって農業者教育を続けることとした。

平成 25 年 4 月 23 日には、岩手県農林水産部長、岩手県農業協同組合中央会常務理事及び岩手大学農学部長の 3 者による「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」を新設して開講式に臨んだ。

本スクールから、岩手県内の認定農業者、農業経営者、農業後継者及び農業従事者等を対象として岩手大学が開発した教育プログラムに基づく教育を展開することとした。また、所定の条件を満たした修了者にはこれまでと同様に学校教育法に基づいて履修証明書を交付し、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与した。平成 25～27 年度の受講者は 89 名で、履修証明書は 66 名に交付、「アグリ管理士」の資格は 61 名に授与された。

##### (ウ) 平成 28 年度のカリキュラム等の再編と令和元年度の事業内容

岩手県及び岩手大学の長期計画等の見直しを機に、平成 28 年度より過去 3 カ年の実施状況を踏まえ、主に募集対象者や科目構成について大きく見直した。受講対象にはこれまでの認定農業者等に加えて、6 次産業に取り組む者、農村地域活動に携わる者を募集することとし、定員も 30 名から 35 名に増員した。カリキュラムとしては、従来の農業経営科目群に、6 次産業化科目群及び農村地域活動科目群を新設した。修了者の履修証明書交付やアグリ管理士資格授与の手続きは従来と同じである。

令和元年度は前年度の事業内容を踏襲しながら、受講生の要望に応じて教育効果を高めるためにカリキュラムの改善を行なった。平成 28～30 年度及び令和元年度の受講生は 177 名で、履修証明書は 135 名に交付され、「アグリ管理士」は 130 名に授与された。

#### イ 令和元年度の実施状況

- (ア) 開講式 令和元年 5 月 24 日
- (イ) 開講期間 令和元年 5 月 24 日～令和 2 年 2 月 7 日
- (ウ) 修了式 令和 2 年 2 月 7 日
- (エ) 募集定員 35 名
- (オ) 入学者数 34 名
- (カ) 修了者数 30 名（うちアグリ管理士資格授与者 30 名）

ウ 令和元年度教育プログラム

科目名	日数	時間数	科目群				
			農 業 経 営	6 次 産 業 化	農 村 地 域 活 動		
「経営管理」科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3			
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6			
	人的資源・労務管理	講義	1	6			
	経営成長・経営継承	講義	1	6			
	農業経営戦略論	講義	1	6			
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12			-
「農業ビジネス戦略計画」科目	農業経営戦略演習	演習	1	6		-	-
	経営改善計画演習	演習	1	6		-	-
	農業ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12		-	-
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6		-	-
「食ビジネス戦略計画」科目	農業経営戦略演習	演習	1	6		-	-
	経営改善計画演習	演習	1	6		-	-
	食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12		-	-
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6		-	-
「地域振興戦略計画」科目	地域農業戦略演習	演習	1	6		-	-
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18		-	-
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6		-	-
「農業生産管理」科目 *1) 4科目の中から 9時間以上選択	土壌管理(土壌・肥料)	講義	1	6		*1)	-
	病害虫管理(防除・農薬)	講義	1	6			-
	農場の衛生管理	講義	1	6			-
	農業機械	講義・演習	0.5	3			-
「6次産業化推進」科目 *2) 4科目の中から 9時間以上選択	鮮度保持・流通技術	講義	1	6		*2)	
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			
	地域資源活用論	講義	1	6			
	食産業ビジネス論	講義	1	6			
「農業農村マネジメント」科目	地域担い手形成論	講義	1	6			
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6			
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6			
	都市農村交流論	講義	1	6			
	地域活性化論	講義・演習	2	12			
「マーケティング」科目	食の安全管理	講義	1	6			
	商品開発	講義	0.5	3			
	デザインとブランド	講義・演習	1	6			
	インターネットを利用したマーケティング	講義	1	6			
現地研修等 *3) インターンシップ を行う者は*科目 のいずれかと振替	現場スタディ	現地研修	2	12			
	マーケティング改善演習(異業種交流)	演習	1	6			
	マーケティング改善演習*(県内)	現地研修	1	6			
	農業技術先進地研修*(県内)	現地研修	1	6			
	農業技術先進地研修*(岩大工学部 農場)	現地研修	1	6			
	6次産業化関連現地研修*(県内)	現地研修	1	6			
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6			
	インターンシップ[選択科目]	現地研修	1	6			
合計					165 時間		

凡例： 必修科目 選択科目

(2) AFR（岩手農林研究協議会）

AFRは、岩手県農林研究協議会の略称で、平成10年3月に高橋壯学部長（当時）の提唱で、岩手県内の農林科学技術や研究開発に係わる関係者（県農業研究センター、県林業技術センター、県工業技術センター等の県関係試験研究機関、農林業関係民間企業及び岩手大学地域共同研究センター、岩手大学農学部の関係者）が連携して共同研究等の推進を図り、地域の農林業の振興発展に寄与するために発足、平成30年現在、構成機関は、岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手生物工学研究センター、東北農業研究センター、森林総合研究所東北支所の6公所で、「岩手育種談話会」、「木勉会（木を勉強する会）」など7の研究会が多方面にわたり産官学の共同研究を展開している。

AFRの研究会一覧

【令和2年3月現在】

分類	名称	代表者	目的
農	岩手育種談話会	畠山勝徳（岩大農） E-mail：khatake@iwate-u.ac.jp	岩手県の植物育種に関する事業、研究等を行っている関係者間の研究交流、情報交換を目的とする。
	りんどう研究会	高畑義人（岩大名誉教授） E-mail：ytakahata@iwate-u.ac.jp	りんどうの分子生物学的及び細胞生物学的手法を用いて研究している研究者・技術者及び交配種法等従来技術を用いて品種育種している個人育種家等の相互の情報交換を促進し、もって関連領域の研究活動を活性化し、地域におけるりんどうの振興に寄与するとともに会員相互の学術交流を図ることを目的とする。
業	イワテヤマナシ研究会	片山宏則 （神戸大学大学院農学研究科） E-mail：hkata@kobe-u.ac.jp	岩手県の宝であるイワテヤマナシ（ミチノクナシ）を遺伝資源として蘇らせ、新たな利用方法を開発し、地域振興への活用を図り、次の世代に引き継ぐことを目的とする。
	岩手野菜研究談話会	金澤俊成（岩大教育） E-mail：tkanaz@iwate-u.ac.jp	本会は、岩手県内で研究を行っている野菜関係の研究者が、各自の研究や岩手県内の野菜等について、自由な立場で意見交換を行いながら、互いの研究を深め、岩手県や東北の野菜振興について話し合うことを目的とする。

分類	名称	代表者	目的
林	岩手・木質バイオマス研究会	伊藤幸男（岩大農） E-mail：sachii@iwate-u.ac.jp	この研究会は、木質バイオマス利用の普及を通じて、岩手の風土、地域性に根ざした循環型社会の形成に資することを目的とする。
	木勉会 （木を勉強する会）	関野 登（岩大農） E-mail：sekino@iwate-u.ac.jp	森林・林業・木材産業・建築といった川上から川下までの相互理解を深め、木材利用の活性化を、健全な森林の育成・保全・利用の活性化を通じて、森林の育成・保全・利用の一助となることを目的とする。
業	木質資源総合利用研究会	関野 登（岩大農） E-mail：sekino@iwate-u.ac.jp	低炭素輩出社会並びに高炭素蓄積社会の構築には、木質資源の持続的かつ総合的な利用が重要となる。本研究会は、木質資源の利用拡大に向けて、構成員が係わる分野の技術課題や現状について情報交換を行うとともに、研究連携の基盤を醸成することを目的とする。

### 3 . 受託研究院の受入

受託 研究員 の区分	新規 継続 の別	氏名	最終学歴		所属会社名 又は 機関名	研究題目	研究期間		受入 研究科 専攻等	指導教員	
			区分				開始	終了		職名	氏名
一般 (長期)	新規	Sirawit Pagdepanichkit	A	平成28年度	タイ王国 チュラロン コン大学獣 医科学部	人と動物の共通感染症や薬 剤耐性菌などの "One Health" に関わる研究	R1.4.11	R2.3.20	共同獣医学科	教授	岡田啓司
一般 (短期)	新規	佐々木 泰平	C	平成24年度	岩手県食肉 衛生検査所	と畜場へ搬入される牛及び 豚の疾病の病理学的検索	R1.9.1	R2.2.29	共同獣医学科	教授	落合謙爾



# 附属施設



# 1. 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

## 1-1. 地域フィールド総合科学分野

### (1) 概要, 教育研究の内容

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター第1分野(農学部内)は,本センターの設置(平成14年4月1日)に伴い新設された分野である。

第1分野は,地域フィールド総合科学分野と称し,その業務内容は,フィールドサイエンスに関する教育研究を企画立案し,農学部と地域社会との窓口(連携調整)の役割を担う。また,地域の活動や課題を調査研究し,総合的フィールド科学教育,地域マネジメント,農畜林複合経営などの実践的な教育研究を行う。さらには,農学部からの協力教員の参加を得て,フィールド科学に関する情報の収集・発信,地域からの支援要請,依頼研究,共同研究を推進する。なお,平成19年4月より地域連携推進機能とエクステンション機能の一部は「地域連携推進室」へ移転した。

### (2) 地域貢献

地域貢献事業は,職業的専門家(経営者・技術者等),一般市民・児童生徒を対象に開催されている。職業的専門家が対象の事業には,森林・林業技術者のスキルアップを目指した「フォレストテクニカルエクステンション」などがあり,延べ233人の参加を得た。一般市民・児童生徒が対象の事業では,地場材を利用した家づくりの普及活動「イーハトーヴの森と家づくりフォーラム」や,地域の中学校と連携した総合的学習「フィールドセミナー総合的学習時間における森林学習」,ポランハウスにおけるセンター産の農林産物の直売などが行われ,延べ1,300人を超える参加者を得た。

## 1-2. 持続型農業生産技術分野(第二分野,滝沢農場および御明神牧場)

### (1) 概要

持続型農業生産技術分野は,滝沢農場と御明神牧場から成り立っている。

- ・滝沢農場(所在地:岩手県滝沢市巣子1552,面積43.945ha)

本農場は明治35年に盛岡高等農林学校が創設されるに当たり,校舎敷地内(現上田キャンパス)に設置された附属実験農場が始まりである。その後の新制大学移行に伴い,大学の整備計画の進展と農業近代化に対応するため昭和41年に農林省種畜牧場用地の一部所管換えを受け,滝沢農場が設立された。以後,昭和51年3月に農産製造実験実習棟が新築されたのを始め,温室,果樹収納貯蔵庫,短期学生宿舎が新設されるなど,施設・設備の整備が行われ現在に至っている。また,平成20年3月末をもって乳牛部門は廃止されたため,現在では作物および園芸の2部門を柱に,学生の実習教育や教員・大学院生等の研究に活用されている。

- ・御明神牧場(所在地:岩手郡雫石町大字御明神第8地割字大石野,54.318ha)

本牧場は,明治39年に設置された盛岡高等農林学校附属経済農場に始まる。戦前には文部省第一拓殖訓練所が併設され,多くの若者が満蒙開拓の夢を抱いて現牧場用地の開墾を行った。大学移行後の農学部附属経済農場を経て昭和59年に農学部附属御明神牧場と改称された。ここでは山麓高冷地の立地条件を活かし,家畜の飼養管理と衛生,飼料作物管理とサイレージ調製を中心に実習教育が行われている。近年は,黒毛和種の優良系統を導入するとともに繁殖育成に関する高度な研究が行われている。

### (2) 教育研究の内容

実習教育の充実,卒業論文の指導,地域貢献を柱に,教育研究活動を展開している。学内において当分野が担当するのは,作物,園芸,畜産に関する基本技術についての体系的な実習教育である。また,岩手県立大学・盛岡大学・富士大学の实習や岩手県立盛岡みたく支援学校高等部・岩手大学教育学部附属特別支援学校高等部の農業体験実習等を行っている。加えて,当分野のフィールドでは教育学部や理工学部も含めた多様な実験・実習が行われている。地域貢献では「いわてアグリフロンティアスクール」,「御明神

「牧場一般公開」などが行われている。

### (3) 実習等

滝沢農場及び御明神牧場で実施する学生実習等は、次表のとおりである。

#### 農場実習・牧場実習（学内向け）

学科・課程名等	科目	単位数	2年(1年)		3年 前期	全学 後期	場 所
			前期	後期			
全国向け教養教育 地域課大演習 H	地域課大演習 H	2				3時間	一部を滝沢農場・御明神牧場で実施
農 学 部	総合フィールド科学実習	1	2時間				1年次全員, 下台, 各フィールド
植物生命科学科	農場実習	1	3時間				滝沢農場, 御明神牧場
食産業システム学 コース	農場実習	1	3時間				滝沢農場, 御明神牧場
植物生命科学科	農場実習	1		3時間			滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習	1		3時間			滝沢農場
植物生命科学科	農場特別実習	1			4泊5日		滝沢農場(宿泊)
食産業システム学 コース	農場特別実習	1			4泊5日		滝沢農場(宿泊)
教 育 学 部	栽培理論	2					一部を滝沢農場で実施
教 育 学 部	栽培理論	2					一部を滝沢農場で実施
動 物 科 学 科	牧場実習	1			3泊4日		御明神牧場(宿泊)

#### 学部実習等への協力並びに施設の利用計画

学科・課程名等	科目	前期	後期	摘 要
動 物 科 学 科	牧場実習	3年		一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験 (動物遺伝育種学 動物行動学)		2年	一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験 (動物繁殖学)	3年		一部を御明神牧場で実施
共同獣医学科	繁殖機能制御学実習		4年	一部を御明神牧場で実施
	大動物臨床実習応用編	5年		一部を御明神牧場で実施
	産業動物臨床実習	5・6年		一部を御明神牧場で実施
	動物衛生学実習		3年	一部を御明神牧場で実施
東京農工大学 共同獣医学科	参加型臨床実習	5年		一部を御明神牧場で実施
学 生 支 援 課	特別支援学生による活動プログラム	特別支援 指定学生	特別支援 指定学生	特別支援指定学生, 5~10名(全学, 大学院) . 上田下台圃場における, 農作業体験, 栽培体験

学外実習等への協力並びに施設の利用計画

学外機関名	科目	のべ人数	日時	摘 要
附属特別支援学校	実習	50		10月中下旬に5日程度
みたけ支援学校	農場実習	80		滝沢農場で年間5回
盛岡大学	生物学	100	5月9日	一部滝沢農場で実施
岩手県立大学	地域政策講座ゼミ	25	6～11月	一部滝沢農場で実施
富士大学	フィールドワーク	30	8月	一部御明神牧場で実施
	フィールドワーク	30	7月	一部滝沢農場で実施
盛岡大学	地域食材資源論	70	11月	一部滝沢農場で実施

滝沢農場 開放事業等の予定（2019年度）

月日	部門	内容等	担当職員	参予 人数	案内方法等
4月4日(木)	温室	花苗販売	5名	25名	ハガキ50枚で案内
6月16日(日)	果樹	ブルーベリー園見学	渡邊, 村上	100名	岩手ブルーベリーの会(夏期講習会)
7月14日(日)	果樹	ブルーベリー園見学・摘み取り	村上	20名	岩手県サイクリング協会
7月17日(水)	果樹	ブルーベリー 摘み取り	全員	150名	学内メール, ハガキ100枚で案内 次回開催日を掲示
7月24日(水)	有機	エダマメ 摘み取り	全員	100名	次回開催日を掲示
	果樹	ブルーベリー 摘み取り			
7月31日(水)	有機	エダマメ 摘み取り	全員	70名	
	果樹	ブルーベリー 摘み取り			
8月7日(水)	実習	ポラン販売会	5名	200名	オープンキャンパスの日に実施
9月9日(月)	有機	エダマメ 摘み取り	全員	50名	学内メール, 岩手有機農業連絡協議会へ案内
11月29日(金)	実習	ポラン販売会	5名	200名	
12月11日(水)	果樹	リンゴ販売会	4名	50名	ハガキ100枚で案内
1月15日(水)	果樹	リンゴ販売会	4名	30名	ハガキ50枚で案内

(4) 土地利用計画(単位 a)

	滝沢農場	御明神牧場	合 計
水 田	544		544
畑 作	61		61
有機畑作	82		82
牧草地	900	3,400	4,300
果樹園	430		430
蔬菜園	26		26
花 卉	1		1
温 室	4		4
野 草 地		400	400
小 計	2,048	3,800	5,848
建物敷地, 防風林	1,723	1,552	3,275
総 計	3,771	5,352	9,123

(5) 家畜

家畜頭数(令和2年3月31日現在)

種 類	御明神牧場
成育肉牛	94頭
育成肉牛	56頭

## (6) 農畜産物売払高

令和元年度 部門別売払高	
部 門	売 払 高
稲 作	6,310 千円
畑 作	33 千円
有 機 作	327 千円
果 樹	2,781 千円
蔬 菜	181 千円
花 卉	167 千円
農産製造物	1,269 千円
飼 養	31,944 千円
飼 料 作	300 千円
合計	43,312 千円

### 1-3. 循環型森林管理技術分野（第三分野，御明神演習林，滝沢演習林，実験苗畑）

#### (1) 概要

循環型森林管理技術分野のフィールドは，御明神演習林（岩手県岩手郡雫石町），滝沢演習林（岩手県滝沢市）の2演習林と実験苗畑（岩手県盛岡市上田）から成っている．二つの演習林は比較的近距離にあるが，地形，地質，気象，植生など立地条件が異なった特徴をもっており，それぞれの対照的な立地特性を生かし，森林科学の基礎的研究や応用研究が行われている．また，学生の実験実習や卒論・修論研究の場として活用されているほか，動植物，地質，土壌などに関する自然研究や教育にも広く利用されている．

御明神演習林は，明治38年12月農商務省から国有林の所管換えを受け，本学の前身盛岡高等農林学校附属演習林として設置された．明治39年10月に設置された隣接する岩手大学農学部附属経済農場山林を併合し，現有面積は1,040.34haである．

滝沢演習林は，大正2年3月農商務省から国有林の所管換えを受け設置された．大正8年10月これに北接する国有林の所管換えを受け拡大したが，その後東北本線の線路変更による交換分合，四十四田ダム用地としての建設省への所管換えなどで，地積，形状に変動があり，現有面積は280.51haである．

実験苗畑は，盛岡高等農林学校創設とともに，キャンパス北辺に林学苗圃として設けられ，当初は林学実習場として広く保有していたが，その後大学の諸施設の建設に伴い，現在の下台地区に移転し，現有面積は6,080 m<sup>2</sup>である．

#### (2) 教育研究の内容

演習林は農学部における森林に関する教育研究の場として，非常に重要な役割を果たしている．演習林を利用して行われている最近の研究テーマには以下のものがある．

森林科学科：「森林収穫技術の高度化」，「森林路網技術」，「広葉樹二次林構成樹種の生理特性と更新」，「ヒバ林の更新メカニズム」，「スギ人工林における光環境と光合成生産」，「林業用車輛の安定性」，「林業作業の労働負担」，「林業の労働形態」，「複層林地施業」，「ケヤキ林施業」，「斜面侵食と土砂流出」，「中小径広葉樹の材質と利用」，「木材の含有成分」，「GIS・GPS・RSによる森林管理技術」，「森林バイオマス利用と造成」，「森林環境教育」，「森林に対する市民の意識」

この他にも他大学，研究機関などから，林業に関する研究のみではなく広く自然研究にも利用されている．演習林はこれらの研究の場を提供して人的・物的に補助協力するのみではなく，共同研究や独自の基礎的，応用的な調査，研究を実施しており，教育面では，学生の実験実習の場として頻繁に活用されてい

る。

農学部における主要な実習には以下のものがある。

森林測量学実習，森林測量学実習，林道工学実習，砂防学実習，林業生産工学実習，野生動物管理学実習，総合フィールド科学実習，森林計測学実習，森林造成学実習

他学部の実習としては，人文社会科学部の野外生物学実習，教育学部の植物学特別実験が実施されている。

御明神演習林および滝沢演習林は，平成 28 年度から文部科学省の「教育関係共同利用拠点」に認定されており，これまで，鹿児島大学「温帯林概論」，富士大学「フィールドワーク」「フィールドワーク」，岩手県立大学「専門演習入門」「環境調査実習」，日本女子大学「環境生物学実験」など幅広い学問領域で学ぶ他大学の実習に利用されている。加えて，全国の大学生を対象とした公開森林実習「森林インターシップ」「冷温帯林と持続的森林・林業」を実施している。

また，演習林を会場として林業技術者を対象としたフォレストテクニカルエクステンションや一般市民・児童・生徒を対象に森林教育を行うフィールドセミナーも開催されている。

### (3) 御明神演習林

#### 地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
1,040.3	265.8	229.9	6.9	263.1	248.4	1,014.1	26.2

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

#### 森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 <sup>m<sup>3</sup></sup>		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	276.8	116,373	2,813	119,186
天然林	727.7	92,583	70,224	162,807
無立木地，他	35.8	45	28	73
計	1,040.3	209,001	73,065	282,066

資料：御明神演習林第 2 次森林管理計画書

### (4) 滝沢演習林

#### 地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
280.5	23.6	23.3	33.9	33.9	156.0	270.6	9.9

資料：滝沢演習林第 2 次森林管理計画書

#### 森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積 <sup>m<sup>3</sup></sup>		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	112.2	61,870	2,363	64,234
天然林	157.4	36,681	14,916	51,596
無立木地，他	10.9	-	-	-
計	280.5	98,551	17,279	115,830

資料：滝沢演習林第 2 次森林管理計画書

(5) 林産物の販売（令和元年度）

区 分		販 売 額
素 材	御 明 神 演 習 林	14,310 千円
	滝 沢 演 習 林	11,569 千円
	(小計)	25,879 千円
その他（木工品）	御 明 神 演 習 林	0 千円
	滝 沢 演 習 林	0 千円
	(小計)	0 千円
計		25,879 千円

## 2 . 附属動物病院

### (1) 概要

家畜病院は盛岡高等農林学校創立の翌年（1903年）に設置され、既に110年の歴史を刻んでいる。戦前戦後長く使われてきた木造建物（1,485㎡）を経て、昭和46年には鉄筋コンクリート造りの本館（1,051㎡）が建造され、昭和53年に入院厩舎（100㎡）、59年に別棟（391㎡）が増築された。以来40年が経過して老朽化し、現在の獣医学教育病院の水準に合致する施設設備とはほど遠い状態が続いていた。この間、平成15年に呼称を動物病院に改め、診療体制の見直しを図ってきた。平成24年度からは本学と東京農工大学とで共同獣医学科を発足させ、双方の大学で獣医学教育を保管しながら、これまで以上に高度化させる体制となった。本学における臨床実習と診療の高度化を図るため、全学からの支援と文部科学省の補助金を使って、平成25年4月に伴侶動物診療棟（総面積1,922㎡）の新築工事が完成し、引き続き旧来の動物病院建物は産業動物診療施設に大改修された。

新築された伴侶動物病院棟は広い待合室、5つの診療室、処置室、犬猫別の入院室、陽圧手術室、各種検査室など高度獣医療を担うに相応しい施設となり、最新の医用機器が設置された。主な診療設備として、MRI診断装置、X線CT撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、超音波断層撮影装置、手術用X線透視装置、デジタル画像データ管理装置、内視鏡、腹腔鏡、硬性鏡、血圧透析装置、ホルター心電計、全自動血液生化学測定装置、電解質・血液ガス分析装置、血球自動計数装置、伴侶動物集中治療用ケージ、麻酔機および麻酔監視装置などがある。平成30年度にはこれまで1室であった外科手術室に加え、施設の改修を行い第二手術室を設置した。令和元年度には、受付業務の簡素化を図り、紙媒体に頼らない診療記録の保存のために、院内ネットワークシステムを構築し電子カルテシステムを導入した。産業動物の臨床教育と研究には、産業動物診療施設を利用するほかに、7名乗りワゴン車、検査機器と冷蔵庫を装備した5名乗りワゴン車、家畜運搬車および自家発電機を搭載して全自動血液生化学測定装置、冷却遠心機、冷凍・冷蔵庫、純水製造装置、携帯用超音波診断装置などを装備した家畜検診車が稼働している。また、治療台、无影灯、顕微鏡、超音波断層撮影装置、伴侶動物用X線撮影装置、麻酔監視装置、血液生化学簡易測定装置、電解質分解装置、血球自動計測装置など一通りの診療機器を装備した犬猫用移動診療車は、岩手県沿岸部の東日本大震災被災地仮設住宅で飼育されている動物の健康相談に出動している。

本学動物病院では産業動物と伴侶動物のバランスのとれた臨床教育をめざし、症例は犬猫だけではなく牛馬も多い。牛の外来受診件数はさほどではないが、キャンパス近隣に位置する農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、家畜改良センター岩手牧場、岩手県畜産研究所、小岩井農場技術研究センターなどとの協力で臨床実習生を確保し、臨床教育や研究の充実を図っている。また、岩手県内の農業協同組合や農業共済組合と連携して家畜検診車を使って牛や馬の集団検診を実施している。伴侶動物診療棟の稼働を機に、平成25年から伴侶動物外来診療体制は、原則東北各県の開業獣医師からの紹介症例のみを診察する二次診療体制に移行して、地域の開業医師と連携を図っている。

(2) 診療状況

症例頭数及び収入（平成31・令和元年度 単位：頭，円）

	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
診療頭数	2,031	485	116	1,086	66	-	-	7	3,791
金額	103,615,460	19,979,690	4,454,960	4,076,095	1,038,830	-	-	376,780	133,541,815

学用症例頭数及びこれに要した診療費（平成31・令和元年度 単位：頭，円）

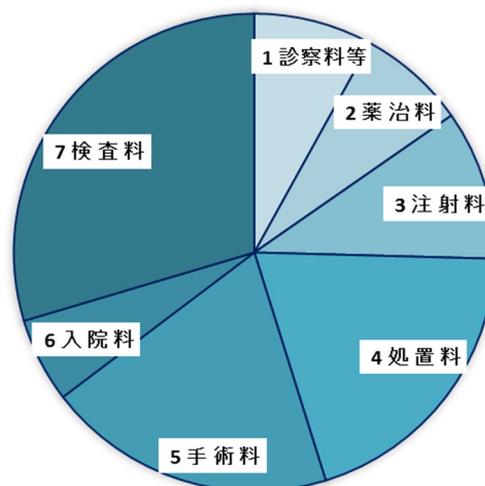
	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
学用頭数	2	4	-	181	-	-	-	1	188
金額	192,770	43,400	-	216,480	-	-	-	62,380	515,030

診療収入の内訳

平成31・令和元年度(H31.4.1~R1.3.31 単位：円)

診察科目	金額	割合
1 診察料等	10,674,015	8.0%
2 薬治料	9,731,110	7.3%
3 注射料	13,538,260	10.1%
4 処置料	26,421,160	19.8%
5 手術料	25,971,780	19.4%
6 入院料	7,645,540	5.7%
7 検査料	39,559,950	29.6%
総計	133,541,815	100.0%

平成31・令和元年度動物病院収入内訳



(3) 臨床教育の内容

動物病院では4年次，5年次学生に対し小動物内科学実習2単位，大動物内科学実習1単位，小動物外科学実習2単位，大動物外科学実習1単位，獣医臨床繁殖学実習1単位，獣医画像診断学実習1単位，総合参加型臨床実習，，，合計4単位の実習を履修させている．さらに，平成24年度より開始された東京農工大学との共同獣医学科における総合参加型臨床実習，，として，平成28年度より東京農工大学に在籍する5年次学生に対して合計2単位の实習を岩手大学農学部附属動物病院にて履修させている．総合参加型臨床実習は伴侶動物と産業動物診療の総合的な臨床実習で，例年6月から12月初旬まで12週間にわたり火曜日と水曜日に5年次学生を班分けして，伴侶動物は院内にて外来診療動物を，産業動物は近隣の獣医師を委嘱して牛の診療実習をさせている．総合診療実習の最終回には全員が担当症例をまとめた発表会を実施している．なお，岩手大学に所属する5年次学生は総合参加型臨床実習，，として東京農工大学動物医療センター（東京都府中市）において合計2単位の实習を履修している．

本年度発表会のプログラムは別表のとおりである．

令和元年度 臨床実習症例検討会プログラム

日 時：2019年11月13日10時00分～17時00分  
 場 所：総合教育棟（5号館）1階7番教室  
 発表時間：5分，質疑3分  
 司 会：一條俊浩

開会式	動物病院長：山崎真大先生	10：00～10：05
氏 名	演 題	担当教員(外部講師)
	小動物臨床【座長：片山泰章先生】	10：10～10：26
1 安齋莉穂	手根関節脱臼により関節固定を行った犬の2例	星野先生
2 岡本衣美	柴犬の巨大肝臓腫瘍	星野先生
	小動物臨床【座長：星野有希先生】	10：30～10：46
3 星野 涼	トイプードルの前十字靭帯断裂をCBLOで治療した症例	片山先生
4 津嶋宥希	デグーの軟部組織肉腫	福井先生
	小動物臨床【座長：福井大祐先生】	10：49～11：05
5 長久保博紀	犬の髄膜腫	宇塚先生
6 杉山琢俊	犬椎間板ヘルニア	宇塚先生
7 片寄侑亜	犬の肝転位を伴う脾臓血管肉腫	内田先生，星野先生
	休 憩	11：30～11：40
	小動物臨床【座長：森田智也先生】	11：40～12：04
8 大竹真優	肺に多発性腫瘍のあるフレンチブルドック	内田先生
9 津島 文	低血糖を示した犬の肝臓腫瘍	内田先生
10 早坂健太郎	キャバリアにみられた搔痒感を伴う脊椎空洞症	内田先生，浅井先生
	休 憩	12：04～13：30
	小動物臨床【座長：内田直宏先生】	13：30～13：54
11 阿部浩宣	犬の僧房弁閉鎖不全症	森田先生
12 渡邊早耶	犬の異物による部分的腸閉塞	小林先生
13 宮澤圭悟	蛋白漏出性腸炎を疑う犬	山崎先生
	小動物臨床【座長：小林沙織先生】	13：58～14：22
14 水戸早季	トイプードルの膝蓋骨内方脱臼グレード	
15 佐々木奈那	嚢胞性腎腺癌のポメラニアン	内田先生
16 宮原 楓	ミニチュアシュナウザーの肺の組織球性肉腫	
	大動物臨床【座長：高橋 透先生】	14：22～14：46
17 長江杏介	繁殖成績低下，疾病多発農家の牛群検診	田高先生
18 品川正臣	重種馬における踵骨の亀裂骨折	一條先生
19 樋口まり	馬の鼻腔ポリープの立位鎮静下での外科手術	福井先生
	大動物臨床【座長：岡田啓司先生】	14：49～15：05
20 竹内颯人	脚弱を呈したホルスタイン種子牛	加藤先生
21 大角 徳	ホルスタイン種牛の口蓋裂	加藤先生
	休 憩	15：05～15：15
	大動物臨床【座長：高橋正弘先生】	15：15～16：03
22 田内瞬一	黒毛和種子牛における人為的尿道挫傷	菊地先生
23 鈴木 萌	日本短角種子牛における大腿骨の剥離骨折	関口先生
24 田中悠美子	黒毛和種子牛の右上腕骨斜骨折	樋口先生
25 生地伸康	黒毛和種子牛の難治性成長板骨折	平田先生
26 菊地智貴	黒毛和種子牛の臍ヘルニアの再発	樋口先生
27 堀中あさひ	臍帯炎を疑ったホルスタイン種子牛	宇賀まどか先生
	大動物臨床【座長：一條俊浩先生】	16：06～16：54
28 片倉裕貴	ホルスタイン種子牛のクリプトスポロジウム症	
29 栗原雅子	ホルスタイン種乳牛における大腸菌性乳房炎	尾形先生
30 二宮千秋	ホルスタイン種子牛の先天性精巣腫瘍	尾形先生
31 中村 朱	ホルスタイン種非搾乳牛の両側性股関節脱臼	平田先生
32 金子紘野	黒毛和種子牛の上腕骨単純骨折における外固定とワイヤー固定	小堤先生
33 大森香葉	ホルスタイン種牛の кокシジウム症	尾形先生
講評・閉会式	一條俊浩先生	16：54～17：00

### 3 . 附属植物園

#### (1) 概要

附属植物園は、盛岡高等農林学校創設時（明治 35 年）、敷地東南部に設置され、数年後に現在の教育学部構内北部に移転した。昭和 49 年、大学整備拡充に伴い創立当時の植物園、樹木園、校舎敷地を合わせ現在地に再移転した。面積 49,500 m<sup>2</sup>、現在 137 科 530 属 800 種以上の木本・草本植物が生育し、「博物館に相当する施設」として国の指定を受けている（昭和 27 年 4 月文部省告示第 13 号、昭和 30 年文部省告示第 108 号）。本植物園は、植物学を基礎とする農業生命科学や森林科学など幅広い学問分野の研究教育に資するべく、国内外の植物の蒐集に努めるとともに自生種の保護管理に力を入れている。設置以来百年を経過し、都市域では稀少貴重な巨木の杜が各所に形成されている。四季を通じて様々な野鳥が訪れ昆虫相も豊富で、都市域の生物共生系モデルとして注目され、学内活用はもとより、広く学外にも解放され、地域の人々への環境教育の場ともなっている。藩政時代の武家屋敷の庭が忍ばれ、宮沢賢治ゆかりの数々の樹木や石川啄木の妻節子生誕地など盛岡に生きた人々の歴史が随所に残っている。

植物園内北側に建つ農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）は、平成 6 年国指定の重要文化財となった。平成 14 年には開学百周年を迎え、本学ゆかりのメタセコイヤの記念植樹がおこなわれ、賢治モニュメントが設置された。翌 15 年には、植物園内の旧高等農林時代の図書館を岩手大学ミュージアム本館として使用することとなり、報知板や案内板の新設・散策路の補修など多くの整備がなされた。

#### (2) 主な構成

##### 自啓の森

旧盛岡高等農林学校学生寮“自啓寮”跡地に、岩手の山野に発達する自然林を模し、階層構造を組み込み、郷土森林生態観察モデル林として、昭和 60 年に造成されたアカマツ・コナラ群落、コナラ・クリ群落、ブナ・ミズナラ群落の 3 ブロックで構成され、一隅に“自啓寮跡”の記念碑が建つ。

##### 北水の池

岩手大学環境整備第 1 期計画（昭和 55 年度実施）によって、「北水の池」、「水生植物展示圃」、「築山」が農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）の南東側に造成された。北水の池は昭和 55 年に「破砕転圧工法」（旧農業土木学科農地造成研究会の考案）で造成され、1,350 m<sup>2</sup>、水深 0.2~1.2m で、漏水がないことで評価された。池の余水は、水生植物展示圃に流れ込み、経過して東側の土水路に流下し、「湿地帯」へと導かれる。

##### 水生植物展示圃

「自啓の森」が郷土の樹木をモチーフとしたのに対し、本造成では、水分環境傾度を軸とする、草本植物主体の一連の植物配置が計られた、さまざまな湿地条件がもたらす多様な生物層とともに、岩礫山体によって乾性基盤の立体景観をつくりだし、自然、生態系、そして水と緑の修景について、一体的に学べる空間をめざした。展示圃の総面積は 600 m<sup>2</sup>で、培土層の深さや水深を変えて、6 つの区画が池東端の築山を囲むように並んでいる。本展示圃では、関係する学外の方々とも共同して、展示、試験を行っている。展示圃の区画配置は、0 区（深水）、1 区（中深水）、2 区（浅水）、3 区（中深水）、4 区（深水）、5 区（深水）となっている。

##### 旧高等農林のガラス温室（森の駅ポランハウス）

農業教育資料館南のガラス温室は、大正 14 年に完成し、当時は東北一の規模を誇り、冬でもバナナ、パイナップル、ゴムなどの南洋植物が常緑葉を光らせ、学外からの参観が絶えなかった。長きにわたっての学内事業により改修・整備がなされ、「森の駅ポランハウス」として再スタートし、地域社会に向けた情報発信の場として、また教職員学生が取り組む環境教育や本学に集うものの交流の場として、よく利用されている。

##### 宮澤賢治モニュメント

農業教育資料館南側のドイツトウヒのそばに設置されている。賢治の花巻農学校時代も終わりに近い大正 15 年、学校付近の畑で撮った写真がモチーフとなっており、帽子をかぶってうつむいている様

はどこかベートーベンに似ている。

旧第一学生寄宿舍前のヒノキ

賢治は、第一寄宿舍(南寮)の一室に居る頃、窓越しに見える若いヒノキを題材に「ひのきの歌」を詠んでいる。今やそのヒノキは、百年の星霜を刻む大成木となり、賢治の心を伝えている。

ポランの日時計

「ポランの広場」の一隅に設置されている。日時計と説明板は、宮澤賢治が愛用した楽器(チェロ)と譜面台の関係を模倣している。太陽による標柱の影を文字盤で読み時刻を計る。盛岡太陽時を基準として作られているため、常用時(明石)との時差として・25分と近似差による補正が必要である。

旧第三教練跡地に立つメタセコイヤ

属名メタセコイヤ(*Metasequoia*)は、三木 茂(盛岡高等農林学校、大正10年卒業)により命名され世に知られるようになった、かつての学び舎第三教練地の跡地に、本種大成木が見下ろすように立っている。ラクウショウと並びたつ空間は見事な景観を形成している。

旧上田新小路

植物園の中央、東西に小径が残る。この上田新小路一帯は、嘉永時代に新たに開かれた侍屋敷町である。当時、諸士の屋敷割りは、間口13間、奥行25間、300坪が基準となっていた。ちなみに石川啄木の妻節子は明治19年上田新小路に生まれ幼少期をここで過ごしている。

目時のスギとヒバおよび山邊のマツ

南部藩の時代、家臣団の名門目時家の屋敷は、ヒバ(実はサワラ)やスギを生け垣にしていたようである。初代盛岡市長の目時敬之は本屋敷で生まれ、市長時代はしばしば全職員を招き会合が催された。

旧高等農林学校の通用門を入れてすぐ正面が山邊家の庭にあたる。やはり、当家の庭園は、侍屋敷が並ぶ一体で、ひと際みごとだったと見られる。マツはゴヨウマツ(別名ヒメコマツ)で老大樹の伏臥姿はみごと、当時の侍屋敷の庭が偲ばれる。

### (3) 園内概況

珍しい植物

岩手県が南限分布地のもの：ヒメカユウ、アカエゾマツ

岩手県が北限分布地のもの：カヤ、モミ、ヒメクヰミ、ミズメ、イヌシデ、ヤブサンザシ、ニガイチゴ、ヤマニガイチゴ、チドリノキ、オオバアサガラ

岩手県が固有産地のもの：シダレカツラ、モリオカシダレ(サクラ)

西日本が分布地のもの：ヤマコウバシ、ナツツバキ、アオギリ、モクゲンジ、アキニレなど

外国産原種：チョウセンモミ、ブンゲンストウヒ、モンクナマツ、バンクスマツ、ストロープマツ、リキダマツ、メタセコイヤ、ラクウショウ、エンピツビャクシン、ニオイヒバ、コノテガシワ、カシグルミ、シナサワクヰミ、オウシュウシラカンバ、オウシュウブナ、ユリノキ、アメリカスズカケノキ、エンジュ、シンジュ、コブカエデ、トリネコバナカエデ、サトウカエデ、ベニバナトチノキ、キュウエイ、セイコウシナノキ、チョウセンゴシュユ、サンシュユ、クロフネツツジ、アメリカトネリコ、ハナキササゲなど

花

3月下旬 マンサク、ギンドロ、バッコウヤナギ、フクジュソウ、オオイヌノフグリ、ハコベなど

4月上旬 アセビ、レンギョウ、サンシュユ、ウメ、コウバイ、ヒョウガミズキ、アブラチャンなど

中旬 カツラ、シダレカツラ、コブシ、エゾムラサキツツジ、スイセンなど

下旬 エドヒガン、ソメイヨシノ、ミネザクラ、ドウダンツツジ、イタヤカエデ、チドリノキなど

5月上旬 ユキヤナギ、ボケ、ヤマブキ、ハクモクレン、シバザクラ、ヒメオドリコソウ、チューリップなど

中旬 ヤマツツジ、クロフネツツジ、モクレン、リキュウバイ、シロヤマブキ、キリなど

- 6月上旬 ボタン, ハナショウブ, カキツバタ, ヒトツバタゴ, ハクウンボク, ミズキなど  
 中旬 シャクヤク, ショウブ, ケアサガラ, エゴノキ, ユリノキ, ミヤコワスレ, フランスギク  
 など  
 下旬 ハナキササゲ, イボタノキ, ナツハゼ, スイレン, サツキ, ニワフジ, ウメモドキ, シャ  
 スターデージー, ムラサキツククサ, セイヨウノコギリソウなど
- 7月 ナツツバキ, アジサイ, セイヨウシナノキ, ネムノキ, ムラサキシキブ, ノリウツギ, ジ  
 ャノヒゲなど
- 8月 エンジュ, サルスベリ, ムクゲ, オオウバユリ, ヤブラン, ミズヒキ, オオハンゴンソウな  
 ど
- 9月 アキニレ, ヤマハギ, ミヤギノハギ, マルバハギ, ハナタデ, イヌタデなど
- 10月 ハナヅノツクバネウツギ, ノコンギク, ホトトギス, ミゾソバ, キクイモ, キンエノコロ,  
 ハマギクなど

#### (4) 運営委員会

##### 運営委員

立川史郎(委員長, 植物園長), 立澤文見(植物生命科学科), 宮崎雅雄(応用生物化学科), 真坂一  
 彦(森林科学科), 塚越英晴(食料生産環境学科), 澤井 健(動物科学科), 山田美鈴(共同獣医学科),  
 (担当事務: 櫻田美幸, 三浦勇次郎)

##### 第1回植物園運営委員会

平成31年4月9日(火)

- 議題 1. 植物園運営委員会について  
 ) 平成31年度委員一覧  
 ) 植物園運営委員会規則について  
 ) 平成29・30年度の活動内容について
2. 平成31年度事業について  
 ) 平成31年度事業費について  
 ) 農学系技術部への業務依頼について
3. 施設委員会委員の選出について
4. その他

##### 第2回植物園運営委員会

令和2年3月9日(月)

- 議題 1. 令和元年度収支報告について
2. 令和元年度活動報告について  
 ) 水生植物展示圃管理作業について  
 ) 植物園内巡視について  
 ) 台風19号被害による倒木等について  
 ) 特定外来生物(オオハンゴンソウ)の防除について
3. その他  
 ) 農学系技術部への支援要望について

(5) 平成31・令和元年度 植物園・ガラス温室利用状況  
植物園

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
4月 1日	ラジオ体操	上田三小路町内会	20名程度	令和元年11月30日まで
4月13日	ミーティング等	岩手大学植物園観察会	15名	令和元年12月14日まで
5月 1日	アミガサタケ子実体採取	岩手県林業技術センター	1名	令和元年 5月31日まで
5月 8日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	80名程度	
5月17日	自然観察	うえだ保育園	50名程度	
5月23日	研究	森林科学科 真坂一彦		令和元年 5月24日まで
5月30日	自然観察	うえだ保育園	40名程度	
6月 3日	自然観察	岩手偕行会	10名程度	
6月 3日	研究	森林科学科 國崎貴嗣		令和2年 3月31日まで
6月 7日	自然観察	盛岡市立城南小学校	60名程度	
6月 8日	遠足	善友保育園	200名程度	
6月17日	研究	応用生物化学科 鈴木雄二		令和2年 3月31日まで
6月19日	自然観察	岩手大学附属幼稚園	50名程度	
6月21日	自然観察	うえだ保育園	20名程度	
6月21日	自然観察	児童デイサービス・アニメートあおやま	13名	
6月25日	生活科学習	盛岡市立上田小学校	70名程度	
6月26日	自然観察	老人ホームさくら	35名程度	
7月 1日	生活科学習	盛岡市立河北小学校	30名程度	
7月 1日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	80名程度	
7月 1日	樹木の触察, 歩行指導	盛岡視覚支援学校小学部	9名	
7月 8日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	80名程度	
7月 9日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	80名程度	
7月16日	自然観察	児童デイサービス・アニメートあおやま	14名	
9月 1日	鍛錬会開催	岩手県俳人協会	50名程度	
9月 5日	製品開発のためのサ ンショウ等剪定	jam(学内カンパニー)	4名	
9月 9日	自然観察	ひよこ学童	25名	
9月13日	企画撮影	株式会社エフエム東京		
9月20日	遠足	盛岡市立緑が丘小学校	120名程度	
9月25日	遠足	盛岡幼稚園	40名程度	

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
9月26日	自然観察	きたかみ巨木の会	15名	
10月5日	部活動	オリエンテーリング部	20名程度	
10月11日	遠足	天昌寺保育園	60名程度	
10月11日	遠足	くりやがわ保育園	40名程度	
10月16日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	80名程度	
10月25日	遠足	善友保育園	100名程度	
11月13日	自然観察	ツキノワグマ研究会	10名程度	
12月14日	部活動	オリエンテーリング部	15名程度	
3月21日	部活動	オリエンテーリング部	20名程度	

#### ガラス温室

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
4月13日	ミーティング等	岩手大学植物園観察会	15名	令和元年12月14日まで
4月23日	植物の播種・育苗	岩手大学環境マネジメン ト学生委員会	約20名	令和元年8月31日まで
5月26日	ハンギングバスケット制作	農学部事務室		令和元年5月31日まで
6月1日	茶会	岩手大学茶道部	20名	令和元年6月2日まで
8月7日	森の市場	寒冷フィールドサイエ ンス教育研究センター		
9月30日	実習	共同獣医学科	25名	
11月29日	森の市場	寒冷フィールドサイエ ンス教育研究センター		

## 4 . 附属農業教育資料館

### (1) 概要

岩手大学農学部附属農業教育資料館は、明治35年3月に我が国最初の高等農林学校として設置された盛岡高等農林学校の本館で、大正元年12月に竣工した。この旧本館は、青森ヒバを用いた明治後期を代表する木造二階建て総面積約1,007㎡の欧風建物で、他に便所、用務員室と校舎をつなぐ渡り廊下が付属していた。当時一階は、校長室、事務室、会議室等として、また二階の大講堂(446.3㎡)は学内の諸儀式に使用されていたが、昭和24年、学制改革により岩手大学が設置されてからは、大学本部として一階は学長室、事務室などに利用されていた。昭和49年に大学本部が現在地に移転後、老朽化が激しくなったため、昭和52年11月に修復され、翌53年から岩手大学農学部附属農業教育資料館として活用されるようになった。農業教育資料館は、盛岡高等農林学校開校以来、今日の農学部に至る農業教育関係の資料および宮澤賢治在学中の資料を主に展示公開するとともに、二階講堂は学内の入学、卒業にかかわる諸儀式および学会、研修会、諸会議などに広く活用されてきた。その後、農業教育資料館は平成6年に再度大修復工事が行われ、装いも新たに再出発した。

この農業教育資料館(旧本館)は、明治期に設置された国立の専門学校の中心施設のうち、現存する数少ない遺構の一つであり、改造が少なく保存状態も良好で、我が国の学校建築の歴史を知る上で貴重な建物であることにより、平成6年7月2日、門番所と旧正門(土塁の一部を含む)を含め、重要文化財に指定された。

なお、平成24年4月23日～同年10年31日までを工期として、耐震化工事が行われ、ほぼ大正元年の竣工当時の姿に復元された。この工事に合わせて、展示資料の整理とリニューアルが行われ、平成25年5月31日には岩手大学農学部創立110周年記念式典が二階講堂にて挙行された。

### (2) 展示資料

盛岡高等農林学校設立の経緯から現在までの歴史的な変遷、高農時代の実験器具類、当時の教官の研究業績関連資料の一部(鈴木梅太郎博士研究報告、大獄了博士遺品、内田繁太郎博士の笹標本)、その他初代玉利喜造校長、関豊太郎教授の冷害関係研究資料や後年の関教授の手帳、教材用剥製標本、図譜類、写真、学生のノート、組織標本の顕微鏡スケッチ、事務関係書類等の歴史的資料、卒業生著書、寄贈図書、専門図書の一部等を展示している。

宮澤賢治関係資料としては、在学当時の「校友会会報」、「注文の多い料理店」の原本、賢治および同級生らの卒業論文、「岩手県稗貫郡地質及び土性調査報告書」、「アザリア」(一部)、「雨ニモマケズ」、恩師関豊太郎教授宛「手紙」等の複写および賢治全集、学生時代の写真、関豊太郎教授の賢治追想の文、賢治在学時代の地質調査用具、岩石標本作製用器材、鉱物・岩石標本、賢治が高農時代に採取した岩石および盛岡周辺の探索マップ、賢治が作った顕微鏡用岩石薄片、その当時に使われた教材、賢治と小野寺伊勢之助教授に関する資料、その他賢治に師事した松田甚次郎関係の資料等を展示している。

### (3) 平成31・令和元年度入館者数

単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
160	328	310	262	432	278	447	142	64	36	40	47	2546

### (4) 農業教育資料館企画展(共催)

タイトル:国際周期表年2019記念講演会

～元素・鉱物・農民芸術概論 1926年のSDGs～

平成31・令和元年度特別企画として11月30日に資料館2階講堂において、企画展を実施した。企画展は2部で構成され、第1部では桜井弘氏(京都薬科大学名誉教授)による講演「宮沢賢治の鉱物・元素の世界」を行った。第2部では、牛崎敏哉氏(宮沢賢治記念館学芸員)による講演「ブラックホールと農

民芸術概論」を行った。参加者76名と大勢の方に足を運んでいただいた。

(5) 農業資料館収蔵資料の他施設・団体への貸出実績

相手先	目的	貸出情報
(株)レマン	講演会パンフレット作成	硬度計の写真
(株)テレアックスオン	テレビ番組「心に刻む風景」制作	資料館外観, 2階講堂, ポランの間の写真
NHK 盛岡	テレビ番組「おばんです岩手」制作	資料館外観写真
(株)ジェイワークス	テレビ番組「かんさい情報ネット ten.」制作	資料館外観写真
(株)レマン	講演会 PR 用	資料館外観写真
(株)クリエイティブネクサス	テレビ番組「偉人たちの健康診断 宮沢賢治」制作	資料館外観写真
北水会	北水会 100 周年記念事業 PR 用	資料館外観写真
茨城県自然博物館	企画展「宮沢賢治と自然の世界」への展示	石の標本等 計 27 点
九州大学	授業の資料	門前弘多博士の写真
毎日新聞社	情報誌の表紙	資料館外観写真
沖縄テレビ放送	テレビ番組「OTV LIVE NEWS IT」制作	資料館(3D映像)
(株)キウイラボ	講演会ちらし作成	「輝岩」標本の写真

## 5 . 農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）は、「健康な家畜の生産から加工・流通を経て食卓に至るまで」いわゆるFarm to Tableで食の安全・安心に関する科学を学際的・横断的に希求し、その成果を地域と世界に発信する拠点として、平成18年4月1日に設置された。FAMSは現在4つの部門：企画調整部門、食の安全部門、動物生産部門および環境放射線衛生学部門で構成され、主に以下の活動を行っている。

- (1) 動物性食品に関する分野横断的な卒後教育・学部教育の提供
- (2) 地域密着型・問題解決型の動物性食品に関する研究推進
- (3) 食品に関する学際的・横断的な教育研究拠点形成
- (4) 放射線教育体系の構築

この中でも特に卒後教育には力を入れており、分野を問わず食に関わる人を対象にした「全体研修会」のほか、各分野の人を対象にした「部門別研修会」を企画調整部門を除く3部門で毎年開催している。

近年、食の安全確保においてHACCP（Hazard Analysis and Critical Control Points）やGAP（Good Agricultural Practice）方式が国際標準となり、食に関する事業者はその導入が求められている。FAMSでは東北地域の関係団体とともに「東北農場HACCP研究会」を設立し、農場におけるHACCP導入に対する支援活動も行っている。また、岩手県内に所在する国、自治体、あるいは民間の試験研究機関等と「岩手Farm to Tableフォーラム研究会」を設立し、分野横断的な勉強会を定期的で開催するとともに、地域連携の推進にも努めている。

令和元年度の活動内容は次のとおりである。

### 1 . FAMS事業推進委員会

動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）の運営方針や事業内容について、大学外の行政機関・民間企業等と意見交換をする目的で設置された委員会であり、令和元年度は1回開催された。

令和元年度FAMS事業推進委員会

- ・期 日：令和元年6月21日（金）15時～16時30分
- ・場 所：岩手大学農学部1号会議室
- ・参加人数：FAMS事業推進委員とFAMS研究員 16名

### 2 . 卒後教育活動

#### (1) 全体研修会

○6大学共同開催フォーラム

- ・テ ー マ：「オリンピックを見据えた家畜防疫と食品安全」
- ・期 日：令和元年9月20日（金）13時～17時10分
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟（教育系）2階 北桐ホール
- ・参加人数：77名（学外：43名、学内および関係者：34名）

#### (2) 部門別研修会

○食の安全部門研修会

- ・テ ー マ：「ルーティン手法になった今だからこそ学びたいリアルタイムPCR法」
- ・期 日：令和元年11月28日（木）10時30分～17時15分
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟（生命系）2階 スペースF
- ・参加人数：11名

○令和元年度FAMS診療技術セミナー

- ・テ ー マ：「産業動物の外科的アプローチを考える」
- ・期 日：令和元年11月25日（月）13時30分～11月27日（水）12時30分
- ・場 所：岩手大学農学部附属動物病院 産業動物診療棟1階実習室、2階視聴覚室

- ・参加人数：7名

### 3. 地域連携活動

#### (1) 岩手Farm to Table フォーラム研究会

- ・テーマ：「岩手県環境保健研究センターにおける食の安全への取り組み」
- ・期 日：令和2年1月28日（火）14時30分～17時
- ・場 所：岩手県環境保健研究センター
- ・参加人数：26名

#### (2) 第6回東北農場HACCP研究会

- ・期 日：令和元年12月21日（土）13時30分～17時
- ・場 所：岩手大学総合教育研究棟（生命系）7番講義室
- ・主 催：東北農場HACCP研究会，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・参加人数：33名

#### (3) 家畜の病態解析に関わる農業共済組合（NOSAI）とのネットワーク構築

- ・期 間：平成29年～

### 4. 講師派遣・その他

#### (1) 講師派遣

##### ○畜産振興事業に関する調査研究発表会

- ・期 日：令和元年10月10日（木）13時～17時30分
- ・場 所：東京大学弥生講堂・一条ホール
- ・主 催：国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター，公益財団法人全国競馬・畜産振興会
- ・講 師：村上賢二（食の安全部門）

##### ○第8回JASV口蹄疫終息記念セミナー

- ・期 日：令和元年11月1日（金）13時～17時
- ・場 所：ホテルレイクビュー水戸
- ・主 催：一般社団法人日本養豚開業獣医師協会（JASV）
- ・講 師：村上賢二（食の安全部門）

##### ○農場HACCPに関する研究会

- ・期 日：令和2年1月17日（金）15時～17時
- ・場 所：岩手県農業共済組合 本所 2階会議室
- ・主 催：岩手県農業共済組合
- ・講 師：一條俊浩（動物生産部門）

##### ○令和元年度丸森町酪農振興組合組合員・預託者研修会

- ・テ ー マ：牛白血病
- ・期 日：令和2年2月26日（水）10時～
- ・場 所：丸森まちづくりセンター 大集会室
- ・主 催：農事組合法人丸森町酪農振興組合
- ・講 師：一條俊浩（動物生産部門）

#### (2) アグリビジネス創出フェア2019

- ・期 日：令和元年11月20日（水）～22日（金）10時～17時
- ・場 所：東京ビッグサイト西4ホール
- ・主 催：農林水産省
- ・テ ー マ：ジビエの衛生管理向上に貢献できる簡易検査法の開発（食ゾーン出展）

## 5. FAMS共催・協賛事業

### (1) 令和元年度新入職員並びに若手職員研修会

- ・期 日：令和元年8月28日（月）13時～8月30日（水）12時
- ・場 所：岩手大学農学部附属動物病院 産業動物診療棟2階視聴覚室
- ・主 催：NOSAI東北家畜臨床研修センター
- ・共 催：日本獣医師会，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・参加人数：9名

## 6. 研究活動

### (1) 日本中央競馬会畜産振興事業

#### ○「感染子牛育成センターを利用した地域で持続可能な牛白血病清浄化モデル開発事業」

- ・期 間：平成31年4月1日～令和4年3月31日
- ・補助金総額：29,702,000円（令和元年度）
- ・研究代表：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・研究分担：NOSAI東北家畜臨床研修センター，動物衛生研究所，東北各県家畜保健衛生所，東北各県NOSAI

### (2) 農林水産省 革新的技術開発・緊急展開事業

#### ○「酪農生産基盤強化に向けた個体別哺乳ロボットと飼養管理データの高度活用による乳用子牛等の精密哺乳・哺育システムの開発・普及」

- ・期 間：平成28年10月～令和元年9月
- ・補助金総額：2,544,000円（FAMS配当分，令和元年度）
- ・研究代表：東京理科大学
- ・研究分担：株式会社田野畑牧場，独立行政法人家畜改良センター・岩手牧場，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター，オリオン機械株式会社

### (3) 農林水産省 革新的技術開発・緊急展開事業

#### ○「ICT・ロボット・AIを活用した放牧技術による生涯生産性向上を可能とする乳用牛の育成技術の開発」

- ・期 間：平成29年度～令和元年度
- ・補助金総額：4,000,000円（FAMS配当分，令和元年度）
- ・研究代表：東京理科大学
- ・研究分担：株式会社NTTドコモ，鹿児島大学，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター，国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門，鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場，鳴之尾牧場
- ・協力機関：鹿児島県大隅地域振興局

### (4) 農業・食品産業技術総合研究機構 生産性革命に向けた革新的技術開発事業

#### ○「スマート捕獲・スマートジビエ技術の確立」

- ・期 間：平成30年度～令和2年度
- ・補助金総額：3,000,000円（FAMS配当分，平成30年度）
- ・研究代表：長崎県農林技術開発センター
- ・研究分担：株式会社R・F・J，鳥羽商船高等専門学校，宇都宮大学，岩手大学，甲子園大学，株式会社ファスマック，株式会社ニッポンジーン，農研機構東北農業研究センター・西日本農業研究センター，宮城大学，静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター，（株式会社一成，株式会社スカイシーカー，兵庫県県立大学，長崎県農山村対策室，森林研究・整備機構森林総合研究所，東京理科大学

### (5) 株式会社NTTドコモ共同研究事業

#### ○「産業動物遠隔診療支援システムの構築」

- ・期 間：令和元年度

- ・補助金総額：2,283,000円
- ・研究分担：株式会社NTTドコモ，岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター，岩手県農業共済組合

#### 7．成果発表会

##### (1) FAMS成果発表会

令和2年3月9日(月)に開催する予定であったが，新型コロナウイルス感染症の感染を拡大させる可能性を排除できないと判断したため，やむを得ず中止とした。

#### 8．会議開催実績

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| (1) 運営委員会             | 1回 |
| (2) 企画調整部門会議          | 5回 |
| (3) FAMS客員教授との打ち合わせ会議 | 1回 |

事務組織等



## 1. 事務組織

事務長	久 慈 秀 俊
学部運営グループ	
主査（副事務長）	佐 藤 光 展
主査	内 村 勝 人
主査	櫻 田 美 幸
主査	藤 根 智 子
主任	三 浦 勇 次 郎
主任	藤 井 美 樹
主事	對 馬 一 圭
事務補佐員	藤 原 一 子
事務補佐員	佐 藤 育 子
事務補佐員	大 下 和 枝
事務補佐員	高 杉 亜 希
事務補佐員	小 野 寺 福 恵
臨時用務員	佐 々 木 君 子
寒冷フィールドセンターグループ	
主査（副事務長）兼室長	田 澤 昭 男
主査	小 野 寺 昭 好
主査	芳 賀 清 亮
事務職員（再雇用）	佐 々 木 勝 則
事務職員（再雇用）	山 崎 信 也
事務補佐員	九 翟 里 見
事務補佐員	安 海 桂 子
連合大学院グループ	
事務室長（兼務）	久 慈 秀 俊
主査	大 矢 原 裕 二
主査	竹 原 裕 美
主任	小 笠 原 朋 苗
主事	井 上 早 苗
事務職員（次世代支援）	吉 田 ま ゆ み
事務補佐員	川 戸 道 代
地域連携推進室	
特任研究員	沼 田 聡
事務補佐員	吉 田 珠 美
事務補佐員	岡 田 早 紀
事務補佐員	角 谷 久 美 子

令和元年 10 月 1 日現在

## 2. 令和元年度予算関係

支出額

（単位：円）

区 分	学 部	附属寒冷フィールドサイ エンス教育研究センター	合 計
運 営 費	123,474,800	73,743,603	197,218,403
外 部 資 金	165,909,020	1,891,351	167,800,371
合 計	289,383,820	75,634,954	365,018,774

学部には連大分を含まない。

### 3. 職員の動向

#### (1) 教育職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【採 用】 31. 4. 1	准教授（森林科学科）	齋藤 仁志	信州大学農学部助教
元. 7. 1	助 教（附属動物病院）	森田 智也	JASMINE どうぶつ循環器病センター勤務医
元.12. 1	助 教（植物生命科学科）	殿崎 薫	横浜市立大学木原生物学研究所特任助教
元.12. 1	准教授（共同獣医学科）	山田 慎二	東北大学大学院医学系研究科助教
【昇 任】 31. 4. 1	教 授（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）	山本 信次	准教授（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）
元.10. 1	教 授（植物生命科学科）	下野 裕之	准教授（植物生命科学科）
元.11. 1	准教授（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）	平田 統一	助 教（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）
【退 職】 2. 2.29	退職	網田 丈二	助教（共同獣医学科）
2. 3.31	定年退職	長澤 孝志	教授（応用生物化学科）
2. 3.31	定年退職	武田 純一	教授（食料生産環境学科）
2. 3.31	定年退職	廣田 純一	教授（食料生産環境学科）
2. 3.31	定年退職	佐野 宏明	教授（動物科学科）
2. 3.31	定年退職	佐藤れえ子	教授（附属動物病院）
2. 3.31	退職（大同大学）	颯田 尚哉	教授（食料生産環境学科）

#### (2) 事務職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【昇 任】 31. 4. 1	農学部寒冷フィールドセンターグループ主査	芳賀 清亮	農学部主任
”	農学部主任	三浦勇次郎	農学部主事
”	農学部主任〔動物病院〕	藤井 美樹	農学部主事〔動物病院〕
【配 置 換】 31. 4. 1	農学部事務長 〔兼：農学部連合大学院事務室長〕	久慈 秀俊	財務部財務課長
”	農学部連合大学院グループ主査	竹原 裕二	学務部入試課主任
元.10. 1	農学部学部運営グループ主査〔動物病院〕	藤根 智子	国立岩手山青少年交流の家 専門職

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【配 置 換】	農学部主事	對馬 一圭	地域連携推進部三陸復興支援課主事
”	学務部キャリア支援課キャリア支援 グループ主査	大坂 陽子	農学部学部運営グループ主査〔動物 病院〕
”	人文社会科学部主事	高柳 亜紀	農学部主事
【退 職】			
元. 6.30	退職	土橋 政昭	農学部連合大学院グループ主査（副 事務長）
2. 3.31	定年退職	田澤 昭男	農学部寒冷フィールドセンターグル ープ主査(副事務長)〔兼事務室長〕
2. 3.31	定年退職	小野寺昭好	農学部寒冷フィールドセンターグル ープ主査
2. 3.31	退職	佐々木勝則	農学部寒冷フィールドセンターグル ープ事務職員（再雇用）

### (3) 技術職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【昇 任】			
31. 4. 1	技術部農学系技術部農学系第一技術 室農学・生命グループ技術専門員	田口 芳彦	技術部農学系技術部農学系第一技術 室農学・生命グループ技術専門職員
”	技術部農学系技術部農学系第一技術 室農学・生命グループ技術専門職員	小室 岬	技術部農学系技術部農学系第一技術 室農学・生命グループ技術職員
”	技術部農学系技術部農学系第一技術 室農学・生命グループ技術専門職員	福士 祥代	技術部農学系技術部農学系第一技術 室農学・生命グループ技術職員
【退 職】			
2. 3.31	定年退職	千田 広幸	技術部農学系技術部農学系第一技術 室長
2. 3.31	退職	藤田 泰崇	技術部農学系技術部農学系第二技術 室森林・管理グループ技術専門職員



---

令和2年11月16日発行

発行 **岩手大学農学部**

〒020-8850 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

TEL 019-621-6103

FAX 019-621-6107

発行責任者 岩手大学農学部長 倉 島 栄 一

---





*IWATE UNIVERSITY*

---

*FACULTY  
OF  
AGRICULTURE*